

(注) 1. 試料採取法

- C: 土壌コア採取
- F: 容積入れ試料による試料
- D: ティンシ型サンプラーによる試料
- T: 樹根ピストン型サンプラーによる試料
- T・T・S: トリプルサンプラー

2. コアタイプ・記号の種類

- SMC: シングルコアタイプ・メタルラン
- DMC: ダブルコアタイプ・メタルラン
- DBB: ダブルコアタイプ・ビニールビッド
- PMC: トリプルコアタイプ・メタルラン
- TPT: トリプルコアタイプ・ビニールビッド

3. 原位置試験・試験の状態

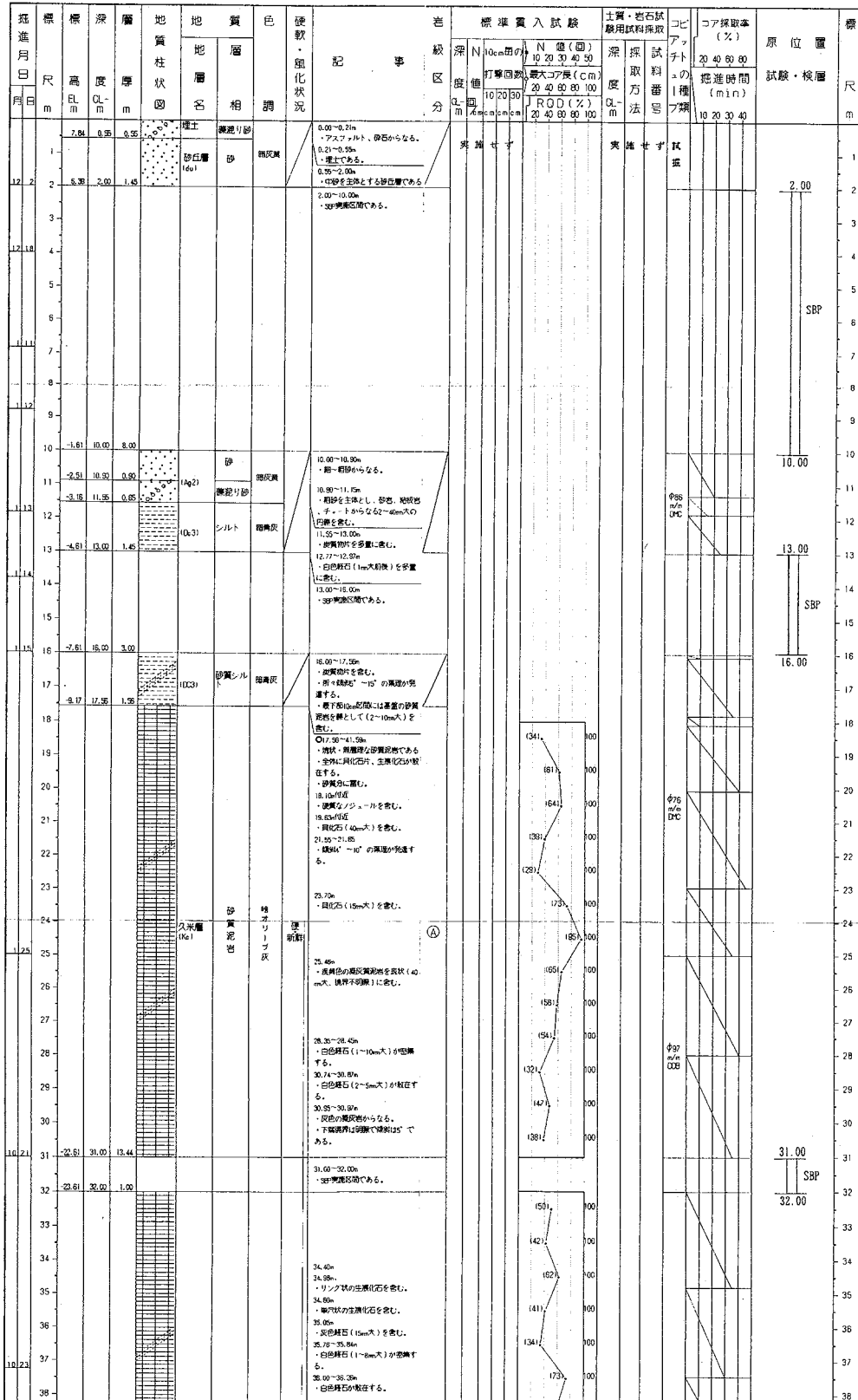
- O: 土質試験
- U: 圧縮試験
- B: PS試験 (静圧方式)
- S: PS試験 (サトペンシ方式)
- I: 剪断試験
- K: リバー試験
- W: 透水試験

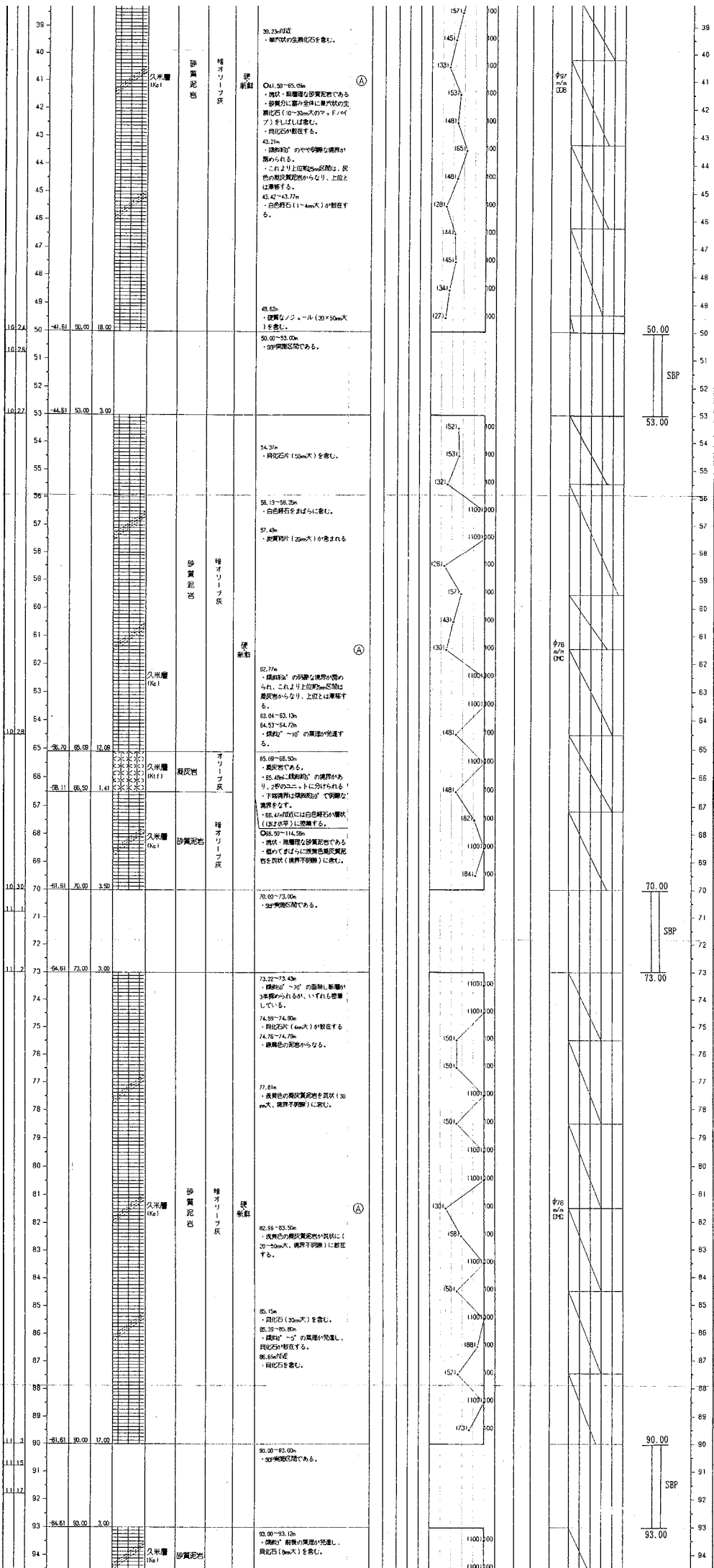
C'-3' ボーリング柱状図

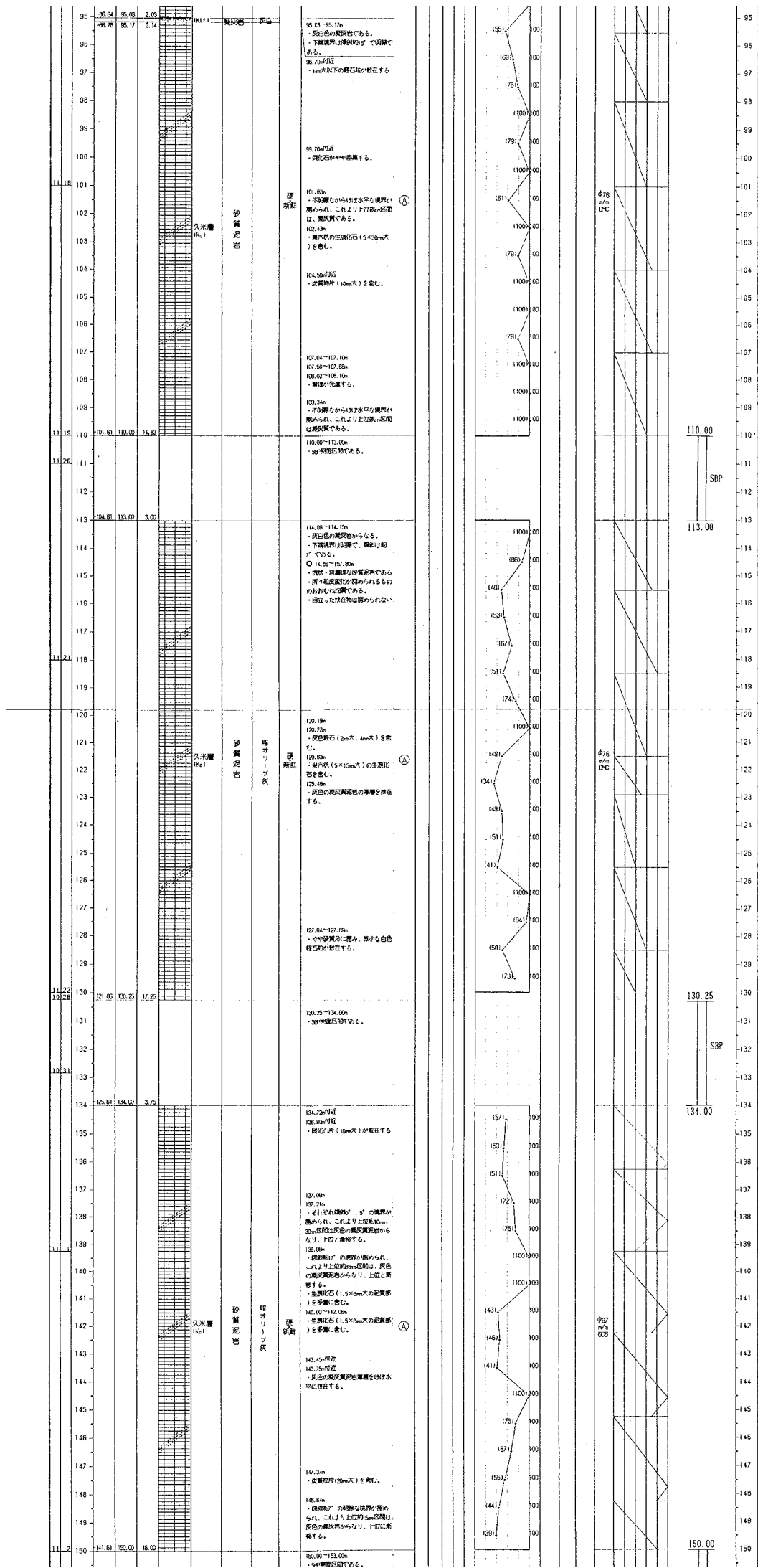
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白万1-1 乳口標高EL +8.39m
 調査期間 平成 7年10月10日~8年1月19日 最終孔内水位CL- 2.40m (EL +5.99m)
 使用試錐機 L-55, L24 掘削深度CL- 361.00m

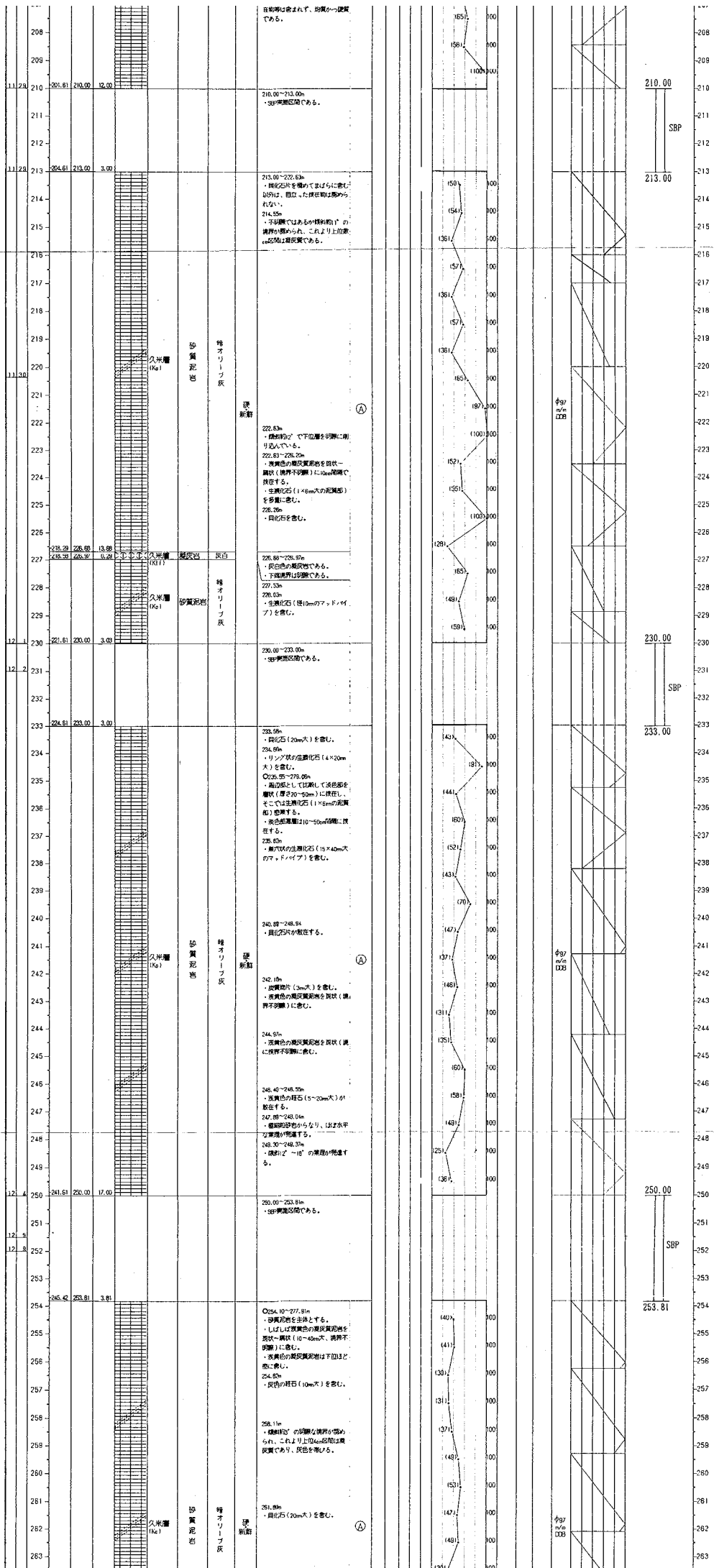
主任技術者

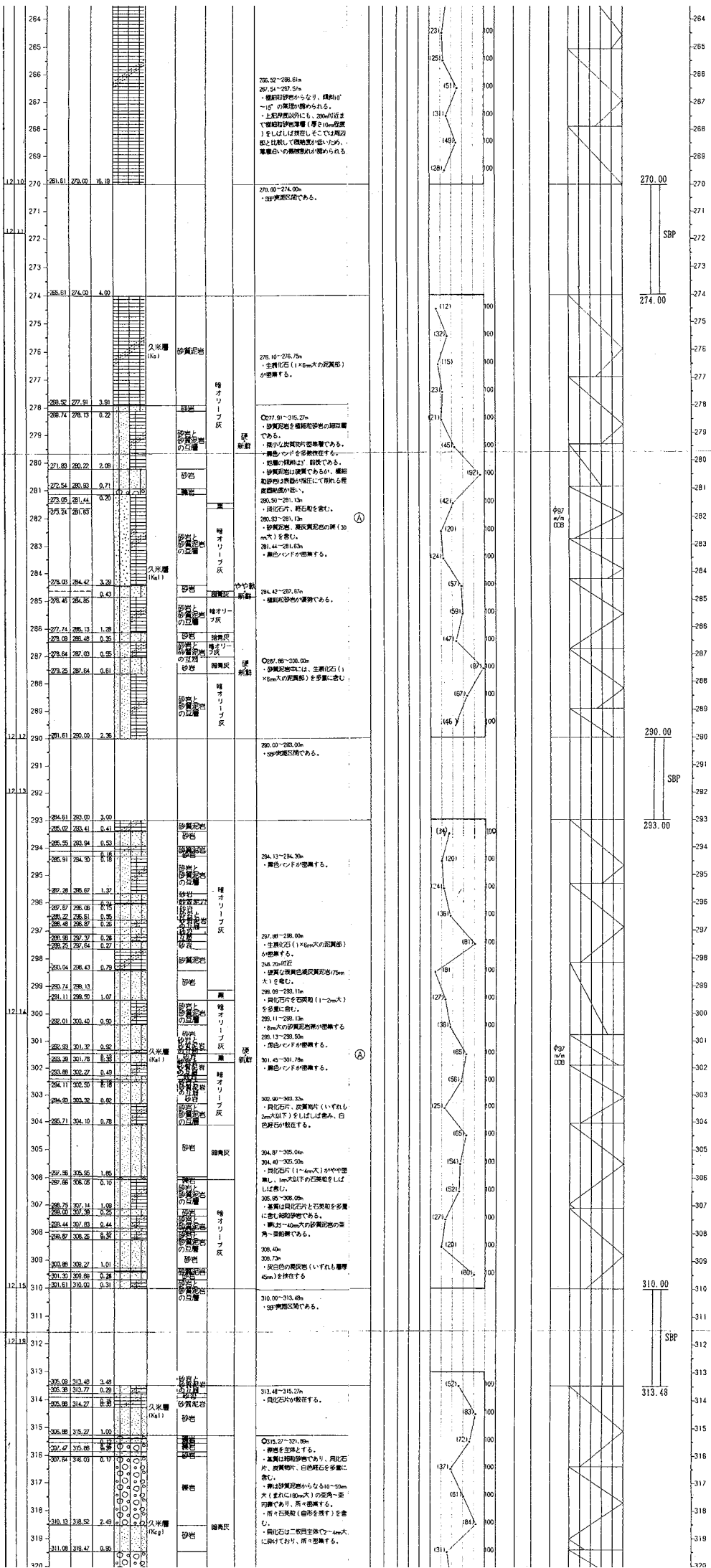
コア観察者

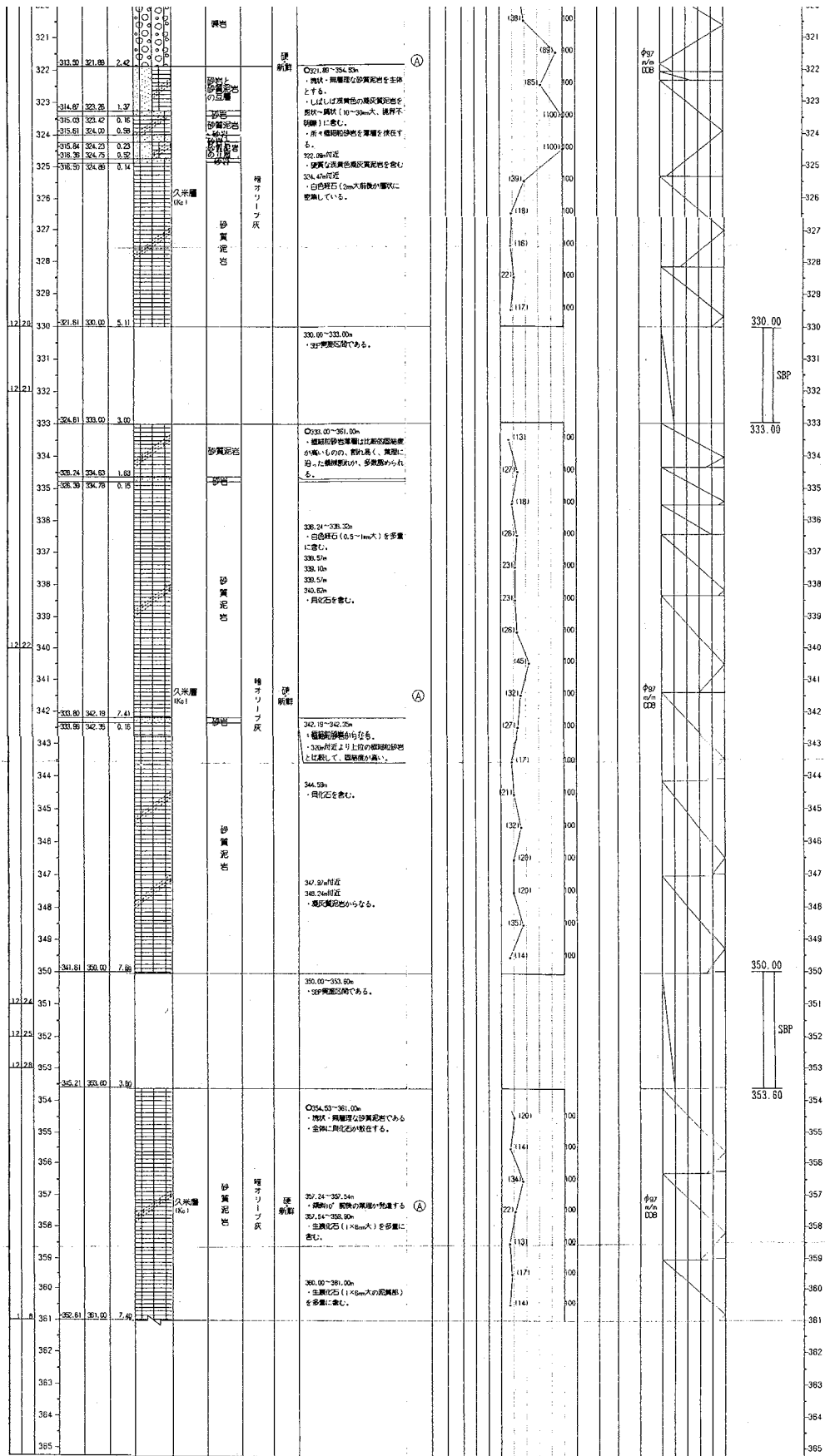


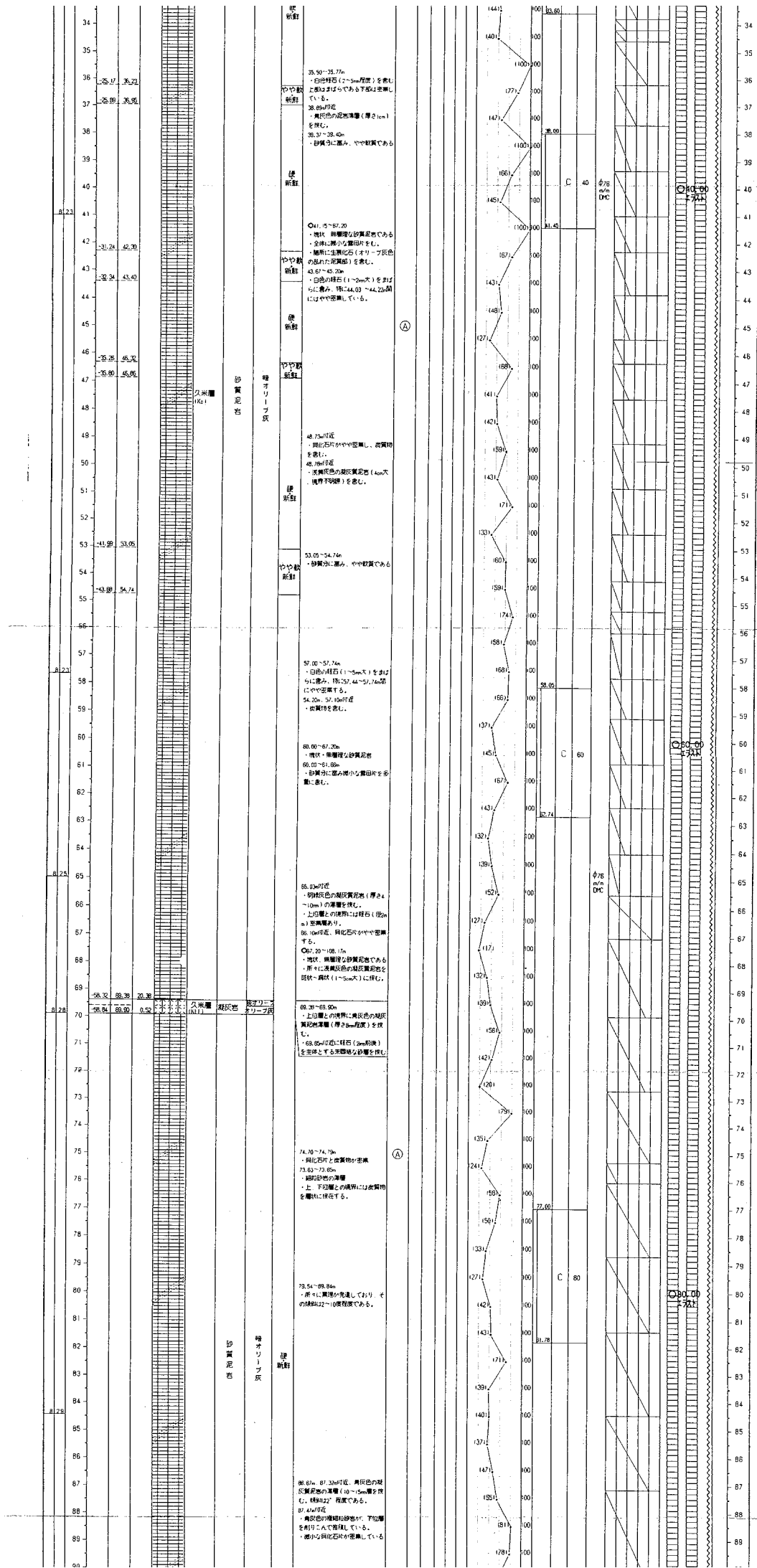


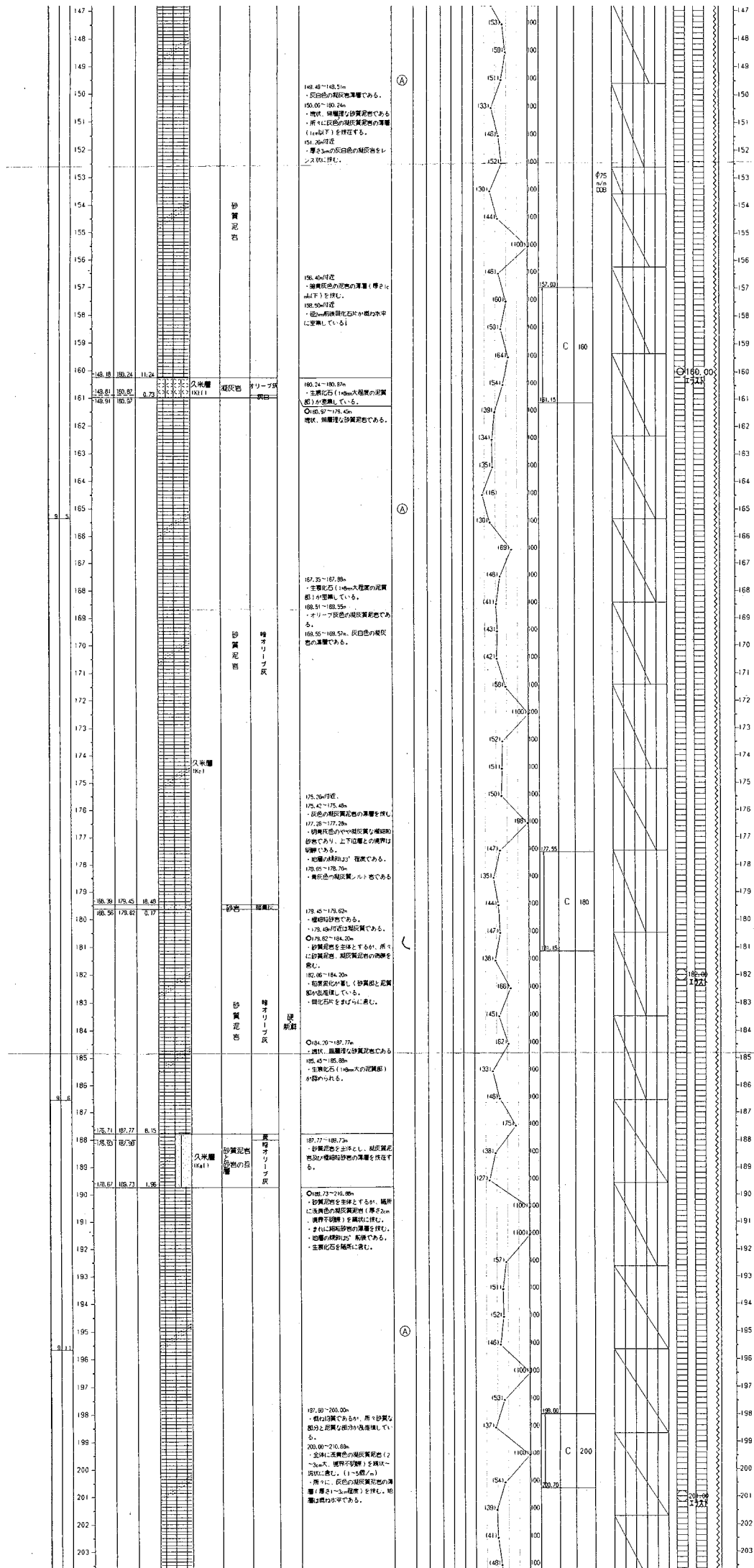












148.40~148.50m
 ① 灰色の凝灰岩層である。
 150.00~150.24m
 ・塊状、塊層状な砂質泥岩である。
 ・所々に灰色の凝灰岩層の薄層 (1~2cm厚) を挟む。
 151.20m付近
 ・厚さ3cmの灰白色の凝灰岩をレンス状に挟む。

156.40m付近
 ・塊状の凝灰岩層 (厚さ2cm以下) を挟む。
 158.50m付近
 ・20cm厚の凝灰岩が凝灰岩中に空層している。

160.24~160.37m
 ・主層状石 (10cm程度の凝灰岩) が空層している。
 160.50~176.45m
 ① 塊状、塊層状な砂質泥岩である。

167.35~167.89m
 ・主層状石 (10cm程度の凝灰岩) が空層している。
 168.51~168.59m
 ・オレンジ色の凝灰岩層である。
 168.55~168.57m、灰白色の凝灰岩の薄層である。

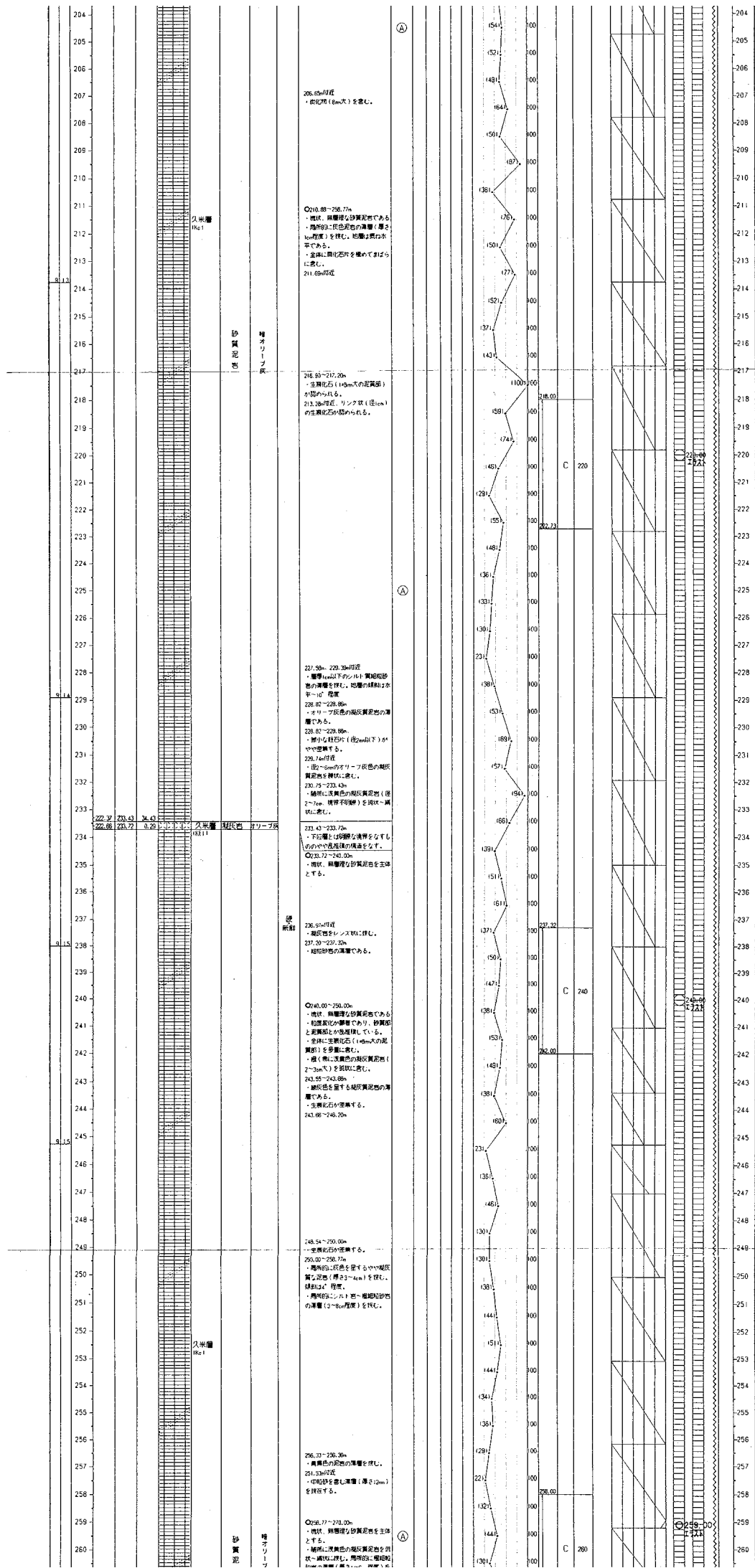
175.26m付近
 175.42~175.46m
 ・灰色の凝灰岩層の薄層を挟む。
 177.28~177.29m
 ・塊状の凝灰岩のやがて凝灰岩の塊層状の砂岩であり、上下境界との境界は不明である。
 ・凝灰岩の塊層状が凝灰岩である。
 178.62~178.70m
 ・凝灰岩の凝灰岩層である。

178.45~178.62m
 ・塊層状砂岩である。
 179.46~179.47m
 ・凝灰岩層を主体とするが、所々に砂質泥岩、凝灰岩の塊層を挟む。
 182.00~184.20m
 ・凝灰岩の塊層状が凝灰岩の塊層状の凝灰岩に空層している。
 ・凝灰岩をまばらに挟む。

184.70~187.77m
 ・塊状、塊層状な砂質泥岩である。
 185.45~185.88m
 ・主層状石 (10cm程度の凝灰岩) が空層している。

187.77~188.73m
 ・凝灰岩を主体とし、凝灰岩の塊層状の凝灰岩の薄層を挟む。
 189.22~191.89m
 ・凝灰岩を主体とするが、凝灰岩の塊層状の凝灰岩 (厚さ2cm) を挟む。
 ・塊層状の凝灰岩を挟む。
 ・凝灰岩の塊層状が凝灰岩である。
 ・主層状石を塊層状に挟む。

197.80~200.00m
 ・凝灰岩であるが、所々に砂質泥岩と凝灰岩の塊層状を挟む。
 200.00~200.05m
 ・全体に凝灰岩の塊層状 (2~3cm厚、塊層状) を挟む。
 ・所々に、灰色の凝灰岩の薄層 (厚さ1~2cm) を挟む。
 ・凝灰岩の塊層状を挟む。
 ・凝灰岩の塊層状を挟む。
 ・凝灰岩の塊層状を挟む。



206.85m付近
・凝結砂(6~8m)を含む。

Q10.48~206.77m
・性状、無層質な砂質泥である。
・地所約2m(灰色泥色の薄層(厚さ10cm程度))を挟み、地層は概ね水平である。
・主に凝結砂片を纏めておぼろに凝結。
211.69m付近

216.99~217.20m
・生熟化石(10~30cm)の泥質部が認められる。
213.36m付近、リンゴ状(直径)の生熟化石が認められる。

227.50m~229.25m付近
・層厚10m以下のシルト(黄褐色)の薄層を挟み、地層の傾斜は概ね水平。程度。
228.80~228.85m
・オリブ灰色の凝結質泥の薄層である。
228.80~228.99m
・凝結質泥(10cm以下)がやや密着する。
229.74m付近
・約10cmのオリブ灰色の凝結質泥を挟み、地層は概ね水平。
230.75~231.43m
・地所に赤黄色の凝結質泥(厚さ2~7cm、塊状不連続)を挟み、地層は概ね水平。
233.43~233.70m
・下部層は砂質泥を伴わず、上部層は砂質泥の塊状を伴う。
Q23.72~243.00m
・性状、無層質な砂質泥を主体とする。

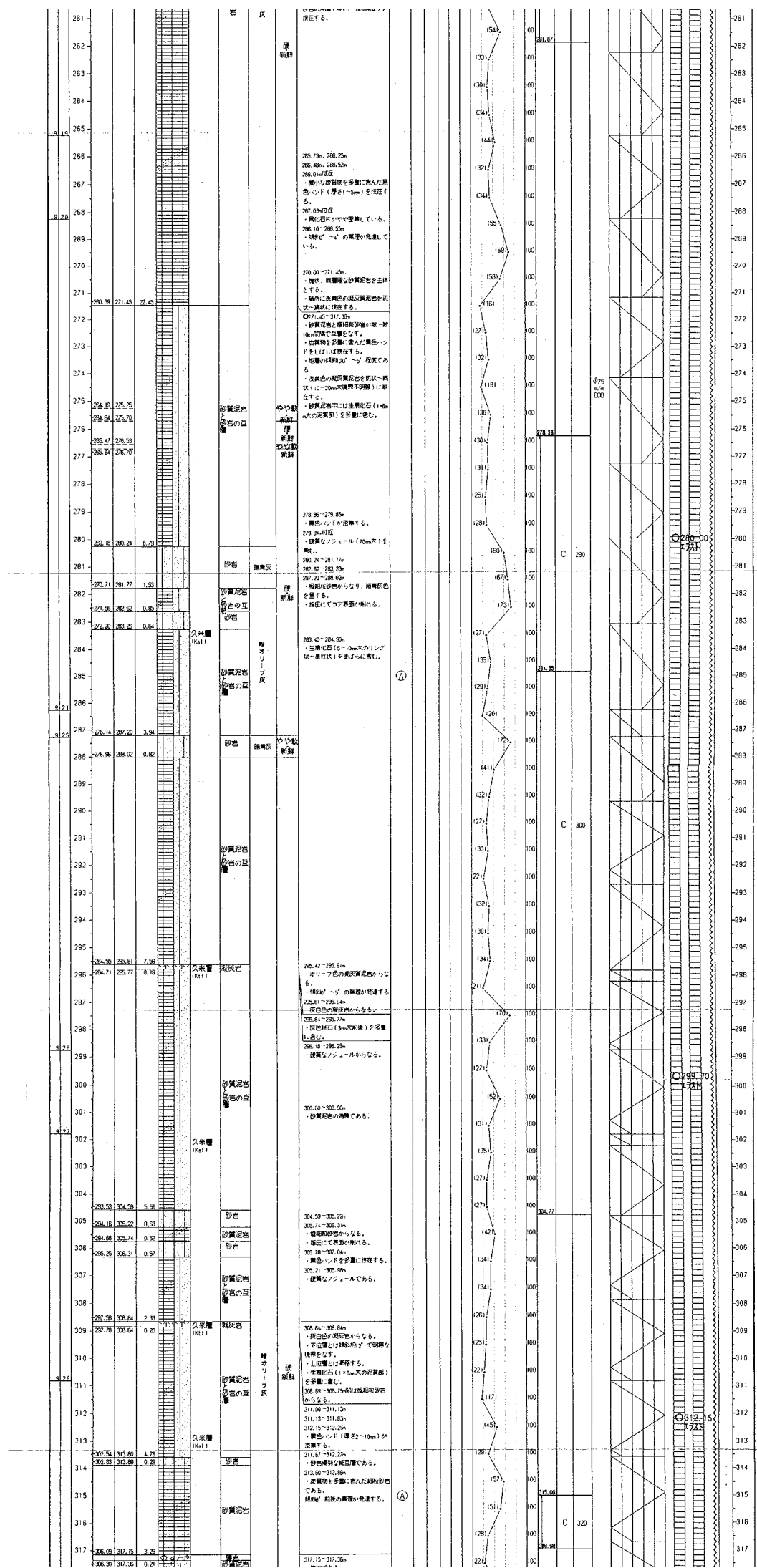
236.94m付近
・凝結砂をレンズ状に挟み、237.50~237.55m
・凝結砂の薄層である。

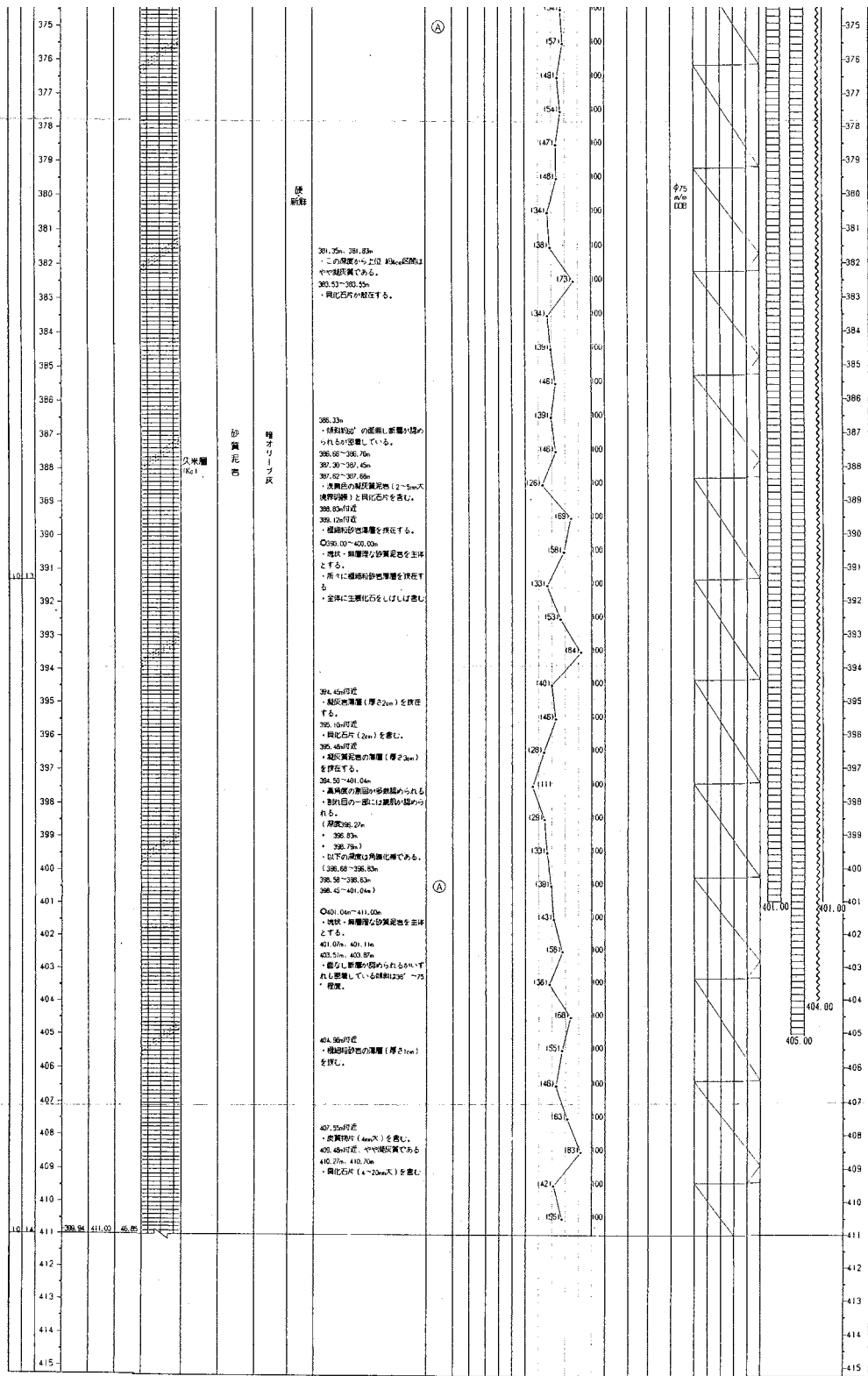
Q43.00~250.00m
・性状、無層質な砂質泥である。
・地所約2m(灰色泥色の薄層(厚さ10cm程度))を挟み、地層は概ね水平である。
・主に凝結砂片を纏めておぼろに凝結。
243.55~243.89m
・凝結質泥を伴う凝結質泥の薄層である。
・生熟化石が密着する。
243.88~248.70m

248.54~250.00m
・生熟化石が密着する。
250.00~250.77m
・地所に赤黄色の凝結質泥(厚さ10cm程度)を挟み、地層は概ね水平。程度。
・地所に赤黄色の凝結質泥(厚さ2~7cm、塊状不連続)を挟み、地層は概ね水平。

256.37~256.38m
・赤黄色の泥色の薄層を挟み、251.53m付近
・凝結砂を伴う薄層(厚さ12cm)を挟み、地層は概ね水平。

Q56.77~270.00m
・性状、無層質な砂質泥を主体とする。
・地所に赤黄色の凝結質泥を伴い、凝結質泥(厚さ10cm程度)を挟み、地層は概ね水平。





(注) 1. 試験採取方法

- : ホーリングコア試験
- : 標準貫入試験による試験
- ◇: テニソン型シリンダーによる試験
- T: 固定ピストン式シリンダーによる試験

2. コアチューブ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
- ODD: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

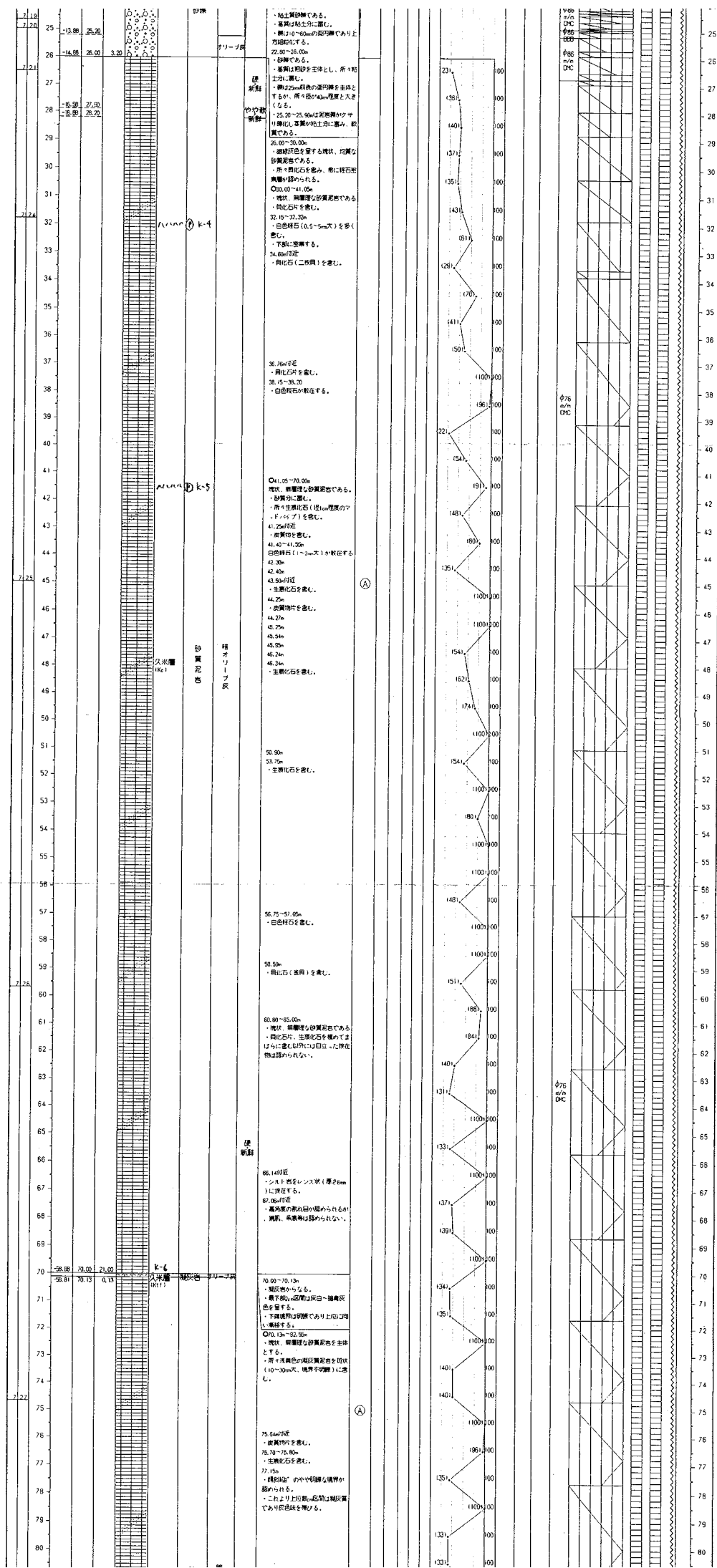
3. 測定値試験・検閲実施状況

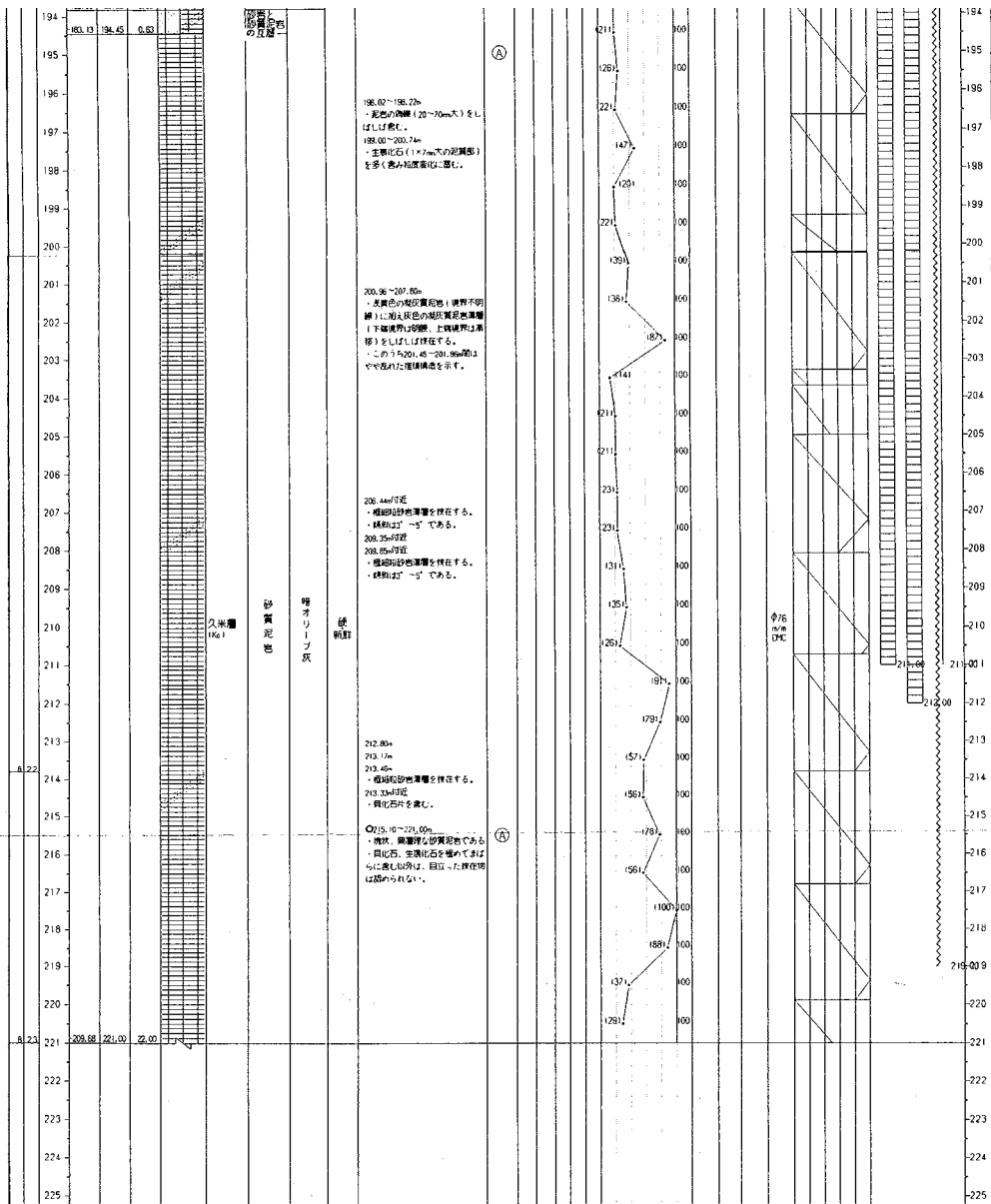
- : 孔内水位変動試験
- : 閉鎖水位測定
- ◇: P.S.検閲 (板たき方式)
- : P.S.検閲 (サスペンション方式)
- S: 電気検閲
- I: 空探検閲
- ∴: キャリパー検閲

C-5 ボーリング柱状図

件名 豊後第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東通村大字白方1-1 孔口標高 $EL +11.32m$
 調査期間 7年7月1日~7年9月14日 最終孔内水位 $EL - 9.48m$ $IGL +1.84m$ コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 L-24 総削深度 $EL - 221.00m$

標高 m	深さ m	層厚 m	地質柱状 図	地質 層名	色調	硬軟・風化 状況	記 事	標準貫入試験				土質・岩石 試験用試料採取		コア採取率 (%)		原位置 試験・検層	標 尺 m		
								深 度 m	N 値 10 20 30 40 50	最大 コア厚 (cm)	最大 RQD (%)	深 度 m	試 料 番 号	20 40 60 80 100	経過時間 (min)				
11.22	0.10	0.10		粘土質シルト	黄褐色	硬	0.00~0.05m ・黄褐色を呈する硬粘土層で硬軟を著し。 0.05~0.10m ・褐色を呈する粘土質シルト層で硬軟を著し。 0.10~0.50m ・所々に砂(10~100μm程度の砂)を著し。 0.50~1.00m ・褐色の硬(硬質)を著し。 1.00~1.30m ・褐色~黄褐色の硬の砂を著している。 1.30~1.40m ・コンクリート片等の砂を著している。 1.40~1.50m ・砂を著している。深さは定数に不致である。	実施せず											
6.27	5.05	4.95		砂	黄褐色	軟	2.25~7.50m ・粗粒砂からなる。深さは完全に不致である。 7.50~8.50m ・粗粒砂からなる。 8.50~9.10m ・粗粒砂からなる。深さは完全に不致である。												
4.07	7.23	2.20		砂	黄褐色	軟	7.25~7.50m ・粗粒砂からなる。深さは完全に不致である。 7.50~8.50m ・粗粒砂からなる。 8.50~9.10m ・粗粒砂からなる。深さは完全に不致である。												
1.72	9.80	2.30		砂	黄褐色	軟	9.80~13.00m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 13.00~13.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 13.20~13.50m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 13.50~15.00m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.00~15.45m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.45~20.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-1.94	13.00	2.40		砂	黄褐色	軟	13.00~13.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 13.20~13.50m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 13.50~15.00m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.00~15.45m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.45~20.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-2.78	14.10	0.84		砂	黄褐色	軟	14.10~14.90m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 14.90~15.00m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.00~15.45m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.45~20.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-3.69	15.00	0.90		砂	黄褐色	軟	15.00~15.45m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 15.45~20.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-4.13	15.45	0.45		砂	黄褐色	軟	15.45~16.00m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 16.00~16.50m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 16.50~18.70m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 18.70~20.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-5.00	16.34			砂	黄褐色	軟	16.34~16.50m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 16.50~18.70m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 18.70~20.20m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-3.00	20.20	4.75		砂	黄褐色	軟	20.20~21.10m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.10~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-3.86	21.10	0.90		砂	黄褐色	軟	21.10~21.90m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。 21.90~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-10.99	22.00			砂	黄褐色	軟	22.00~22.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												
-11.48	22.80	1.02		砂	黄褐色	軟	22.80~23.80m ・粗粒砂である。 ・深さは完全に不致である。												





(注) 1. 試料採取方法

- C: ホーリングコア試料
- P: 標準貫入試験による試料
- Q: 千分皿型サンダーによる試料
- T: 固定ピストン式シフ・ホルサン
プラーによる試料

2. コアチップ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチップ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチップ・メタルクラウン
- DOB: ダブルコアチップ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチップ・メタルクラウン
- TOB: トリプルコアチップ・ダイヤモンドビット

3. 層位調査・検査実施状況

- O: 孔内水中電流試験
- : 間隙水圧測定
- : PS試験 (板たき方式)
- ⊖: PS試験 (サスペンション方式)
- △: 電気試験
- ∩: 密度試験
- ∩: キャリパー試験
- ∩: 透水試験

C-6 ボーリング柱状図

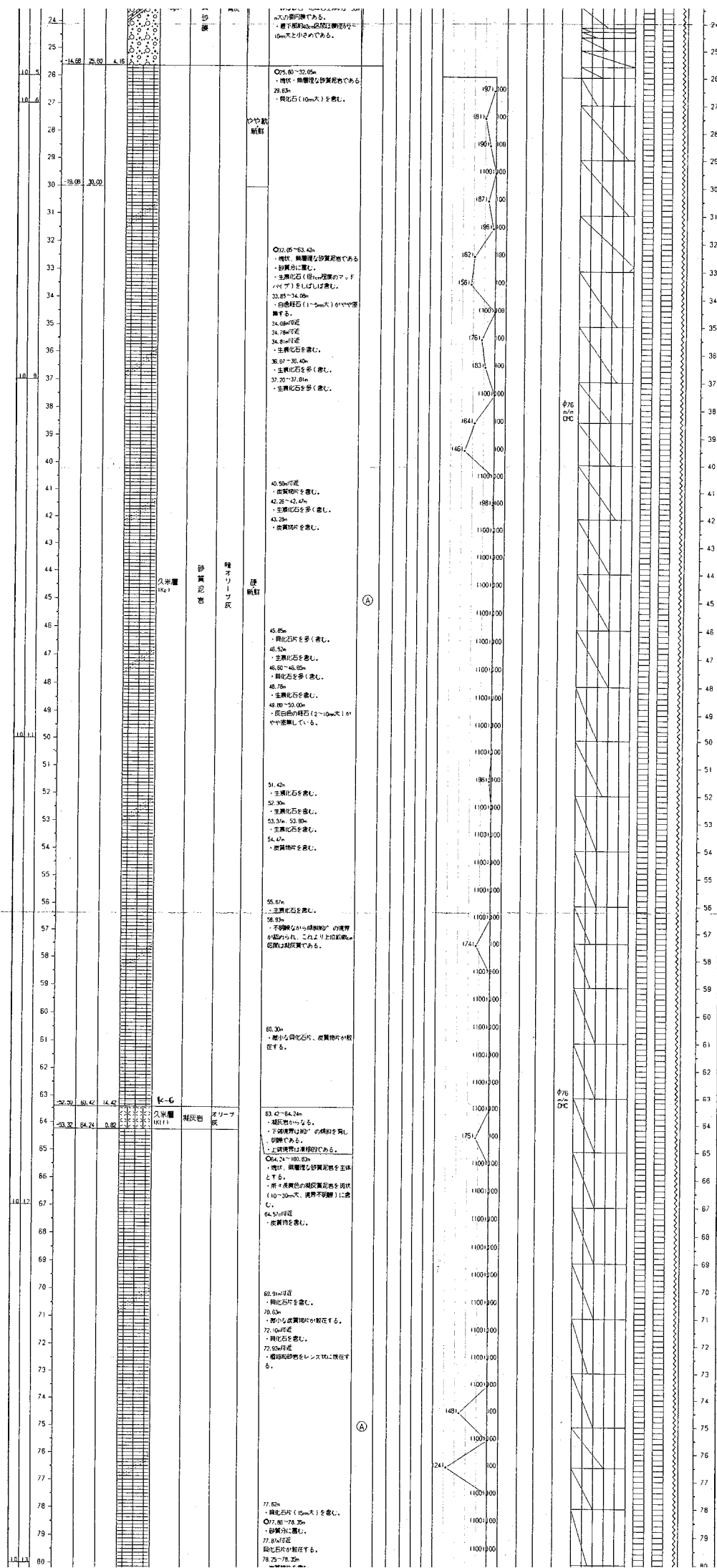
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵施設設置に係るボーリング調査他 主任技術者 XXXXXXXXXX

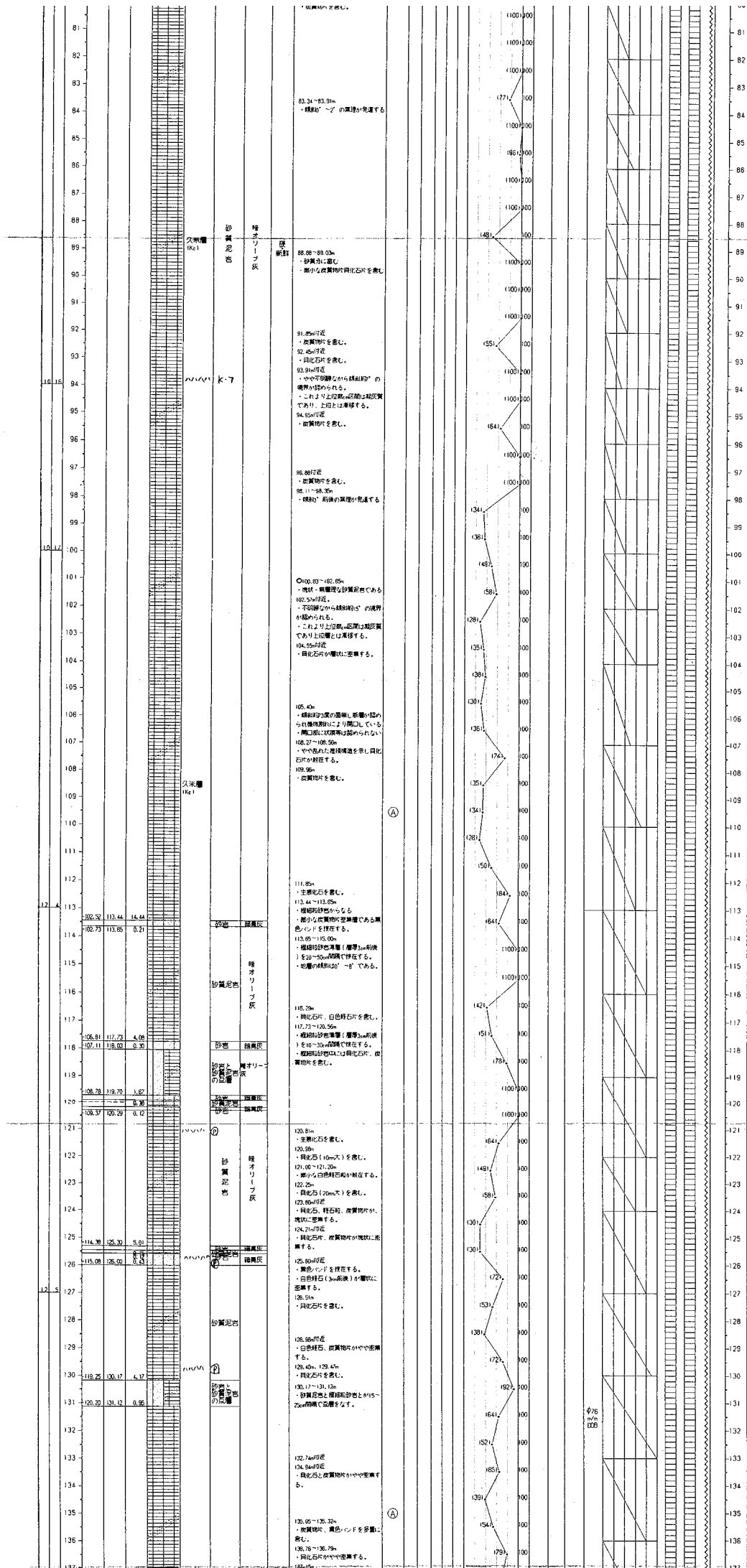
調査地 茨城県那珂郡東海村大字方1-1 平成 孔口標高 EL +10.92m

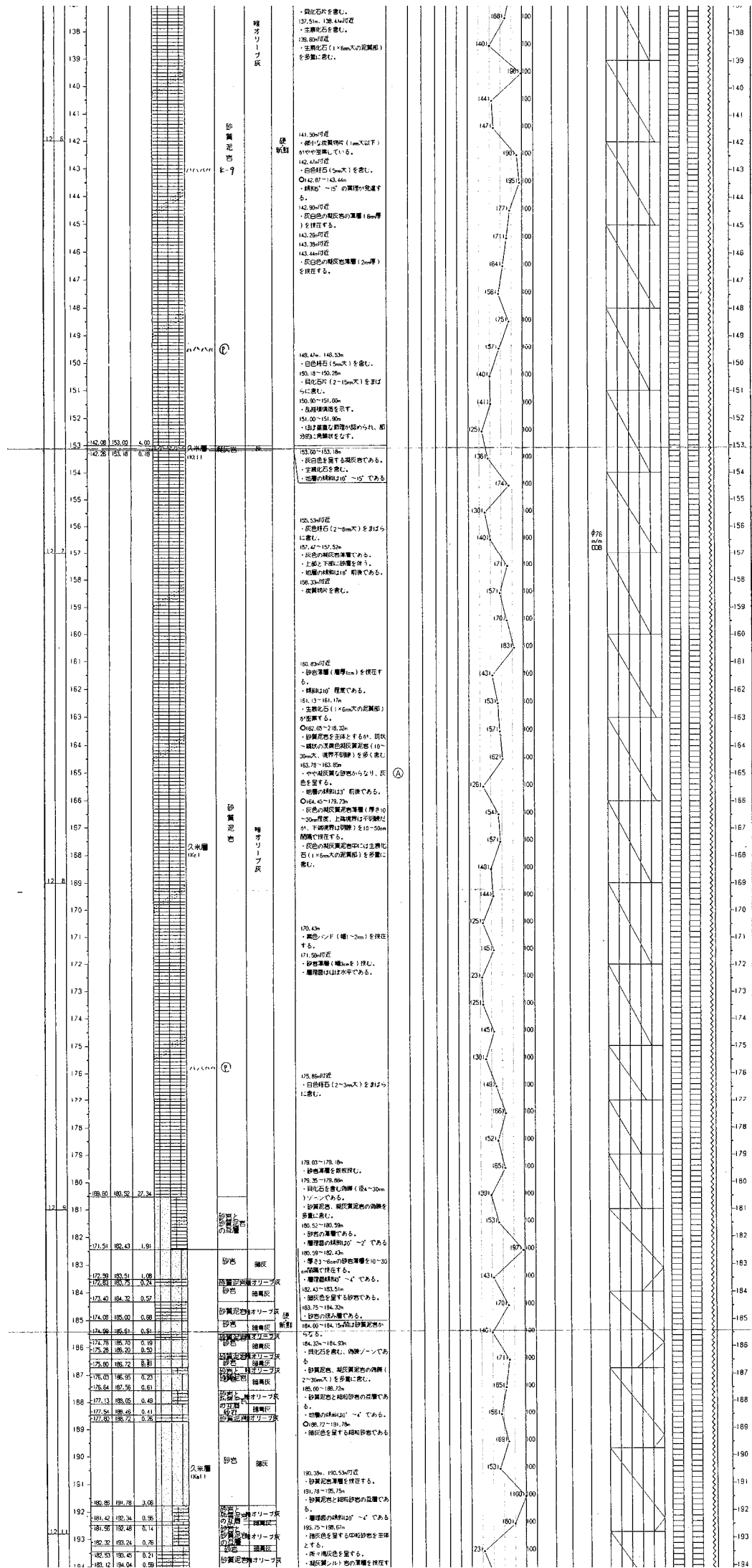
調査期間 7年9月20日~7年12月14日 最終孔内水位 EL -9.60m (EL +1.32m) コア観察者 XXXXXXXXXX

使用試験機 D2-G 掘削深度 QL -221.00m

掘進 月日	標高 m	深 m	層厚 m	地質柱状 図	地層名 相	色調 硬軟・風化状況	記 事	標準貫入試験				土質・岩石 試験用試料採取 深 度 m	コア採取率 (%)	コア 探進時間 (min)	原位置 試験・検層	標 尺 m	
								N	10cm 打撃回	N値(個)	最大コア長(Cm)						
10.1	10.92	0.38	0.26		博士		0.00~0.10m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.2	9.79				砂層		0.10~0.25m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.3	9.16				久慈川堆積層		7.57~8.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.4	8.52	30.40			砂		0.40~13.31m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.5	7.57	7.92			粘着状のセメント系土質		13.31~15.09m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.6	6.82	15.74	0.86		砂		15.09~16.18m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.7	5.27	16.19	0.45		粘着状のセメント系土質		16.18~18.53m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.8	5.59	16.51			粘着状のセメント系土質		18.53~21.44m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.9	7.18	18.10	1.91		砂		21.44~25.80m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.10	7.67	18.58	0.43		粘着状のセメント系土質		25.80~28.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.11	8.11	18.05	0.50		粘着状のセメント系土質		28.00~30.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.12	18.53				砂		30.00~32.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.13	18.63				粘着状のセメント系土質		32.00~34.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.14	21.44				砂		34.00~36.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.15	21.55				粘着状のセメント系土質		36.00~38.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.16	24.44				砂		38.00~40.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.17	24.55				粘着状のセメント系土質		40.00~42.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.18	28.00				砂		42.00~44.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.19	28.11				粘着状のセメント系土質		44.00~46.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.20	30.00				砂		46.00~48.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.21	30.11				粘着状のセメント系土質		48.00~50.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.22	32.00				砂		50.00~52.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										
10.23	32.11				粘着状のセメント系土質		52.00~54.00m - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。 - 粘着状のセメント系土質である。										







深度 (m)	土質	含水率 (%)	液性指数	その他
132.5	砂質粘土	142.00	153.00	4.00
133.0	砂質粘土	142.25	153.16	6.08
134.0	砂質粘土	142.50	153.32	6.16
135.0	砂質粘土	142.75	153.48	6.24
136.0	砂質粘土	143.00	153.64	6.32
137.0	砂質粘土	143.25	153.80	6.40
138.0	砂質粘土	143.50	153.96	6.48
139.0	砂質粘土	143.75	154.12	6.56
140.0	砂質粘土	144.00	154.28	6.64
141.0	砂質粘土	144.25	154.44	6.72
142.0	砂質粘土	144.50	154.60	6.80
143.0	砂質粘土	144.75	154.76	6.88
144.0	砂質粘土	145.00	154.92	6.96
145.0	砂質粘土	145.25	155.08	7.04
146.0	砂質粘土	145.50	155.24	7.12
147.0	砂質粘土	145.75	155.40	7.20
148.0	砂質粘土	146.00	155.56	7.28
149.0	砂質粘土	146.25	155.72	7.36
150.0	砂質粘土	146.50	155.88	7.44
151.0	砂質粘土	146.75	156.04	7.52
152.0	砂質粘土	147.00	156.20	7.60
153.0	砂質粘土	147.25	156.36	7.68
154.0	砂質粘土	147.50	156.52	7.76
155.0	砂質粘土	147.75	156.68	7.84
156.0	砂質粘土	148.00	156.84	7.92
157.0	砂質粘土	148.25	157.00	8.00
158.0	砂質粘土	148.50	157.16	8.08
159.0	砂質粘土	148.75	157.32	8.16
160.0	砂質粘土	149.00	157.48	8.24
161.0	砂質粘土	149.25	157.64	8.32
162.0	砂質粘土	149.50	157.80	8.40
163.0	砂質粘土	149.75	157.96	8.48
164.0	砂質粘土	150.00	158.12	8.56
165.0	砂質粘土	150.25	158.28	8.64
166.0	砂質粘土	150.50	158.44	8.72
167.0	砂質粘土	150.75	158.60	8.80
168.0	砂質粘土	151.00	158.76	8.88
169.0	砂質粘土	151.25	158.92	8.96
170.0	砂質粘土	151.50	159.08	9.04
171.0	砂質粘土	151.75	159.24	9.12
172.0	砂質粘土	152.00	159.40	9.20
173.0	砂質粘土	152.25	159.56	9.28
174.0	砂質粘土	152.50	159.72	9.36
175.0	砂質粘土	152.75	159.88	9.44
176.0	砂質粘土	153.00	160.04	9.52
177.0	砂質粘土	153.25	160.20	9.60
178.0	砂質粘土	153.50	160.36	9.68
179.0	砂質粘土	153.75	160.52	9.76
180.0	砂質粘土	154.00	160.68	9.84
181.0	砂質粘土	154.25	160.84	9.92
182.0	砂質粘土	154.50	161.00	10.00
183.0	砂質粘土	154.75	161.16	10.08
184.0	砂質粘土	155.00	161.32	10.16
185.0	砂質粘土	155.25	161.48	10.24
186.0	砂質粘土	155.50	161.64	10.32
187.0	砂質粘土	155.75	161.80	10.40
188.0	砂質粘土	156.00	161.96	10.48
189.0	砂質粘土	156.25	162.12	10.56
190.0	砂質粘土	156.50	162.28	10.64
191.0	砂質粘土	156.75	162.44	10.72
192.0	砂質粘土	157.00	162.60	10.80
193.0	砂質粘土	157.25	162.76	10.88
194.0	砂質粘土	157.50	162.92	10.96
195.0	砂質粘土	157.75	163.08	11.04
196.0	砂質粘土	158.00	163.24	11.12
197.0	砂質粘土	158.25	163.40	11.20
198.0	砂質粘土	158.50	163.56	11.28
199.0	砂質粘土	158.75	163.72	11.36
200.0	砂質粘土	159.00	163.88	11.44

・腐乱石を混じり、
132.5m、138.4m付近
・生黄化土を混じり、
138.8m付近
・生黄化土(1.6m次の距離部)
を多数に混じり、

141.30m付近
・腐乱土(腐乱度1.0m以下)
がやや混入している。
142.40m付近
・白砂粘土(50mm)を混じり、
①42.87~143.46m
・地層の傾斜は10°前後である。
142.90m付近
・灰白色の砂質粘土(60mm厚)
を混入する。
143.20m付近
143.35m付近
143.44m付近
・灰白色の砂質粘土(20mm厚)
を混入する。

148.47m、148.53m
・白砂粘土(50mm)を混じり、
150.30~150.35m
・腐乱土(2~30mm)をまばら
に混じり、
150.30~151.00m
・乱層構造を示す。
151.00~151.05m
・土質は腐乱土が認められ、部
分は角礫状を示す。

153.70m~153.76m
・灰白色を呈する腐乱土である。
・生黄化土を混じり、
・地層の傾斜は10°前後である。

153.53m付近
・灰砂粘土(2~30mm)をまばら
に混じり、
157.47~157.53m
・砂質粘土(腐乱度1.0m)
を混入する。
・上部と下部に砂層を伴う。
・地層の傾斜は10°前後である。
158.35m付近
・腐乱土を混じり、

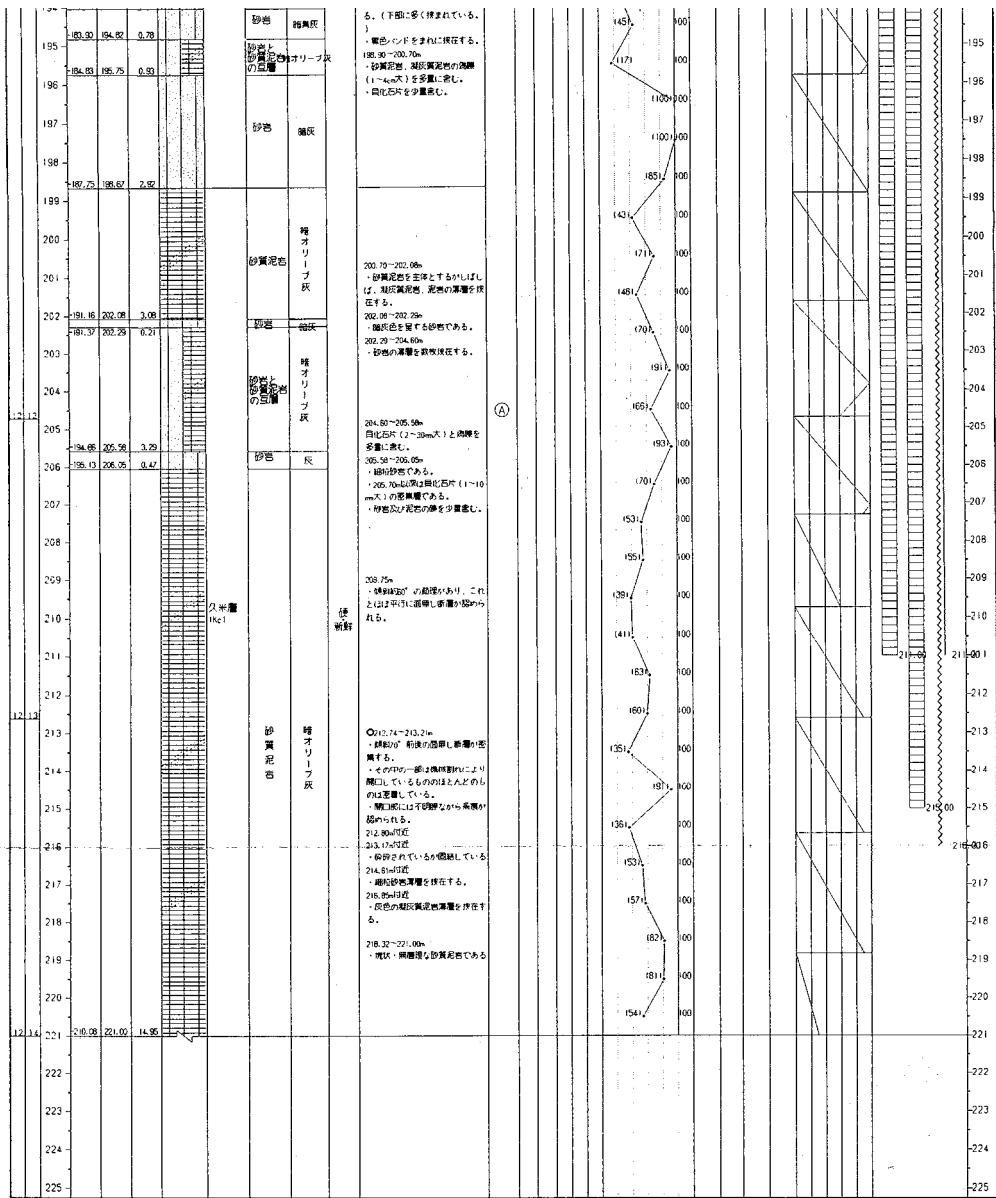
160.49~160.55m
・砂質粘土(腐乱度1.0m)を混入す
る。
・傾斜は10°程度である。
161.13~161.17m
・生黄化土(1.6m次の距離部)
を混入する。
①62.05~162.32m
・砂質粘土を主体とするが、局所
に腐乱土(腐乱度1.0m)を混入し、
163.75~163.82m
・砂質粘土(腐乱度1.0m)を多く混
入し、
・砂質粘土を主体とするが、局所
に腐乱土(腐乱度1.0m)を混入し、
・地層の傾斜は10°前後である。
①64.45~164.73m
・砂質粘土(腐乱度1.0m)を主体と
し、
・下部は砂層を伴う。上部は腐乱
土(腐乱度1.0m)を混入し、
・灰白色の砂質粘土(腐乱度1.0m)を混入
し、
・生黄化土(1.6m次の距離部)を多数に
混入し、

170.43m
・黄色のシルト(幅1~2m)を混入
する。
171.50m付近
・砂質粘土(幅30cm)を混入し、
・腐乱度はほぼ水平である。

175.46m付近
・白砂粘土(2~30mm)をまばら
に混じり、

178.03~178.18m
・砂質粘土を混入し、
179.35~179.40m
・砂質粘土を混入し、
・砂質粘土(幅30cm)を混入し、
・砂質粘土、腐乱土の混入を
多数に混入し、
180.02~180.08m
・腐乱土である。
・腐乱度は10°前後である。
180.38~180.43m
・厚さ2~30mmの砂質粘土を10~20
cm程度に混入する。
182.43~183.51m
・腐乱土を呈する砂質である。
183.75~184.23m
・砂質粘土を混入し、
184.00~184.15m、腐乱土(腐乱度1.0m)
を混入し、
184.20~184.35m
・腐乱土(腐乱度1.0m)を混入し、
・腐乱土を混入し、腐乱土である。
185.00~185.05m
・砂質粘土、腐乱土の混入(幅
2~30mm)を多数に混入し、
185.00~185.72m
・砂質粘土と砂質粘土の混入である。
187.13~188.05m
・腐乱土を混入し、
187.50~188.45m
・腐乱土を混入し、
①86.72~187.73m
・腐乱土を呈する砂質砂である。

180.35m、180.53m付近
・砂質粘土を混入する。
181.78~181.79m
・砂質粘土と砂質粘土の混入である。
・腐乱度は10°前後である。
181.75~181.80m
・腐乱土を呈する砂質粘土を主体
とする。
・腐乱土を混入する。
・腐乱土(幅10cm)の混入を混入する



(注) 1. 試料採取方法

- C: ボーリングコア試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: テレソニクシンプラーによる試料
- T: 固定ピストン式シンプラーによる試料

2. コアチップ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチップ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチップ・メタルクラウン
- DDB: ダブルコアチップ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチップ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチップ・ダイヤモンドビット

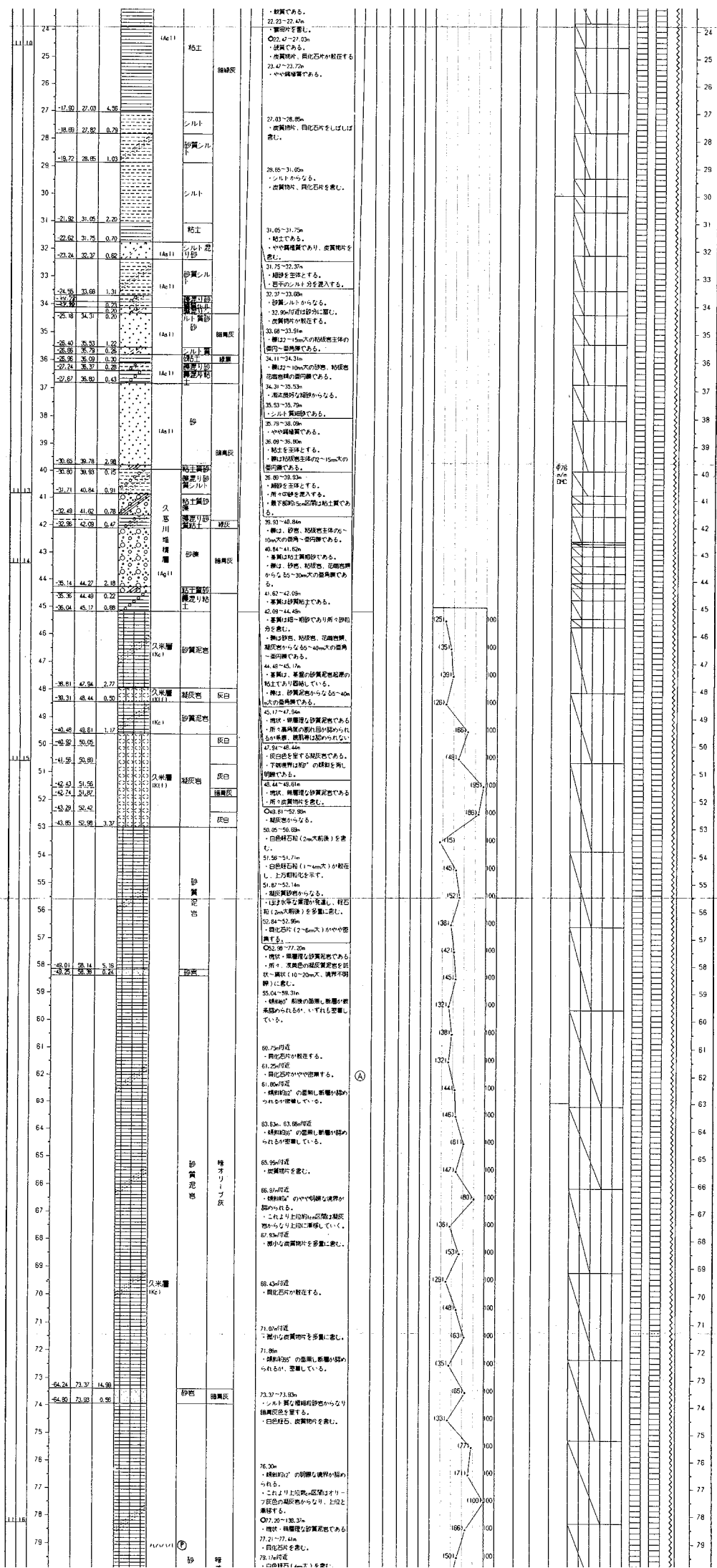
3. 層位置試験・観測実施状況

- : 孔内水圧観測試験
- : 間隙水圧測定
- : P-S 検層 (板たき方式)
- ⊞: P-S 検層 (リサメンション方式)
- S: 電気検層
- I: 空底検層
- ∴: モニター検層

C-7 ボーリング柱状図

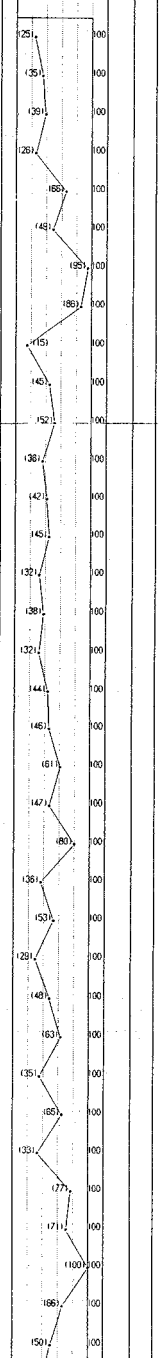
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他
 主任技術者
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1
 孔口標高CL +9.13m
 調査期間 7年10月26日~7年12月4日
 最終孔内水位CL - 6.50m (EL +2.63m)
 コア観察者
 使用試験機 YBM-3F
 掘削深度CL - 219.00m

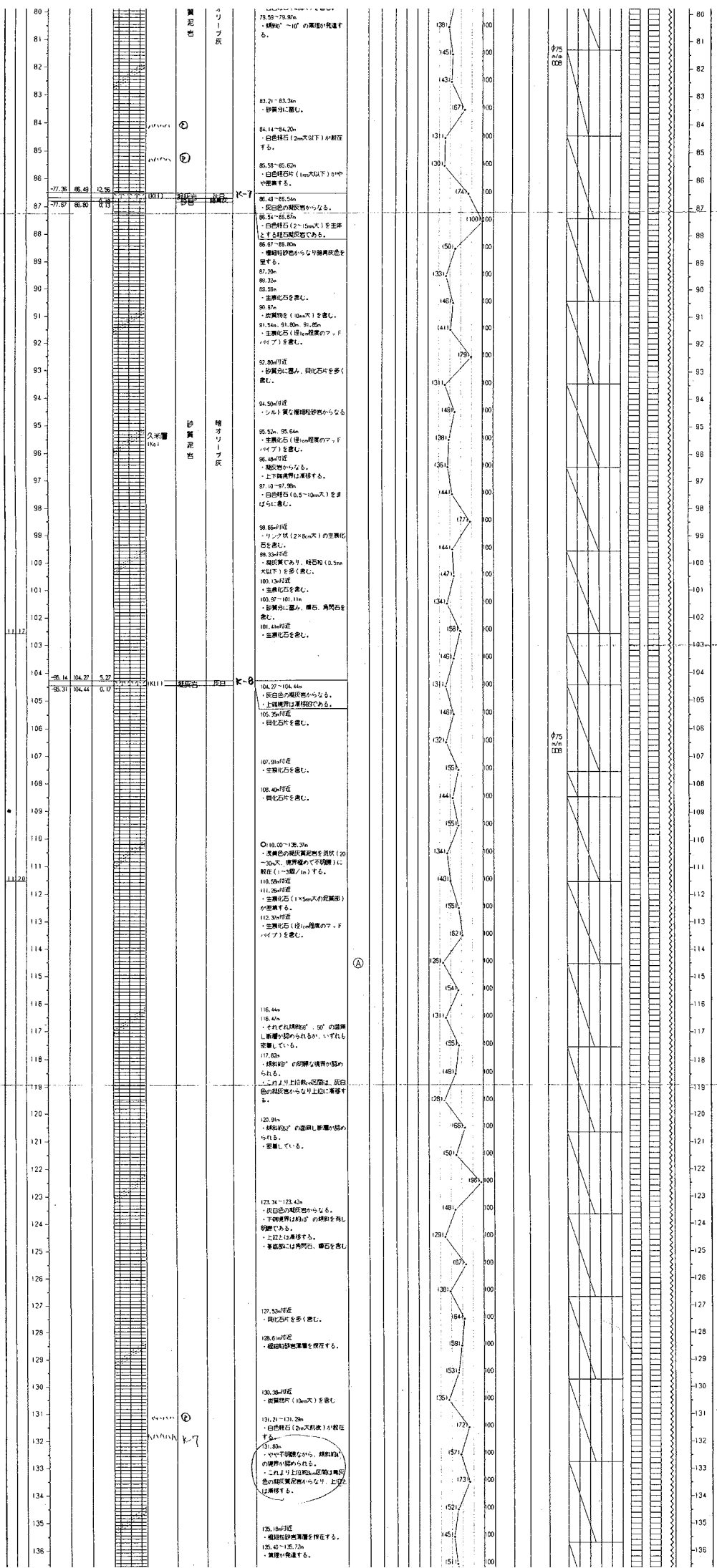
掘進 月日	標高 尺	深 尺	層 厚 尺	地質柱 状 図	地層 名	質 相	色 調	硬 軟・ 風化 状況	記 事	標準貫入試験				土質・岩石試 験用試料採取 深 度 CL- m	採取 方法	コア 採取 番号	コア採取率 (%)	掘進時間 (min)	原位置 試験・検層	標 尺
										N 10cm の 打撃回数	N 値(回)	最大コア長(c m)	FGD(%)							
									0.00~1.30 ・掘削しり砂からなる埋土である。	実施せず				実施せず						
10.28	7.83	1.30	1.30		埋土	埋土			0.30~5.50 ・粗砂を主成分とする。 ・常に掘削しり砂を混入する。 ・F値層(Ag2)とは異なる。											
					砂石層	砂			4.25~4.45 ・シルトを若干含む黄色味を帯びる。											
									5.80~6.15 ・シルトを若干含む黄色味を帯びる。											
11.2	3.63	5.50	4.20		編戻土				6.15~7.30 ・細砂を主成分とする。 ・しばしば2~4mmの円礫を含む。 ・5.80m ・6.15m ・6.60m ・7.30m ・角化石灰(5mm前後)を含む。											
					久慈川埋戻層	砂			10.22~10.45 ・やや硬質である。											
					1Ag2	砂質シルト質砂			10.47~10.91 ・粗砂を主成分とする。 ・礫片を多数混入する。											
					1Ag1	埋戻り砂			10.91~11.65 ・掘削しり砂からなり上方細粒化している。											
					1Ag1	埋戻り砂			11.65~12.60 ・粗砂を主成分とする。 ・最大10mm(有底5mm)の角礫を混入する。 ・角化石灰(5mm前後)を含む。											
					1Ag1	シルト質砂			12.60~12.74 ・掘削しり砂からなる。											
					1Ag1	砂			12.74~13.17 ・掘削しり砂をしばしば混入する。											
									13.17~14.20 ・粗砂を主成分とする。 ・掘削しり砂と礫片をしばしば混入する。											
									14.20~15.00 ・掘削しり砂からなる。 ・角化石灰(5mm前後)を含む。											
									15.00~16.84 ・掘削しり砂を混入する。 ・角化石灰(5mm前後)を含む。											
									16.84~20.54 ・粘土である。 ・角化石灰が散在する。											
									20.54~21.70 ・厚さ約5mmの角化石灰(5mm前後)を含む。 ・厚さ約5mmの角化石灰(5mm前後)であり黄色味を帯びる。											
									21.70~22.25 ・角化石灰(120mm)を含む。 ・角状の角化石灰を含む。											



・軟質である。
22.22~22.42m
・腐植質を混じり。
○22.42~22.52m
・粘質である。
・皮質物片、自化石片が散在する
22.42~22.72m
・やや硬質である。

27.03~28.05m
・皮質物片、自化石片をしばしば
混じり。
28.05~31.05m
・シルトからなる。
・皮質物片、自化石片を混じり。
31.05~31.75m
・粘土である。
・やや硬質であり、皮質物片を
混じり。
31.75~32.32m
・細砂を主体とする。
・若干のシルト分を混入する。
32.32~33.00m
・粘質シルトからなる。
・32.90m付近は砂分が混じり。
・皮質物片が散在する。
33.00~33.51m
・断面10~15cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
34.11~34.31m
・断面10~10cmの砂質、粘質
花崗岩片の混入である。
34.31~35.53m
・断面10~10cmの角状砂質からなる。
35.53~35.75m
・シルト質砂質である。
35.75~38.09m
・やや硬質である。
38.09~38.85m
・粘土を主体とする。
・断面10~15cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
38.85~39.25m
・細砂を主体とする。
・若干のシルト分を混入する。
・断面下部の砂質砂質は粘土質である。
39.25~40.84m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
40.84~41.65m
・断面10~10cmの角状砂質である。
・断面10~10cmの角状砂質、花崗岩片
からなる5~10cmの角状砂質である。
41.65~42.02m
・断面10~10cmの角状砂質である。
42.02~44.49m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
44.49~45.17m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
45.17~46.44m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
46.44~48.44m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
48.44~48.61m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
48.61~49.06m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
49.06~50.93m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
50.93~52.42m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
52.42~52.52m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
52.52~55.05m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
55.05~55.71m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
55.71~58.14m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
58.14~58.30m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
58.30~60.73m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
60.73~61.25m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
61.25~61.91m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
61.91~65.95m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
65.95~68.38m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
68.38~71.01m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
71.01~71.85m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
71.85~73.37m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
73.37~73.85m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
73.85~76.30m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
76.30~77.21m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
77.21~77.42m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
77.42~78.12m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。
78.12~79.00m
・断面10~10cmの角状砂質主体の
断面に砂質砂である。





78.50~79.50m
・黄泥岩
・傾斜約10°の層理が発達する。

82.20~83.20m
・砂質分に富む。

84.14~84.20m
・白色輝石(20m以下)が散在する。

85.58~85.62m
・白色輝石(10m以下)が散在する。

86.43~86.54m
・灰白色の凝灰岩からなる。

86.54~86.57m
・白色輝石(10m以下)を主成分とする粗粒凝灰岩である。

86.57~88.80m
・層状砂岩からなり凝灰岩の色を呈する。

87.20m
88.32m
88.58m
・主黄化石を散見。

89.87m
・炭質物(10m)を散見。

91.54m, 91.80m, 91.85m
・主黄化石(10m)程度のア・ド・パイプを散見。

92.20m付近
・砂質分に富み、黄化石を多く散見。

94.50m付近
・シルト質な層状砂岩からなる。

95.52m, 95.64m
・主黄化石(10m)程度のア・ド・パイプを散見。

96.48m付近
・凝灰岩からなる。

97.13~97.99m
・白色輝石(0.5~10m)をまばらに散見。

98.66m付近
・ア・ド・パイプ(20m)の主黄化石を散見。

99.32m付近
・凝灰岩であり、輝石(0.5m以下)を多く散見。

100.34m付近
・主黄化石を散見。

100.97~101.11m
・砂質分に富み、輝石、角閃石を散見。

101.44m付近
・主黄化石を散見。

104.27~104.44m
・灰白色の凝灰岩からなる。上段境界は層理的である。

105.26m付近
・黄化石を散見。

107.91m付近
・主黄化石を散見。

108.46m付近
・黄化石を散見。

110.00~110.27m
・灰白色の凝灰岩を状(20~30m、境界極めて不明瞭)に散見(1~2層/1m)する。

110.56m付近
・主黄化石(10m)の範囲部が散見する。

112.30m付近
・主黄化石(10m)程度のア・ド・パイプを散見。

116.44m
116.47m
・それぞれ傾斜約10°の層理と断層が認められるが、いずれも空層している。

117.82m
・傾斜約10°の砂質凝灰岩が認められる。これより上段境界(10m)は、灰白色の凝灰岩からなり上段に属する。

120.91m
・傾斜約10°の断層と断層が認められる。空層している。

123.34~123.42m
・灰白色の凝灰岩からなる。下段境界は約10°の傾斜を有し砂質である。上段と属する。凝灰岩には角閃石、輝石を散見。

127.52m付近
・黄化石を多く散見。

128.61m付近
・凝灰岩砂岩層を存在する。

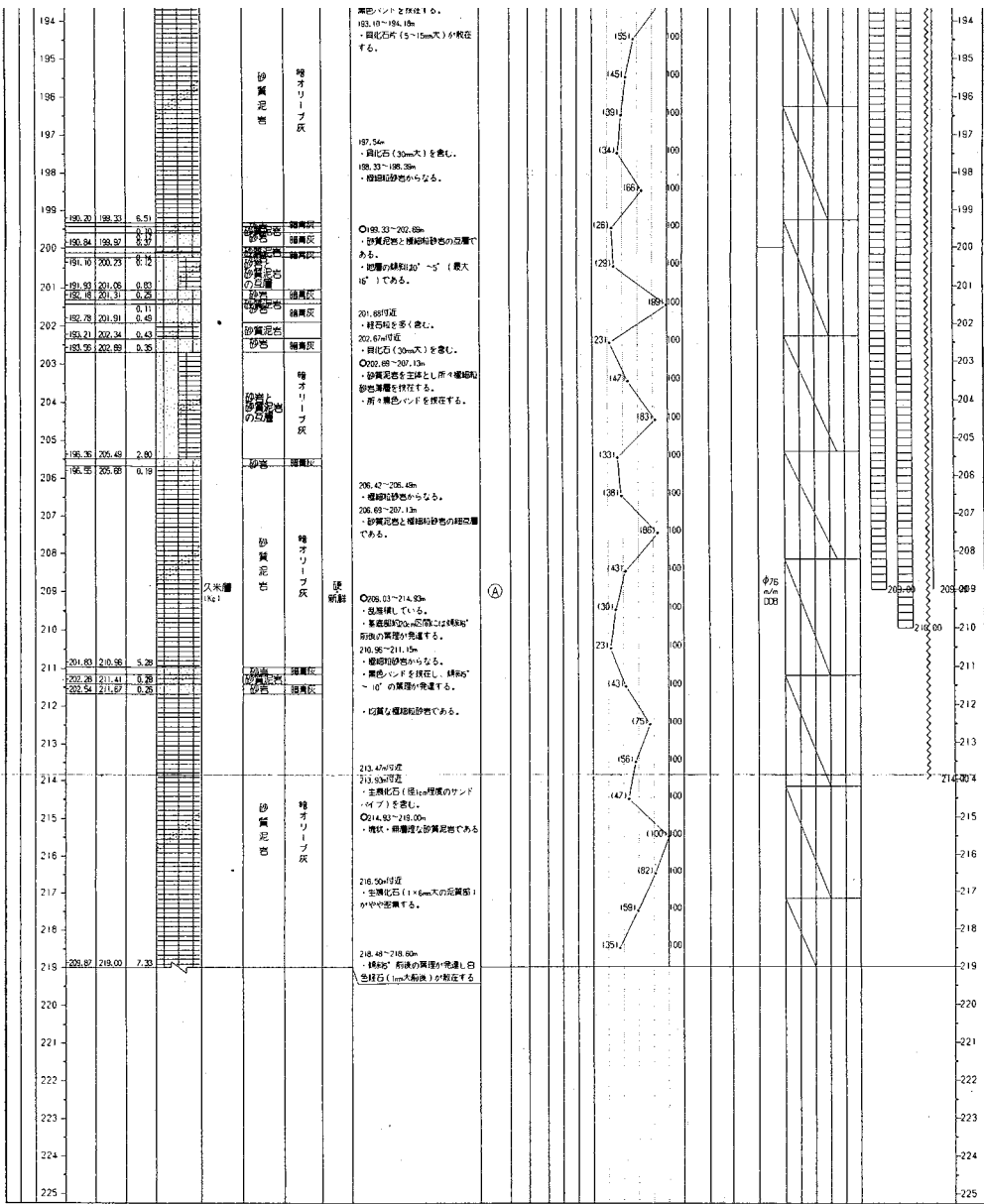
130.28m付近
・炭質物(10m)を散見。

131.31~131.29m
・白色輝石(20m)が散在する。

131.82m
・傾斜約10°の層理が認められる。これより上段境界(10m)は、灰白色の凝灰岩からなり、上段に属する。

135.16m付近
・凝灰岩砂岩層を存在する。

135.40~135.72m
・黄泥岩が散在する。



- (注) 1. 試料採取方法
- C: ホーリングコア試料
 - P: 標準貫入試験による試料
 - D: チェンソー型サンプラーによる試料
 - T: 固定式ストンプ式サンプラーによる試料
 - T・T・S: トリプルチューブサンプラー

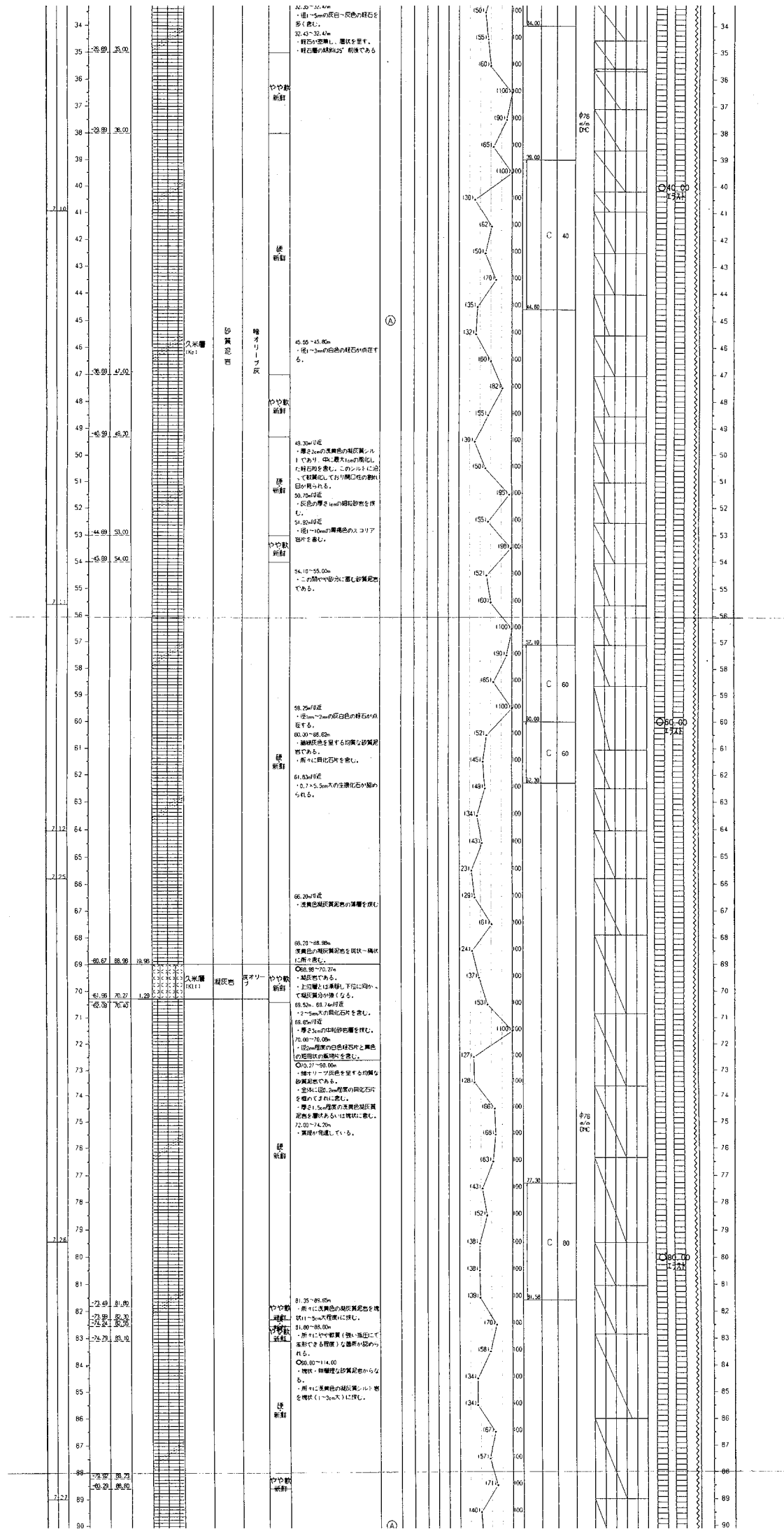
2. コアチューブ・ピットの種類
- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
 - DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
 - DOB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンドビット
 - TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
 - TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

3. 原位試験・検量実況
- : 孔内水平電流試験
 - : 簡易水圧測定
 - ◇: PS検量(板たき方式)
 - ⊞: PS検量(サスペンション方式)
 - S: 電気検量
 - I: 空圧検量
 - ⋮: キャリバー検量

D-2 ボーリング柱状図

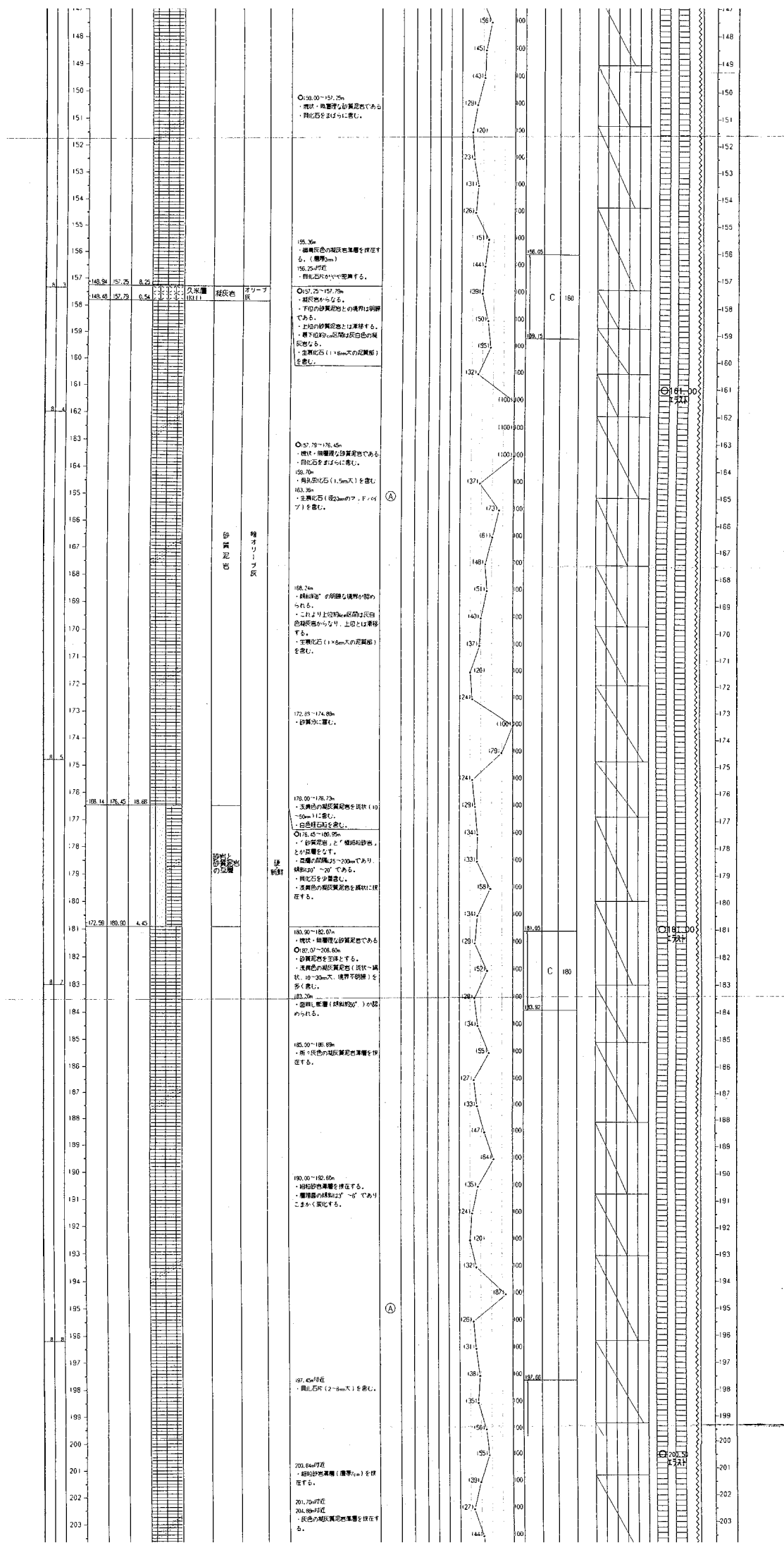
件名 名 栗遊第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査地 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡那珂村大字白万1-1 乳口標高 EL +8.11m
 調査期間 平成 7年7月6日~7年7月21日 最終乳内水位 QL - 9.12m (EL -1.01m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 YBM-3 (吉田鉄工製) 掘削深度 QL - 108.00m

冠 進 月 日	標 尺 m	標 高 QL m	深 度 m	層 厚 m	地 質 柱 状 図	地 質 層 名	色 調	硬 度 ・ 固 化 状 況	特 記 事	標準貫入試験				土質・岩石試 験用試料採取 深 度 QL m	土質・岩石試 験用試料採取 深 度 m	コ ピ ア テ ク ス の 種 別	コア採取率 (%) 20 40 60 80 冠進時間 (min) 10 20 30 40	原 位 試 験 ・ 検 査	標 尺 m
										深 度 m	N 値 (回)	最大 コ ア 長 (cm)	RQD (%)						
6.23	1	7.28	0.35	0.35	埋土				0.00~0.35m 埋土、砂石多量を含む。 0.35~0.40m ・海浜の1/4程度砂である。 ・埋物を要する。 ・基礎が下り兼ねていない。 ・下部層(1層)とは異質である。	実施せず		実施せず	試掘	実施せず	1				
	2	5.81	2.56		砂	砂										2			
	3				砂											3			
	4				砂											4			
	5				砂											5			
	6	3.71	6.45	6.05	砂											6			
	7				砂				6.40~9.78m ・砂・粘砂多量なる。							7			
7.6	8	-1.08	9.79	9.39	久慈川 堆積層											8			
7.7	9				砂											9			
	10	2.89	11.02	11.39	砂				9.79~11.39m ・粘質砂、チートを含む 異質層が散在する。 ・砂・土質の厚さが厚く、上方層 類似を要する。 ・下部層の厚さが厚く、塊状となる。 11.39~12.10m ・粘質砂、チートの厚層を主体 として成り。 ・異質層はシルト質細砂である。							10			
	11				砂											11			
	12	4.48	12.53	0.47	砂											12			
	13	4.41	12.72	0.15	砂											13			
7.10	14	6.48	14.80	1.89	砂				12.10~14.80m ・所々異質の認められるシルト質 層が散在する。 ・粘質砂、チートの厚層を 主体として成り。 14.80~17.30m ・所々異質の認められる粘質砂 である。 ・異質の厚層は約15~16mで ある。							14			
	15				砂											15			
	16				砂											16			
	17				砂											17			
7.11	18	10.19	18.30	3.70	砂				17.30~22.03m ・粘質、粘質砂、チート、花 崗を主体として成り。 ・異質は約15~16mで厚層に 変化し、異質はシルト質粘 砂・シルトとなる。							18			
	19				砂											19			
7.12	20	12.29	20.40		砂											20			
	21				砂											21			
	22				砂											22			



(A)

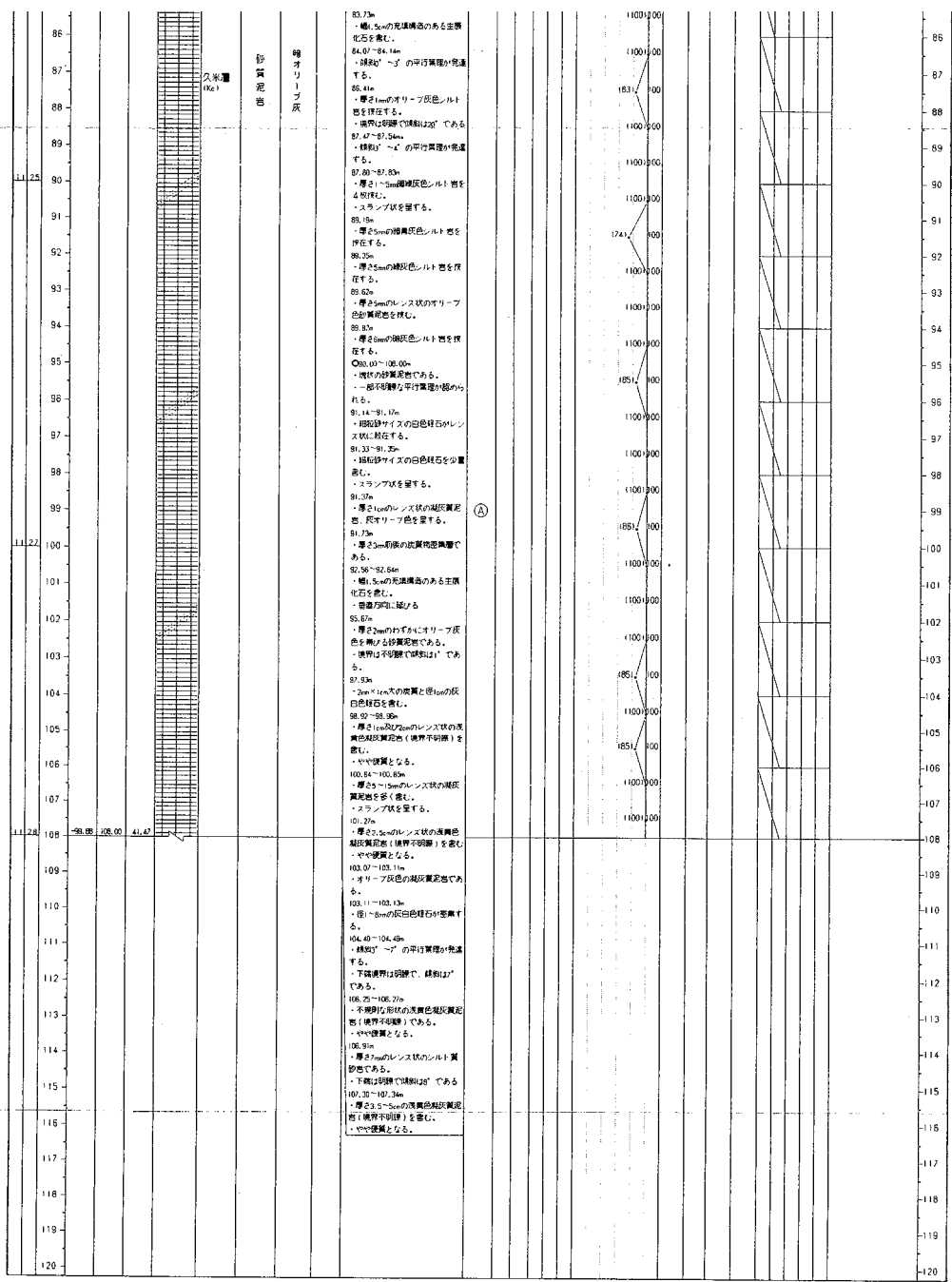
(A)



D-4 ボーリング柱状図

件名 名 栗 港 第 二 電 力 所 使 用 消 燃 料 貯 蔵 設 備 設 置 に 係 る ボーリング 調 査 他 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1 孔口標高EL +8.12m
 調査期間 7年11月15日~7年11月28日 最終孔内水位CL -8.58m (EL -0.46m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 YBM-3 (吉田鉄工業) 掘削深度CL -108.00m

掘削月日	標高	深	層	地質柱状図	地層名	色	硬軟・風化状況	事	標準貫入試験				土質・岩石試験用試料採取	コア採取率(%)	原位置	標高	
									深	N	最大コア長	JROD					
月	m	m	m						10cm毎の	10 20 30 40 50	cm	深	採取方法	試験番号	試験・検層	m	
11.13	1.00			埋土	埋土	オレンジ	0.00~4.27m 埋土である。 一部は20cmの角角の少量存在する中粒砂。 4.00~4.27mはわずかにシルト分を含む。 砂とシルトとの境界は不明瞭。		実施せず				実施せず			実施せず	1
	3.65	4.27	4.27	砂	砂	黄	4.27~6.30m 塊状で高さのよい細粒砂である。 一部中粒砂となる。										2
	1.82	6.30	6.30	砂	砂	黄	6.30~8.35m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										3
	3.27	8.35	8.35	砂	砂	黄	8.35~9.88m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										4
	1.57	9.88	9.88	砂	砂	黄	9.88~10.94m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										5
11.15	1.92	10.94	10.94	砂	砂	黄	10.94~12.37m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										6
	4.27	12.37	12.37	砂	砂	黄	12.37~13.25m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										7
	5.14	13.25	13.25	砂	砂	黄	13.25~13.72m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										8
11.16	5.72	13.84	13.84	砂	砂	黄	13.84~13.84m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										9
	2.88	15.00	15.00	砂	砂	黄	15.00~15.00m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										10
11.17	10.72	18.84	18.84	砂	砂	黄	18.84~20.25m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										11
	12.13	20.25	20.25	砂	砂	黄	20.25~21.72m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										12
11.18	14.44	22.25	22.25	砂	砂	黄	22.25~22.25m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										13
	16.70	24.96	24.96	砂	砂	黄	24.96~27.16m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										14
	22.36	30.00	30.00	砂	砂	黄	30.00~30.00m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										15
	25.10	37.16	37.16	砂	砂	黄	37.16~37.16m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										16
	26.89	40.00	40.00	砂	砂	黄	40.00~40.00m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										17
	28.58	42.84	42.84	砂	砂	黄	42.84~42.84m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										18
	30.27	45.68	45.68	砂	砂	黄	45.68~45.68m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										19
	31.96	48.52	48.52	砂	砂	黄	48.52~48.52m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										20
	33.65	51.36	51.36	砂	砂	黄	51.36~51.36m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										21
	35.34	54.20	54.20	砂	砂	黄	54.20~54.20m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										22
	37.03	57.04	57.04	砂	砂	黄	57.04~57.04m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										23
	38.72	59.88	59.88	砂	砂	黄	59.88~59.88m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										24
	40.41	62.72	62.72	砂	砂	黄	62.72~62.72m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										25
	42.10	65.56	65.56	砂	砂	黄	65.56~65.56m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										26
	43.79	68.40	68.40	砂	砂	黄	68.40~68.40m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										27
	45.48	71.24	71.24	砂	砂	黄	71.24~71.24m 中粒を主体とする。 塊状の粗粒~中粒砂である。 一部シルト分を含む。 一部は10cmの角角を少量含む。										28

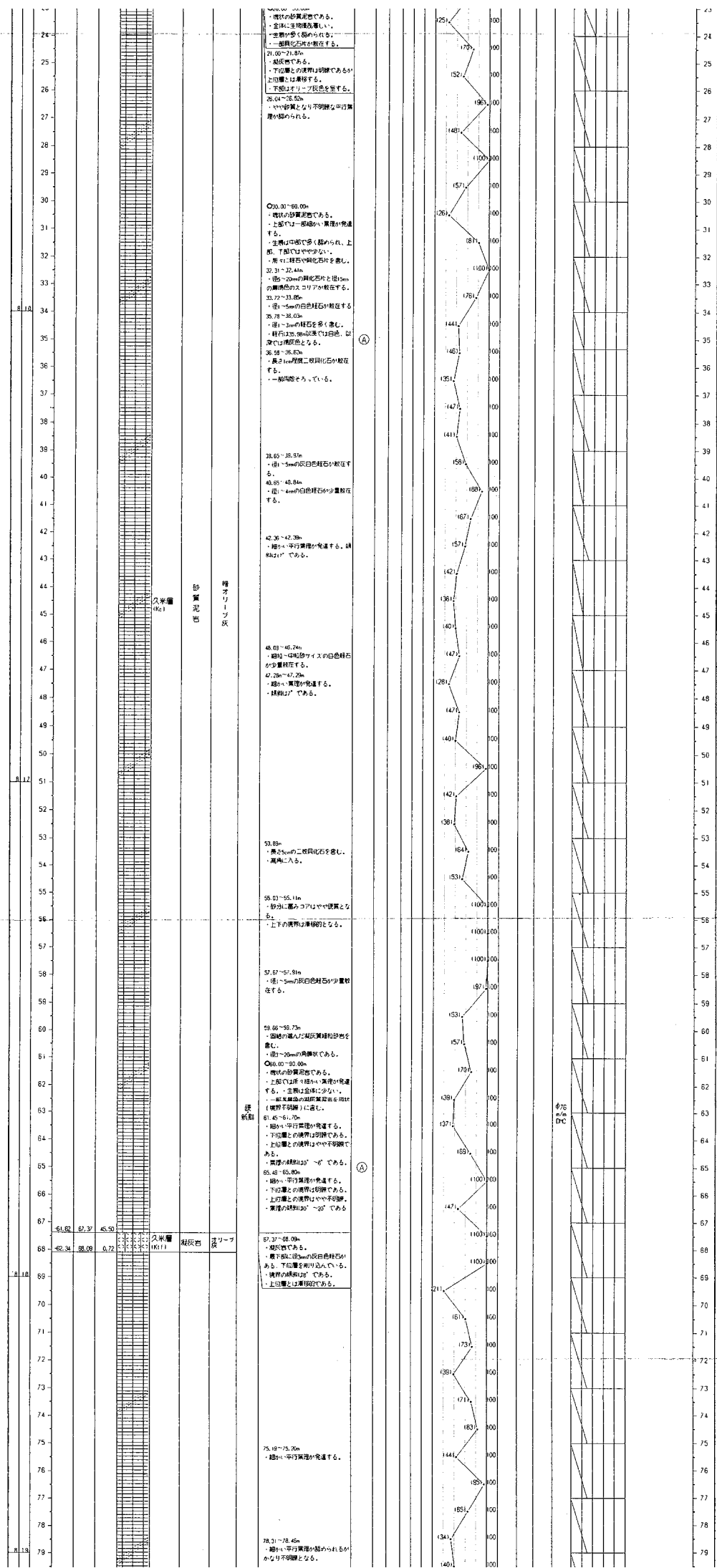


- (注) 1. 試料採取方法
 C: ボーリングコア 試料
 P: 標準貫入試験による試料
 D: テンションセファレーターによる試料
 T: 固定ピストン式シフタルサンブラーによる試料
2. コアチュープ・ビットの種類
 SMC: シングルコアチュープ・メタルクラウン
 DMC: ダブルコアチュープ・メタルクラウン
 DDB: ダブルコアチュープ・ダイヤモンドビット
 TMC: トリアルコアチュープ・メタルクラウン
 TDB: トリアルコアチュープ・ダイヤモンドビット
3. 原位置試験・検層表況
 ○: 北西水準観測試験
 □: 地層水位測定
 ⊞: PS検層(板たたき方式)
 ⊚: PS検層(サスペンション方式)
 △: 電気検層
 | : 密度検層
 | : キュリウム検層

E-1 ボーリング柱状図

件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備に係るボーリング調査他 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白万1-1 孔口標高 EL +5.75 m
 調査期間 平成7年8月3日~7年8月22日 最終孔内水位 EL -6.35 m (EL -0.60 m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 YBM-3 (吉田鉄鋼製) 掘削深度 EL -106.00 m

標高 月日	標高 尺	深 度 EL-m	層 厚 m	地質柱状 図	地質 層 名 相	色 調	硬 軟 ・ 風 化 状 況	記 事	標準貫入試験				土質・岩石試 験用試料採取		コア採取率 (%)	原位置 試験・検層	標 尺 m
									深 度 m	N 値 cm	10 m 中 の 打 撃 回 数 回	最大コア長 (cm) RQD (%)	深 度 m	試料 採取 方法 番号			
		5.80	0.15	0.15	表土			0.00~0.15m ・表土である。									
7.13	2				砂丘層 (Qa)			0.15~4.30m ・細粒の砂を主体とし、一部 粘泥を含み、 ・中層で砂質となる。 ・下部層 (Ag?) とは異なりである。									
8.3	3				砂												
	4	1.25	4.50	4.33													
	5							4.50~7.90m ・中層からなる。									
	6																
8.4	7	-2.15	7.90	3.40	久米川 堆積層			7.90~9.24m ・細粒の砂を少量含み、 ・中層は砂質、チートが主体、 ・表層は砂質、下部では中層-粗 粒砂、以下では粘泥となる。									
	8																
	9	-3.48	9.24	1.34	灰 質 層			9.24~12.30m ・粘泥が主体である。									
	10							9.24~12.30m ・粘泥が主体である。									
	11							12.30~12.40m ・粘泥が主体である。									
	12							12.40~12.50m ・粘泥が主体である。									
	13	-6.85	12.50	3.85	シルト			12.50~13.50m ・シルトが主体である。									
	14	-7.81	13.56	1.86				13.50~14.20m ・粘泥が主体である。									
	15	-8.65	14.70					14.20~15.20m ・粘泥が主体である。									
	16	-9.54	15.20					15.20~16.00m ・粘泥が主体である。									
8.8	17							16.00~18.10m ・粘泥が主体である。									
	18							18.10~19.10m ・粘泥が主体である。									
	19	-13.25	19.10	5.94				19.10~20.00m ・粘泥が主体である。									
8.9	20	-13.85	19.80	0.90				20.00~21.00m ・粘泥が主体である。									
	21	-14.25	20.00	0.20				21.00~21.50m ・粘泥が主体である。									
	22	-15.25	21.00	1.22				21.50~22.00m ・粘泥が主体である。									
	23	-16.12	21.97	0.80				22.00~23.00m ・粘泥が主体である。									



● 20.00~21.00m
 ・ 塊状の砂質泥岩である。
 ・ 全体に生物腐乱が強い。
 ・ 土層が深く認められる。
 ・ 一部異化石灰が散在する。

21.00~21.50m
 ・ 砂質である。
 ・ 下位層との境界は明確であるが、上位層とは異なり、下部はより均一な状態を呈する。
 ・ 20.00~21.00m
 ・ やや砂質となり不明瞭な平行葉理が認められる。

26.00~26.00m
 ・ 塊状の砂質泥岩である。
 ・ 上部には一部細かい葉理が発達する。
 ・ 土層は中層で多く認められ、上部、下部ではやや少ない。
 ・ 層内に柱石や異化石灰を散らし、柱石は20.40m
 ・ 柱石は20mmの異化石灰と粗い15mmの異化石灰のスコリアが散在する。
 33.72~33.85m
 ・ 粗い平行葉理が発達する。
 35.78~36.03m
 ・ 粗い平行葉理が発達する。
 36.03~36.03m
 ・ 異化石灰の二枚目石灰が散在する。
 ・ 一部砂質である。

38.65~38.87m
 ・ 粗い平行葉理が発達する。
 40.65~40.84m
 ・ 粗い平行葉理が発達する。
 ・ 異化石灰の二枚目石灰が散在する。

42.36~42.36m
 ・ 粗い平行葉理が発達する。塊状である。

45.69~46.24m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。
 47.26~47.26m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。
 ・ 塊状である。

53.89m
 ・ 異化石灰の二枚目石灰を散らし、異化石灰に入る。

55.03~55.11m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。
 ・ 上下の異化石灰が連続する。

57.67~57.81m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。

59.66~59.73m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。
 ・ 異化石灰の二枚目石灰が散在する。
 60.00~60.00m
 ・ 塊状の砂質泥岩である。
 ・ 上部には一部細かい葉理が発達する。
 ・ 土層が深く認められる。
 ・ 一部異化石灰が散在する。
 61.45~61.70m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。
 ・ 下位層との境界は不明瞭である。
 ・ 上位層との境界は不明瞭である。
 ・ 葉理の傾斜は20°~6°である。
 65.48~65.80m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。
 ・ 下位層との境界は不明瞭である。
 ・ 上位層との境界は不明瞭である。
 ・ 葉理の傾斜は20°~20°である。

67.37~68.09m
 ・ 塊状である。
 ・ 異化石灰の二枚目石灰が散在する。
 ・ 下位層と異化石灰が散在する。
 ・ 葉理の傾斜は20°である。
 ・ 上位層とは異なり砂質である。

75.18~75.20m
 ・ 粗い平行葉理が散在する。

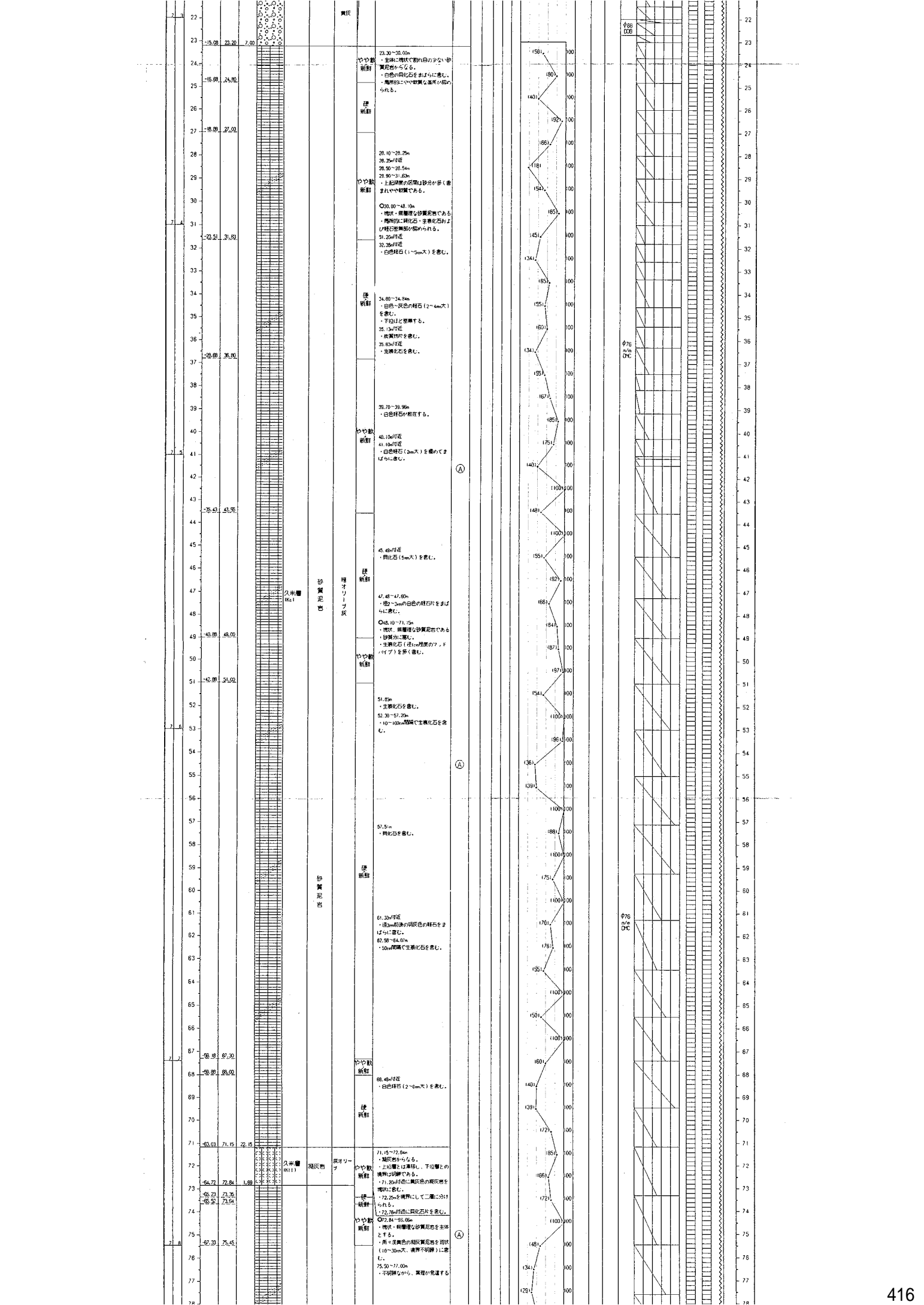
78.21~78.45m
 ・ 粗い平行葉理が認められるが、かなり不明瞭となる。

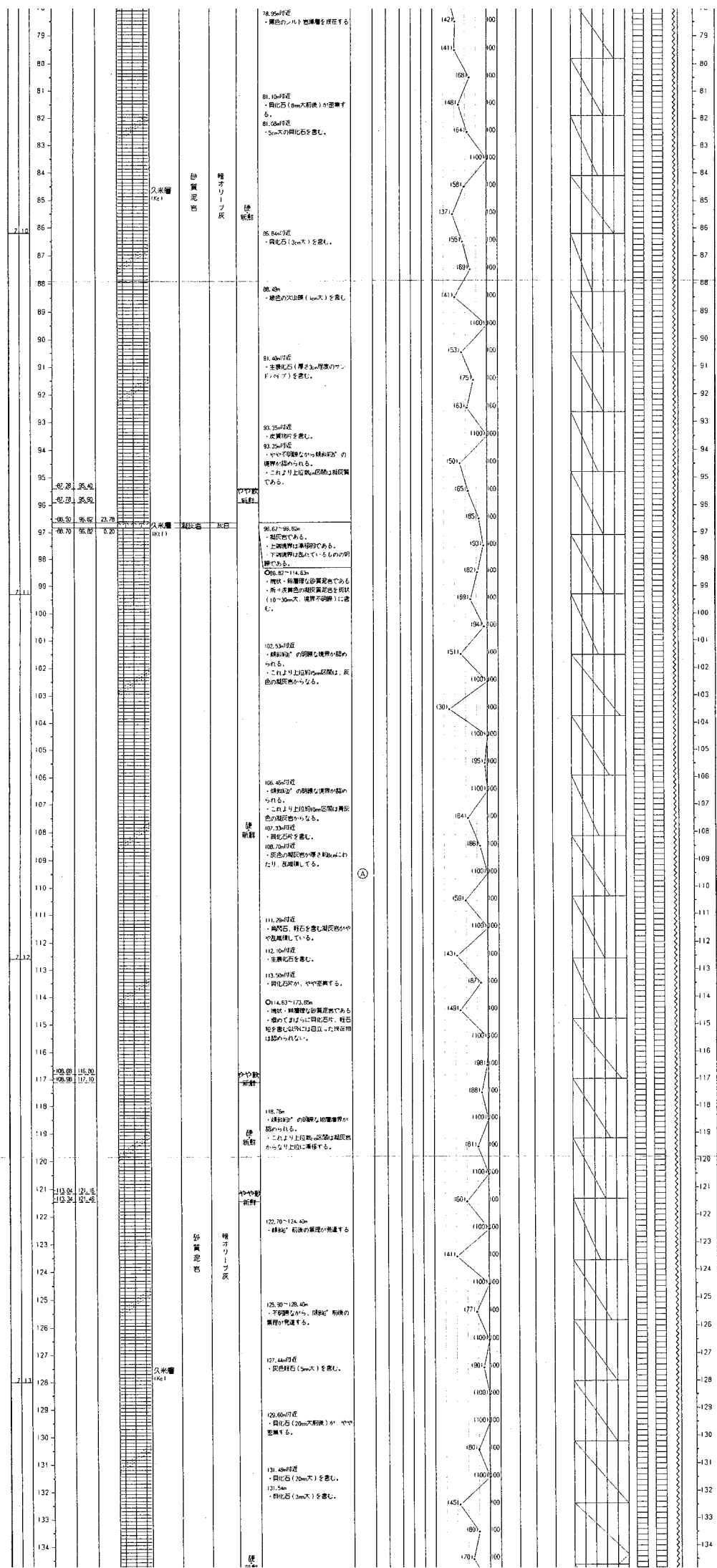
61.62	67.37	45.50	久米層 (K1)	凝灰岩	リゾソール
62.34	68.08	0.72	久米層 (K1)	凝灰岩	リゾソール

E-3 ボーリング柱状図

件名 東港第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東港村大字白万1-1 孔口標高 CL +8.12m
 平成 7年6月26日~7年8月26日 最終孔内水位 CL -10.90m (EL -2.78m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 D2-K, NAS-2 掘削深度 CL -218.00m

掘削 月日	掘削 尺	標高 EL (m)	層厚 CL (m)	地質 柱状 図	地層 名	色調	硬軟・ 風化 状況	事 記	標準貫入試験				土質・岩石試 験用試料採取		コア採取率 (%)		原位置 試験・検層	標 尺 m	
									深 度 m	N 値 (回)	打撃回数 10/20/30 回	最大コア長 (cm) 20/40/60/80/100	採取 方法	試料 番号	20	40			60
		7.72	0.40	0.40	掘削			0.00~0.40 ・アスファルト、砂石からなる。 ・Cl ₀ -5.40m ・Cl ₀ -相砂を主体とする。 ・下部の久保川堆積層との境界は 漸弱である。											
	1	5.32	2.60		砂			4.00~6.90 ・Cl ₀ -相砂を主体とする。 ・円味良好な相砂を含む。											
	2	2.29	5.93	5.40	砂			5.93~6.90 ・Cl ₀ -相砂を主体とする。											
	3	1.22	5.90	1.02	砂			6.90~10.05 ・相砂を主体とする。 ・7.20~7.75 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
6/22	8	2.53	10.62	3.70	久保川堆積層			10.05~11.00 ・相砂を主体とする。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	9	2.08	11.00	0.38	14z1			11.00~12.00 ・相砂を主体とする。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	10	4.18	12.28	1.28	14z2			12.00~13.00 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
6/28	13	5.48	13.02	1.32	14z3			13.00~15.61 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
6/28	14	6.14	14.28	0.98	14z4			15.61~18.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	15	7.13	15.25	1.30	14z5			18.20~23.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	16	7.48	15.81	1.30	14z6			23.20~28.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	17	8.08	16.20	0.58	14z7			28.20~34.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
6/30	18	10.08	18.20		14z8			34.20~40.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	19	10.88	19.00		14z9			40.20~46.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	20	12.18	20.31		14z10			46.20~52.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											
	21				14z11			52.20~58.20 ・相砂を主体とし、一部相砂を 含む。 ・最大径20mmの砂粒を、シート からなる円筒を含む。											





78.95m付近
・黄色のシルト地層層を伴する

81.10m付近
・頁化石(8mm程度)が密集する。
81.26m付近
・5mm程度の頁化石を含む。

85.84m付近
・頁化石(3mm)を含む。

88.48m
・緑色の山礫(4mm)を含む。

89.40m付近
・主として厚さ3mm程度のサンプリングを含む。

91.40m付近
・片層状を含む。
93.35m付近
・やや不明瞭ながら、緑砂岩の境界が認められる。
・これより上位の地層は砂岩質である。

98.67~98.80m
・凝灰岩である。
・この地層は単層状である。
・下部境界は認められているものの明確である。
98.80~114.83m
・塊状・層状の砂岩質である。
・黄褐色の凝灰岩質を伴った(10~30mm程度、境界不明瞭)に含む。
102.53m付近
・緑砂岩の境界が認められる。
・これより上位の地層は、灰色の凝灰岩となる。

106.45m付近
・緑砂岩の境界が認められる。
・これより上位の地層は、黄褐色の凝灰岩となる。
107.33m付近
・頁化石を含む。
108.70m付近
・灰色の凝灰岩が厚く認められる。互層状である。

111.26m付近
・角閃石、斜石を含む凝灰岩がやや認められる。
112.16m付近
・主として頁化石を含む。
113.50m付近
・頁化石が、やや密集する。
114.83~117.70m
・塊状・層状の砂岩質である。
・極めて粗粒に頁化石、斜石が認められる。また、凝灰岩は認められない。

118.70m
・緑砂岩の境界が認められる。
・これより上位の地層は凝灰岩からなり上位に推移する。

122.70~124.40m
・緑砂岩の境界が認められる。

125.30~126.40m
・不明瞭ながら、緑砂岩の境界が認められる。

127.44m付近
・灰色砂岩(5mm)を含む。

129.60m付近
・頁化石(20mm程度)が、やや密集する。

131.48m付近
・頁化石(20mm)を含む。
131.56m
・頁化石(3mm)を含む。

砂質泥岩
砂質砂岩

砂質泥岩
砂質砂岩

砂質泥岩
砂質砂岩

久米層
No.1

久米層
No.1

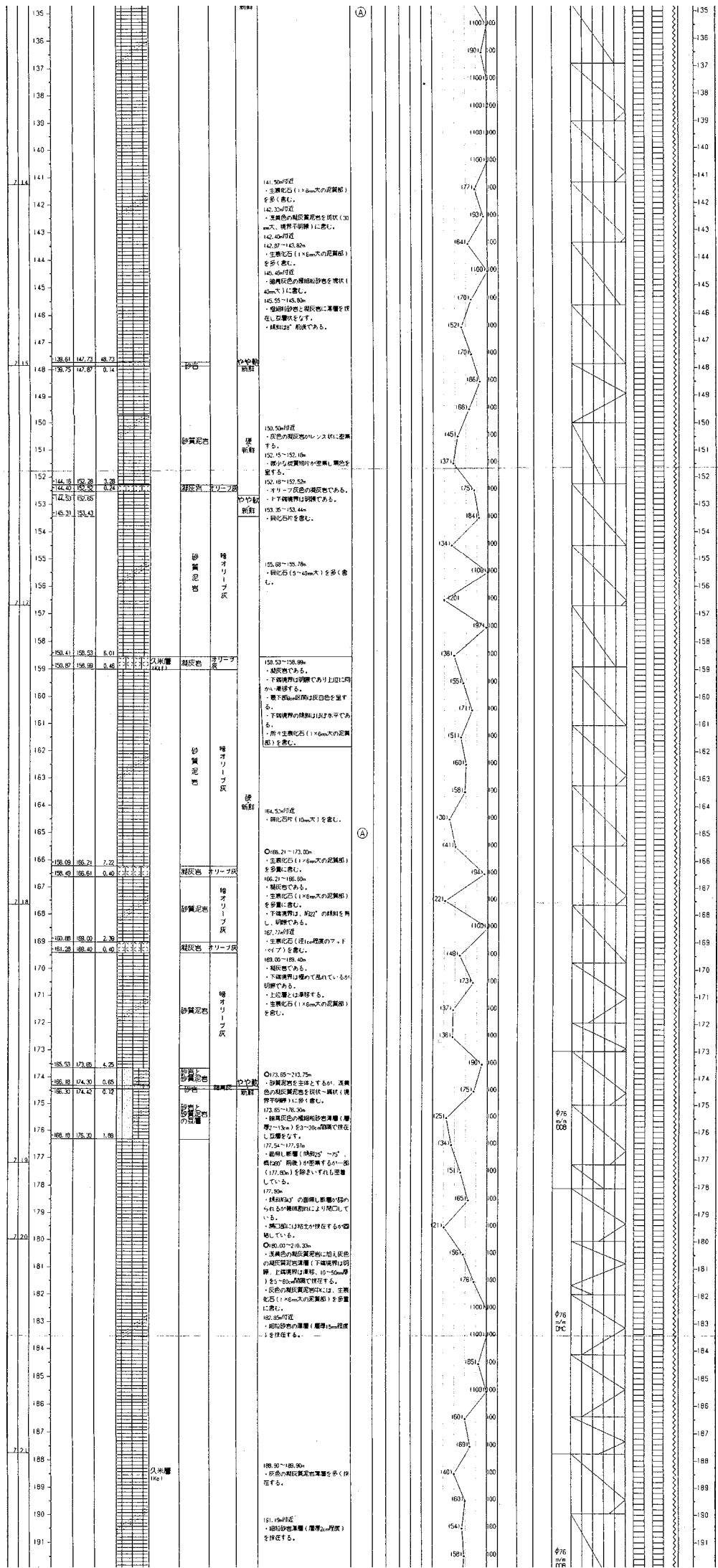
久米層
No.1

71.0
108.50 108.50
108.50 108.50

71.1
108.50 108.50
108.50 108.50

71.2
108.50 108.50
108.50 108.50

71.3
108.50 108.50
108.50 108.50



141.50m付近
・生熟化石(1×6mmの範囲部)を多く含む。
142.30m付近
・黄褐色の凝灰質泥岩を厚状(30mm)で、境界不明瞭に含む。
142.40m付近
142.80m付近(1×6mmの範囲部)を多く含む。
146.40m付近
・黄褐色の凝灰質砂岩を厚状(40mm)に含む。
146.55~148.50m
・砂質砂岩と凝灰質に薄層を伴い、厚層状をなす。
・傾斜2°前後である。

150.50m付近
・灰色の凝灰岩(10mm)を多く含む。
152.15~152.16m
・黄褐色の凝灰質を多く含む。
152.16~152.53m
・「ク」層の凝灰岩である。
・下層境界は不明瞭である。
153.30~153.44m
・黄褐色を呈す。
155.88~155.76m
・凝灰石(5~40mm)を多く含む。

159.50~159.98m
・凝灰岩である。
・下層境界は不明瞭であり、上部は同様に薄層する。
・下層境界部は灰色を呈する。
・下層境界の傾斜はほぼ水平である。
・所々生熟化石(1×6mmの範囲部)を含む。

164.50m付近
・凝灰石(10mm)を含む。

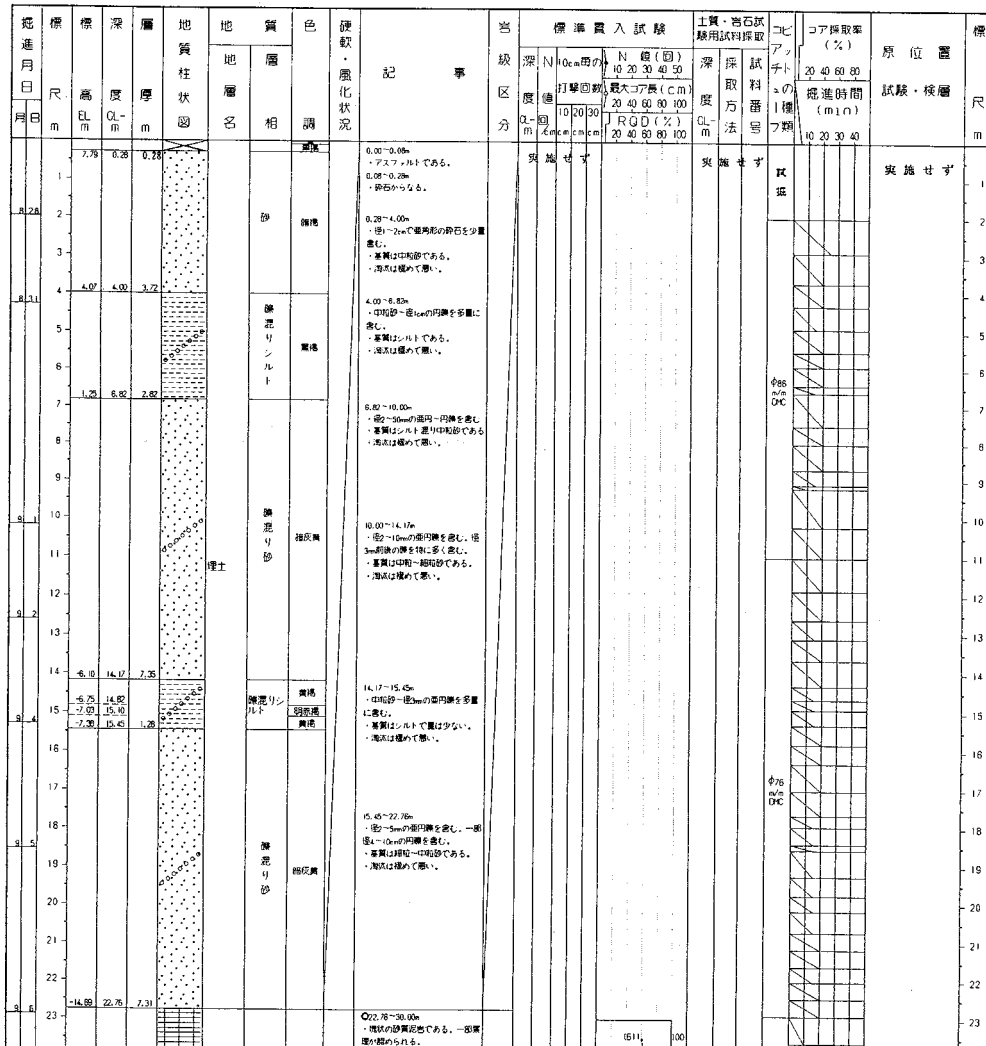
166.21~173.00m
・生熟化石(1×6mmの範囲部)を多く含む。
167.21~168.00m
・凝灰岩である。
・生熟化石(1×6mmの範囲部)を多く含む。
・下層境界は、傾斜2°の傾斜を有し、不明瞭である。
167.70m付近
・生熟化石(10mm程度)の「ク」層を多く含む。
168.00~168.40m
・凝灰岩である。
・下層境界は、傾斜2°の傾斜を有し、不明瞭である。
・上部境界は薄層する。
・生熟化石(1×6mmの範囲部)を含む。

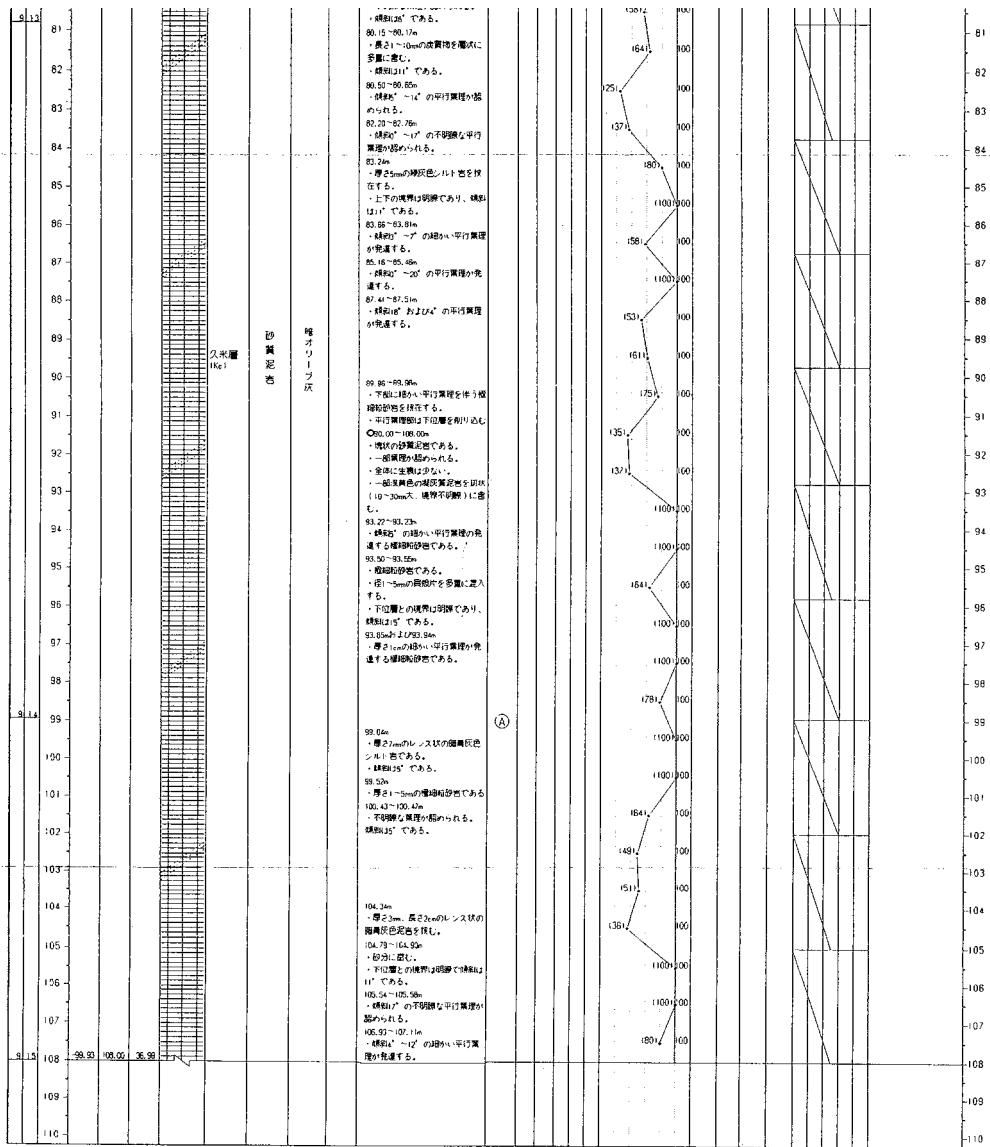
173.85~173.75m
・砂質泥岩を主として、黄褐色の凝灰質を厚状(10mm)で、境界不明瞭に含む。
173.85~173.90m
・黄褐色の凝灰質を厚状(10mm)で、境界不明瞭に含む。
173.90~174.00m
・凝灰質砂岩(厚層2~3mm)を30~40mm程度で厚状に厚層をなす。
174.54~174.57m
・凝灰質砂岩(厚層2~3mm)を30~40mm程度で厚状に厚層をなす。
177.80m
・傾斜2°の傾斜を有し、不明瞭に厚層を伴う。
177.80m
・傾斜2°の傾斜を有し、不明瞭に厚層を伴う。
177.80m
・傾斜2°の傾斜を有し、不明瞭に厚層を伴う。
177.80m
・傾斜2°の傾斜を有し、不明瞭に厚層を伴う。

188.90~189.90m
・灰色の凝灰質砂岩を多く含む。
191.50m付近
・凝灰質砂岩(厚層20mm程度)を伴う。

E-5 ボーリング柱状図

件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査池 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字日方1-1 平成 孔口標高CL +8.07m
 調査期間 7年8月31日~7年9月15日 最終孔内水位CL -14.35m IEL -6.28m コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試錐機 YBM-3 (吉田鉄工製) 掘削深度CL -108.00m





(注) 1. 試料採取方法

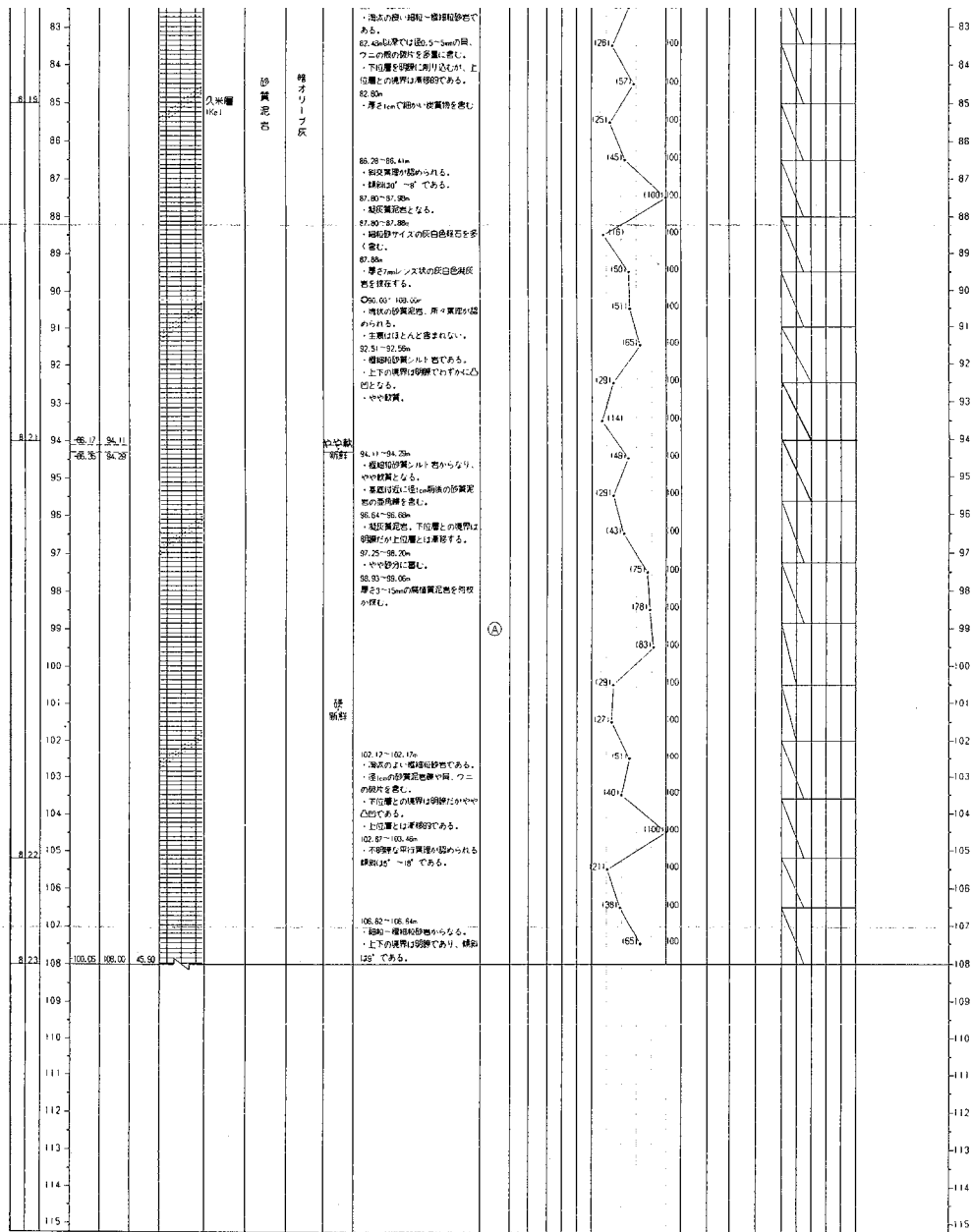
- C: ホーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デモンストラティブサンダーによる試料
- T: 固定ピストン式シリンダーサンダーによる試料

2. コアチューブ・ピットの情報

- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DHC: デュアルコアチューブ・メタルクラウン
- DDB: デュアルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TOB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

3. 原位試験・検査実施状況

- : 孔内水準観測試験
- : 間隙水圧測定
- : PS試験 (仮たき方式)
- : PS試験 (サスペンション方式)
- : 電気探



(注) 1. 試料採取方法

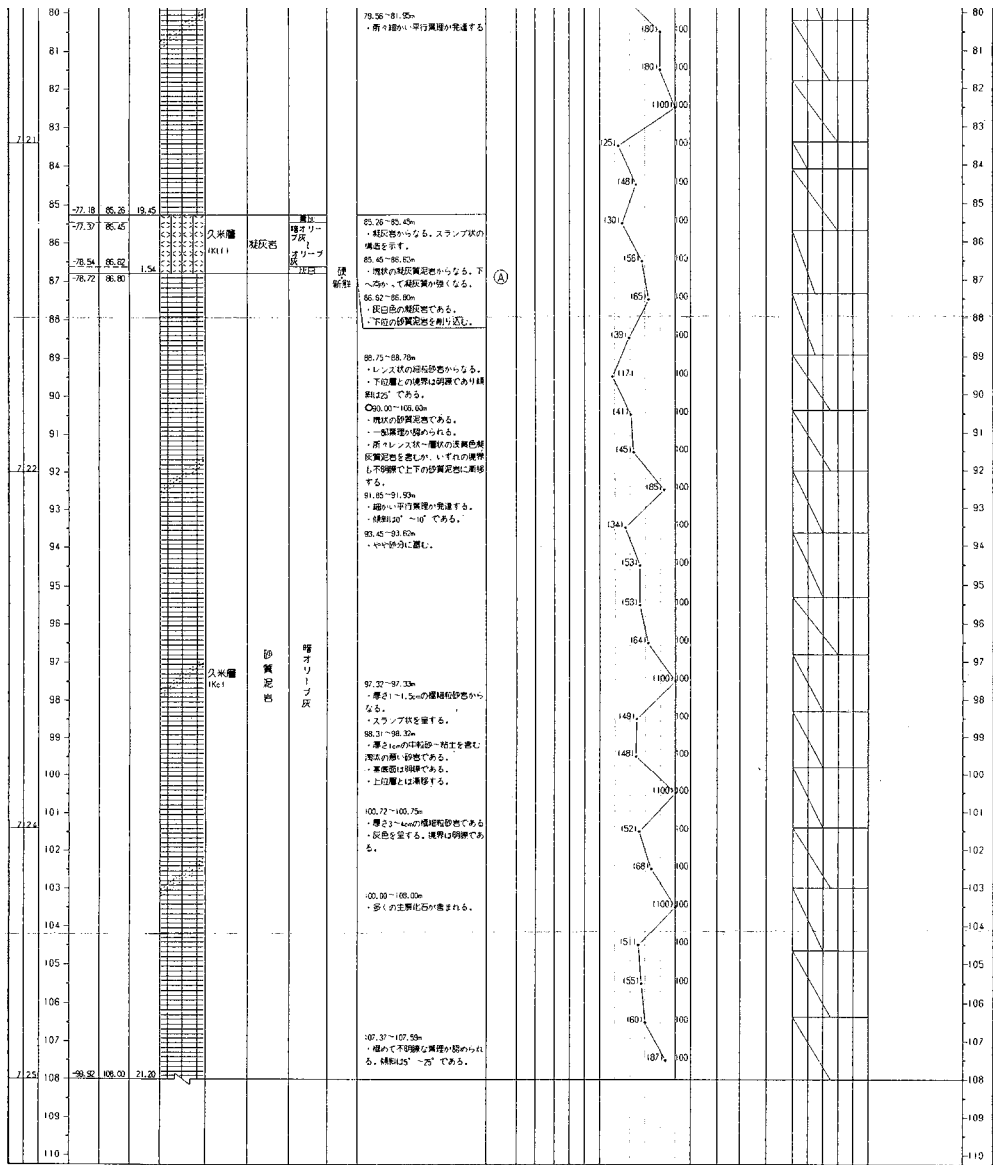
- C: ボーリングコア試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: テニソン型サンプラーによる試料
- T: 固定ピストン式サンプラーによる試料
- T・S: トリアルチューブサンプラー

2. コアチューブ・ピットの標高

- SNC: シングルコアチューブ・メタルラワン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルラワン
- ODB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンド
- TMC: トリアルコアチューブ・メタルラワン
- TDB: トリアルコアチューブ・ダイヤモンド

3. 標高・試料・検査実施状況

- : 孔内水深観測試験
- : 間隔水圧測定
- ◇: PS検層 (板たき方式)
- ◎: PS検層 (サスペンション方式)
- S: 電気検層
- ⋮: 密度検層
- ⋮: キーリマー検層



(注) 1. 試料採取方法

- C: ボーリングコア試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: テレメトリックサンプリングによる試料
- T: 固定式トンネルウォールサンプリングによる試料

2. コアチューブ・ピットの種類

- SMC: シングルコアチューブ・メタルラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルラウン
- DOB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンド
- PMC: トリプルコアチューブ・メタルラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンド

3. 測定項目・検査実施状況

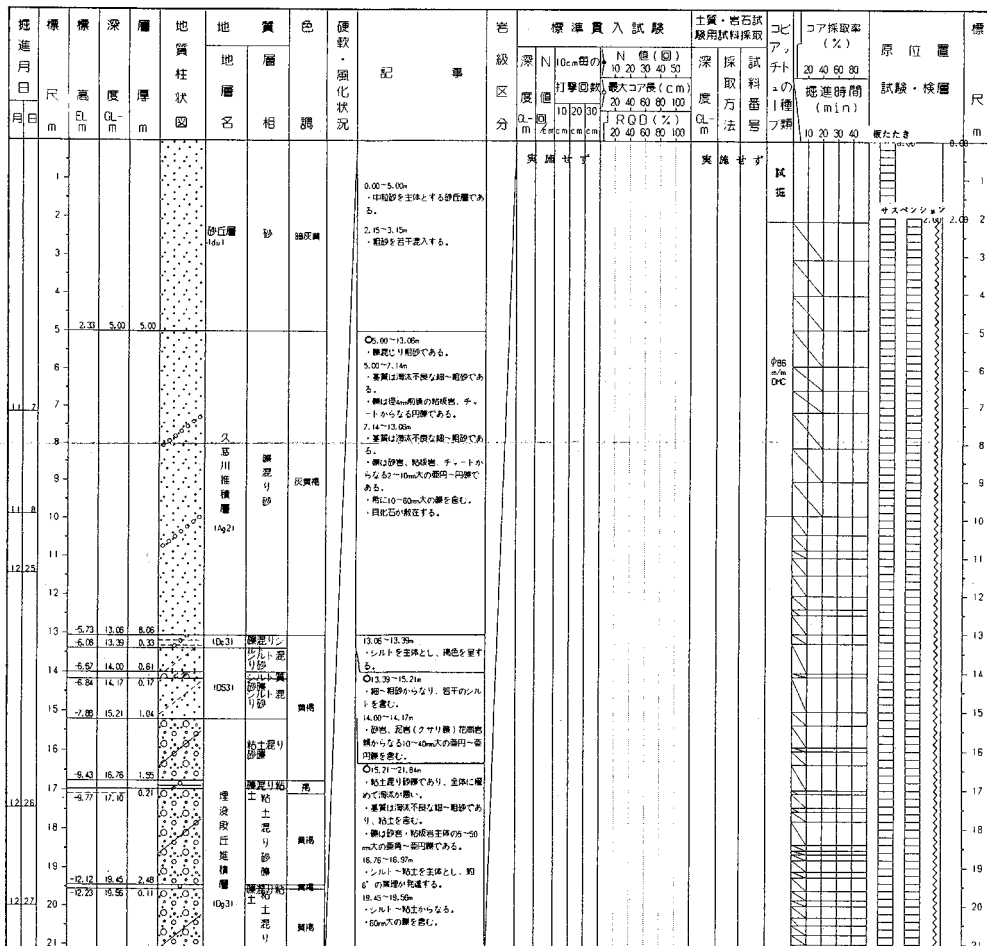
- : 計内水準観測結果
- : 間接圧縮測定
- 目: P-S検査 (板たき方式)
- 目: P-S検査 (サスペンション方式)
- S: 電気試験
- I: 電気試験
- ∴: キーリナー検査

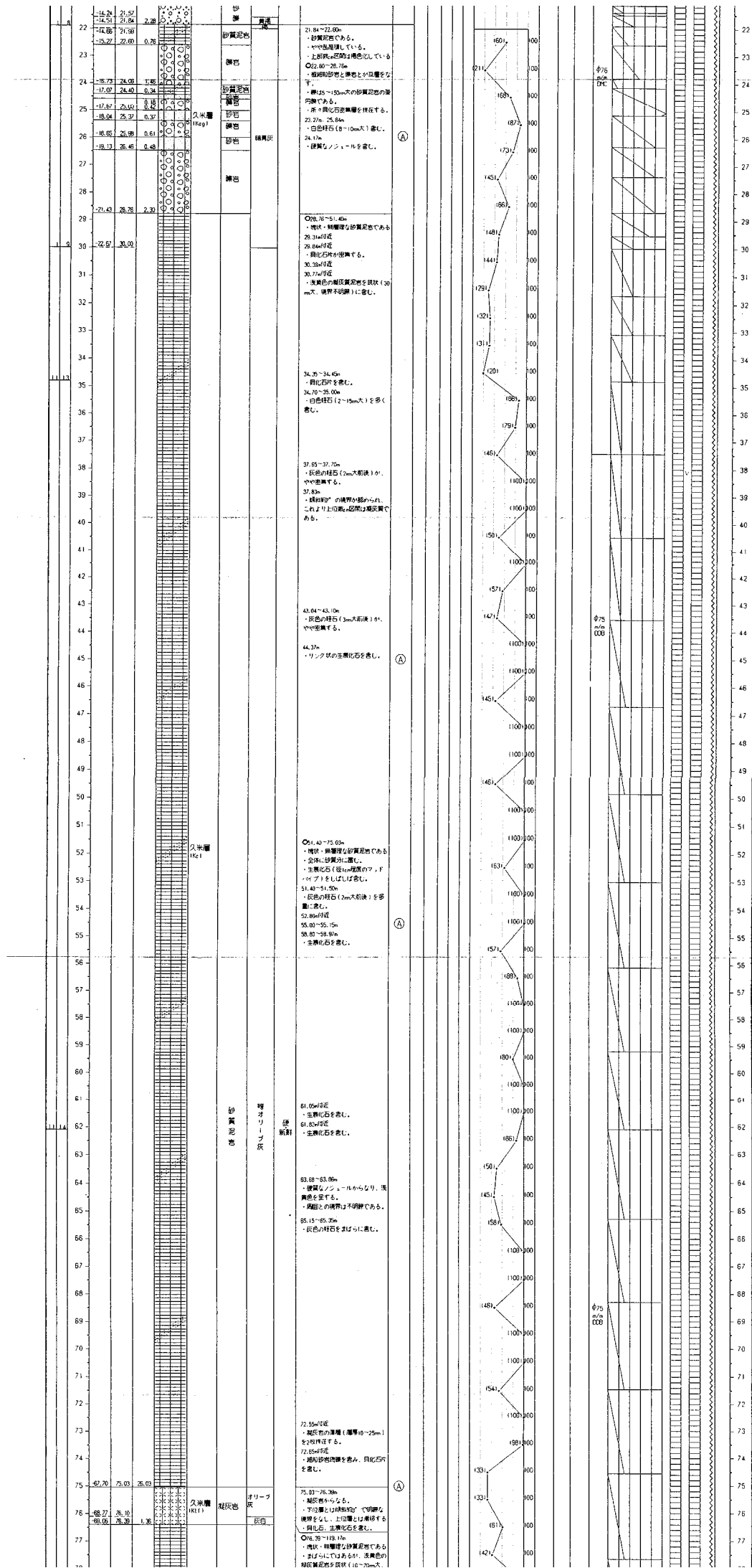
F-3 ボーリング柱状図

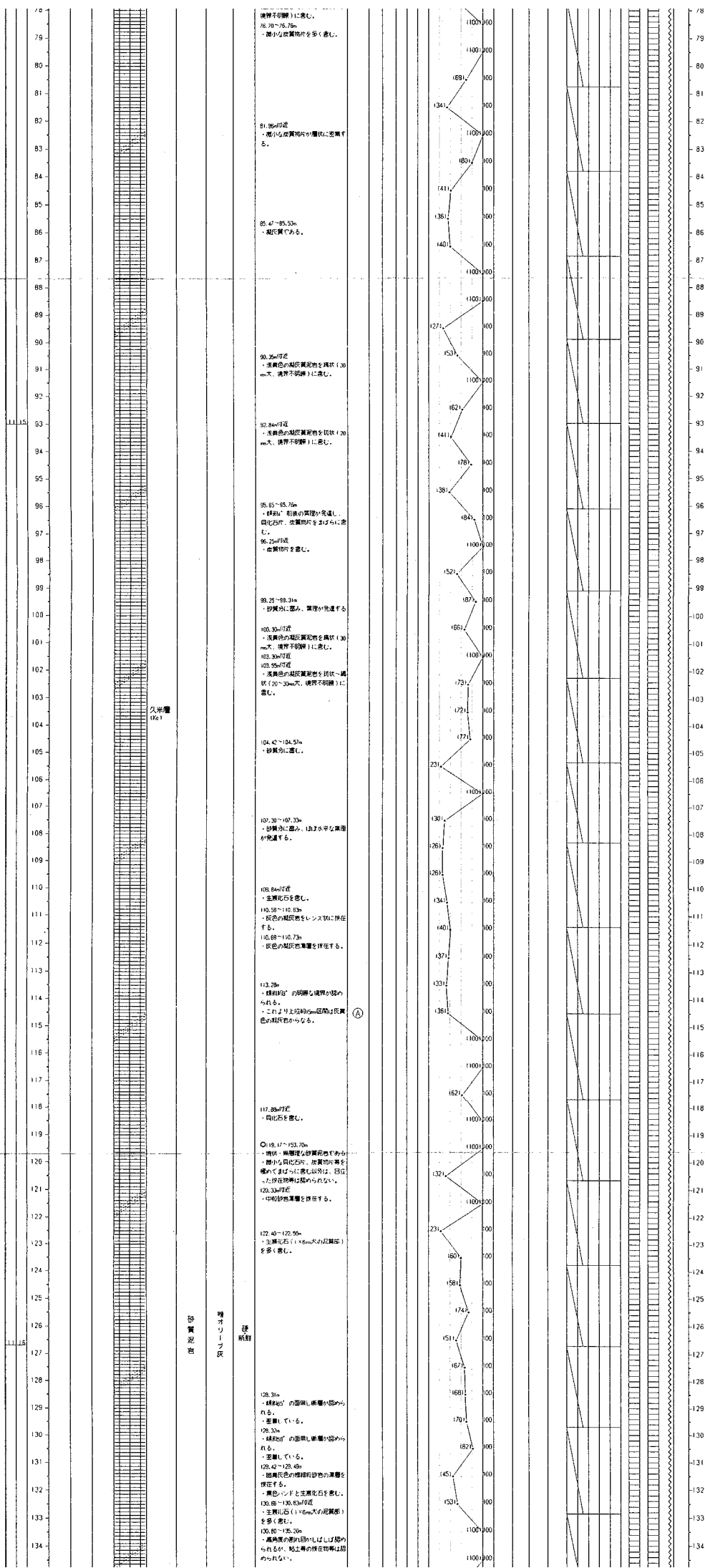
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他
 調査地 茨城県那珂郡東村大字白万1-1 孔口標高 GL +7.33m
 調査期間 7年10月17日~7年11月30日 最終孔内水位 GL - 7.00m (EL +0.33m)
 使用試験機 RK-2 掘削深度 GL - 217.00m

主任技術者

コア観察者







境界不明瞭)に属し。
 76.70~76.76m
 ・細かい炭質物を多く含む。

81.86m付近
 ・細かい炭質物中の層状に富集する。

85.47~85.53m
 ・泥炭質である。

90.26m付近
 ・深黄色の凝灰質泥岩を厚状(20cm)次、境界不明瞭)に属し。

92.84m付近
 ・深黄色の凝灰質泥岩を厚状(20cm)次、境界不明瞭)に属し。

95.83~95.76m
 ・砂質粘土、角礫の集積が連続し、自酸化作用、炭質物をまばらに含み、
 96.25m付近
 ・炭質物を含み。

98.25~98.31m
 ・砂質粘土に富み、集積が連続する。

100.25m付近
 ・深黄色の凝灰質泥岩を厚状(30cm)次、境界不明瞭)に属し。
 103.26m付近
 ・深黄色の凝灰質泥岩を厚状(20cm)次、境界不明瞭)に属し。

104.42~104.52m
 ・砂質粘土に属し。

107.20~107.33m
 ・砂質粘土に富み、上部が平面的集積が連続する。

108.84m付近
 ・主として自酸化作用を伴い、
 110.52~110.53m
 ・灰色の凝灰岩をレンズ状に挟み、
 110.62~110.73m
 ・灰色の凝灰岩を挟み、

113.25m
 ・凝灰岩の明確な境界が認められる。
 ・これより上段の層は深黄色の凝灰岩からなる。

117.89m付近
 ・自酸化作用を伴い。

○118.17~118.70m
 ・黄褐色の凝灰質砂岩からなる。上部から自酸化作用、炭質物を多く含み、
 120.26m付近
 ・中粒砂岩を挟み、

122.40~122.55m
 ・主として自酸化作用を伴い、
 122.55m付近
 ・中粒砂岩を挟み、

128.21m
 ・凝灰岩の境界が認められる。
 ・凝灰岩に属している。
 128.25m
 ・凝灰岩の境界が認められる。
 ・凝灰岩に属している。

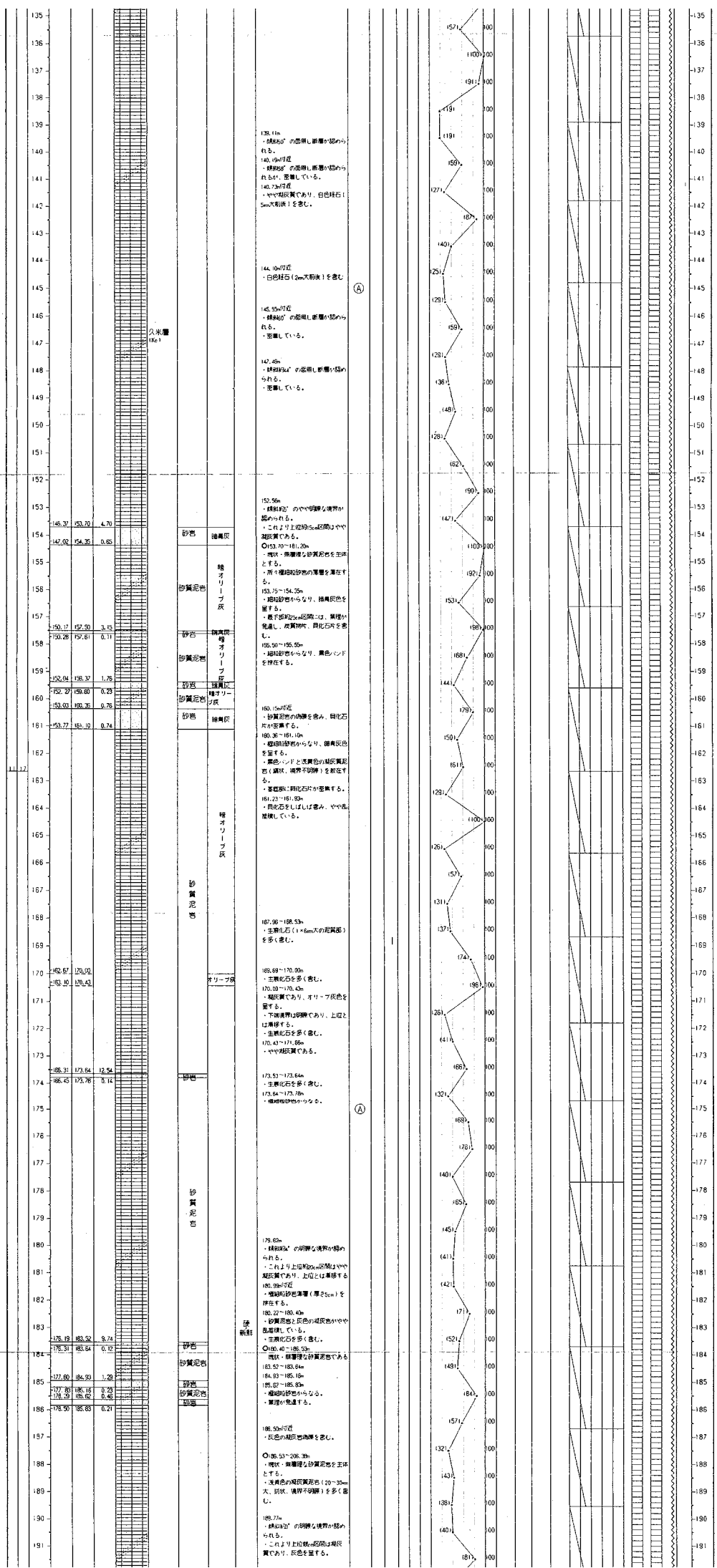
129.47~129.49m
 ・深黄色の凝灰質泥岩の層を挟み、
 130.82~130.83m付近
 ・主として自酸化作用を伴い、
 130.82~130.83m付近
 ・高角度の層が認められるが、粘土層の存在は認められない。

久米層
 16c1

砂質泥岩
 砂質泥岩

砂質泥岩

砂質泥岩



135			
136			
137			
138			
139			
140			
141			
142			
143			
144			
145			
146			
147			
148			
149			
150			
151			
152			
153			
154	146.37	153.70	6.70
155	147.02	154.35	0.85
156			
157	150.17	157.50	3.15
158	150.28	159.61	0.11
159	152.04	158.37	1.76
160	152.27	158.60	0.23
161	153.03	160.35	0.76
162			
163			
164			
165			
166			
167			
168			
169			
170	162.67	170.91	
171	163.10	170.43	
172			
173			
174	168.31	173.64	12.54
175	168.45	173.78	0.14
176			
177			
178			
179			
180			
181			
182			
183	175.15	183.32	9.74
184	176.31	183.64	0.72
185	177.60	184.93	1.29
186	177.88	185.16	0.23
187	178.33	185.82	0.46
188	178.50	185.63	0.21
189			
190			
191			

139.44m
・砂岩の礫層が認められる。
140.46m付近
・砂岩の礫層が認められるが、変質している。
140.73m付近
・やや粗粒であり、白色珪石(2mm未満)を多く含む。

144.10m付近
・白色珪石(2mm未満)を多く含む。

145.35m付近
・砂岩の礫層が認められる。
・変質している。
147.46m
・砂岩の礫層が認められる。
・変質している。

152.56m
・砂岩の礫層が認められる。
・これより上位約50mはやや粗粒である。
○153.10~154.20m
・塊状・層理状の砂質泥岩を主体とする。
・所々礫状砂岩の層理を呈する。
153.75~154.25m
・礫状砂岩からなり、砂質泥岩を呈する。
・層下部砂岩の区間は、黒褐色を呈し、成層状、珪石を多く含む。
155.50~155.55m
・礫状砂岩からなり、黒色シンドを呈する。

160.15m付近
・砂質泥岩の塊状を呈し、珪石が変質する。
160.38~161.10m
・礫状砂岩からなり、砂質泥岩を呈する。
・黒色シンドと黒褐色の砂質泥岩(塊状、境界不分明)を呈する。
・黒褐色・珪石が変質する。
161.27~161.83m
・白色珪石はしばしば塊状、やや粗粒を呈している。

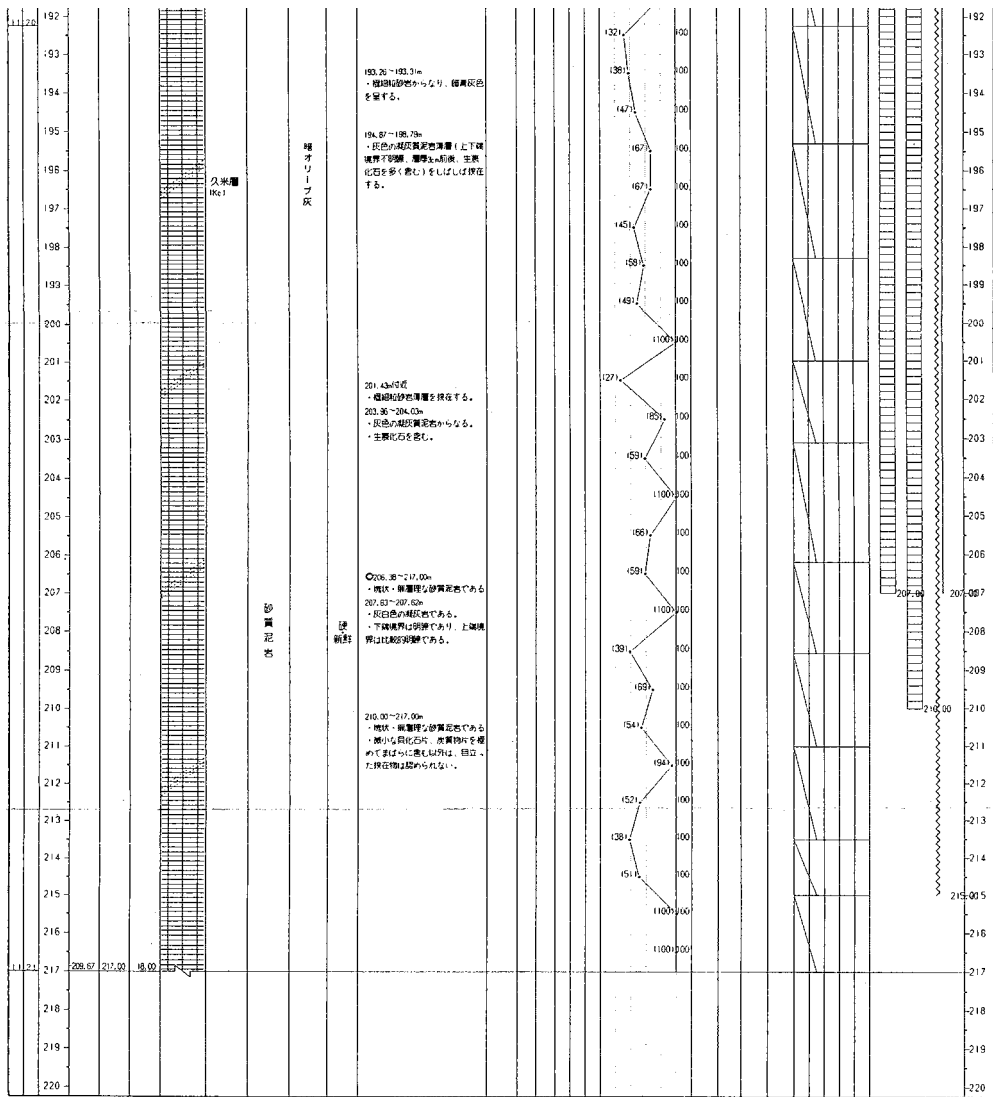
167.90~168.53m
・珪石(1.5mm未満の粗粒部)を多く含む。

169.69~170.00m
・珪石を多く含む。
170.00~170.43m
・粗粒であり、オリブ色を呈する。
・下部境界は砂岩であり、上位とは異なる。
・珪石を多く含む。
170.43~171.66m
・やや粗粒である。

173.53~173.64m
・珪石を多く含む。
173.64~173.78m
・砂質泥岩の塊状を呈する。

175.62m
・砂岩の礫層が認められる。
・これより上位約200mはやや粗粒であり、上位とは異なる。
180.39m付近
・礫状砂岩層(厚さ5cm)を呈する。
180.22~180.40m
・砂質泥岩と珪石の粗粒部がやや粗粒を呈する。
・珪石を多く含む。
○180.40~180.53m
・塊状・層理状の砂質泥岩である。
183.52~183.64m
184.93~185.16m
185.16~185.82m
・礫状砂岩からなり、珪石が変質する。

186.50m付近
・珪石の粗粒部を呈し。
○186.53~186.70m
・塊状・層理状の砂質泥岩を主体とする。
・珪石の粗粒部(20~30mm未満、塊状、境界不分明)を多く含む。
189.77m
・砂岩の礫層が認められる。
・これより上位約400mは粗粒であり、珪石を呈する。



(注) 1. 試料採取方法

- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: フォトン型サンプレーによる試料
- F: 電気抵抗式シフールサンプレーによる試料

2. コアチューブ・ビットの種類

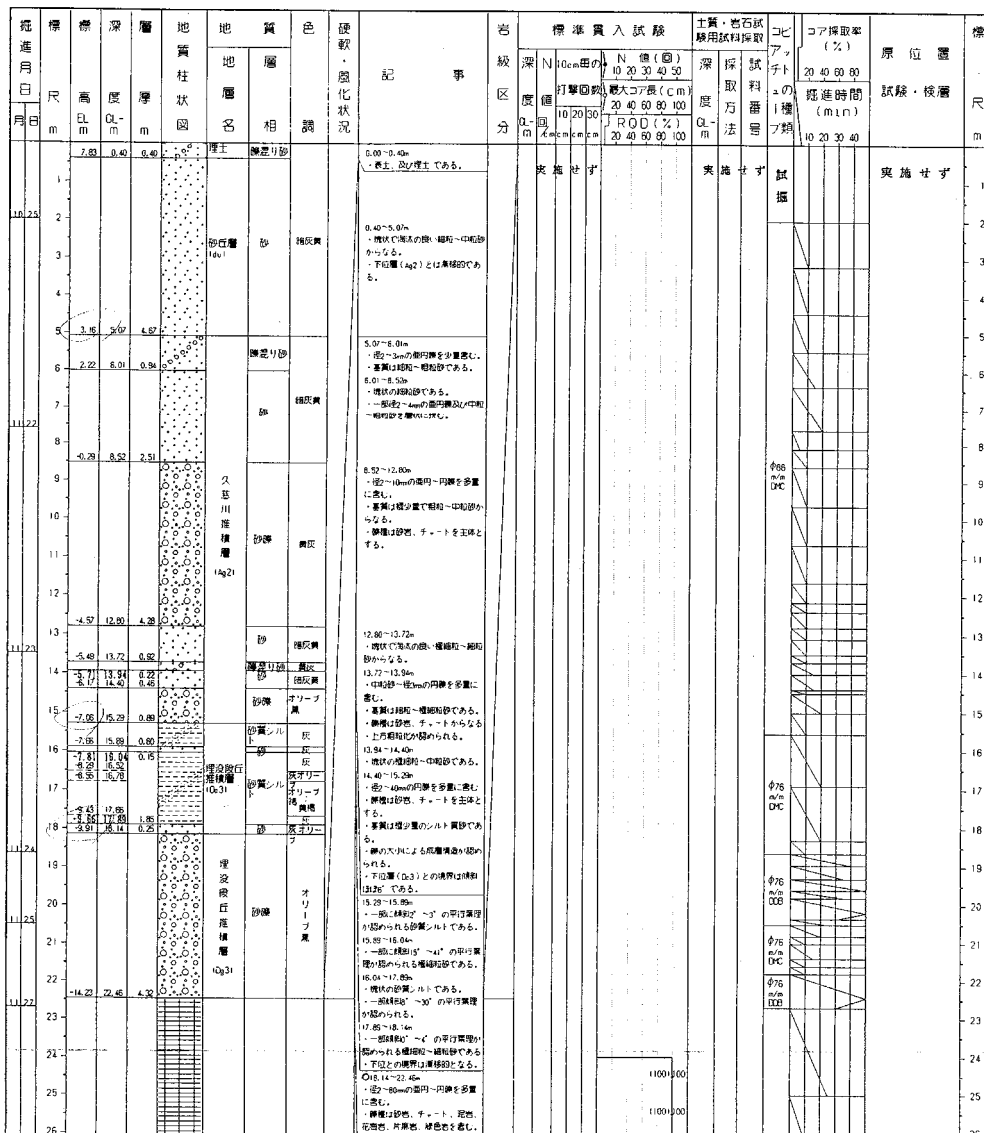
- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DMC: デュアルコアチューブ・メタルクラウン
- DOB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

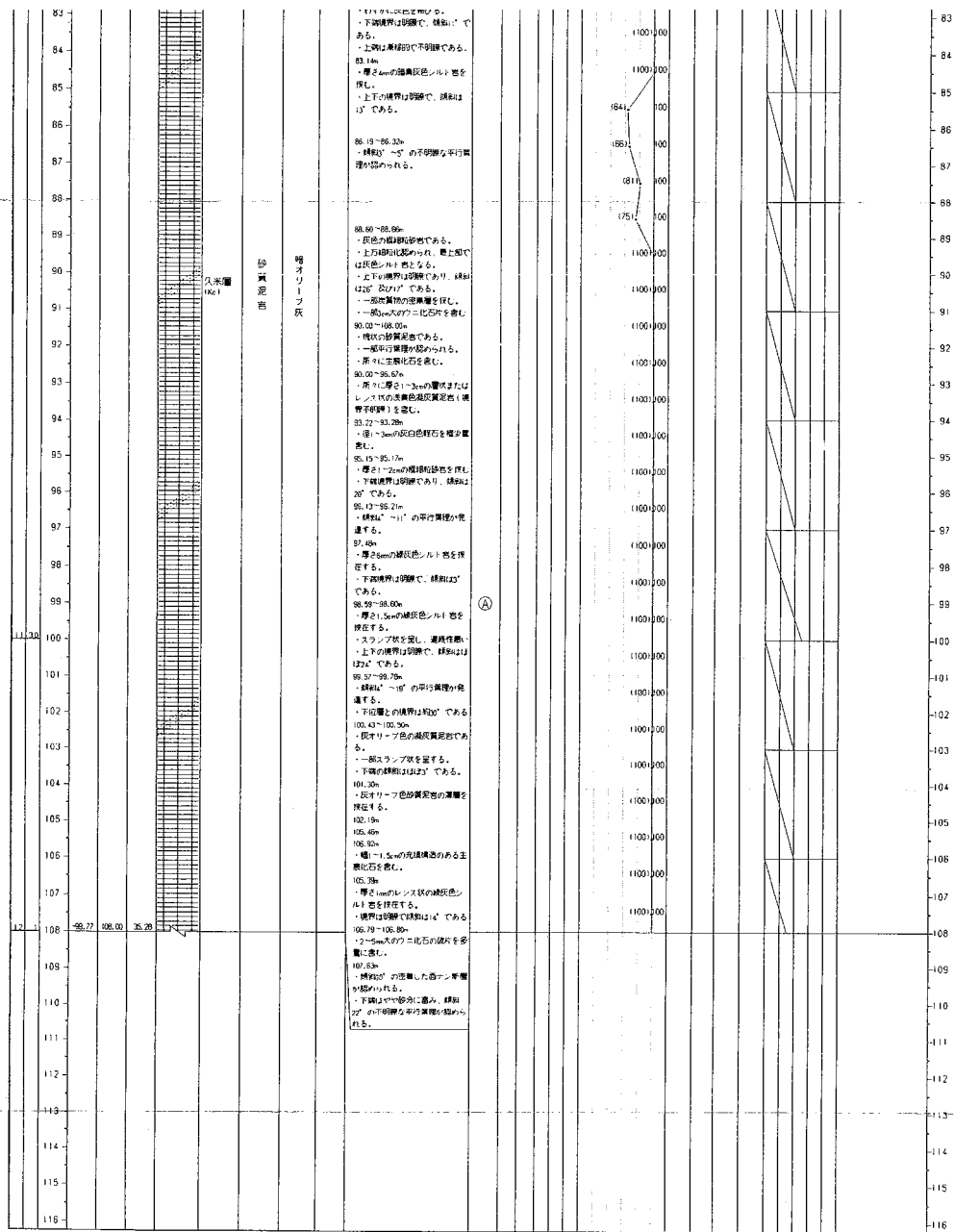
3. 測定状況・試験実施状況

- : 孔内水平電流試験
- : 間隙水圧測定
- 田: S 標準 (板たき方式)
- 目: P-S 標準 (サスペンション方式)
- <: 電気抵抗
- |: 密度標準
- ⋮: キーリブ・検定

F-5 ボーリング柱状図

件名 豊海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1 平成 孔口標高 Q_L +8.23m
 調査期間 7年11月22日~7年12月1日 最終孔内水位 Q_L - 8.10m (EL +0.13m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 L-24 (ロングイヤー製) 掘削深度 Q_L - 108.00m





(注) 1. 試料採取方法

- C: ホーリングコア試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デニソン型サンプラーによる試料
- T: 固定ピストン式サンプラーによる試料

2. コアチップ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチップ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチップ・メタルクラウン
- DDB: ダブルコアチップ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチップ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチップ・ダイヤモンドビット

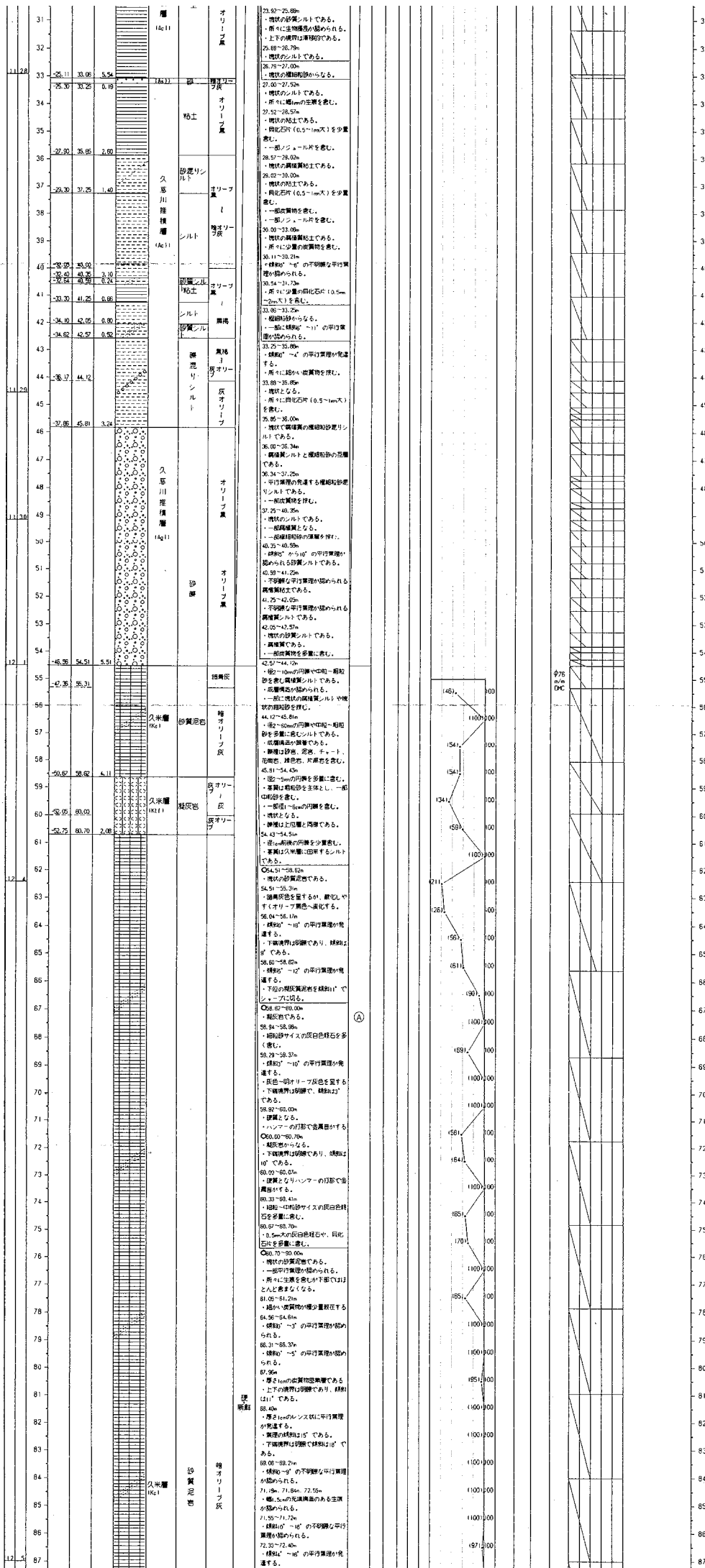
3. 原位置試験・検層変形状況

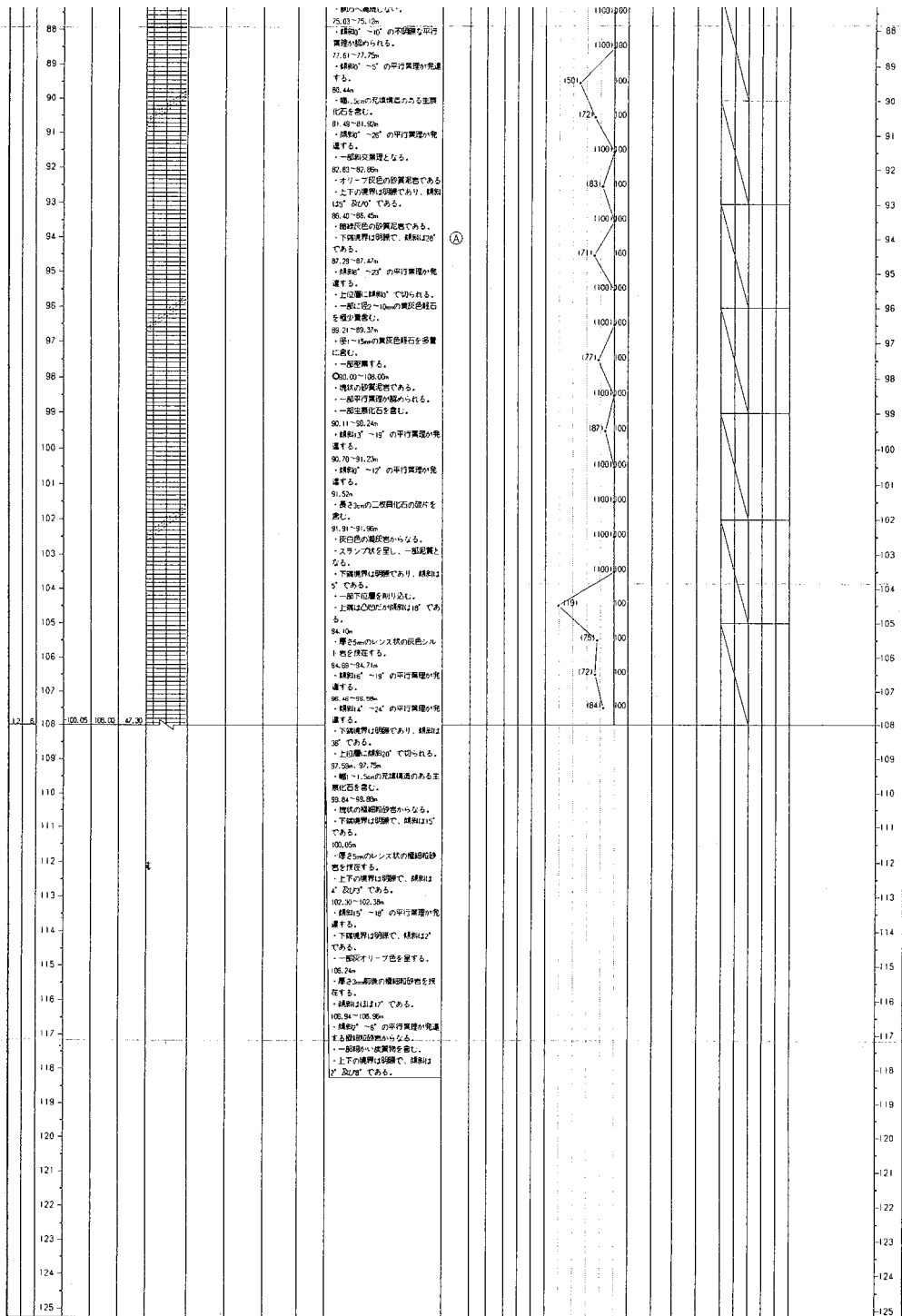
- : 孔内水平範囲試験
- : 隙隙水圧測定
- 田: PS検層(板たき方式)
- 目: PS検層(サスペンション方式)
- △: 電気検層
- ↑: 密着検層
- ∴: キャリパー検層

F-6 ボーリング柱状図

件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白万1-1 孔口標高 $Q_{L0} = +7.95 \text{ m}$
 平成 7年11月22日 ~ 7年12月6日 最終孔内水位 $Q_{L1} = -3.00 \text{ m}$ (EL. $+4.95 \text{ m}$) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 YBM-3 (吉田鉄工) 掘削深度 $Q_{L2} = -108.00 \text{ m}$

標高 m	層厚 m	地質柱状 図	地質 層名	色調	硬軟・風化 状況	地質 備考	標準貫入試験		土質・岩石 試験用試料採取		コア採取率 (%)		原位置 試験・検層	標 尺 m
							深 度 m	N 値 (回)	深 度 m	採取 方法	試料 番号	20		
11.16			埋土	灰オリブ		0.00~4.74m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。	実施せず						実施せず	1
				埋土		4.77~4.80m 4.81~4.83m 4.85~4.74m 一部5cmの間隙を少量含む。								2
				埋土		4.74~11.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								3
				埋土		11.00~11.45m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								4
				埋土		11.48~12.72m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								5
				埋土		12.72~13.18m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								6
				埋土		13.18~14.45m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								7
				埋土		14.48~14.75m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								8
				埋土		14.75~15.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								9
				埋土		15.00~15.44m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								10
				埋土		15.44~17.54m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								11
				埋土		17.54~18.02m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								12
				埋土		18.02~19.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								13
				埋土		19.00~21.35m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								14
				埋土		21.35~23.52m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								15
				埋土		23.52~24.82m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								16
				埋土		24.82~25.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								17
				埋土		25.00~27.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								18
				埋土		27.00~28.52m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								19
				埋土		28.52~29.02m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								20
				埋土		29.02~30.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								21
				埋土		30.00~30.00m 一部5cmの間隙を少量含む埋土砂からなる。 一部砂で構成。								22





(注) 1. 試料採取方法

- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デュレーションキャプチャーによる試料
- T: 固定式トンネルウォールサンブラーによる試料

2. コアチップ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチップ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチップ・メタルクラウン
- DOB: ダブルコアチップ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチップ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチップ・ダイヤモンドビット

3. 原位置試験・検査実施状況

- : 孔内水平方位試験
- : 間接水圧測定
- ⊗: PS 検層 (緩たき方式)
- ⊕: PS 検層 (サスペンション方式)
- <: 電気検層
- |: 空層検層
- ⋮: キーリバー検層

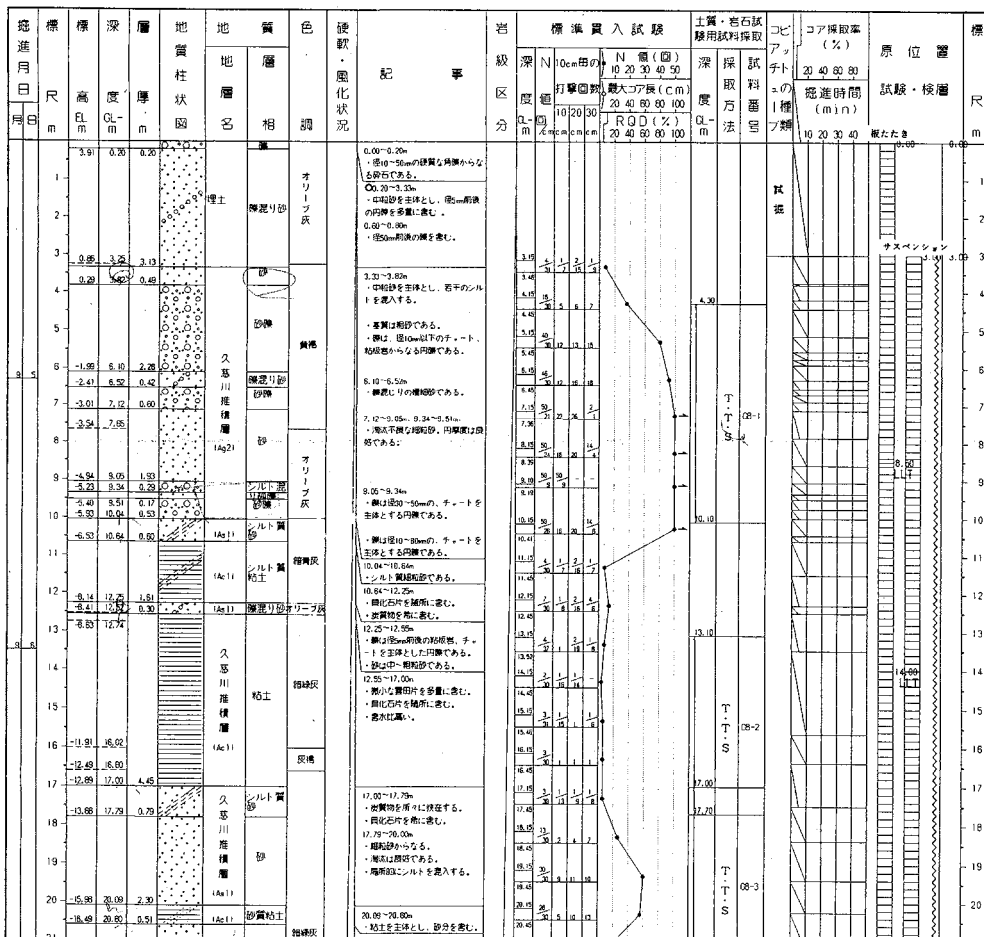
F-7 ボーリング柱状図

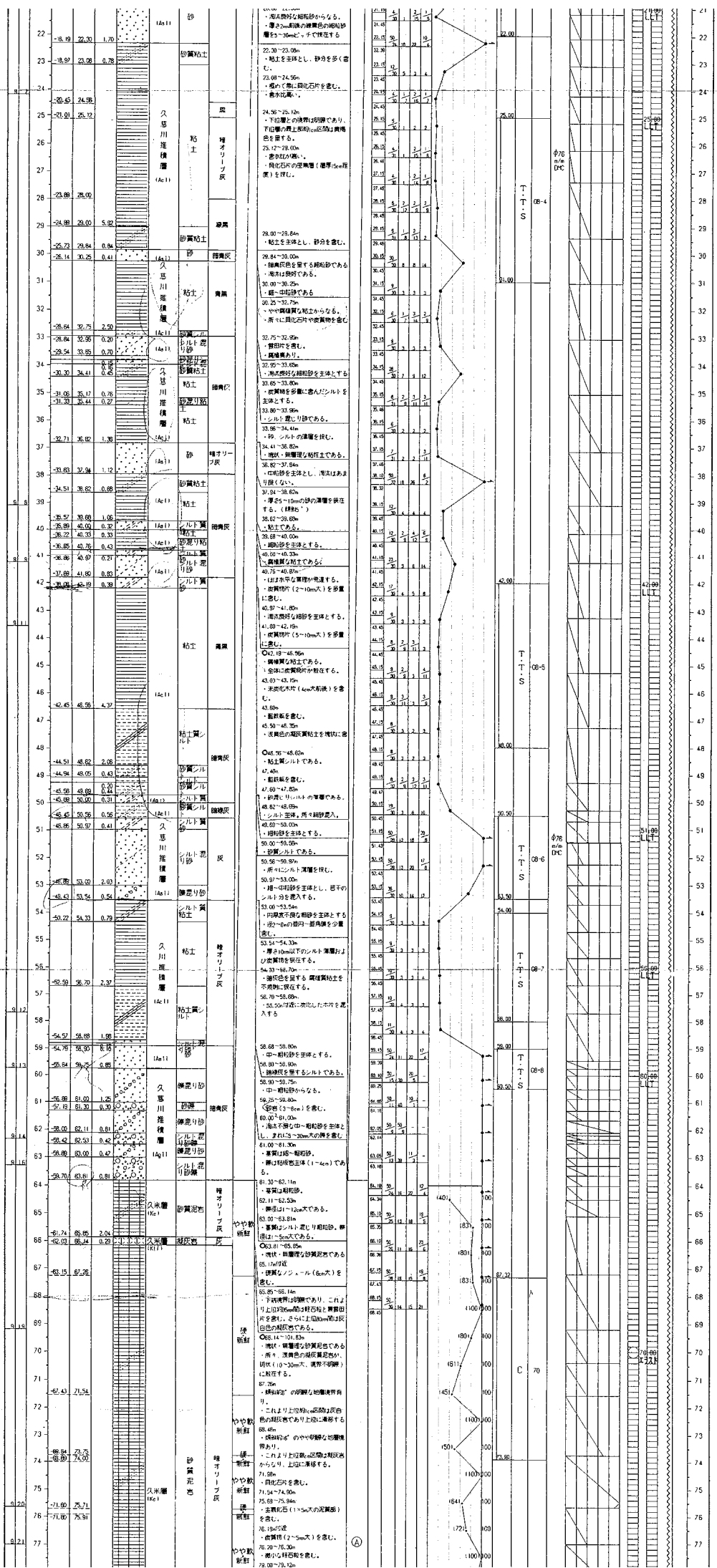
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東浦村大字白万1-1 孔口標高EL +7.87m
 平成 XXXX
 調査期間 7年11月6日~7年12月4日 最終孔内水位QL -13.00m (EL -5.13m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試験機 Q2-G 掘削深度QL -109.00m

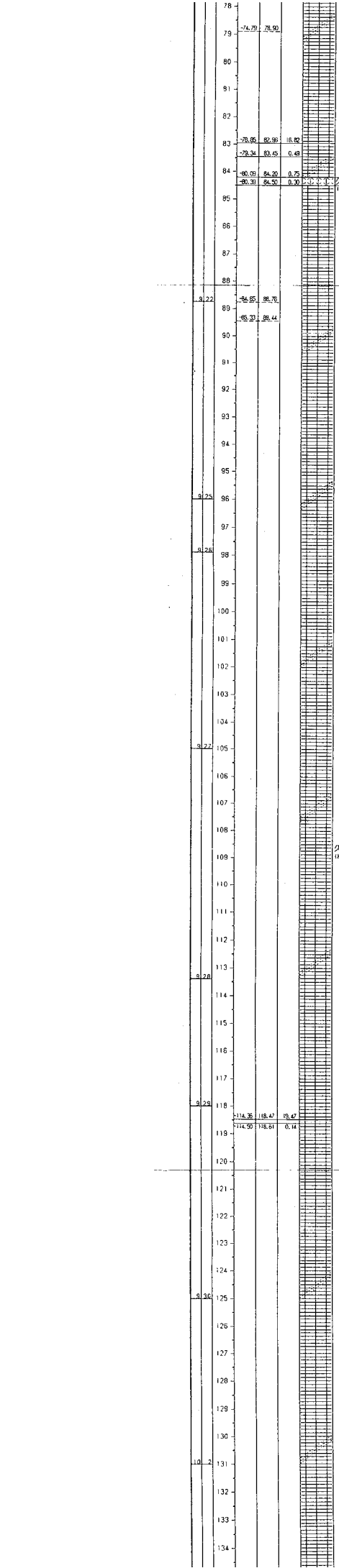
終進月日	標尺	標高	深	層厚	地質柱状図	地質層名	色	硬軟・風化状況	記	岩級	標準貫入試験				土質・岩石試験用試料採取	コア採取率(%)	原位置試験・後層	標尺				
											深	N	最大コア長	ROD								
月日	m	EL	m	m							10m	10	20	30	40	50	60	70	80			
	7.87	0.26	0.26		埋土				0.00~0.26 ・砂石(10~40mm)の塊からなる埋土である。 ・0.20~4.85m ・12~14層からなる砂層である		実施せず									実施せず		
1					砂層	16a1																
2																						
3																						
4																						
5		3.02	4.65	1.63					4.65~7.85 ・中砂を主体とし、粗砂をしばしば混入する。 ・角化石片(1~5mm)をしばしば混入し。													
6																						
7	11.5	0.86	7.04	6.18					7.04~9.54 ・粗砂を主体とし、2~10mmの角化石、チャートからなる円礫をしばしば混入する。 ・角化石片を混入し。													
8						久慈川堆積層																
9	11.7																					
10		-1.67	8.54	2.30					5.54~10.46 ・海成砂礫層からなる。 ・10~100、100~200程度に高角礫が散在し。 ・φ10~45~13.25 ・マトリクスは、粗砂を主体とし、卵石を混入する。 ・粗砂マトリクスからなる円礫である。 ・粒径は2~10mmであり、最低粗砂20~45mmで120~300mmである。													
11		-3.02	10.40	0.34		14a2																
12		-3.13	11.00	0.11																		
13		-5.39	13.28	2.25					10.46~11.00 ・シルト入り細砂である。 ・φ3.25~21.00 ・粘土を主体とし、全体にシルトを混入し。 ・角化石片(1~10mm)をまばらに混入し。 ・14.80~14.55m ・粗-細砂を混入する。													
14	11.8																					
15						久慈川堆積層																
16																						
17									17.66~17.65 ・炭質物(0.5~15mm)を混入し。													
18																						
19																						
20		-12.13	20.00	8.74					20.00~21.00m ・粗砂を主体とし、角化石片を混入し。													
21		-13.13	21.00	1.00					21.00~21.71m ・粗砂を主体とし、角化石片を混入し、角化石片を混入する。 ・21.71~22.56m ・海成砂礫層である。 ・角化石片の混入量を混入し、21.66m程度に高角礫を混入し。													
22		-13.84	21.71	0.71		14a1																
23	11.8	-14.71	22.56	0.80																		
24		-15.42	23.29	0.71		14a1																

G-8 ボーリング柱状図

件名 東港第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査能 主任技術者
調査地 茨城県那珂郡東港村大字白万1-1 平成 孔口標高EL +4.11m
調査期間 7年8月28日~7年12月22日 最終孔内水位GL -3.73m (EL +0.38m) コア観察者
使用試験機 D2-K、NAS-2 掘削深度GL -214.00m







・練石の裏理が発達する

85.05~85.06
・白色石灰石を露し。
85.06~85.45m
・泥岩からなり、上部は黄褐色を呈する。
85.45~86.20m
・黄褐色の泥岩を露し。
・下部の黄褐色とは異なる。

86.03~86.25m
・ほぼ水平な層理が発達する。
86.25~86.45m
・層理が断層（練石）で割れているが、いずれも露出していない。
86.45~86.75m
・黄褐色の泥岩を露し。
・黄褐色の泥岩が露出する。

89.29~89.30m
・層理が断層からなる。
89.30~89.35m
・黄褐色の泥岩を露し。
89.35~89.40m
・白色石灰石（1~2cm）を多量に露し。
89.40~89.45m
・黄褐色の泥岩層を露し、上部は断層に侵襲する。
（層理が断層10m~20cm、層理が断層）
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
89.45~89.50m
・黄褐色の泥岩を露し。
89.50~89.55m
・16mの断層を露し。

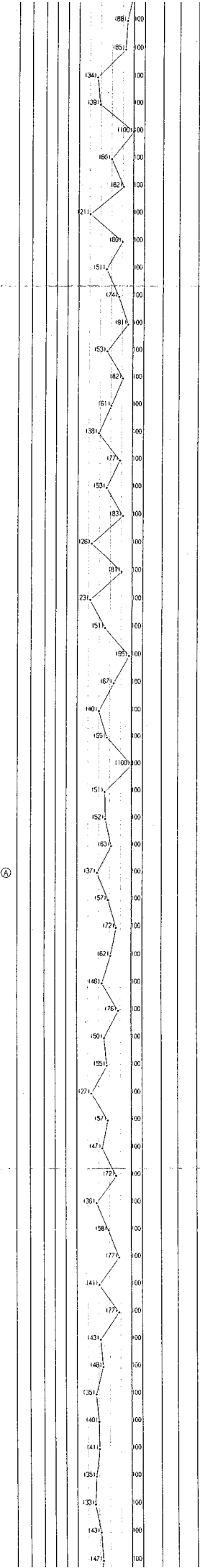
101.20m付近
・黄褐色の泥岩を露し。
101.20~101.25m
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
・黄褐色の泥岩を露し。

104.74m
・練石の裏理が断層を露し。
・これより上部は断層が断層である。
104.86~104.90m
・練石の裏理が断層を露し。

108.61~108.65m
・練石の裏理が断層を露し。
111.47m
・黄褐色の泥岩を露し。
112.14m
・練石の裏理が断層を露し。
114.12m
・白色石灰石（6cm）を露し。

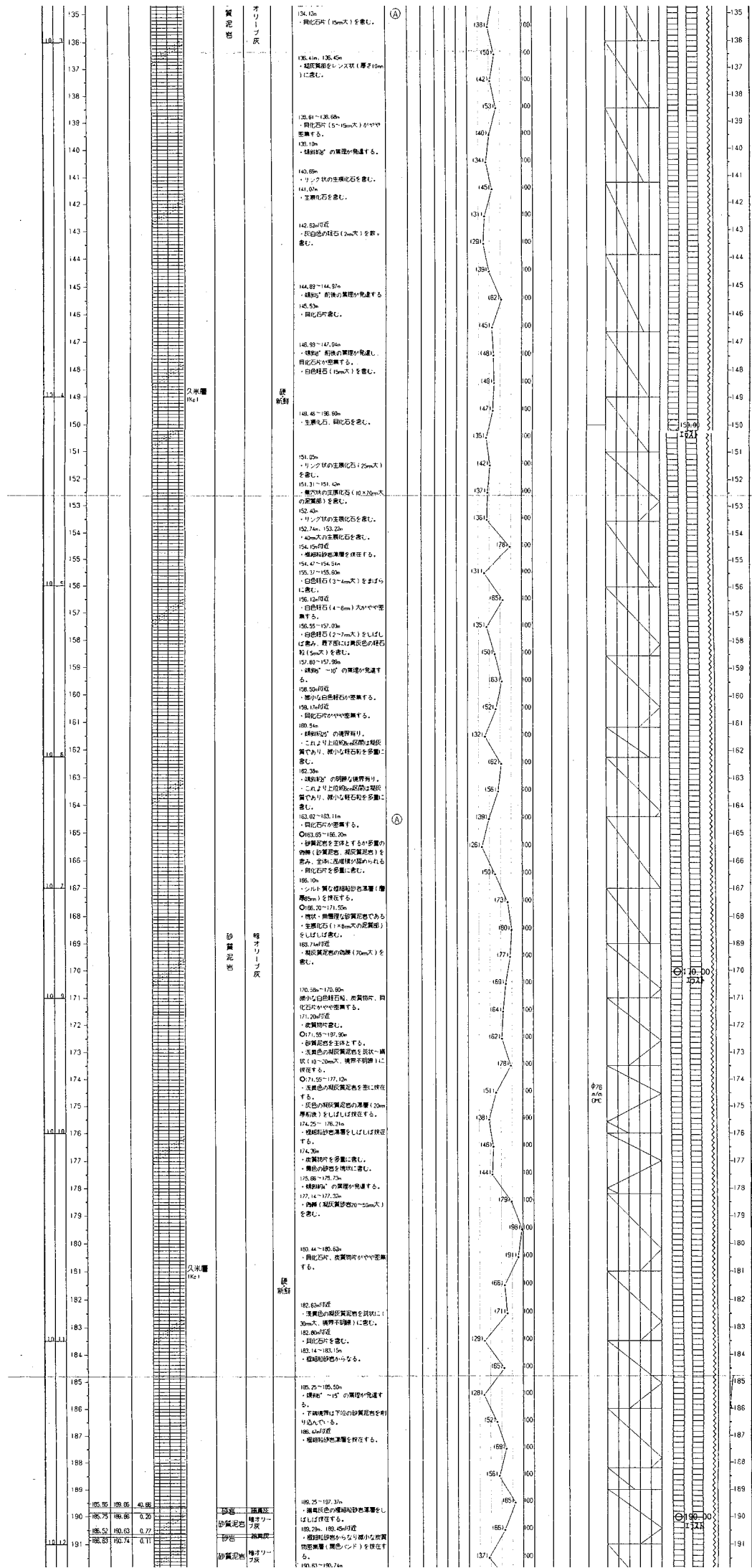
117.23~117.28m
・極めて断層度の高い黄褐色の泥岩層を露し、上部は断層を露し。
・上下断層の断層が断層である。
118.40m
・練石の裏理が断層を露し。
118.40~118.45m
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
118.45~118.50m
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
124.23~124.25m
・黄褐色の泥岩層を露し、下部は断層に侵襲する。
126.57m
・黄褐色の泥岩を露し。

128.08~128.25m
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
131.12~131.20m
・黄褐色の泥岩、黄褐色の泥岩を多量に露し。
131.47m
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。
133.88m付近
・断層が断層を露し、下部は断層に侵襲する。



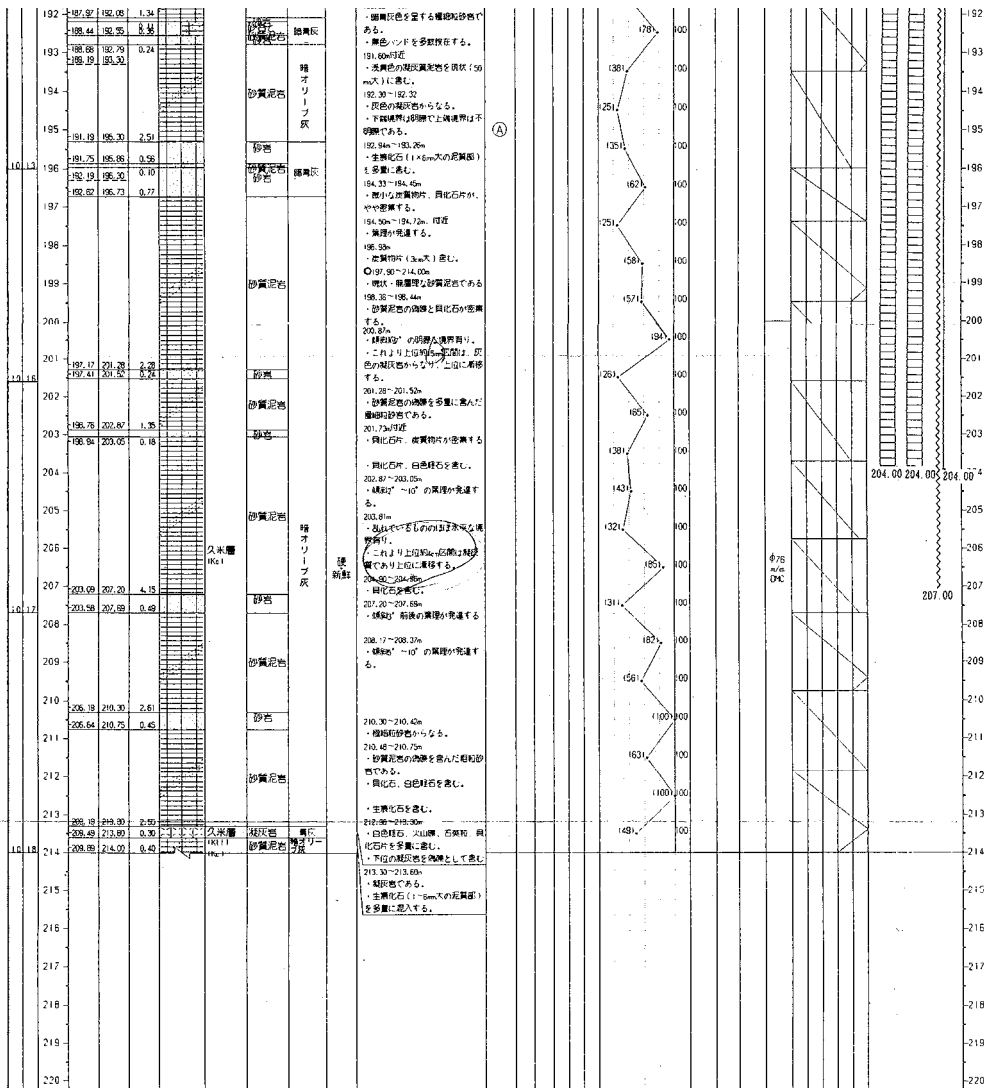
88.00
134.1
139.1
160.1
162.1
211.1
160.1
151.1
174.1
191.1
153.1
182.1
161.1
138.1
177.1
153.1
183.1
126.1
181.1
231.1
151.1
185.1
167.1
140.1
155.1
1100.1
151.1
152.1
153.1
137.1
157.1
172.1
162.1
140.1
176.1
150.1
150.1
127.1
157.1
147.1
172.1
135.1
158.1
177.1
141.1
177.1
143.1
148.1
135.1
140.1
141.1
135.1
130.1
143.1
147.1





135.00	136.00	40.00
136.75	136.86	0.20
138.52	139.03	0.77
138.83	139.74	0.11

砂質泥岩
砂岩
砂質泥岩
砂質泥岩



G-8 (パイロット) ボーリング柱状図

井名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他

主任技術者

調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1
平成

孔口標高 EL +4.11 m

調査期間 7年7月19日~7年7月26日

最終孔内水位 QL - 3.60 m (EL +0.51 m)

コア観察者

使用試験機 TDC-1G

掘削深度 QL - 25.00 m

掘進月日	標高 EL (m)	深度 QL (m)	層厚 (m)	地質柱状図	地質層名	色調	硬軟・風化状況	岩級区分	標準貫入試験				土質・岩石試験用試料採取		コア採取率 (%)	原位置試験・検層	標尺 (m)		
									深 (m)	N 値 (回)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	深 (m)	採取方法				試料番号	コア採取率 (%)
7.18	0.95	3.25	3.25		埋土	黄褐色砂	0.00~3.20m ・埋戻り砂からなる埋土である。 ・砂は細~粗砂である。 ・粒径は10~100mmの角礫である。	実施せず											
	0.11	4.00	0.75		砂		3.25~4.00m ・海成良好な中細砂からなる。												
7.20	-3.54	7.65	3.65		久慈川堆積層	黄褐色砂	4.00~8.53m ・基質は細~粗砂からなる。 ・礫は、チャートを主体とした2~30mmの範囲~円礫である。 ・礫は27.2mm付近、8.40m付近に密集している。												
	-4.14	8.25	0.60		砂		7.65~8.25m ・海成良好な細砂からなる。												
	-4.42	8.53	0.28		シルト質砂		8.08~9.13m ・粗砂を混入する。												
	-5.02	9.13	0.60		シルト質砂		9.13~10.00m ・基質はシルト質細砂である。 ・礫は、チャート、角礫からなる20~60mmの円礫である。												
	-5.34	10.00	0.87		シルト質砂		10.00~10.45m ・基質は細~中砂からなり、礫は20~60mmの円礫である。												
	-5.53	10.84	0.84		シルト質粘土		10.45~10.64m ・細砂からなる。												
7.22	-7.09	12.00	1.16		久慈川堆積層	シルト質粘土	10.64~12.50m ・角礫石をしばしば含む。												
	-8.41	12.52	0.52		砂		12.52~12.74m ・石英角を多量に含む中砂からなる。												
	-8.83	12.74	0.22		シルト質粘土		12.74~15.02m ・角礫石をしばしば含む。												
7.24	-11.81	15.92	3.12		久慈川堆積層	シルト質粘土	15.02~16.80m ・海成不良な細~粗砂からなる。												
	-12.48	16.80	0.88		砂質シルト		16.80~18.26m ・チャートを主体とした2~30mmの円礫を混入。 ・角礫石をしばしば含む。												
	-12.99	17.00	0.40		シルト質砂		18.26~18.75m ・シルト質細砂である。 ・角礫石をしばしば含む。												
	-14.15	18.26	1.26		砂		18.75~20.80m ・海成良好な細砂である。												
	-15.64	19.75	1.49		シルト質砂		20.80~21.30m ・シルト質の細砂~粗砂である。												
	-16.49	20.80	0.85		砂		21.30~21.77m ・粗砂質のシルトである。												
	-17.74	21.84	0.74		シルト質砂		21.77~23.53m ・細砂からなる。												
	-18.23	23.84	0.31		シルト質粘土		23.20~23.53m ・シルトを混入。												
	-18.34	24.00	0.16		砂質シルト		23.53~23.84m ・細砂質のシルトである。												
7.25	-20.29	24.40	0.40		粘土		23.84~24.05m ・硬軟からなる。 ・極めて軟に20mm前後の円礫を混入。												
	-19.09	23.20	1.43		シルト質砂		24.05~24.40m ・シルトを主体として、粗砂層をしばしば挟在する。												
	-18.42	23.53	0.33		砂		24.40~25.00m ・粘土である。												
	-18.23	23.84	0.16		粘土		24.43m付近 ・細砂層を挟在する。												

(注) 1. 試料採取方法

- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デモン型サンプレーによる試料
- T: 固定ピストン式シフウォールサンプレーによる試料

2. コアチューブ・ビットの種類

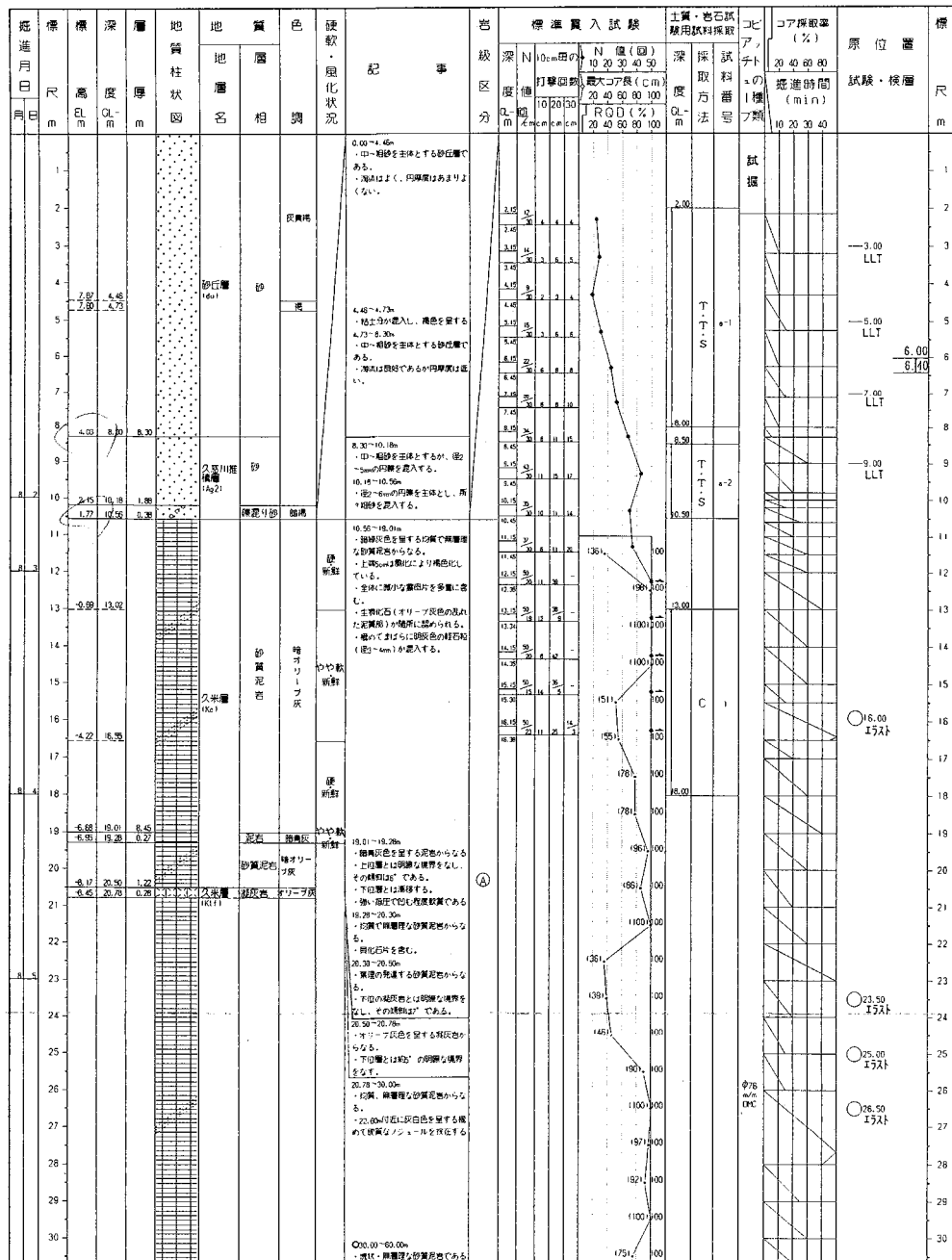
- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
- DOB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

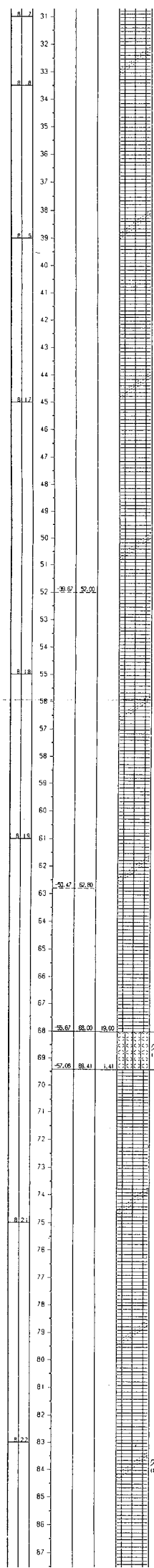
3. 原位置試験・検層形状状況

- : 孔内水平動試験
- : 間隙水圧測定
- ◇: PS検層 (板たき方式)
- ◇: PS検層 (サスペンション方式)
- >: 電気検層
- |: 密度検層
- ⋮: キャリパー検層

ボーリング柱状図

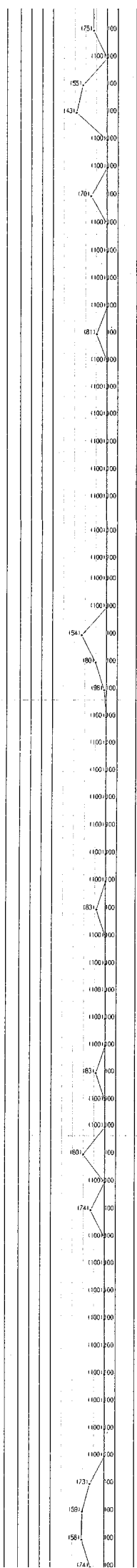
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他 主任技術者
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白万1-1 孔口標高 EL +12.33m
 調査期間 7年8月2日～7年8月28日 最終孔内水位 GL - 9.40m (EL +2.93m) コア観察者
 使用試験機 TDC-1G BG-3 掘削深度 GL - 122.00m





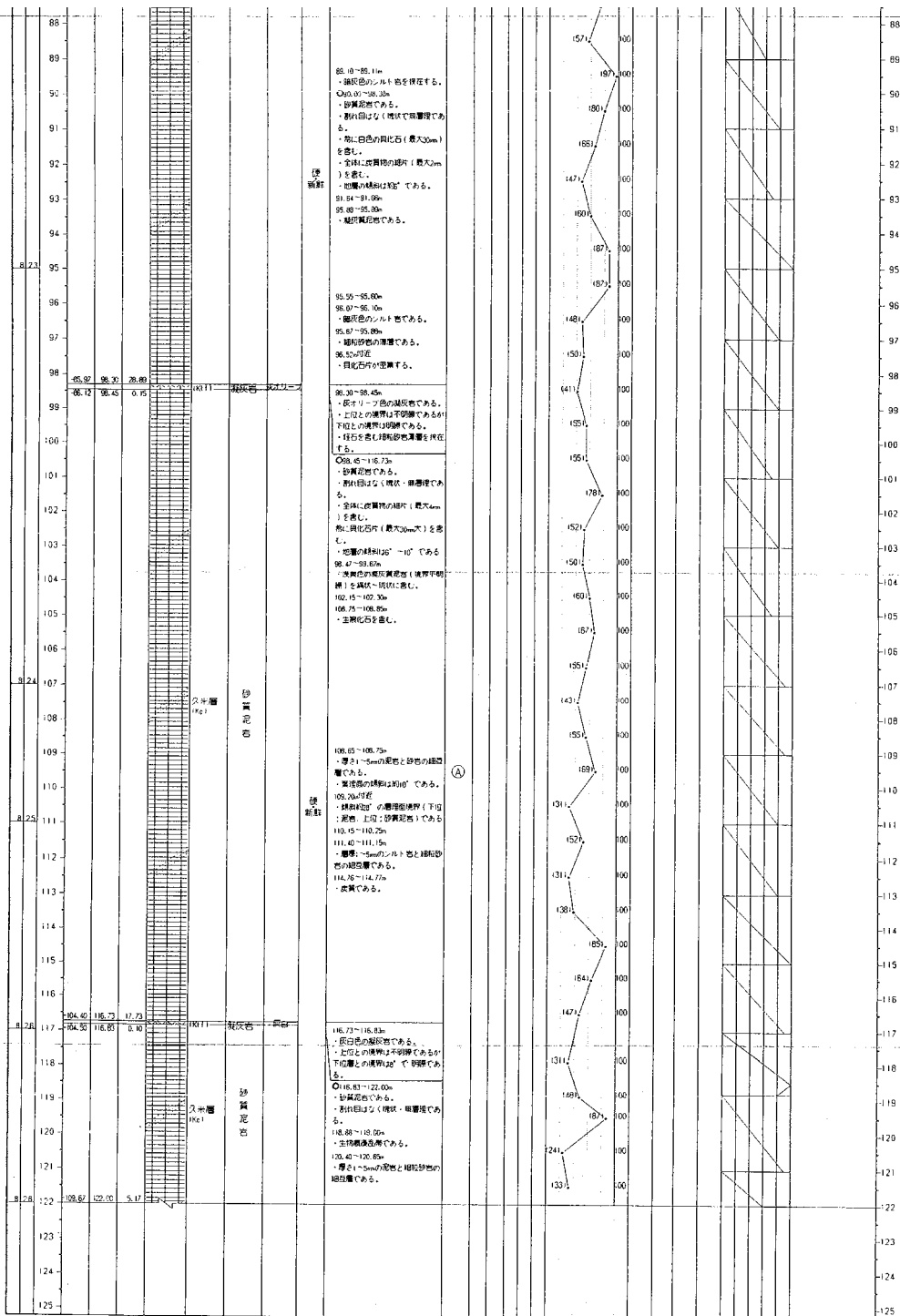
31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87

・全体に砂質分に富み、若干の粘
 土成分が認められるもの、局所
 粘質である。
 30.5m付近
 ・斜傾角 $\sim 70^\circ$ の面なし層あり。
 ・面なし層厚約10cmの間で2本迄
 のオリソプシド(厚 $\sim 2mm$)の結核が
 土を穿し。
 31.75m付近
 ・白色結石(1 $\sim 2mm$ ×)を少量含
 有。
 32.10 \sim 32.5m
 ・白色結石(2 $\sim 10mm$ ×)を多数に
 含む。
 32.65m
 ・60m×の白色結石を穿し。
 34.30 \sim 34.65m
 ・白色結石(2 $\sim 6mm$ ×)を多数に
 含む。特に最下部の50cm程度には
 灰色結石が混入しており、甚異も
 粘質である。
 38.15m付近
 ・白色結石(1 $\sim 2mm$ ×)を少量含
 有。
 38.80 \sim 39.10m
 ・白色結石(2 $\sim 6mm$ ×)を穿し。
 特に38.80 \sim 38.10mには結石が
 歪曲している。
 39.75m
 ・白色結石(6 $\sim 8mm$ ×)を穿し。
 39.80 \sim 40.10m
 ・白色結石(1 $\sim 4mm$ ×)がやや密
 集している。
 40.20 \sim 40.50m
 ・白色結石(6 $\sim 10mm$ ×)をまば
 らに含む。
 43.68m付近
 ・黄色の細かい粘質物(やや粘質
 している)。
 45.88 \sim 46.30m
 ・主要結石(オリソプシド)の混れ
 た泥質層(層厚 $\sim 2mm$)が認められ、
 45.88 \sim 47.00m
 ・白色結石(1 $\sim 4mm$ ×)がやや密
 集している。
 48.25 \sim 48.30m
 ・黄色の細かい粘質物(やや粘質
 している)。
 51.20m付近
 ・白色結石(1 $\sim 5mm$ ×)がやや密
 集している。
 55.43m付近
 ・白色結石(1 $\sim 5mm$ ×)がやや密
 集している。
 58.04m付近
 ・白色結石(1 $\sim 5mm$ ×)がやや密
 集している。
 58.61 \sim 58.90m
 ・灰白色の結石(1 $\sim 5mm$ ×)がや
 や密集している。
 60.60 \sim 62.00m
 ・暗灰・暗褐色の砂質泥岩である。
 ・所々主要結石(オリソプシド)の混れ
 た泥質層(層厚 $\sim 2mm$)が認められるもの
 の粘質として混入している。
 ・全体に砂質分に富み、細かい結
 核を多数に含む。
 ・全体に白色結石(1 $\sim 20mm$ ×)を
 まばらに含む。
 65.62 \sim 65.95m
 ・層理が発達し、その傾斜 33°
 である。
 ・白色結石(2 $\sim 16mm$ ×)を穿し。
 65.95m
 ・黄色の粘質物を多数に含む。粘
 土成分(層厚 $\sim 2mm$)の結核(層厚 ~ 2
 mm)が認められる。
 ・下に粘質層(厚 $\sim 2mm$)の灰色結
 核(層厚 $\sim 2mm$)を穿し。
 68.30 \sim 68.40m
 ・凝灰岩である。
 68.50m、69.00m、69.25mを境
 として層分けされる。
 ・下部から「暗褐色結核層」・
 「オリソプシド色(暗)層」・「灰白
 色結核層」・「オリソプシド色
 結核層」・「暗褐色結核層」・
 「暗褐色結核層」からなりそれぞ
 れの層厚288.90 \sim 22' 50mm以上
 層理する。
 ・所々白色結石、生物化石、炭質
 物を産する。
 ・69.20m付近には白色結石(1 ~ 6
 mm×)が少量産する。
 69.41 \sim 69.70m
 ・暗灰・暗褐色の砂質泥岩である。
 ・全層厚15cm以内であるが所々砂質
 面に露れ認められる。その深
 部174.55m付近、75.52m付近、76
 .06m付近であり、露出部、炭質物
 が認められる。層理する。
 ・所々支離色の粘質泥岩(10 \sim
 50mm×、境界不明瞭)を互いに密
 集し。
 77.13m付近
 ・灰色の粘質泥岩の層理(層厚
 12 \sim 15mm)が産する。
 78.15 \sim 78.20m
 ・黄色色の粘質泥岩である。
 ・上部層は粘質し、下部層との
 境界は不明瞭である。
 ・下部層との層理部は 30° であ
 る。



31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87

・全体に砂質分に富み、若干の粘
 土成分が認められるもの、局所
 粘質である。
 30.5m付近
 ・斜傾角 $\sim 70^\circ$ の面なし層あり。
 ・面なし層厚約10cmの間で2本迄
 のオリソプシド(厚 $\sim 2mm$)の結核が
 土を穿し。
 31.75m付近
 ・白色結石(1 $\sim 2mm$ ×)を少量含
 有。
 32.10 \sim 32.5m
 ・白色結石(2 $\sim 10mm$ ×)を多数に
 含む。
 32.65m
 ・60m×の白色結石を穿し。
 34.30 \sim 34.65m
 ・白色結石(2 $\sim 6mm$ ×)を多数に
 含む。特に最下部の50cm程度には
 灰色結石が混入しており、甚異も
 粘質である。
 38.15m付近
 ・白色結石(1 $\sim 2mm$ ×)を少量含
 有。
 38.80 \sim 39.10m
 ・白色結石(2 $\sim 6mm$ ×)を穿し。
 特に38.80 \sim 38.10mには結石が
 歪曲している。
 39.75m
 ・白色結石(6 $\sim 8mm$ ×)を穿し。
 39.80 \sim 40.10m
 ・白色結石(1 $\sim 4mm$ ×)がやや密
 集している。
 40.20 \sim 40.50m
 ・白色結石(6 $\sim 10mm$ ×)をまば
 らに含む。
 43.68m付近
 ・黄色の細かい粘質物(やや粘質
 している)。
 45.88 \sim 46.30m
 ・主要結石(オリソプシド)の混れ
 た泥質層(層厚 $\sim 2mm$)が認められ、
 45.88 \sim 47.00m
 ・白色結石(1 $\sim 4mm$ ×)がやや密
 集している。
 48.25 \sim 48.30m
 ・黄色の細かい粘質物(やや粘質
 している)。
 51.20m付近
 ・白色結石(1 $\sim 5mm$ ×)がやや密
 集している。
 55.43m付近
 ・白色結石(1 $\sim 5mm$ ×)がやや密
 集している。
 58.04m付近
 ・白色結石(1 $\sim 5mm$ ×)がやや密
 集している。
 58.61 \sim 58.90m
 ・灰白色の結石(1 $\sim 5mm$ ×)がや
 や密集している。
 60.60 \sim 62.00m
 ・暗灰・暗褐色の砂質泥岩である。
 ・所々主要結石(オリソプシド)の混れ
 た泥質層(層厚 $\sim 2mm$)が認められるもの
 の粘質として混入している。
 ・全体に砂質分に富み、細かい結
 核を多数に含む。
 ・全体に白色結石(1 $\sim 20mm$ ×)を
 まばらに含む。
 65.62 \sim 65.95m
 ・層理が発達し、その傾斜 33°
 である。
 ・白色結石(2 $\sim 16mm$ ×)を穿し。
 65.95m
 ・黄色の粘質物を多数に含む。粘
 土成分(層厚 $\sim 2mm$)の結核(層厚 ~ 2
 mm)が認められる。
 ・下に粘質層(厚 $\sim 2mm$)の灰色結
 核(層厚 $\sim 2mm$)を穿し。
 68.30 \sim 68.40m
 ・凝灰岩である。
 68.50m、69.00m、69.25mを境
 として層分けされる。
 ・下部から「暗褐色結核層」・
 「オリソプシド色(暗)層」・「灰白
 色結核層」・「オリソプシド色
 結核層」・「暗褐色結核層」・
 「暗褐色結核層」からなりそれぞ
 れの層厚288.90 \sim 22' 50mm以上
 層理する。
 ・所々白色結石、生物化石、炭質
 物を産する。
 ・69.20m付近には白色結石(1 ~ 6
 mm×)が少量産する。
 69.41 \sim 69.70m
 ・暗灰・暗褐色の砂質泥岩である。
 ・全層厚15cm以内であるが所々砂質
 面に露れ認められる。その深
 部174.55m付近、75.52m付近、76
 .06m付近であり、露出部、炭質物
 が認められる。層理する。
 ・所々支離色の粘質泥岩(10 \sim
 50mm×、境界不明瞭)を互いに密
 集し。
 77.13m付近
 ・灰色の粘質泥岩の層理(層厚
 12 \sim 15mm)が産する。
 78.15 \sim 78.20m
 ・黄色色の粘質泥岩である。
 ・上部層は粘質し、下部層との
 境界は不明瞭である。
 ・下部層との層理部は 30° であ
 る。



(注) 1. 試験採取方法

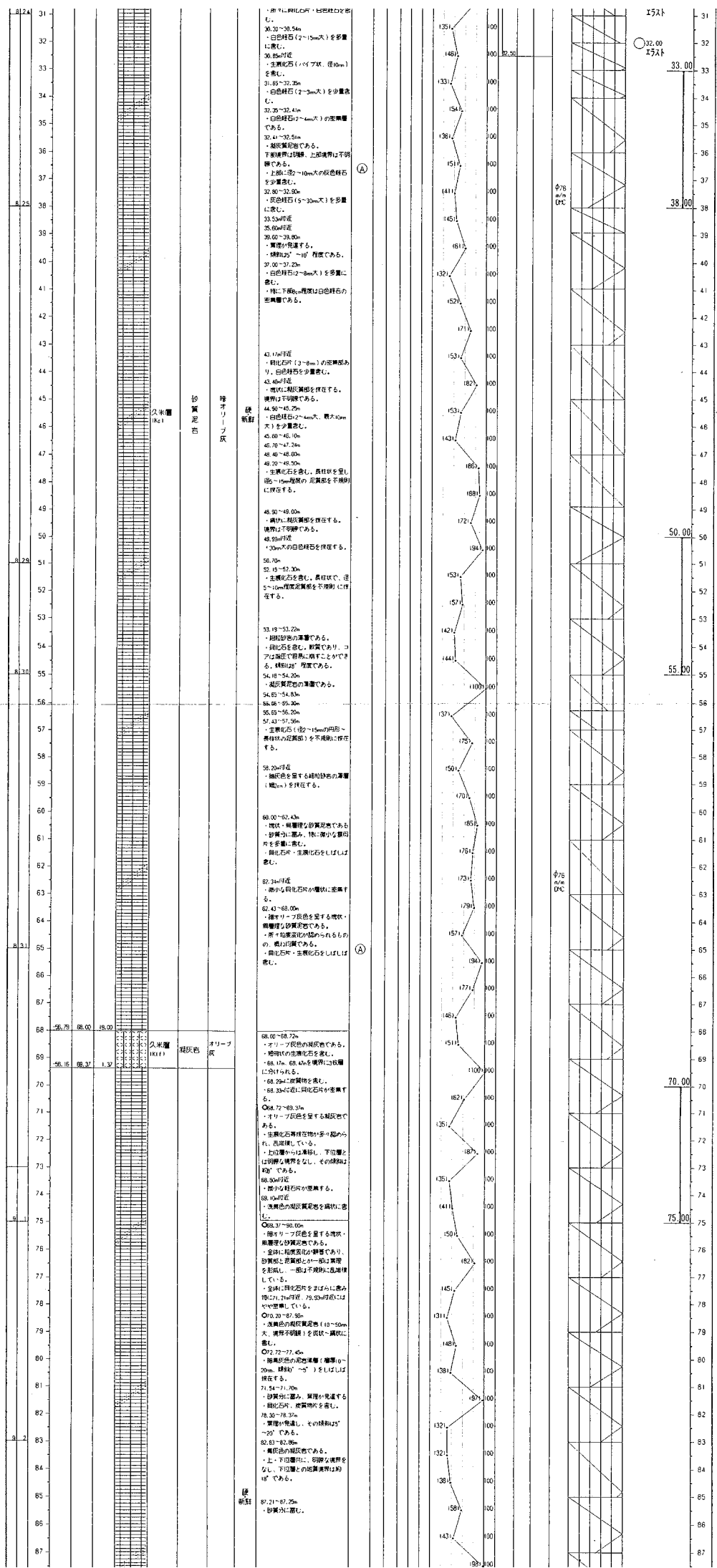
- C: ホーリングコア試験
- P: 標準貫入試験による試験
- O: ニュートン型サンプラーによる試験
- T: 固定ピストン式サンプラーによる試験
- T・T・S: トリプルチューブサンプラー

2. コアチューブ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチューブ・メタルラウン
- CMC: ダブルコアチューブ・メタルラウン
- ODD: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

3. 水位層試験・検層実施状況

- : 孔の水平取付試験
- : 静水圧測定
- ◇: PS検層 (傾いたき方式)
- ▽: PS検層 (サスペンション方式)
- △: 電気検層
- ⊥: キーリナー検層
- ⊥: 透水試験



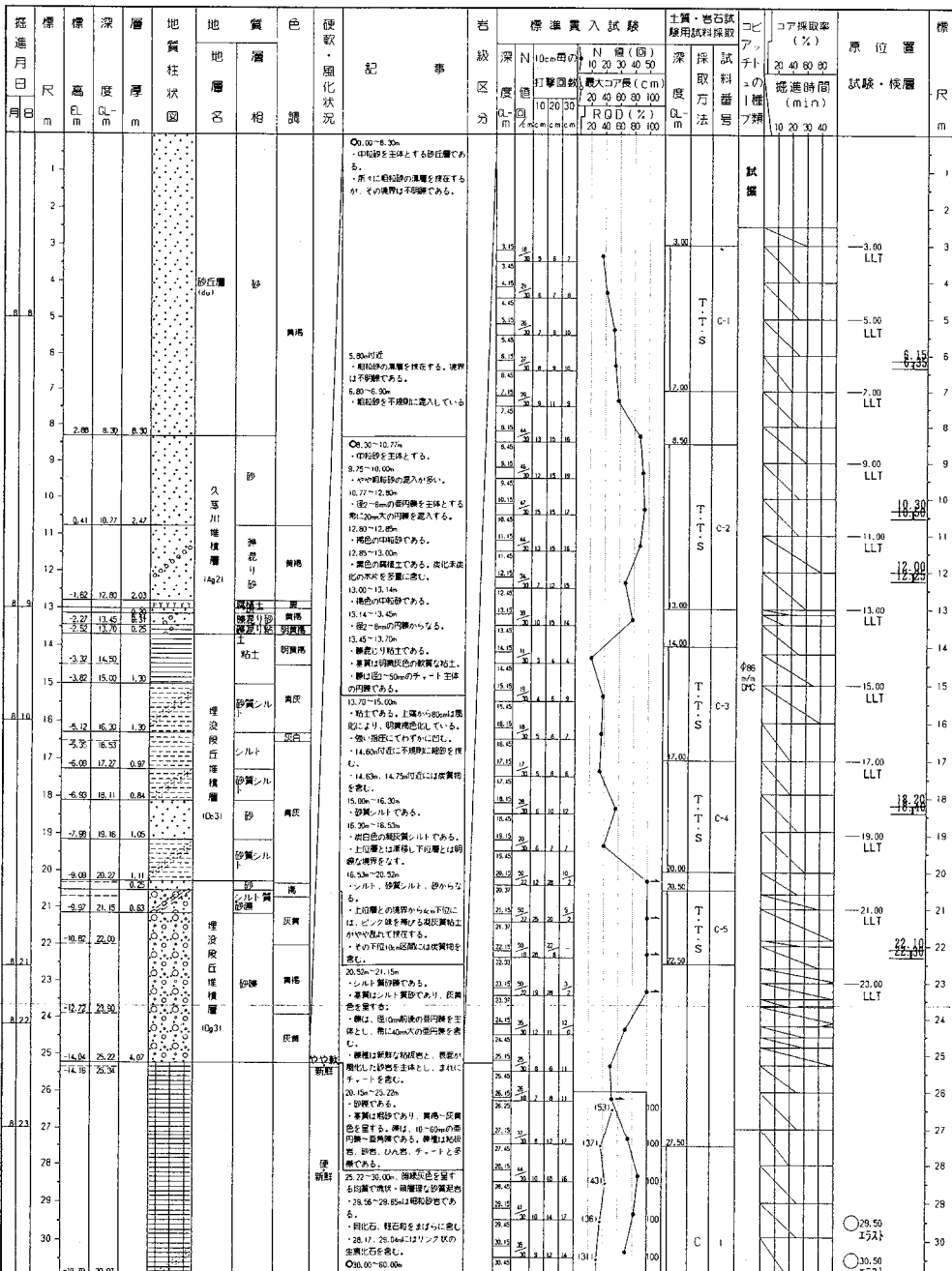
① 層上には砂質土・砂質土が認められる。
 30.50~30.54m
 ・白色砂石(2~15mm)を多量に含む。
 30.55m付近
 ・全質土(10~15mm)を多量に含む。
 31.45~32.25m
 ・白色砂石(2~3mm)を少量含む。
 32.25~32.41m
 ・白色砂石は4mm以下の定員層である。
 32.41~32.51m
 ・凝灰岩層である。
 下部境界は明確、上部境界は不明瞭である。
 ・上部に20~100mm程度の砂質土を少量含む。
 32.60~32.62m
 ・灰色砂石(5~10mm)を多量に含む。
 33.53m付近
 35.00m付近
 38.00~38.05m
 ・層理が発達する。
 ・砂質土の「10」程度である。
 37.00~37.25m
 ・白色砂石(2~3mm)を多量に含む。
 ・特に下部に凝灰土質の砂質土の混入層がある。
 43.10m付近
 ・凝灰土(2~3mm)の定員層あり、白色砂石を少量含む。
 43.40m付近
 ・凝灰土の混入層を伴う。境界は不明瞭である。
 44.50~44.75m
 ・白色砂石(2~4mm)を少量含む。
 45.60~46.10m
 46.70~47.25m
 48.20~48.50m
 ・全質土を多く含む。凝灰土を伴う。5~10mm程度の定員層を不明瞭に伴う。
 48.50~48.60m
 ・凝灰土の混入層を伴う。境界は不明瞭である。
 48.55m付近
 ・30mm程度の白色砂石を伴う。
 50.70m
 52.40~52.50m
 ・全質土を多く含む。凝灰土を伴う。5~10mm程度の定員層を不明瞭に伴う。
 53.10~53.22m
 ・凝灰土の混入層である。
 ・白色砂石を多く含む。砂質土であり、コアは固定で容易に取ることが出来る。砂質土の「10」程度である。
 54.45~54.70m
 ・凝灰土の混入層である。
 54.85~54.85m
 55.65~56.20m
 57.40~57.50m
 ・全質土(20~15mm)の定員層(凝灰土)を不明瞭に伴う。
 58.20m付近
 ・凝灰土を伴う。砂質土の混入(凝灰土)を伴う。
 60.00~62.43m
 ・凝灰土・凝灰土質の砂質土である。砂質土の混入、特に下部に凝灰土を多量に含む。
 ・凝灰土質・全質土を多く含む。
 62.43m付近
 ・凝灰土の混入層に凝灰土を伴う。
 62.43~63.00m
 ・凝灰土・凝灰土質の砂質土である。砂質土の混入層である。
 ・所々凝灰土の混入層があるものの、凝灰土層である。
 ・凝灰土質・全質土を多く含む。
 68.00~68.70m
 ・オリブ色の凝灰土である。凝灰土の混入層を伴う。
 ・68.10m、68.40mを境界に凝灰土に分けられる。
 ・68.20mに凝灰土を伴う。
 ・68.33mに凝灰土を伴う。
 68.72~69.37m
 ・オリブ色を呈する凝灰土である。
 ・全質土凝灰土層が認められる。凝灰土質である。
 ・上部層からは凝灰土、下部層からは砂質土を伴う。その境界は不明瞭である。
 69.37m付近
 ・凝灰土の混入層である。
 ・凝灰土の凝灰土層を凝灰土に含む。
 69.37~69.60m
 ・凝灰土・凝灰土質の砂質土である。凝灰土・凝灰土質の砂質土である。
 ・凝灰土・凝灰土質の砂質土であり、凝灰土と凝灰土質の境界は不明瞭に凝灰土している。
 ・凝灰土・凝灰土質の砂質土を伴う。凝灰土・凝灰土質の砂質土を伴う。凝灰土・凝灰土質の砂質土を伴う。凝灰土・凝灰土質の砂質土を伴う。
 69.60m付近
 ・凝灰土の凝灰土層(凝灰土の20mm、砂質土「5」)をしばしば伴う。
 71.54~71.70m
 ・凝灰土・凝灰土質の砂質土である。凝灰土・凝灰土質の砂質土を伴う。
 73.30~73.37m
 ・凝灰土を伴う。その凝灰土「5」程度である。
 73.37~73.45m
 ・凝灰土の凝灰土層である。
 ・上・下部層に、砂質土を伴う。上・下部層との境界は不明瞭である。
 77.21~77.25m
 ・凝灰土を伴う。

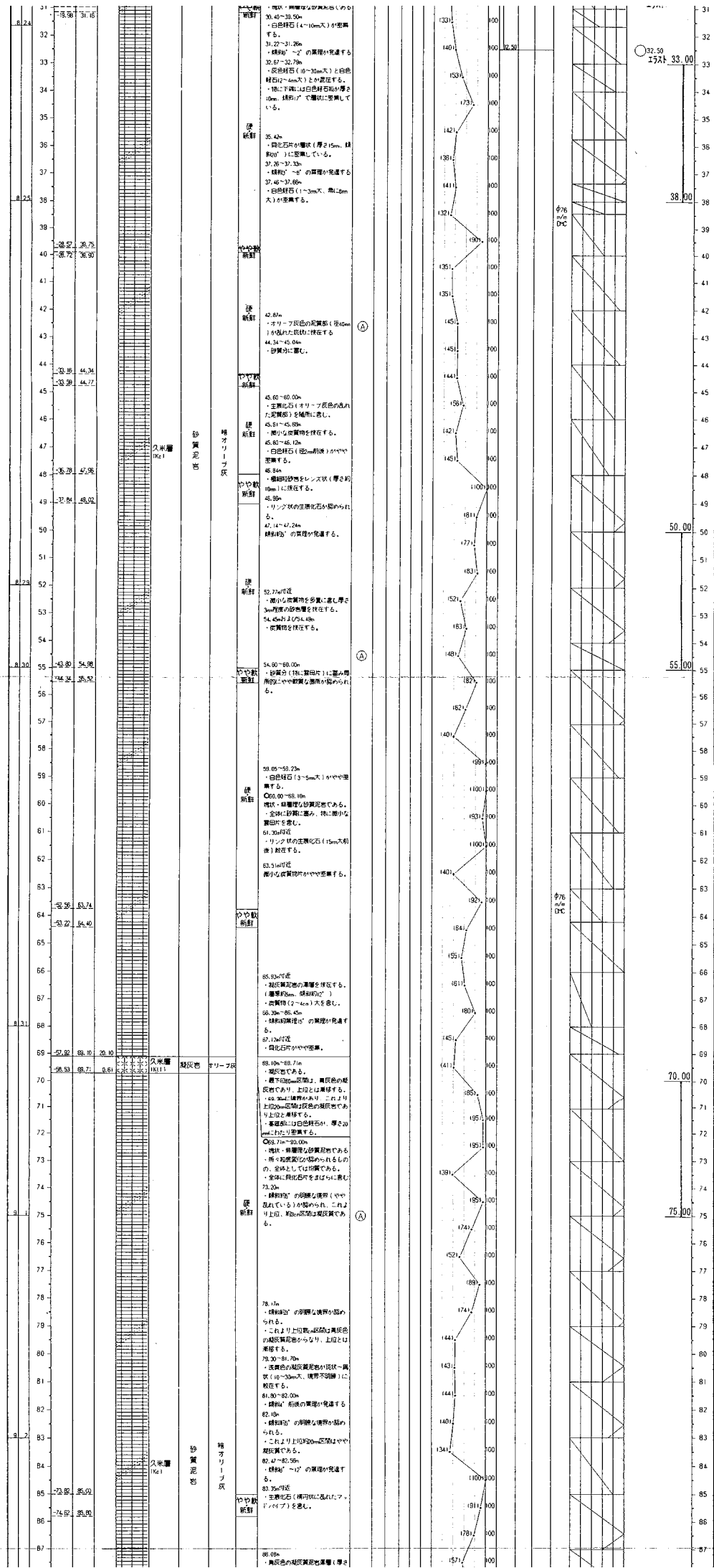
C ボーリング柱状図

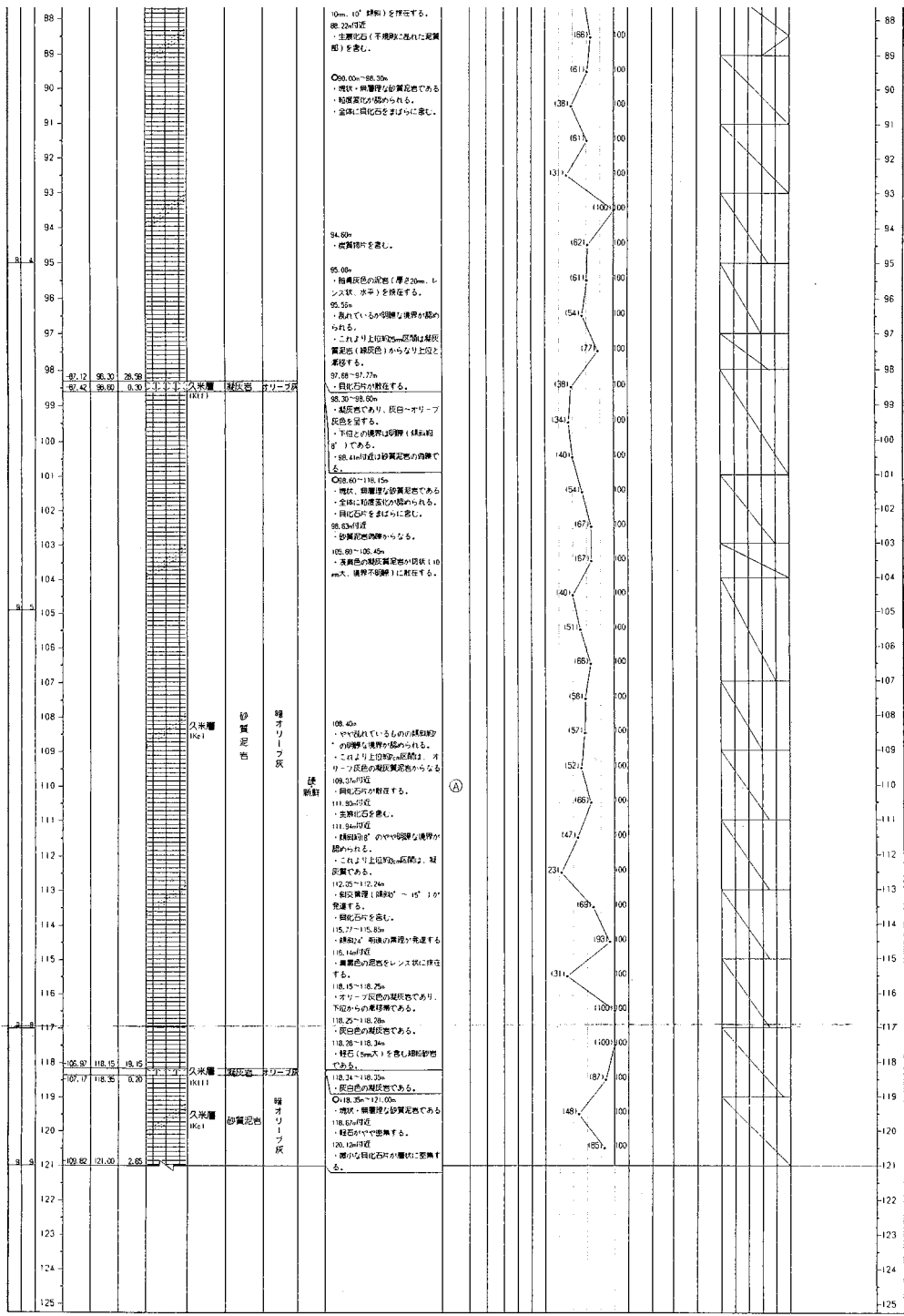
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査他
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1 孔口標高EL +11.18m
 調査期間 7年8月8日～7年9月9日 最終孔内水位QL - 9.10m (FL +2.08m)
 使用試験機 YS0-1 掘削深度 QL - 121.00m

主任技術者

コア観察者







(注) 1. 試料採取方法

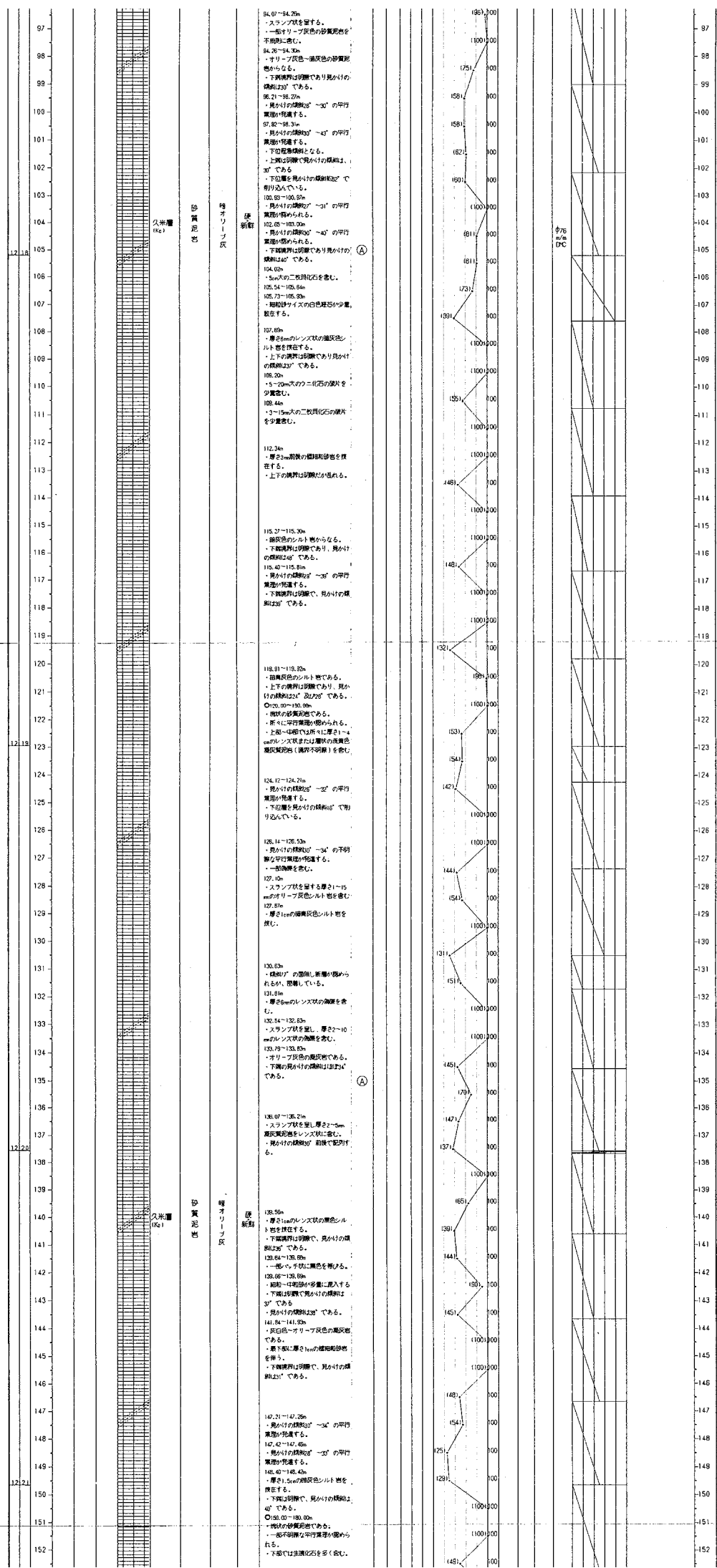
- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デニソン型サンプラーによる試料
- T: 固定ピストン式サンプラー・ホルサンプラーによる試料
- T・T・S: トリプルチューブサンプラー

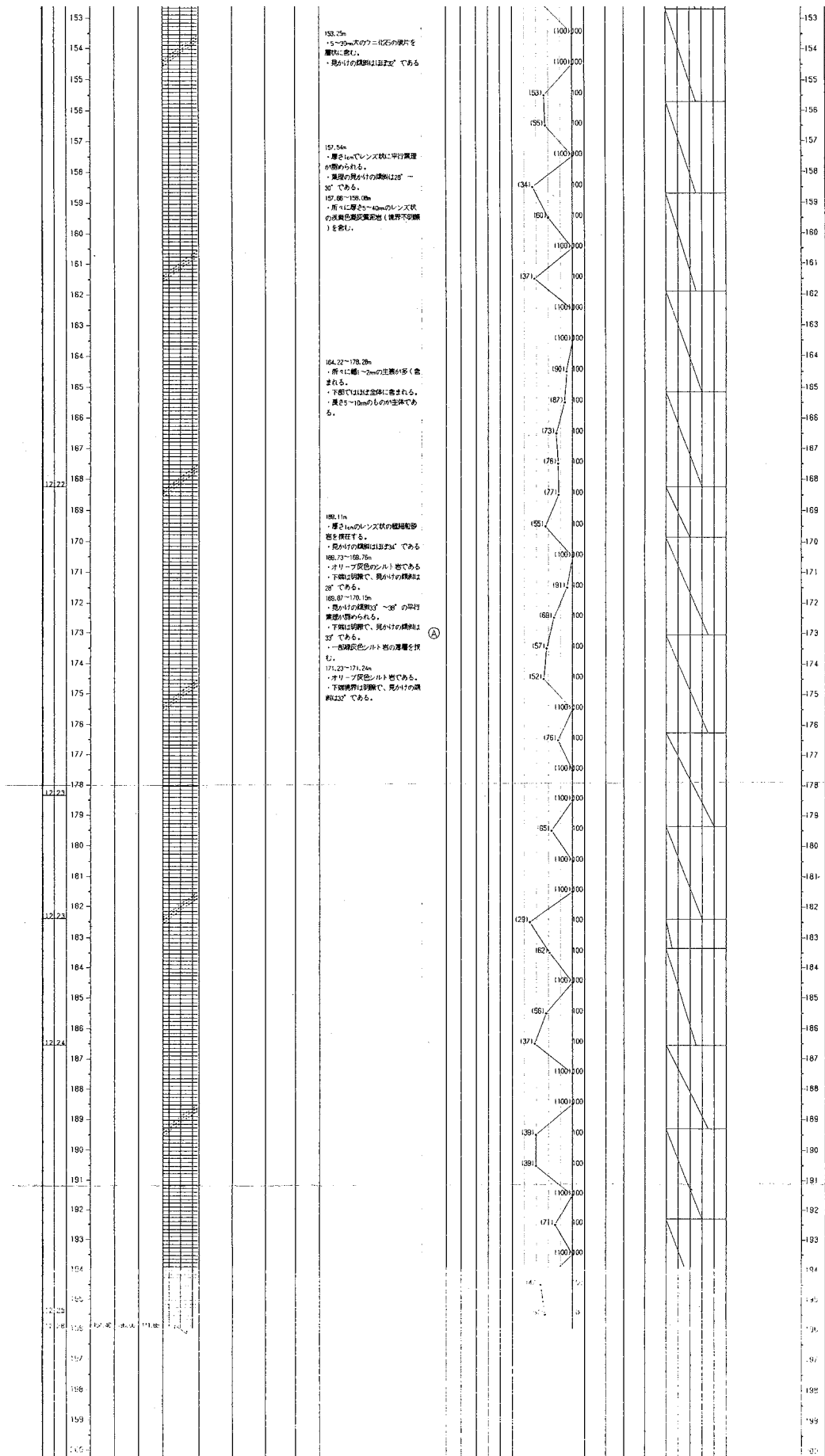
2. コアチューブ・ビットの種類

- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
- DDB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

3. 測定項目・検査実施状況

- : 孔内水平電極試験
- : 間隙水圧測定
- 目: PS検層 (板たたき方式)
- 目: PS検層 (サスペンション方式)
- >: 電流検層
- ! : 密度検層
- ⊖: キャリブレーション
- 工: 透水試験





153.25m
 ・5m程度のクニワケの層片を層間に含む。
 ・見かけの傾斜はほぼ23°である

157.56m
 ・層を以てレンズ状に平行葉理が認められる。
 ・見かけの傾斜は23° - 30°である。
 157.66 - 159.06m
 ・層を以て厚さ40cmのレンズ状の赤褐色炭質頁岩(境界不連続)を含む。

164.22 - 170.20m
 ・層を以て厚さ20cmの注意が多く含まれる。
 ・下部ではほぼ全体に含まれる。
 ・長さ5 - 10cmのものを主体である。

168.11m
 ・層を以てレンズ状の粗粒砂岩を構成する。
 ・見かけの傾斜はほぼ24°である
 168.73 - 169.75m
 ・オリーブ灰色のシルト岩である。
 ・下部は砂質で、見かけの傾斜は23°である。
 168.87 - 170.15m
 ・見かけの傾斜は23° - 30°の平行葉理が認められる。
 ・下部は砂質で、見かけの傾斜は23°である。
 ・赤褐色シルト岩の層理を含む。
 171.22 - 171.26m
 ・オリーブ灰色のシルト岩である。
 ・下部境界は砂質で、見かけの傾斜は23°である。

1. 地層構造の概観

2. 地層構造の詳細

3. 地層構造の断面図

① 地層構造の概観
 ② 地層構造の詳細
 ③ 地層構造の断面図

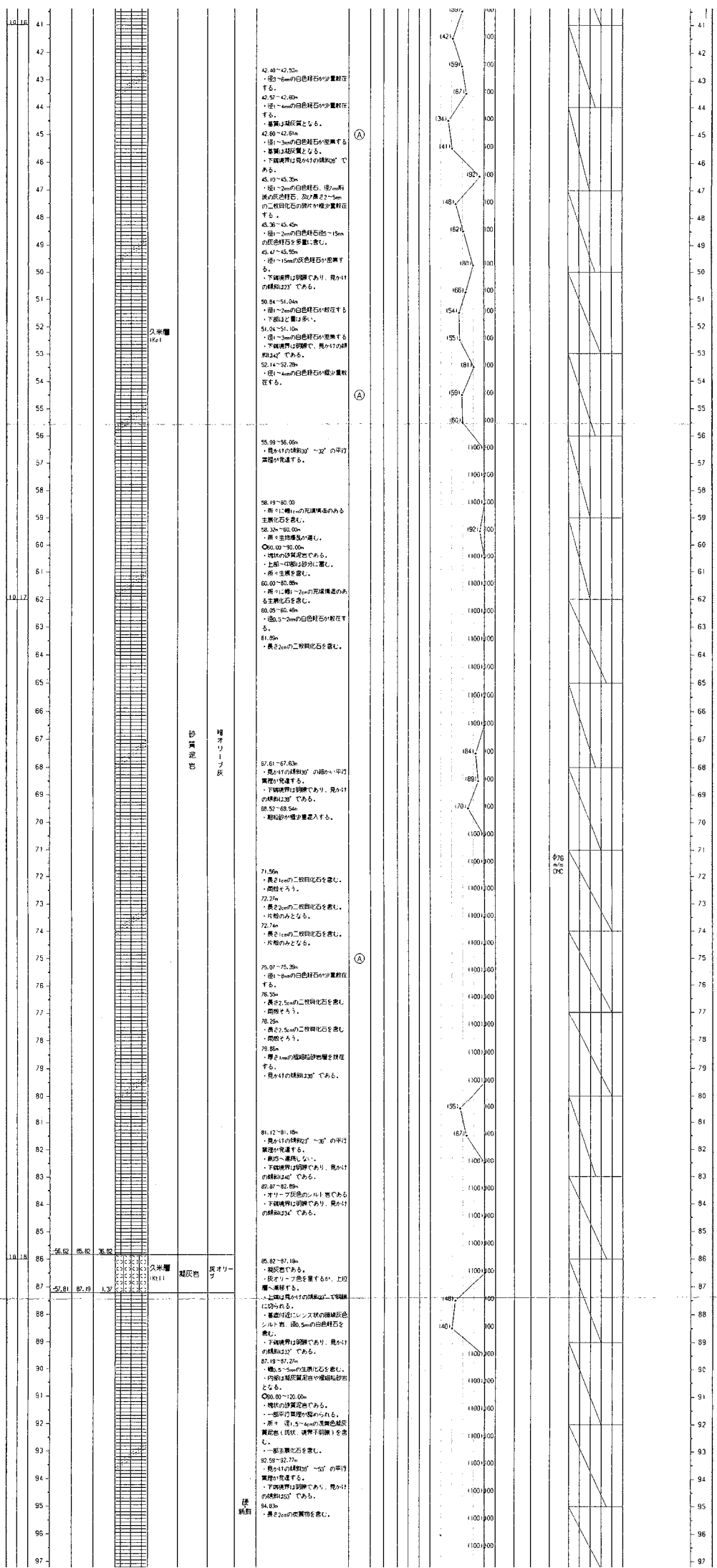
④ 地層構造の断面図
 ⑤ 地層構造の断面図
 ⑥ 地層構造の断面図

⑦ 地層構造の断面図
 ⑧ 地層構造の断面図
 ⑨ 地層構造の断面図

f 斜60° ボーリング柱状図

件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査 主任技師 菅野 浩
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白石1-1 孔口標高EL +17.70m
 調査期間 7年10月10日~7年10月21日 最終孔内水位 コア観察者
 使用試験機 D-2(東邦製) 切削深度QL 141.00m

冠 進 月 日	標 尺 m	標 高 EL m	深 度 QL m	層 厚 m	地 質 柱 状 図	地 層 名	質 相	色 調	硬 軟 ・ 風 化 状 況	記 事	岩 級 区 分	標準貫入試験				土質・岩石試験 用試料採取 深 度 QL m	コ ア チ ャ ク の 種 別	コア採取率 (%) 20 40 60 80 冠進時間 (min) 10 20 30 40	原 位 置 試 験 ・ 核 層	標 尺 m				
												深 度 QL m	N 10cm用 の 打 撃 回 数 10 20 30 2m用 の 打 撃 回 数 10 20 30 40 50	最大コア長 (cm) 20 40 60 80 100	ROD (%) 20 40 60 80 100									
		17.66	0.00	0.00		表土				0.00~0.05m - 表土である。														
8.28	1							オリブ色		0.05~1.42m - 塊状の等径の1~4mm~細粒砂 - 手掴みで採取できる。 - 下部の層(4g?)とは異なるのである。														
	2																							
	3																							
	4																							
	5																							
	6																							
10.10	7	11.29	7.40			砂丘層 16a1				7.40~9.20m - わずかにシルト分を含む。														
	8																							
	9	8.21	9.20																					
	10																							
	11																							
	12																							
	13																							
10.11	14																							
	15	4.35	15.42	15.37																				
	16									15.67~18.65m - 40~80μmのふる。 - 18.67~18.75m - 基礎層である。 - 久米層に由来する砂~50μmの - 粒径を多量に含む。シルトである。 - 上部は砂~200μmの粒径を - 24%である。 - 久米層との境界面は明確で - ないが、砂~200μmの粒径を - 含む。														
10.12	17	1.50	19.52	3.30		久米川 産層 16g21																		
	18																							
	19	1.30	18.26	0.74						18.76~20.00m - 堆積物の層である。 - 一部平行層理が認められる。 - (ほぼ)主軸にわたり、2mmの生 - 痕を多量に含む。 - 色は黄褐色の砂と黄褐色の泥 - 状土質を多量に含む。オリブ色と - 多くは類似し、オリブ褐色と - なる。 - 19.27~19.43m - 19.27~19.43mの久米層の砂を多量 - に含む。 - 基礎層の堆積物である。 - 手掴みで採取でき、粒径の明確 - はない。 - 20.00m - 厚さ1~2cmの塊状の堆積物砂を - 含む。 - 20.45~21.50m - 粒径の堆積物 "30" の平均 - 貫入が促進する。 - 堆積物の性質を重視して。 - 21.50~22.14m - 粒径の堆積物 "30" の平均 - 貫入が促進する。 - 22.14~22.71m - 粒径の堆積物 "44" の平均 - 貫入が促進する。 - 一部粒径100μmの久米層の砂 - の混入を含む。 - 一部平行層理の発達する堆積 - 砂となる。 - 22.71~23.00m - 堆積物の層である。 - 23.00~26.00m - 塊状の砂質泥である。 - 一部は砂質石を含む。 - 一部は泥質石を含む。 - 一部は泥質石を含む。 - 23.04~24.05m - 所々に、1cm程度の塊状の - ある堆積物が見られる。 - 24.05m - 厚さ4mmの二枚状石を含む。 - 24.05~25.27m - 25mmの粒径の砂質石の塊状 - を含む。 - 25.27~27.45m - 粒径の堆積物 "30" の平均 - 貫入が促進する。 - 上部は砂質泥となる。														
	20	0.30	20.00																					
	21	0.42	20.50																					
	22																							
	23																							
10.13	24																							
	25																							
	26																							
	27																							
	28																							
	29	2.45	28.71																					
10.14	30	2.25	30.92																					
	31																							
	32																							
	33																							
	34																							
	35																							
	36																							
	37																							
	38																							
	39																							
	40																							



42.40~42.50m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 42.52~42.60m
 ・厚1~4mmの白色結石が少量存在する。
 ・基質は硬質となる。
 42.60~42.65m
 ・厚1~3mmの白色結石が密集する。
 ・基質は硬質となる。
 ・下流側には見かけの傾斜が23°である。
 43.00~43.25m
 ・厚1~2mmの白色結石、厚2mm前後の灰色結石、及び厚2.7~3.5mmの二枚貝化石の残片が少量存在する。
 43.25~43.45m
 ・厚1~2mmの白色結石(厚1.5mmの灰色結石を多量に含む)。
 43.47~43.55m
 ・厚1~15mmの灰色結石が密集する。
 ・下流側には傾斜が23°である。
 43.55~43.65m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 43.65~43.75m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 43.75~43.85m
 ・厚1~3mmの白色結石が密集する。
 ・下流側には傾斜が23°である。
 43.85~43.95m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。

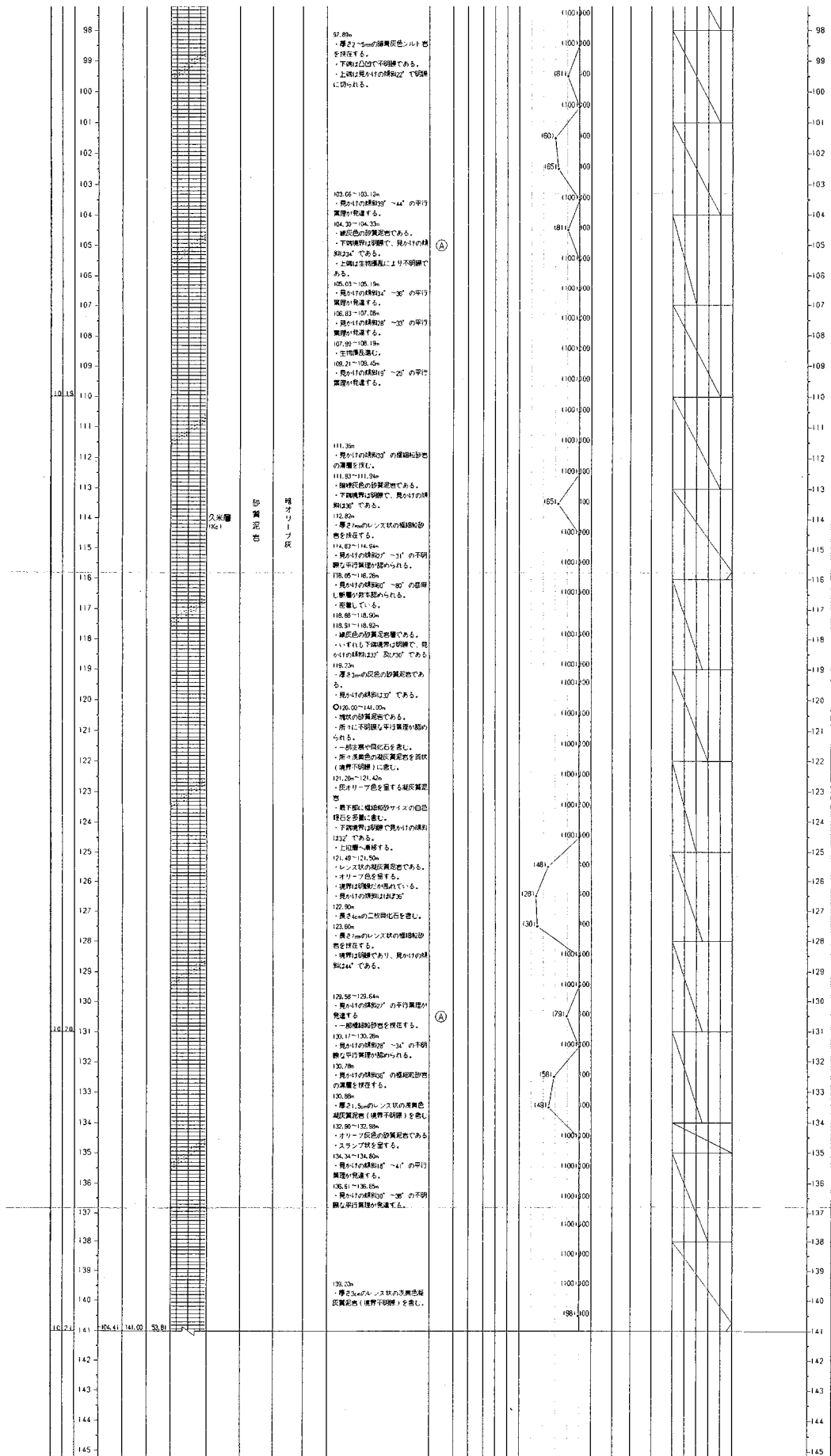
45.00~45.05m
 ・見かけの傾斜が23°の平均傾斜が現れる。
 45.10~45.20m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.20~45.30m
 ・厚1~3mmの白色結石が密集する。
 ・下流側には傾斜が23°である。
 45.30~45.40m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.40~45.50m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.50~45.60m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.60~45.70m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.70~45.80m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.80~45.90m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 45.90~46.00m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。

46.00~46.10m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.10~46.20m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.20~46.30m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.30~46.40m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.40~46.50m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.50~46.60m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.60~46.70m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.70~46.80m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.80~46.90m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 46.90~47.00m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。

47.00~47.10m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.10~47.20m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.20~47.30m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.30~47.40m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.40~47.50m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.50~47.60m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.60~47.70m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.70~47.80m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.80~47.90m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 47.90~48.00m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。

48.00~48.10m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.10~48.20m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.20~48.30m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.30~48.40m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.40~48.50m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.50~48.60m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.60~48.70m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.70~48.80m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.80~48.90m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 48.90~49.00m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。

49.00~49.10m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.10~49.20m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.20~49.30m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.30~49.40m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.40~49.50m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.50~49.60m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.60~49.70m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.70~49.80m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.80~49.90m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。
 49.90~50.00m
 ・厚1~2mmの白色結石が少量存在する。



(注) 1. 試料採取方法

- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デニソン型サンダーによる試料
- T: 固定ピストン式シフター・ソールサンダーによる試料

2. コアチューブ・ピストンの種類

- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
- DDB: ダブルコアチューブ・クイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・クイヤモンドビット

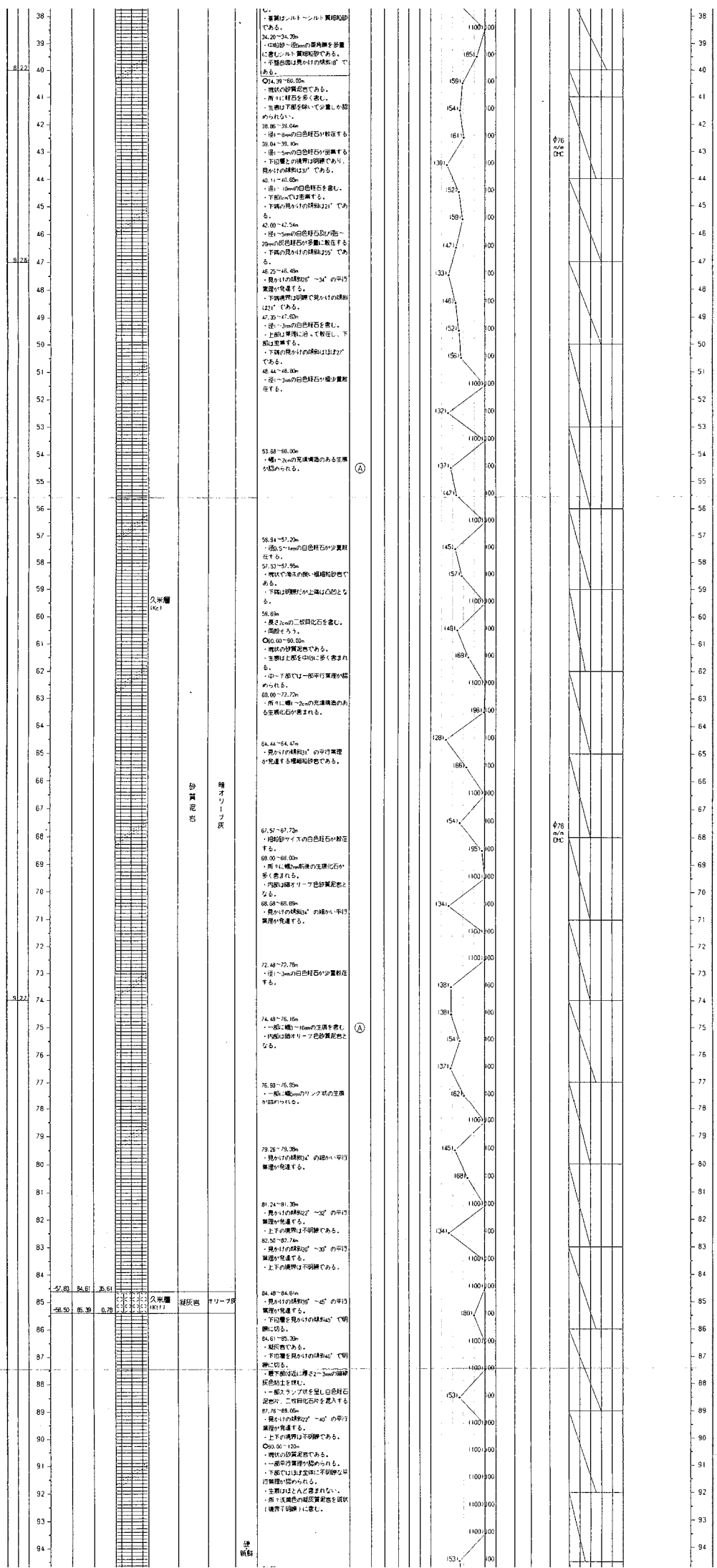
3. 原位置試験・検層実地状況

- : 孔内水平電位試験
- : 間隙水圧測定
- ◇: P-S検層 (板たき方式)
- ⊞: P-S検層 (サスペンション方式)
- S: 電気検層
- |: 密度検層
- : キュリウム検層

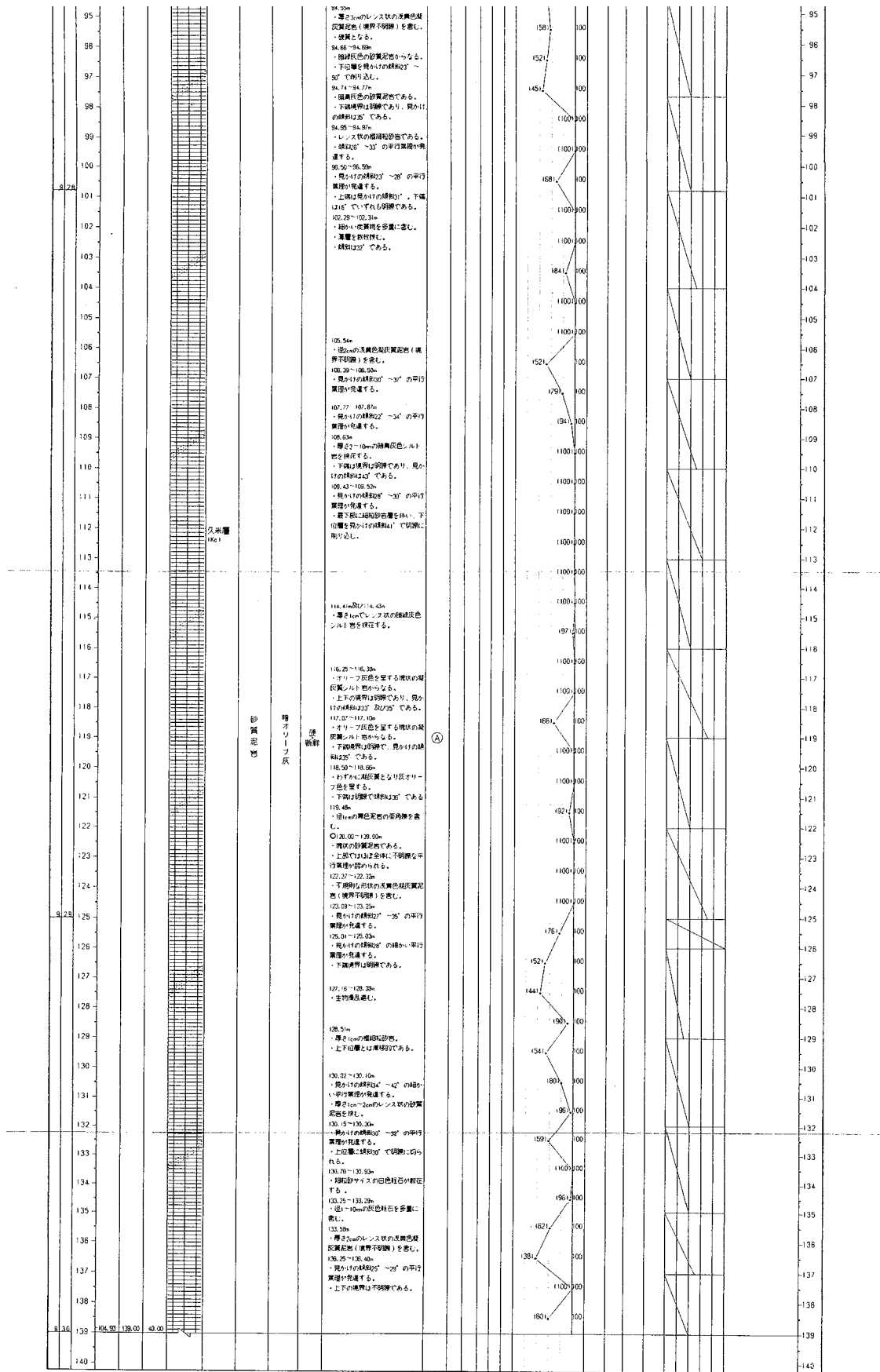
g 斜60° ボーリング柱状図

件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1 孔口標高EL +15.45m
 調査期間 7年8月3日~7年9月30日 最終孔内水位OL -17.40m (EL -1.95m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試錐機 D-2 (東邦製) 掘削深度OL -139.00m

標高 月日	標高 尺	深 度 OL-m	層 厚 m	地質 柱状 図	地層 名	色 調	硬軟・ 風化 状況	事 記	標準貫入試験				土質・岩石 試験 試料 採取 番号	コア 採取 率 (%)	原位置 試験・検層	標 尺 m
									深 度 OL-m	N 値 (回)	打撃回 数 最大 コア長 (cm)	ROD (%)				
7.26	15.32	0.15	0.15	表土				0.00~0.15m ・表土である。	実施せず					実施せず	1	
				砂	オリブ泥			0.15~14.25m ・堆積物の時→粘粒砂からなる。 ・褐色色。 ・下部層で厚薄が異なる。 ・下部層(Ag2)とは異質的である。	実施せず						2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	
8.3	3.04	14.33	14.18	久慈川 産 堆積層 (Ag2)	砂			14.33~18.53m ・砂→粘粒砂からなる。	実施せず						14 15 16 17 18	
8.5	0.82	18.53	4.20	砂	砂			18.53~21.48m ・(底)部層の厚角→円筒を巻く 粘粒砂である。 ・堆積物砂、泥炭、チャートを 主体とする。 21.28~21.31m ・(底)→1.5cmの厚角の層状に埋ま れる。 ・一部はmの厚角を成す。 21.48~24.37m ・堆積物のシルト質粘粒砂→粘粒 砂である。 ・上部粘粒砂が認められる。	実施せず						19 20 21 22 23	
8.8	0.66	24.37	1.96	埋没段 産 堆積層 (Gc3)	シルト質 砂	黄褐色		24.37~24.83m ・(底)部層の厚角である。 ・下部層との境界は不明だが、上 位層との境界は異質的で不明瞭と なる。 24.83~26.83m ・シルト質粘粒砂→粘粒砂である。 ・(底)部層に埋まるとなる。 26.83 ・厚さ3~10mmの明褐色火山灰 層がある。白砂となる。 26.83~28.50m ・灰質物が多く表す。 28.50~28.83m ・所々粘粒→粘粒砂となる。 ・一部厚角が認められる。 ・(底)部層の厚角22°~30°である。 28.83~30.00m ・(底)部層の厚角→円筒を少量 巻く。 ・堆積物砂を主体とし、少量の 泥炭粘粒砂を巻く。 ・厚角が不明瞭であり、一部シル ト質となる。 30.00~31.39m ・巻かれる粘粒砂物を主体とし 少量の泥炭、チャート、花崗岩、 凝結粘粒砂、長石や石英の粒子 を巻く。 31.39~32.20m ・(底)部層の厚角を巻くシルト 質粘粒砂である。 32.20~33.47m ・シルト質粘粒砂である。 33.47~34.20m ・(底)部層の厚角→円筒を巻 くシルト質粘粒砂である。 34.20~35.30m ・(底)部層の厚角を巻く。	実施せず						24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37	



52.83	84.61	84.61	久米層 (K1)	凝灰岩	ナリフ灰
56.50	85.39	0.78			



(注) 1. 試料採取方法

- C: ホーリングコア試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デンソム型サンプラーによる試料
- T: 固定ピストン式シリンダーサンプラーによる試料

2. コアチューブ・ビットの機構

- SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
- DOB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

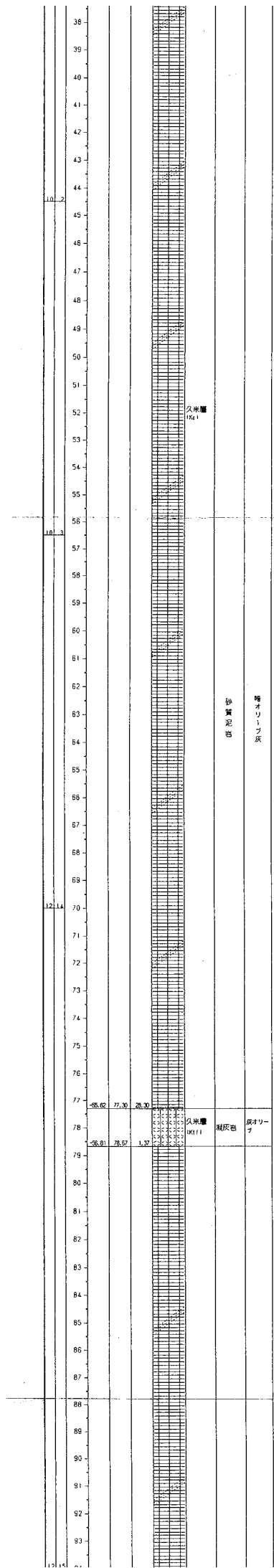
3. 原位量試験・特殊測定状況

- : 孔内水圧測定試験
- : 標準水圧測定
- ◇: P-S試験 (縦たき方式)
- ◎: P-S試験 (マスベンション方式)
- S: 電気検層
- I: 密度検層
- ⋮: キーラー検層

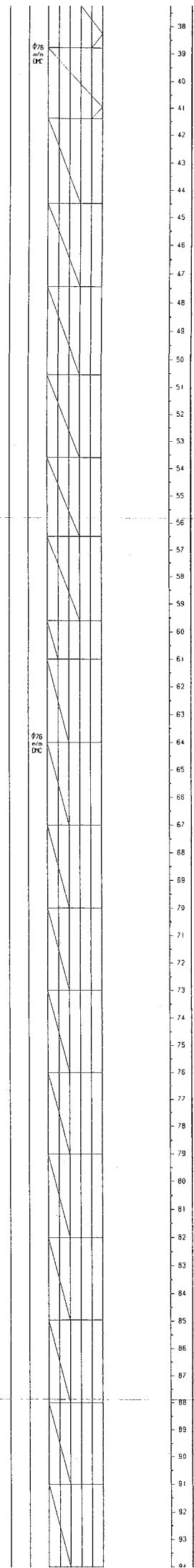
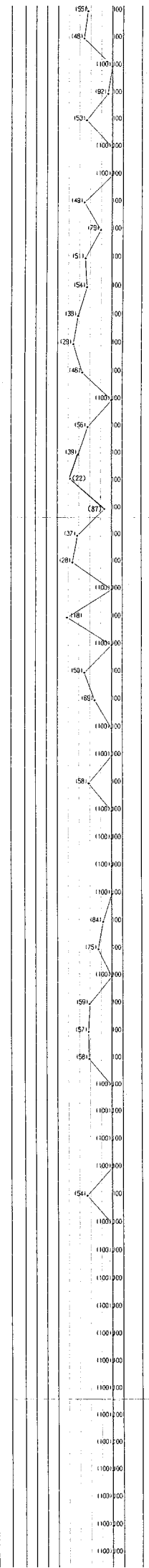
h 斜60° ボーリング柱状図

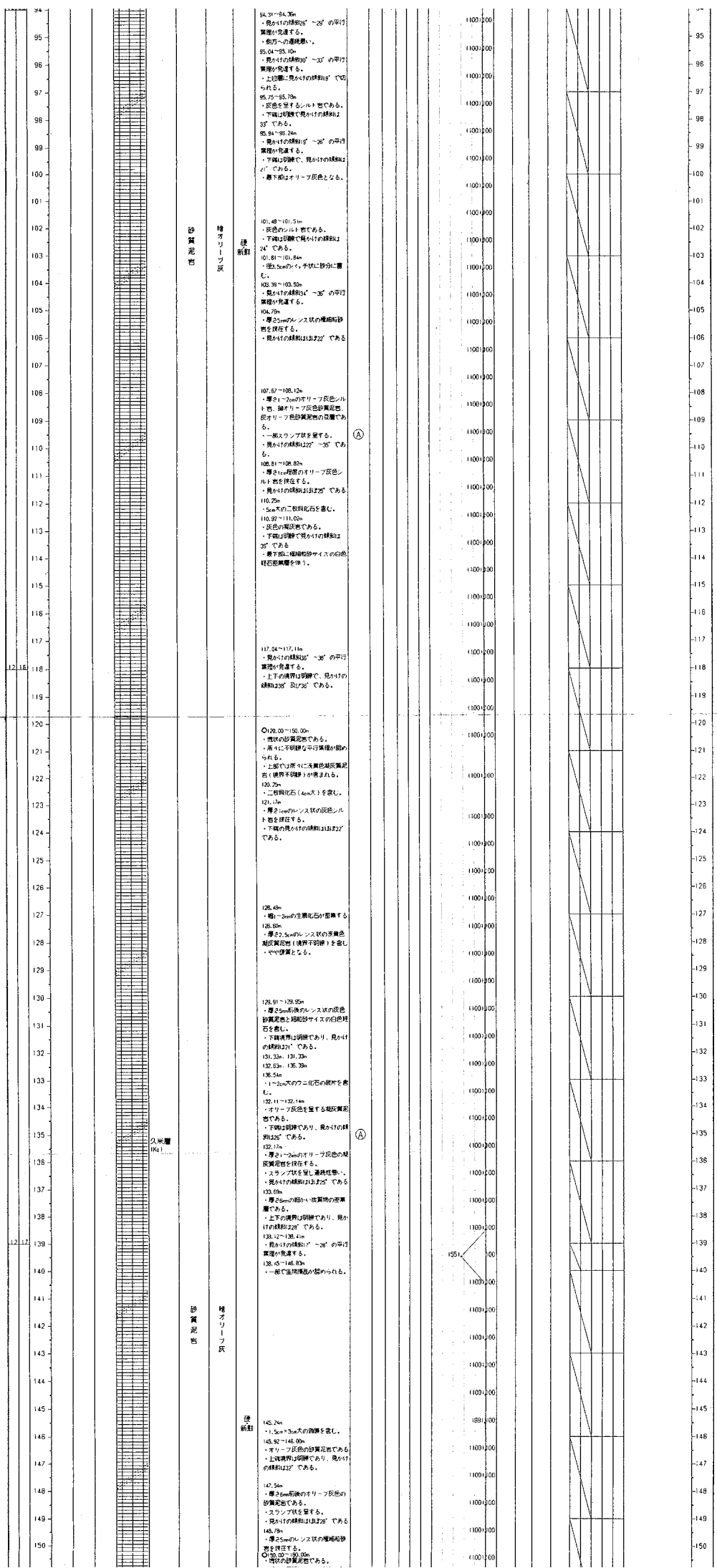
件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査
 主任技術者
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白万1-1 平成 孔口標高 $Q_L = +11.32m$
 調査期間 7年9月20日~7年12月20日 最終孔内水位 $Q_L = 10.80m$ (EL) $+0.52m$ コア観察者
 使用試錐機 L-28 (ロングイヤ製) 掘削深度 $Q_L = 192.00m$

標高 m	層厚 m	層名	地質 記号	色 調	硬軟・ 風化状況	備考	標準貫入試験				土質・岩石 試験用試料採取	コア採取 位置	原位置 試験・検層	標高 m
							深 度 m	N 値 回/30cm	最大 コア長 (cm)	J R O D (%)				
11.18	0.15	0.15	黄土		0.00~0.15m ・黄土、礫石を多く含む砂である。									
9.11			砂		0.15~0.30m ・濃色のよい塊状の中細砂からなる。 ・一部粘結が認められる。 ・一部シルトを含む。 ・下部層 (Ag2) とは、層砂層である。									
8.20			砂		0.30~14.40m ・中細砂からなる。									
8.21			久慈川 堆積層 (Ag2)		12.00~12.09m ・黄灰色を呈し、シルト質となる。									
8.22			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		14.40~14.80m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
15.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		14.80~14.99m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
18.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		14.99~18.00m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
20.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		18.00~18.19m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
21.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		18.19~18.59m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
22.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		18.59~20.00m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
23.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		20.00~21.54m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
24.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		21.54~22.00m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
25.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		22.00~22.53m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
26.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		22.53~24.83m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
27.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		24.83~25.24m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
28.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		25.24~25.85m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
29.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		25.85~30.00m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
30.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		30.00~30.70m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
31.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		30.70~30.98m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									
32.00			埋設 段丘 堆積層 (Og3)		30.98~31.00m ・埋設段丘の堆積物。硬さは 不均一である。 ・一部粘結が認められる。 ・硬質は砂質、チャートの主体である。 ・塊状となる。									



・凝灰岩を主とする層の地質的状態は不明瞭である。見かけの傾斜は23°である。
 33.38~33.55m
 ・厚さ10cmの白色粒石が散在する。
 33.55~33.60m
 ・厚さ10cmの白色粒石が散在する。
 ・上部傾斜を示す。
 33.60~33.64m
 ・厚さ2cmの白色粒石が少量散在する。
 35.53~35.67m
 ・厚さ10cmの白色粒石が散在する。下部は厚さが多い。
 35.67~35.70m
 ・厚さ5cmの灰色粒石が散在する。
 35.72~35.80m
 ・厚さ10cmの灰色粒石が散在する。
 41.46m
 ・厚さ2cmの二枚貝化石を含む。
 42.10~42.45m
 ・厚さ5cmの白色粒石を含む。下部には厚さが多く、近下部には厚い。
 ・下部境界は見かけの傾斜23°である。
 43.17m
 ・厚さ5cmの二枚貝化石を含む。
 43.38~43.57m
 ・厚さ3cmの白色粒石が少量散在する。
 45.78~45.94m
 ・傾斜23°~24°の不明瞭な平行層理が認められる。
 47.45m
 ・厚さ1cmの二枚貝化石を含む。
 48.84m
 ・厚さ1cmの白色粒石が少量散在する。
 50.05~50.22m
 ・所々に厚さ1~2cmの花崗岩のある生熟化石を含む。
 50.17m
 ・厚さ1cmの二枚貝化石を含む。
 50.71m
 ・厚さ3cmのレンズ状の淡黄色炭質泥岩(境界不明瞭)を含む。やや軟弱である。
 ・灰白色を呈する。
 51.35m
 ・厚さ1.5cmのレンズ状の細黒炭質泥岩。境界は不明瞭である。
 51.56~51.75m
 ・厚さ5~7cmの淡黄色炭質泥岩(境界不明瞭)が少量散在する。
 52.00~52.30m
 ・厚さ10cmの白色粒石が少量散在する。
 52.30m
 ・厚さ2cmの白色粒石が厚さ10cmのレンズ状に散在する。
 54.17m
 ・厚さ1cmの二枚貝化石を含む。
 54.38~54.45m
 54.32~54.55m
 ・上部の境界は炭質泥岩(境界不明瞭)を含む。
 60.00~75.00m
 ・地質的状態不明瞭である。
 ・上部は厚い。
 ・一部は平行層理が認められる。
 ・上部は厚さを多く含む。
 61.00~61.09m
 ・厚さ1.5cmの花崗岩のある生熟化石を多く含む。
 62.42~65.53m
 ・所々に厚さ1cmの生熟を多く含む。厚さ5cm前後のものが多い。
 62.88~63.12m
 ・見かけの傾斜23°~24°の平行層理が発達する。
 ・下部境界は不明瞭であり、見かけの傾斜は23°である。
 66.47m
 ・厚さ1cmの淡黄色炭質泥岩(境界不明瞭)を含む。やや軟弱となる。
 66.80~65.34m
 ・厚さ1.5cmの白色粒石が少量散在する。
 72.62~72.83m
 ・見かけの傾斜23°の平行層理が発達する。
 72.86m
 ・厚さ2cmのレンズ状の灰白色シルト岩を呈する。
 ・上下の境界は不明瞭で、見かけの傾斜は23°である。
 72.92~73.06m
 ・見かけの傾斜23°~24°の不明瞭な平行層理が認められる。
 74.43m
 ・厚さ1cmのレンズ状の細黒炭質泥岩を呈する。
 ・下部境界は不明瞭であり、見かけの傾斜は23°である。
 77.30~78.67m
 ・凝灰岩である。
 ・下部境界は見かけの傾斜は23°である。
 ・上部は厚さが不明瞭である。
 ・一部は傾斜23°~25°の白色粒石や二枚貝化石が散在する。
 ・一部は傾斜した炭質泥岩を呈する。
 78.76m
 ・厚さ1cmのレンズ状の細黒炭質泥岩を呈する。
 ・スランピングを呈する。
 ・見かけの傾斜は23°である。
 80.41~80.55m
 ・見かけの傾斜23°~24°の平行層理が発達する。
 82.89m
 ・厚さ1.5cmの灰色のシルト岩を呈する。
 ・見かけの傾斜は23°である。
 84.80~84.85m
 ・見かけの傾斜23°~24°の平行層理が発達する。
 89.05m
 ・厚さ1cmの炭質泥岩(シルト)岩を呈する。
 ・下部境界は不明瞭で、見かけの傾斜は23°である。
 89.05~89.15m
 ・スランピングを呈する。灰白色シルト岩からなる。
 90.00~100.00m
 ・地質的状態不明瞭である。
 ・所々に平行層理が認められる。
 ・一部は生熟化石を含む。
 ・所々に厚さ40cmのレンズ状または層状の淡黄色炭質泥岩(境界不明瞭)を含む。一部はやや軟弱となる。





種オリーブ灰

種オリーブ灰

94.31~94.35m
見かけの傾斜角 25° の平行
算理が成立する。
- 下部は明確で、見かけの傾斜角は
25° である。
95.04~95.10m
見かけの傾斜角 25° の平行
算理が成立する。
- 上部層に見かけの傾斜角 25° が
見られる。
95.75~95.78m
- 灰色を呈するシルト層である。
- 下部は明確で、見かけの傾斜角は
35° である。
95.96~95.98m
見かけの傾斜角 25° の平行
算理が成立する。
- 下部は明確で、見かけの傾斜角は
25° である。
- 最下部はオリーブ灰色となる。

101.48~101.51m
- 灰色のシルト層である。
- 下部は明確で、見かけの傾斜角は
25° である。
101.81~101.84m
- 厚さ 2mm のレンズ状の種オリーブ灰
を呈する。
- 見かけの傾斜角は 25° である。

103.00~103.02m
見かけの傾斜角 25° の平行
算理が成立する。
104.75m
- 厚さ 2mm のレンズ状の種オリーブ灰
を呈する。
- 見かけの傾斜角は 25° である。

107.57~108.12m
- 厚さ 1~2mm のオリーブ灰色シル
ト層。種オリーブ灰色砂質泥岩
層に埋没した種オリーブ灰色砂質泥岩
層である。
- 一部スランプ状を呈する。
- 見かけの傾斜角は 25° である。
108.81~108.83m
- 厚さ 1mm 程度のオリーブ灰色シル
ト層を挟む。
- 見かけの傾斜角は 25° である。

110.25m
- 5m 程度の二酸化炭素を産じ、
110.92~111.02m
- 灰色の泥岩層である。
- 下部は明確で、見かけの傾斜角は
35° である。
- 最下部に種オリーブ灰色の白色
柱石を産する。

117.04~117.11m
見かけの傾斜角 25° の平行
算理が成立する。
- 上下の境界は明確で、見かけの
傾斜角は 25° 及び 35° である。

120.00~120.02m
- 塊状の砂質泥岩である。
- 高々に不明瞭な平行算理が認め
られる。
- 上部は厚さ 4cm 程度の種オリーブ灰
層に埋没した種オリーブ灰砂質泥岩
層に埋没した種オリーブ灰砂質泥岩
層である。
120.25m
- 二酸化炭素 (4cm) を産じ、
121.17m
- 厚さ 2mm のレンズ状の種オリーブ灰
を呈する。
- 下部の見かけの傾斜角は 25°
である。

125.45m
- 厚さ 2mm の二酸化炭素を産する
125.65m
- 厚さ 2mm のレンズ状の種オリーブ灰
砂質泥岩 (塊状不明瞭) を産じ、
やや硬質となる。

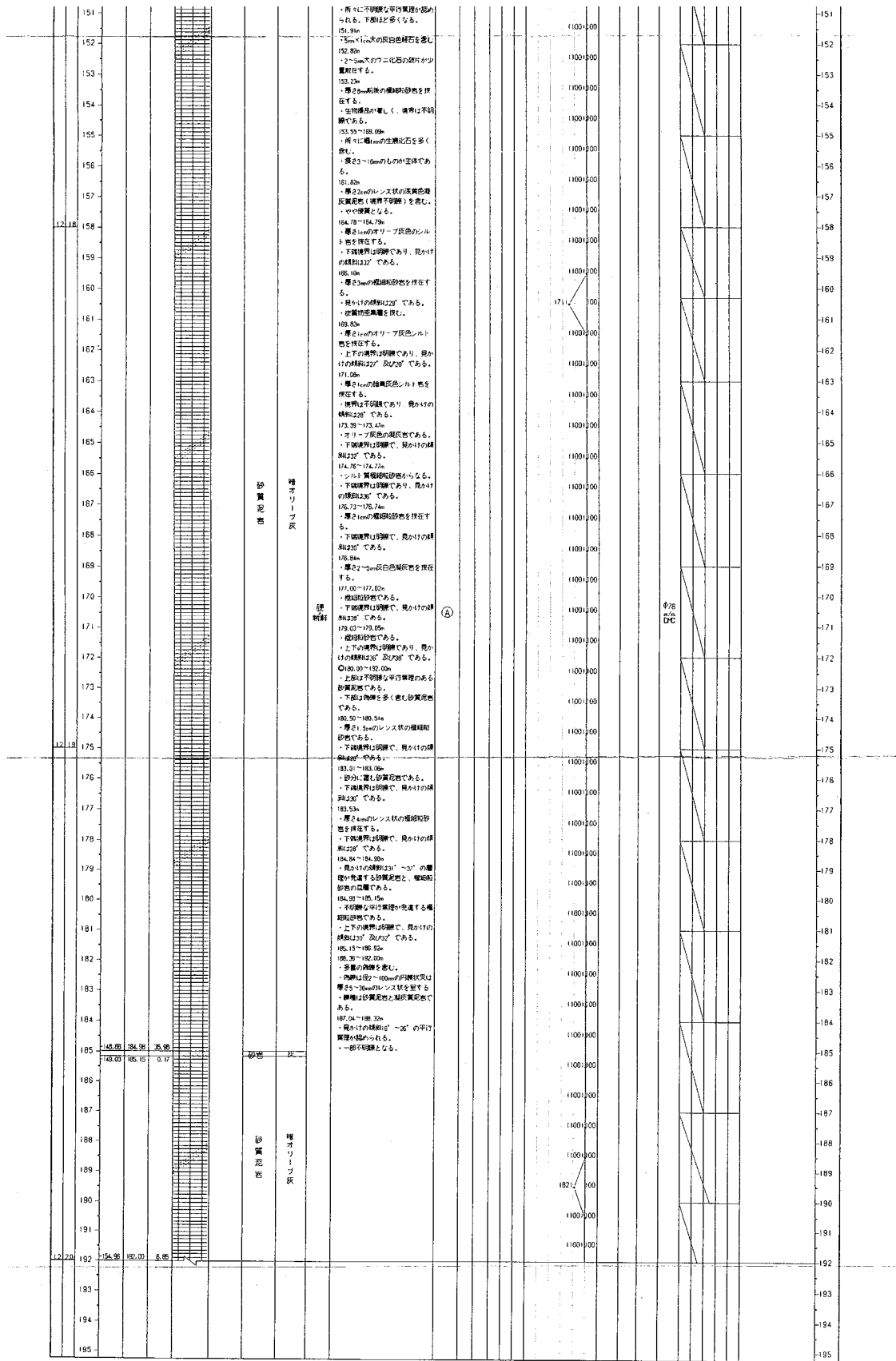
128.91~128.95m
- 厚さ 25mm 程度のレンズ状の種オリーブ灰
砂質泥岩と種オリーブ灰色の白色
柱石を産する。
- 下部境界は明確であり、見かけ
の傾斜角は 25° である。
131.33m、131.33m
132.63m、132.63m
- 1~2cm 程度の二酸化炭素を産
す。

132.41~132.44m
- オリーブ灰色を呈する種オリーブ灰
層である。
- 下部は明確であり、見かけの傾
斜角は 25° である。
132.75m
- 厚さ 2mm のオリーブ灰色の種
オリーブ灰砂質泥岩を産する。
- スランプ状を呈し、連続性あり。
- 見かけの傾斜角は 25° である
133.05m
- 厚さ 2mm の種オリーブ灰砂質泥岩
層である。
- 上下の境界は明確であり、見か
けの傾斜角は 25° である。
138.02~138.14m
見かけの傾斜角 25° の平行
算理が成立する。
138.45~140.83m
- 一部で生開裂が認められる。

142.24m
- 1.5cm 程度の二酸化炭素を産し、
143.92~144.00m
- オリーブ灰色の砂質泥岩である
- 上部境界は明確であり、見かけ
の傾斜角は 25° である。

147.54m
- 厚さ 2mm 程度のオリーブ灰色の
砂質泥岩である。
- スランプ状を呈する。
- 見かけの傾斜角は 25° である
148.75m
- 厚さ 2mm のレンズ状の種オリーブ灰
を産する。
149.00~149.02m
- 塊状の砂質泥岩である。

150.00~150.02m
- 塊状の砂質泥岩である。



(注) 1. 試料採取方法

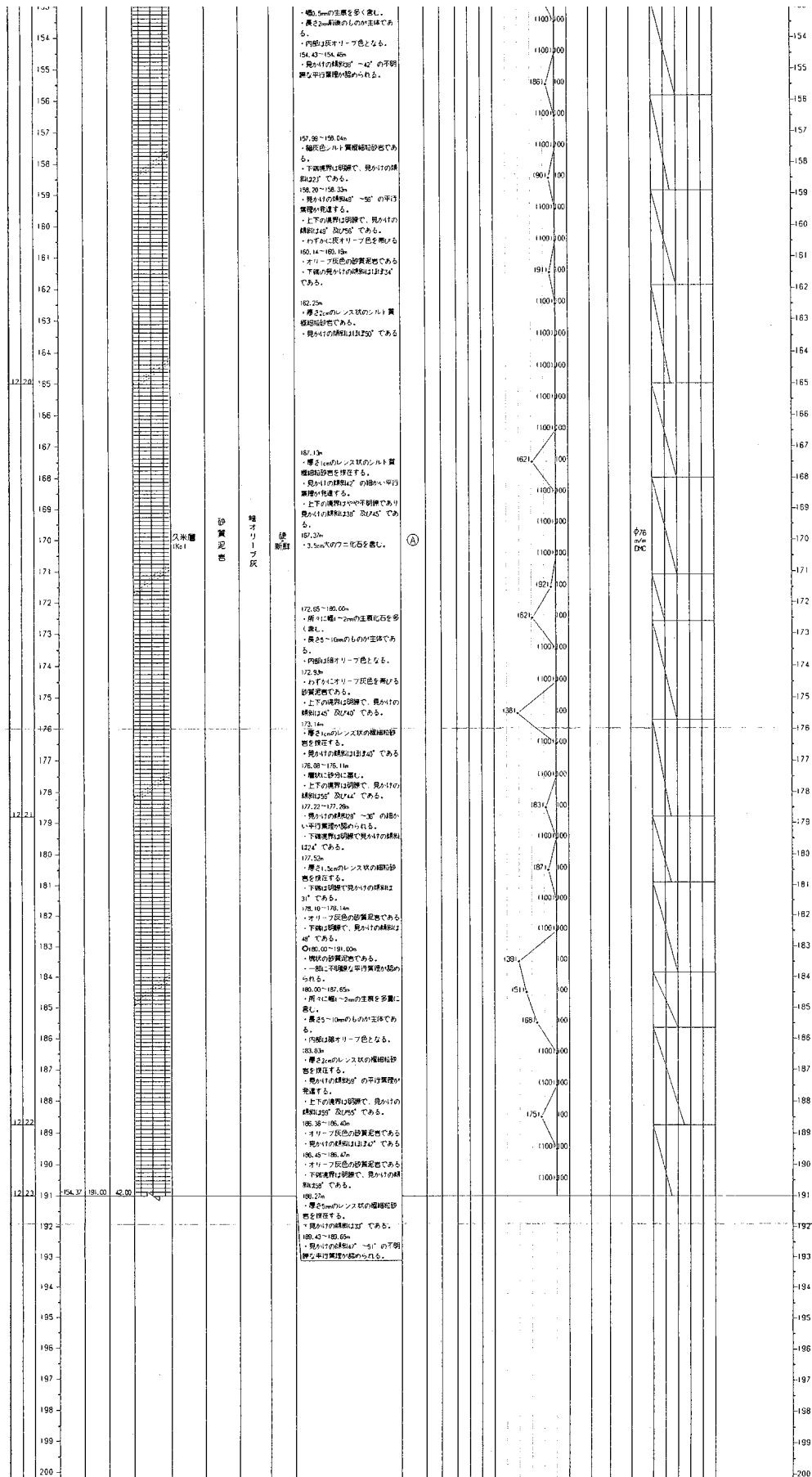
- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デニソン型サンダーによる試料
- T: 固定ピストン式サンダーによる試料

2. コアチップ・ピットの種類

- SMC: シングルコアチップ・メタルラウン
- BMC: ダブルコアチップ・メタルラウン
- GDB: ダブルコアチップ・ダイヤモンド
- TMC: トリプルコアチップ・メタルラウン
- TDB: トリプルコアチップ・ダイヤモンド

3. 原位置試験・検閲実施状況

- : 孔内水平載荷試験
- : 筒内水圧測定
- ◇: PS検閲(核たき方式)
- ◇: PS検閲(サセプション方式)
- △: 電気検閲
- ▽: 密度検閲
- ◇: キャリパー検閲



(注) 1. 試料採取方法

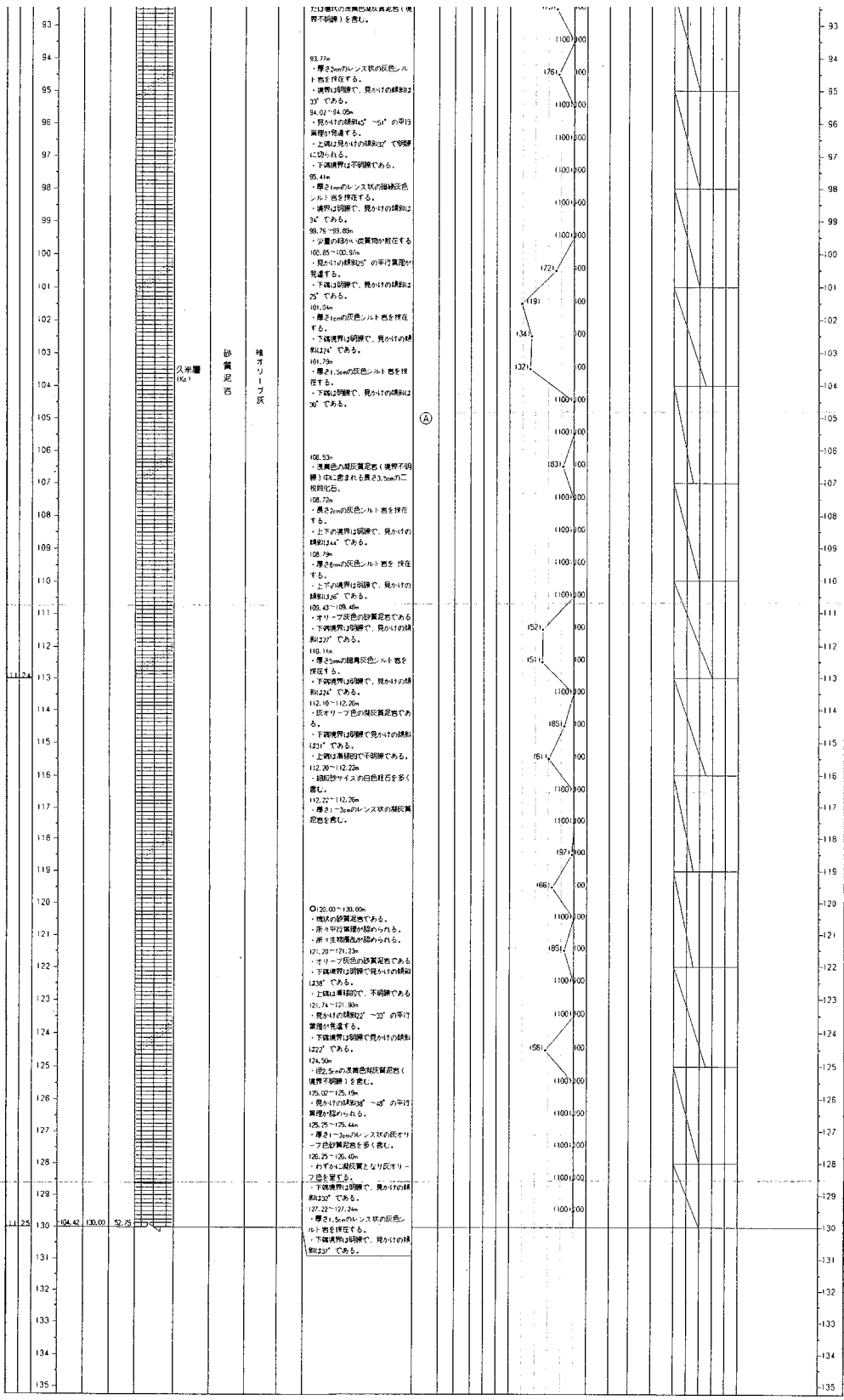
- C: ボーリングコア 試料
- P: 標準貫入試験による試料
- D: デニソン型サンダーによる試料
- T: 固定ピストン式サンダーによる試料

2. コアチューブ・ピットの種類

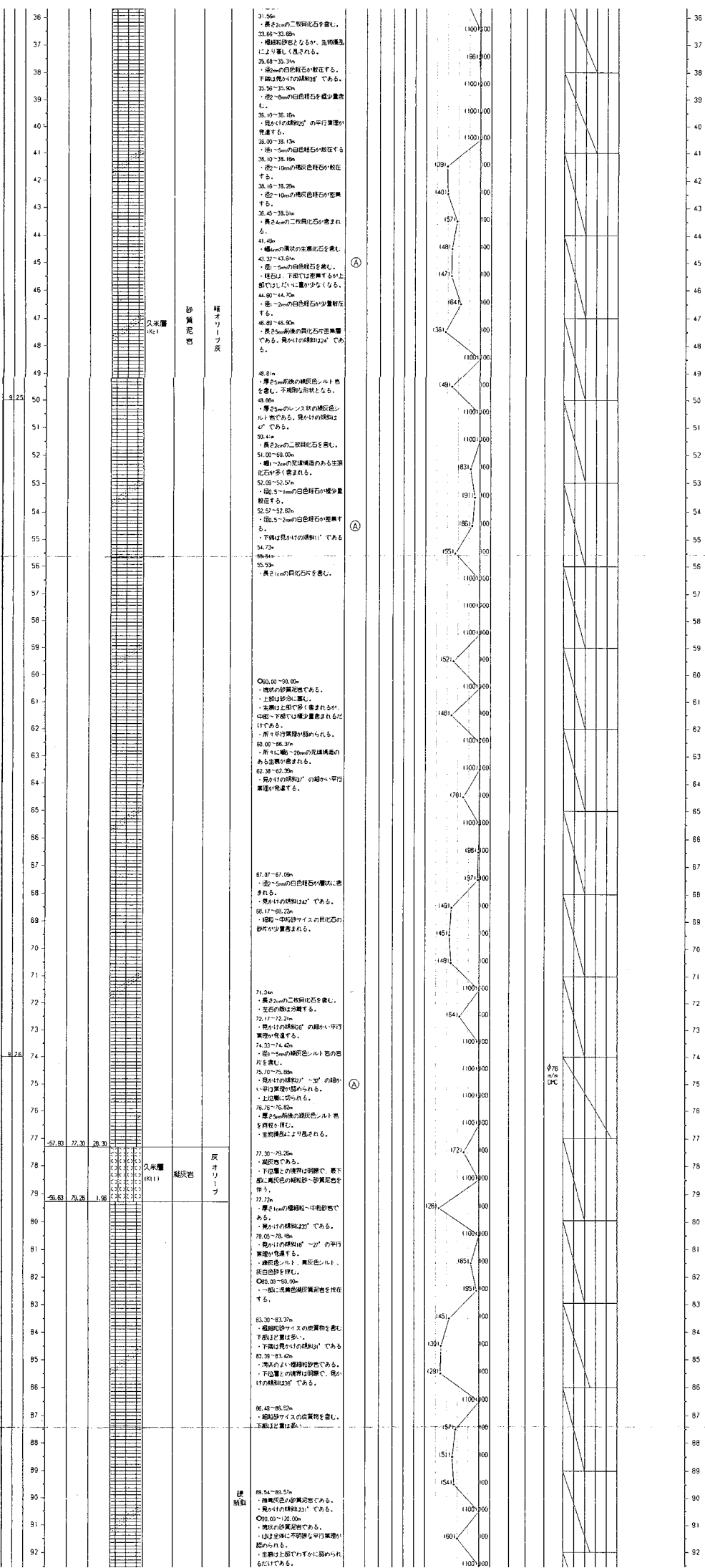
- SMC: シングルコアチューブ・メタルラウン
- DMC: ダブルコアチューブ・メタルラウン
- DOB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンドビット
- TMC: トリプルコアチューブ・メタルラウン
- TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

3. 原位量試験・特殊測定状況

- : 孔内水平地圧試験
- : 間隙水圧測定
- ⊖: PS 検層 (板たき方式)
- ⊕: PS 検層 (サブペンション方式)
- <: 電気検層
- ⋮: 密度検層
- ⋮: キュリウム検層



- (注) 1. 試料採取方法
 C: ホーリングコア試料
 P: 標準貫入試験による試料
 Q: テンションサンダーによる試料
 T: 空気ピストン式シフターによる試料
2. コアチューブ・ピットの種類
 SMC: シングルコアチューブ・メタルラウン
 DMC: ダブルコアチューブ・メタルラウン
 DOB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンド
 TMC: トリプルコアチューブ・メタルラウン
 TOB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンド
3. 原位置試験・検閲実施状況
 ○: 孔内水中電極試験
 □: 間隙水圧測定
 ◎: P波検層(傾いたき方式)
 ⊕: P波検層(ワスベンソン方式)
 △: 電流検層
 †: 密度検層
 ‡: キャリパー検層



久米層 (Kc)

砂質泥岩

灰オリーブ灰

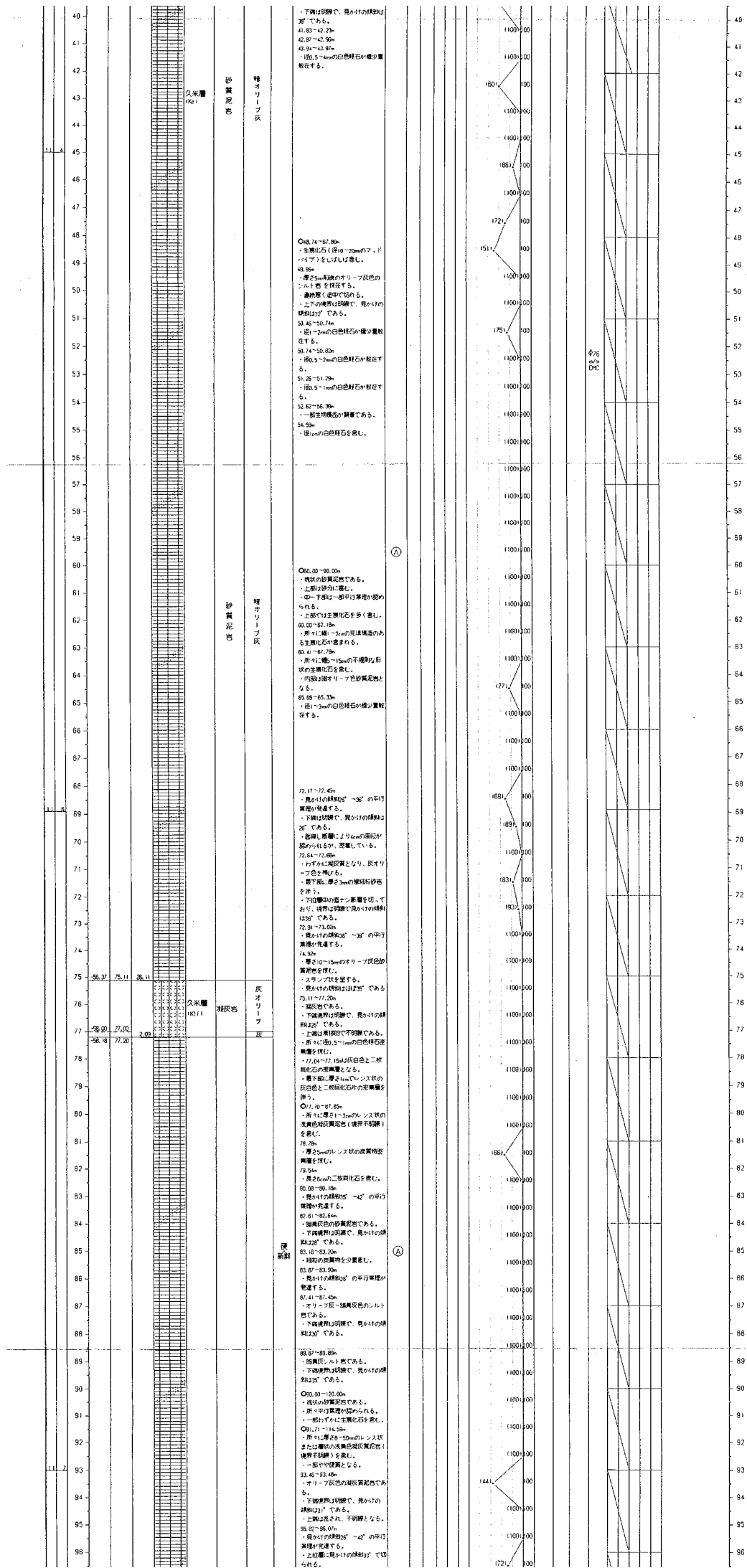
31.56
・長さ2.0mの二枚貝化石を産し、
33.66-33.69
・層状の砂岩であるが、生物構造
により強く見られる。
35.08-35.31m
・厚さ2mの白色砂岩が産する。
下部は厚さ1mの砂岩である。
35.35-35.82m
・厚さ2mの白色砂岩を産する。
35.19-35.19m
・厚さ1mの砂岩である。
35.30-35.13m
・厚さ1mの白色砂岩が産する。
35.10-35.13m
・厚さ1mの砂岩が産する。
35.15-35.25m
・厚さ1mの砂岩が産する。
35.45-35.51m
・長さ2mの二枚貝化石を産する。
41.49m
・厚さ1mの砂岩を産し、
43.32-43.81m
・厚さ1mの砂岩を産し、
・下部では厚さ1mの砂岩が上部
部で減少し、下部は厚さ1mの砂岩が
産する。
44.80-44.75m
・厚さ1mの白色砂岩が産する。
46.88-46.88m
・長さ5mの砂岩の砂岩である。
48.81m
・厚さ1mの砂岩を産し、
48.81m
・厚さ1mの砂岩を産し、
50.44m
・長さ2mの二枚貝化石を産し、
51.00-51.00m
・厚さ1mの砂岩を産する。
52.09-52.50m
・厚さ1mの白色砂岩が産する。
52.57-52.57m
・厚さ1mの白色砂岩が産する。
54.73m
55.53m
・長さ1mの砂岩を産し、
57.00-59.00m
・厚さ1mの砂岩である。
・上部は厚さ1mの砂岩である。
・下部は厚さ1mの砂岩である。
60.00-60.00m
・厚さ1mの砂岩を産する。
62.38-62.38m
・厚さ1mの砂岩を産する。
71.34m
・長さ2.0mの二枚貝化石を産し、
72.17-72.20m
・厚さ1mの砂岩を産する。
74.33-74.40m
・厚さ1mの砂岩を産する。
75.70-75.89m
・厚さ1mの砂岩を産する。
76.75-76.80m
・厚さ1mの砂岩を産する。
77.30-78.25m
・厚さ1mの砂岩を産する。
78.05-78.15m
・厚さ1mの砂岩を産する。
83.30-83.30m
・厚さ1mの砂岩を産する。
83.39-83.40m
・厚さ1mの砂岩を産する。
86.48-86.52m
・厚さ1mの砂岩を産する。
88.54-88.57m
・厚さ1mの砂岩を産する。
89.00-89.00m
・厚さ1mの砂岩を産する。

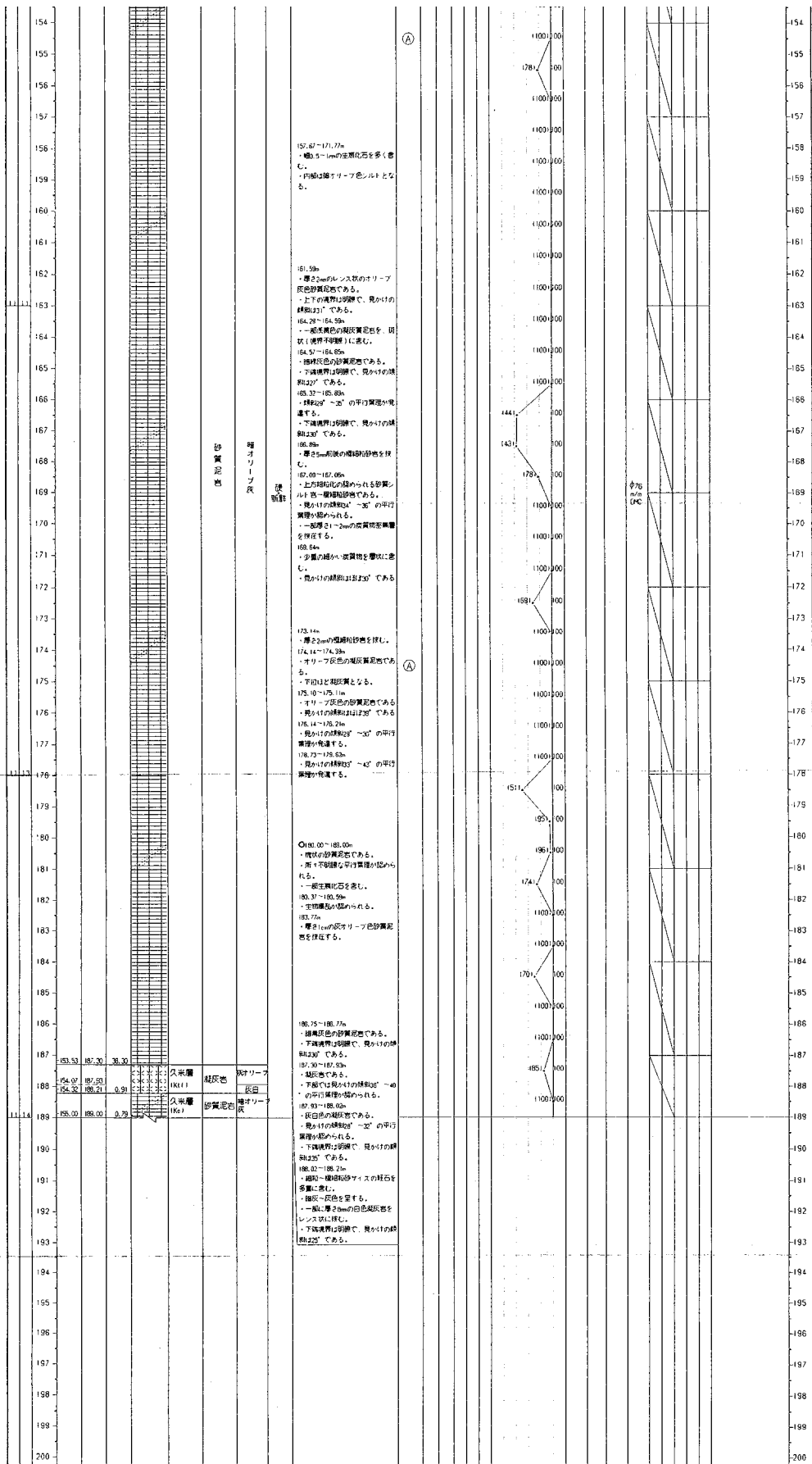
砂岩

1 斜60° ボーリング柱状図

件名 名 東通第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査 主任技術者
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1 孔口標高 EL +8.68m
 調査期間 7年11月1日~7年11月14日 最終孔内水位 EL -7.10m REL +1.58m コア観察者
 使用試錐機 L-24(ロングイヤー製) 掘削深度 EL -169.00m

標高 尺 m	標高 尺 m	深 度 尺 m	層 厚 尺 m	地質 柱状 図	地層 名	色 調	硬 軟・ 風化 状 況	事 記	標準貫入試験				土質・岩石試 験用試料採取 深 度 尺 m	採取 方法	コア 採取 深 度 尺 m	コア採取率 (%)	原位置 試験・検層	標 尺 m			
									深 度 尺 m	N 値 回 分	打撃回 数	最大コア長 (cm)									
10.25								0.00~6.50m ・地中で最大の塊・塊状~中粒砂 かつする。 ・下層(4g2)とは連続的である。													
11.1								6.50~7.50m ・中~粗粒からなる。 7.50~8.30m ・色:5mmの円錐を少量含む粗粒 ~中粒砂である。 ・礫層(4g2)・砂岩、泥岩で ある。 ・全粒に海産物あり。													
11.2								8.30~10.70m ・地中で最大の塊・中粒砂である ・2mm以下の不整合面は明確で、 見かけの傾斜は3°である。													
11.3								10.70~18.00m ・O10.74~18.00m ・塊状の砂質泥岩である。 ・全粒に砂中に露し。 ・一部は礫層が認められる。 10.74~12.61m ・ほぼ全粒に黒~2mmの土質が多 く含まれる。 ・内面は緑オリーブ色の砂質泥岩 となる。 10.74~10.80m ・礫層(4g2)・オリーブ泥岩を露 す。													
16.77								16.77~18.25m ・径:6mmの白色粒石を少量露 す。 17.30m ・径2mmの白色粒石を露す。													
18.90								18.90~20.30m ・塊状の砂質泥岩で、3°の平行 層理が発達する。 ・下層は砂層で、見かけの傾斜は 3°である。 20.40~20.70m ・オリーブ色の泥質泥岩である。 ・下層は砂層に砂が混入する。 ・上層層へ移行し、地質は不明 である。 20.70~21.40m ・所々に5mm以下の二枚貝化石や ワニ化石を露す。 22.40m ・長さ5mmの二枚貝化石が露す。 23.20m、23.75m~23.80m、24.30m ・塊状のシルト(4~10mm)を 露す。 24.50m~24.85m ・径:1~5mmの塊状色粒石が少量 露す。 24.90m ・長さ2.5mmの二枚貝化石を露 す。													
26.74								26.74m ・長さ4mmの二枚貝化石を露す。													
28.10								28.10~30.00m ・塊状の砂質泥岩である。 ・下層は砂中に露し。 ・一部は粒石を露す。 ・所々に空層を露し、下層では多 く露す。 ・見かけの傾斜はほぼ3°である 30.40~32.67m ・径:1~6mmの白色粒石が少量露 す。 30.78~33.80m ・径:1~5mmの白色粒石が露す る。 ・上方層理を示す。 ・下層の見かけの傾斜はほぼ3° である。 36.45~38.61m ・径:1~5mmの白色粒石と径1~ 15mmの灰色粒石を露す。 ・38.45m以下は多量に露し。 ・礫層(4g2)層でやや塊状とな る。 ・下層は砂層で、見かけの傾斜は 3°である。 40.70m ・長さ4mmの二枚貝化石を露す。 41.77~41.85m ・径:5~4mmの白色粒石が露す る。													





(注) 1. 試料採取方法
 C: ホーリングコア試料
 P: 標準貫入試験による試料
 Q: デュレーショングラブによる試料
 T: 固定ピストン式シリンダーサンプリングによる試料

2. コアチューブ・ビットの種類
 SMC: シングルコアチューブ・メタルクラウン
 DMC: ダブルコアチューブ・メタルクラウン
 DDB: ダブルコアチューブ・ダイヤモンドビット
 FMC: トリプルコアチューブ・メタルクラウン
 TDB: トリプルコアチューブ・ダイヤモンドビット

3. 原位置試験・特殊試験状況
 ○: 孔内水圧測定
 □: 簡易水圧測定
 ◇: PS試験(仮たたき方式)
 △: PS試験(サスペンション方式)
 ☆: 電気試験
 | : 密度試験
 : : キーリナー検査

ボーリング柱状図

件名 東海第二発電所使用済燃料貯蔵設備設置に係るボーリング調査地 主任技術者 XXXXXXXXXX
 調査地 茨城県那珂郡東海村大字白方1-1 孔口標高EL +8.09 m
 平成
 調査期間 7年6月26日~7年7月6日 最終孔内水位GL -2.80 m (EL +5.29 m) コア観察者 XXXXXXXXXX
 使用試錐機 YBMQ5D 掘削深度GL -28.00 m

掘進 月日	標高 m	深度 m	層厚 m	地質柱状 図	地層 名	質 相	色 調	硬 軟・ 風化 状況	岩 級 区 分	標準貫入試験				土質・岩石試 験用試料採取		コア 採取 位置 (m)	コア 採取 時間 (min)	原位置 試験・検 査	標 尺 m	
										深 度 m	N 値 10cm毎の 打撃回数	N 値(回) 10 20 30 40 50		深 度 m	採 取 方 法					試 料 番 号
7.28	0.33	0.33			埋土		黒褐色	0.00~0.33m ・砂石からなる埋土(路床)である。		実施せず			実施せず							
1					砂丘層 (Id1)	砂		0.33~5.70m ・中粒砂からなる。 ・径0.5mm以下の円礫を少量含む。												
2																				
3																				
4																				
5	2.09	5.92																		
6	2.30	5.70	5.37					5.70~8.00m ・中~粗粒砂からなる。 ・径0.5mm以下の円礫を含む。												
7					久米川堆積層	砂														
8	0.09	8.00	2.30		久米川堆積層	砂														
9	6.98	9.08			埋没り砂 (Ag2)	埋没り砂		8.00~10.63m ・埋没り粗粒砂からなる。 ・埋没り径0.5mm以下の粗砂~細角礫を主体とする。 ・径0.5~10.63mmの円礫を主体とする異質礫である。												
10	2.54	10.63	2.63																	
11								10.63~12.40m ・埋没りシルトからなる。 ・所々に散在した木片(径1~5mm)を含む。												
12					埋没り堆積層 (Dc3)	シルト	強灰													
13								12.40~13.40m ・砂の含有量が多い。												
14								13.40~13.84m ・径1~10mmの風化石片が見られる。												
15																				
16								15.47~15.00m ・砂の含有量が多い。												
17	-3.31	17.40	6.77																	
18					埋没り堆積層 (Dg3)	砂礫	弱黄褐色	17.40~17.70m ・基質は粗粒砂からなる。 ・礫は径10~20mmの円礫を少量含む。												
19								17.70~18.46m ・基質はシルト~中粒砂からなる。 ・礫は径10mmの圓角~扁円礫を主体とする。												
20	-12.61	20.72						18.46~19.70m ・シルト~粗粒砂の挟み層である。												
21								19.70~22.30m ・基質はシルト~粗粒砂、礫径15~10mmの圓角~扁円礫を主体とする。												
22	-14.21	22.30	4.30																	
23	-14.54	22.63						22.30~26.00m ・砂質泥岩からなる。 ・径1~10mm程度の風化石片を少量含む。												
24																				
25					久米層 (Kc1)	砂質泥岩	弱黄褐色	26.00~26.35m ・硬質な砂質泥岩の色はとも層が認められる。												
26								26.35~26.38m ・硬質な砂質泥岩の色はとも層が認められる。												
27								26.38~27.12m ・硬質な砂質泥岩の色はとも層が認められる。												
28	-18.91	28.00	5.70					27.12~28.00m ・黄褐色砂質泥岩の色はとも層が認められる。下部に風化石片を含む。												

(注) 1. 試料採取方法
 C: ボーリングコア 試料
 P: 標準貫入試験による試料
 D: デュポン型サンプラーによる試料
 T: 固定ピストン式シフターによる試料

2. コアチップ・ビットの種類
 SMC: シングルコアチップ・メタルクラウン
 DMC: ダブルコアチップ・メタルクラウン
 ODB: ダブルコアチップ・ダイヤモンドビット
 TMC: トリプルコアチップ・メタルクラウン
 TOB: トリプルコアチップ・ダイヤモンドビット

3. 原位置試験・検査実施状況
 ○: 孔内水平電阻試験
 □: 閉鎖水圧測定
 ⊕: PS検層(板たき方式)
 ⊖: PS検層(サスペンション方式)
 △: 電気検層
 |: 密度検層
 |: キ・リバー検層

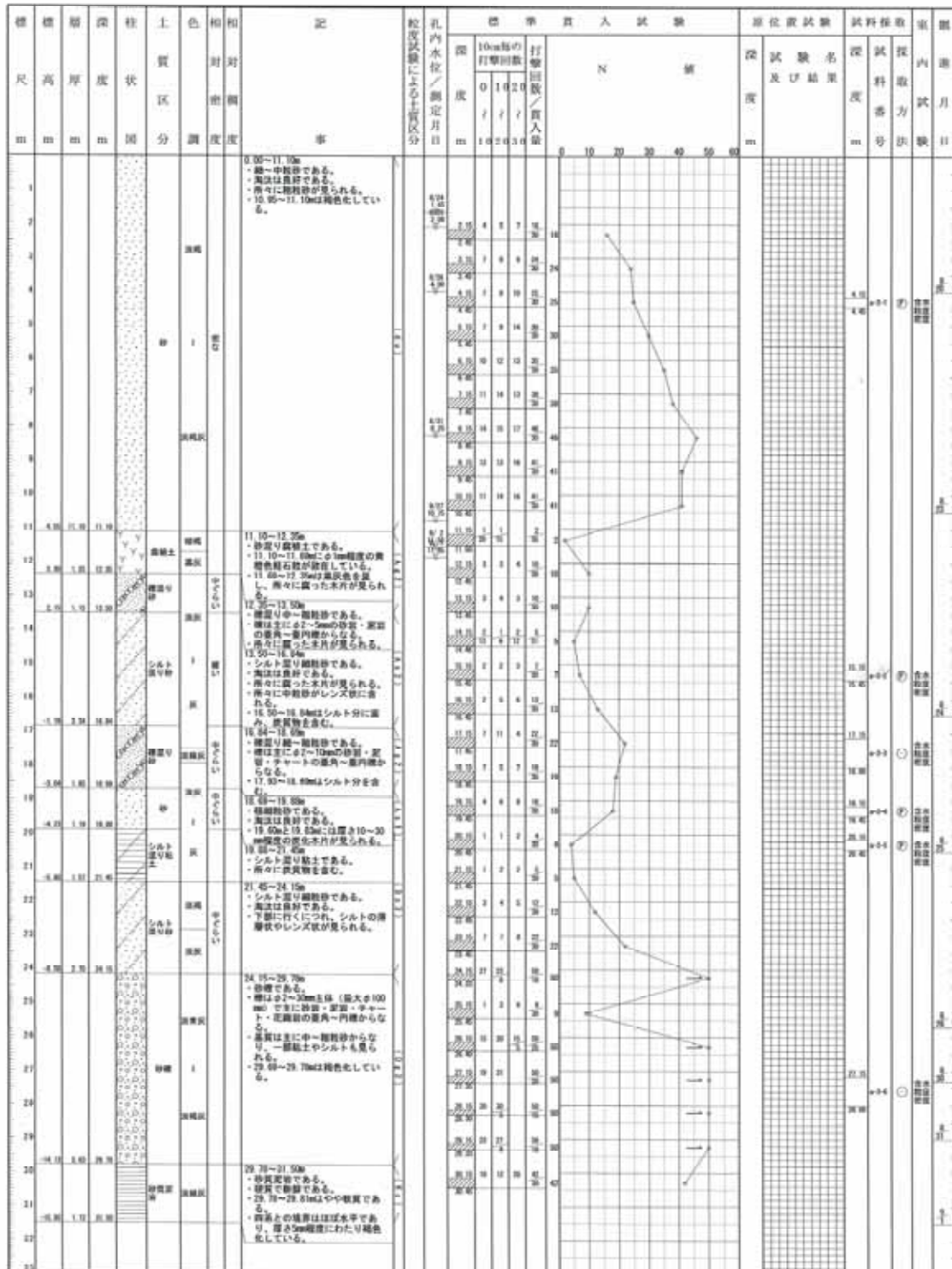
10. 平成17年調査孔(a-2～6孔、b-2孔)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設
放射性物質調査
 事業・工事名 _____

ボーリングNo. _____
 シートNo. 0-3

ボーリング名	No.0		調査位置	日本原子力発電株式会社 東海発電所敷地内		北緯	-	-
発注機関	_____		調査期間	平成16年 8月28日～平成16年 9月 1日		東経	-	-
調査業者名	_____		主任技師	_____		ボーリング責任者	_____	
孔口標高	11'	15.65m	角	180°	方	東	試機種	東邦 DI-C
掘進長さ	31.50m		度	0°	向	東	ハンマー	自動落下
							ポンプ	東邦 BG-3C
							エンジン	ヤンマー NF0-13



注1) 試料採取方法の記号
 T: シンウォールサンブラー F: ファイルサンブラー
 P: 標準貫入試験用サンブラー O: オーダー
 D: デニソン型サンブラー

注2) 原位置試験方法の記号

11. 平成19年調査孔(B～H孔、S孔)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. B-1-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-1-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年10月10日～17年10月18日		東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +5.98m	角 180° 上 90° 下 0°	方 北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平 0°	使用機種	利根 TS-100		
総掘進長	25.00m			試験機	ヤシマー NFD-9	ポンプ	利根 NP-40	

標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟 状態	割れ 目の 形状	風化 程度	変質 事項	記	コア採取率 - x - (%)	岩級 最大コア長 - ● - cm	R Q D [%]	孔内水位 m / 測定月日	(ルジオン、標準貫入) 試験 (P~Q、N値~深度) 図					原位 位置 試験 ()	室内 試験 ()	掘進 速度 (cm/時)	進捗 状況 ()	状況 ()								
														0	10	20	30	40						50							
1			細砂	暗灰					深度0.00~0.04m 表土 草根を含む 深度0.04~6.06m 細砂 中砂を少量含むが、比較的均質。ラ ミナ見られない。 含水量少ない。全体に褐色を呈する	(100) *			10/13 0.99																		
2			細砂	暗灰						(100) *			10/13 2.60																		
3			粘土	暗灰					深度6.06~6.93m 中砂を少量含む 灰色を呈する細砂。比較的均質。ラ ミナ見られない。含水量少ない。 深度6.93~7.37m 炭化した腐植物 を多量に含む粘土。含水量多い。 厚さ5~10mmの炭化した腐植物のシ ム。小片を少量含む粘土。 水平方向に弱いラミナ見られる。含 水量多く、粘性強い。	(100) *					10/13 10.11																
4			粘土	暗灰					深度7.37~8.30m シルト混り シルト混り細砂の薄層を挟む。 深度8.30~8.35m 8.38~8.73m シルト混り細砂の薄層を挟む。 深度8.73~9.35m 均質なシルト混り細砂。ラミナ見ら れない。含水量多い。	(100) *					10/13 10.12																
5			粘土	暗灰					深度8.30~8.35m 8.38~8.73m シルト混り細砂の薄層を挟む。 深度8.73~9.35m 均質なシルト混り細砂。ラミナ見ら れない。含水量多い。	(100) *					10/13 10.12																
6	-0.04	6.06	粘土	暗灰					深度10.31~13.02m 貝殻片の小片が散在する粘土。炭化 した腐植物の小片散在。 均質であるが、一部水平方向に弱い ラミナ見られる。 含水量多く、粘性強い。	(100) *					10/13 10.13																
7	-0.95	6.93	粘土	暗灰					深度13.02~15.37m 全体にシルトを含む均質な細砂。ラ ミナ見られない。 含水量多く、締まり緩い。 深度13.12~13.17m 貝殻片を含む。	(100) *					10/13 10.13																
8	-1.39	7.37	粘土	暗灰					深度15.37~18.00m 貝殻片の小片が散在する粘土。炭化 した腐植物の小片散在。 均質であるが、一部水平方向に弱い ラミナ見られる。 含水量多く、粘性強い。	(100) *					10/13 10.13																
9	-3.36	9.35	粘土	暗灰					深度18.00~20.55m 全体にシルトを含む均質な細砂。ラ ミナ見られない。 含水量多く、締まり緩い。 炭化した腐植物の小片、貝殻片の小 片が散在。	(100) *					10/13 10.13																
10	-4.33	10.31	粘土	暗灰					深度20.55~24.14m 均質な細砂。ラミナ見られない。 貝殻片の小片、炭化した腐植物の小 片が散在。 含水量多く、締まり緩い。	(100) *					10/13 10.13																
11	-7.04	13.02	粘土	暗灰					深度24.14~25.00m 水平方向に弱いラミナ見られるシル ト。貝殻片の小片散在。	(100) *					10/13 10.13																
12	-9.39	15.37	粘土	暗灰						(100) *					10/13 10.13																
13	-12.02	18.00	粘土	暗灰						(100) *					10/13 10.13																
14	-14.57	20.55	粘土	暗灰						(100) *					10/13 10.13																
15	-18.16	24.14	粘土	暗灰						(100) *					10/13 10.13																
16	-19.02	25.00	粘土	暗灰						(100) *					10/13 10.13																

B-1-0 (0~25m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

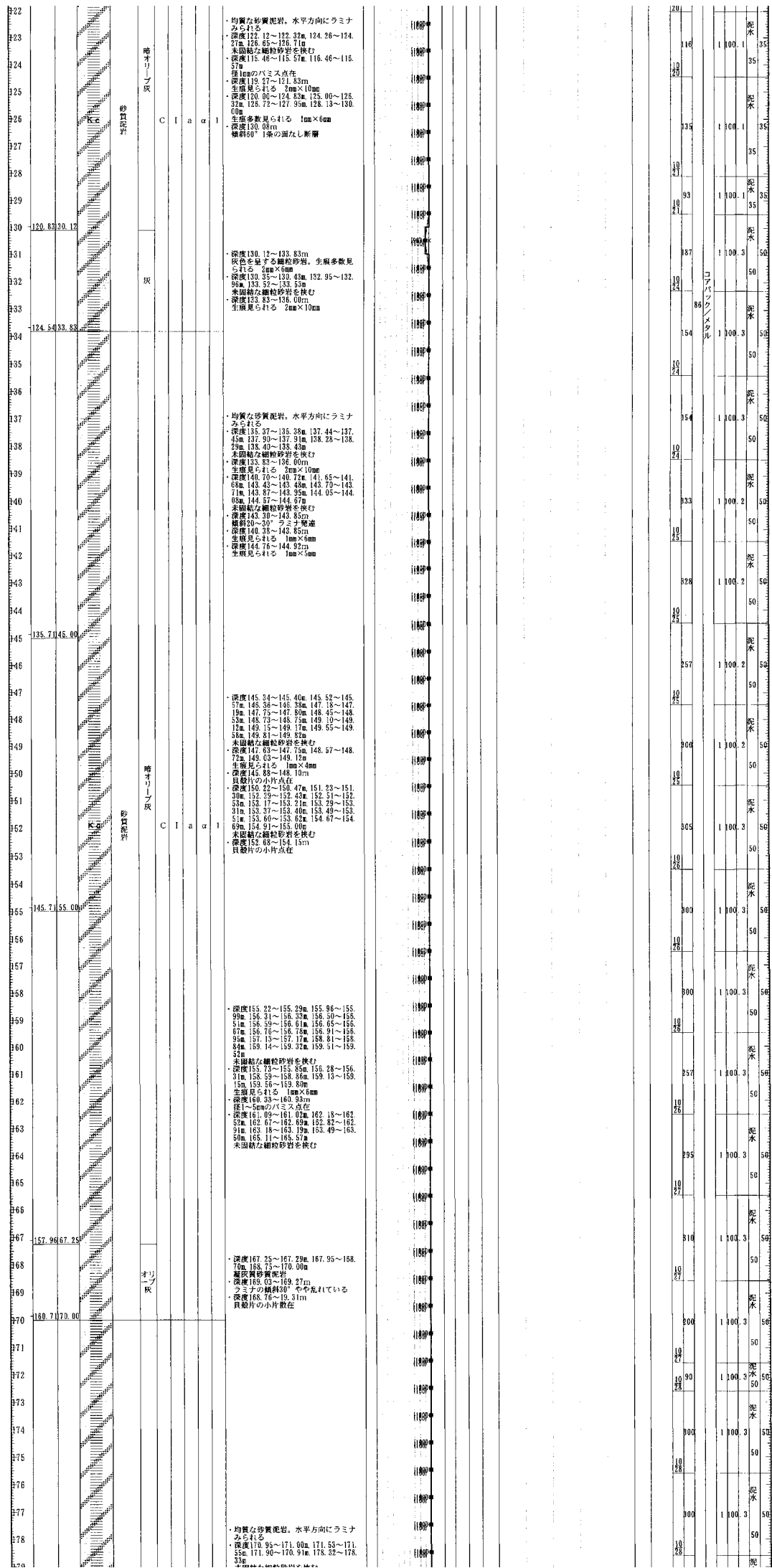
ボーリングNo. B-4-0

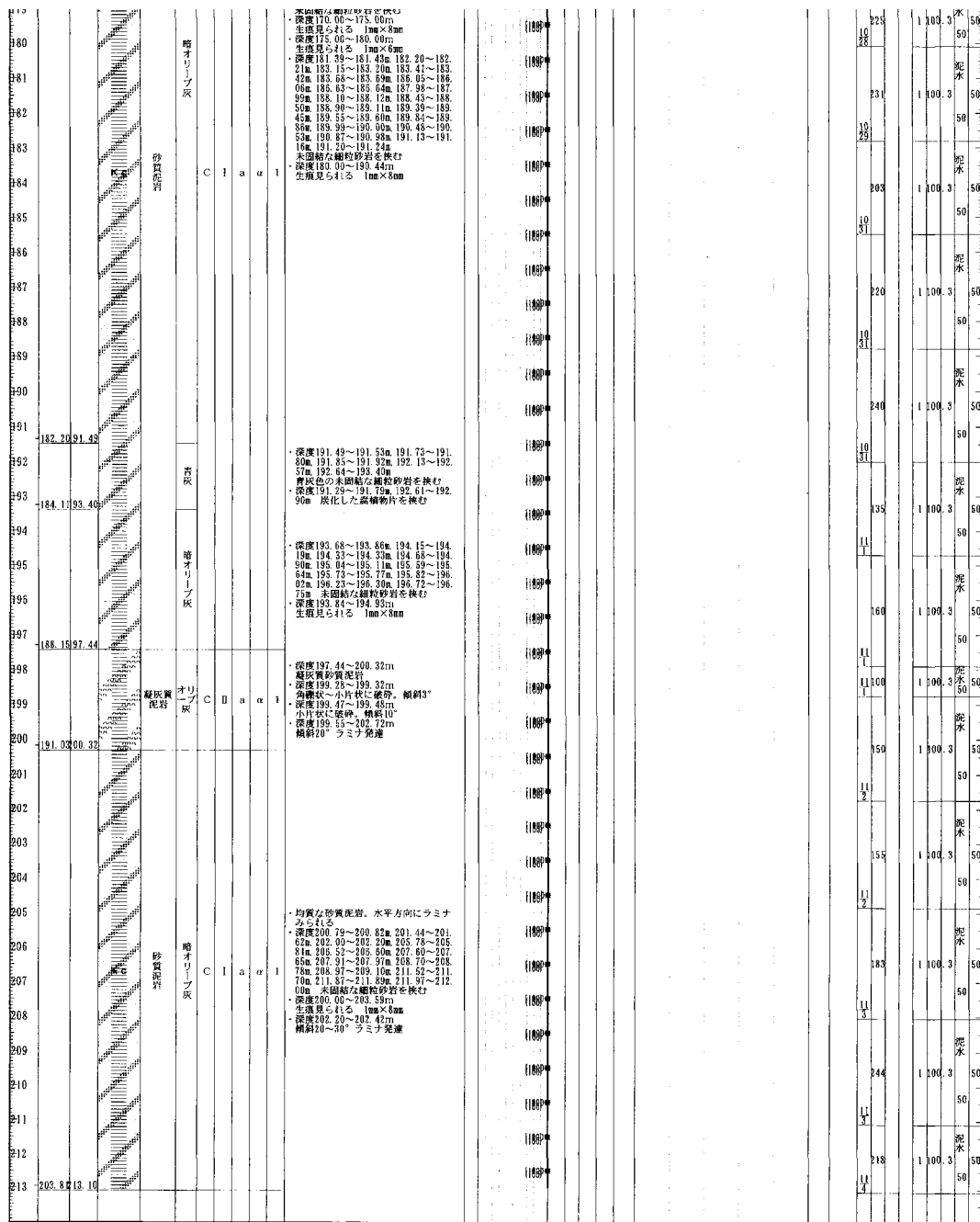
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-4-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年9月19日～17年11月15日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +9.23m	角	180° E I 90° D 0°	方	270° R 0° 180° W	地盤勾配
総掘進長	213.10m	度	0°	向	水平0°	使用機種
				試験機	吉田鉄工業 YBM-3JR型	
				エンジン	ヤンマー製 NFD-150型	ポンプ
					ヤンマー製 NFD-D-6型	東邦製 BG-3C型

標尺	深	柱状	岩種	色調	硬さ	割れ目の形状	変質	記号	コア採取率 x-% 最大コア長 R Q D [%]	岩級	孔内水位 m / 測定月日	(ルジオン、標準貫入)試験		原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進速度 (cm/分)	孔深 (m)	送水 (分)	排水 (分)
												N値	標準貫入						
01	01.00	11.15	凝灰岩 灰白													267	1000	1	35
02																222	1000	1	35
03																203	1000	1	35
04																200	1000	1	39
05																197	1000	1	30
06																175	1000	1	30
07																233	1000	1	30
08																221	1000	1	30
09																197	1000	1	30
10																153	1000	1	35
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			





B-4-0 (100~209m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. B-6-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-6-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年11月21日~17年12月5日			東経	
調査業者名			主任技師			現場代理人			
孔口標高	TP +15.33m	角			方位				
総掘進長	33.00m	度			使用機種	吉田鉄工 YBM-3JR			
				試験機	ヤンマー NFD-150			ポンプ	東邦 BG3C
				エンジン	ヤンマー NFD-D-6				

深	柱	岩	色	硬	割	風	記	コア採取率	岩	孔	(ルジオン、標準貫入) 試験		原	室	掘	進	状	況	
											度	度							位
m	尺	種	状	区	目	化	事	(%)	級	径	(P~Q, N値~深度) 図	(%)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
0.00	0.00						深度0.00~0.09m 草根を含む表土	0											
1.00	1.00							100											
2.00	2.00							100											
3.00	3.00	中砂	暗灰				深度0.09~7.20m 均質な中砂。細砂を含む。ラミナ見られない。含水量少ない。	100											
4.00	4.00							100											
5.00	5.00							100											
6.00	6.00							100											
7.00	7.00							100											
8.00	8.00							100											
9.00	9.00	凝滞の中砂	暗灰				深度7.20~12.25m 径5~5mmの円礫が散在する均質な中砂。細砂を含む。ラミナ見られない。	100											
10.00	10.00							100											
11.00	11.00							100											
12.00	12.00							100											
13.00	13.00	凝滞の中砂	暗灰				深度12.25~12.41m 炭化の炭植物の薄片を少量含む。均質。	100											
14.00	14.00	凝滞の中砂	暗灰				深度12.41~12.76m 炭化した炭植物の薄片を含む砂礫。均質。細砂。ラミナ見られない。含水量多く、細り糺い。炭植物片を少量含む。	100											
15.00	15.00							100											
16.00	16.00							100											
17.00	17.00	凝滞の中砂	暗灰				深度15.43~18.53m 径5~5mmの円礫を少量含む。基質は細砂、中砂。細砂を含む。ラミナ見られない。含水量多い。	100											
18.00	18.00							100											
19.00	19.00	砂質粘土	暗灰				深度18.53~19.06m 全体に細砂を含む粘土。均質。ラミナ見られない。炭化した炭植物の薄片散在。貝殻片の小片散在。	100											
20.00	20.00							100											
21.00	21.00	凝滞の中砂	暗灰				深度19.09~21.56m 径5~5mmの円礫が散在する均質な中砂。ラミナ見られない。	100											
22.00	22.00							100											
23.00	23.00							100											
24.00	24.00						深度21.56~29.22m 径5~20mm、最大60mmの砂岩、頁岩、石英、花崗岩の円礫を中程度含む。基質は細砂、中砂。細砂を含む。深度21.56~21.65m、22.00~22.06m、22.53~22.76m、23.65~23.81m、25.12~25.16m、25.65~26.10m、27.18~27.32m、27.67~28.45m、28.72m~29.22mには、径5~20mm、最大60mmの円礫が散在。基質部は細砂を含む粗砂、密実である。	100											
25.00	25.00							100											
26.00	26.00	砂礫	灰青灰					100											
27.00	27.00						深度23.10~23.65m、23.81~25.13m、25.18~25.63m、26.10~27.18m、27.32~27.67m、28.45~28.72m 細礫を含む粗砂からなる。	100											
28.00	28.00							100											
29.00	29.00							100											
30.00	30.00							100											
31.00	31.00	砂質泥岩	暗青灰				深度29.22~33.00m 細砂を含むシルト状。均質である。水平方向のラミナ見られる。深度29.79~29.80m 未固結な細砂を挟む。生境。深度30.15~30.20m 3×8mm	100											
32.00	32.00							100											

B-6-0 (0~33m)

ボーリング柱状図

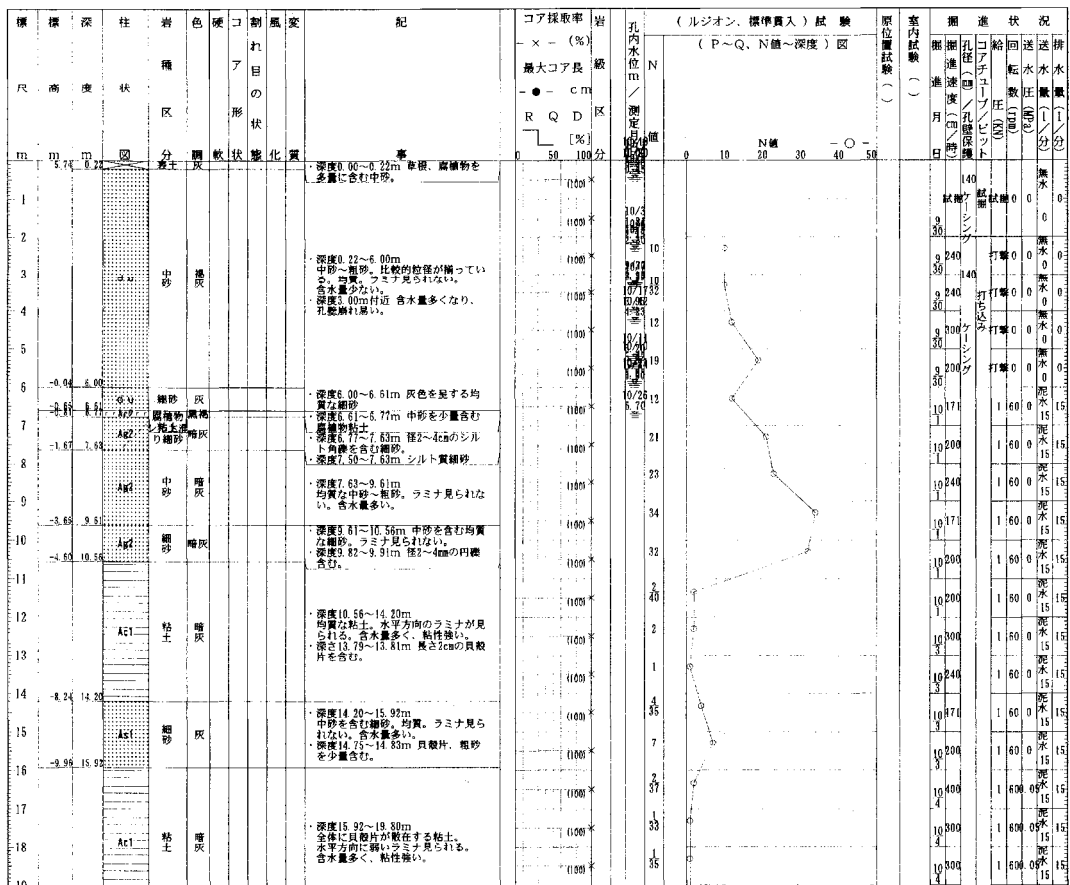
調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

事業・工事名

ボーリングNo. C-4-0

シートNo.

ボーリング名	C-4-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年9月26日～17年10月30日		東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +5.96m	角	180°上 90° 0° 180°下	方	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 90°
総掘進長	108.00m	度		向		使用機種	試験機 吉田鉄工製 YBM-1W型 エンジン ヤンマー製 NFA-100型 ポンプ 鉱研製 MG-10型



ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. C-7-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	C-7-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区		北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社		調査期間	平成17年11月22日～17年12月3日		東経
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	TP +12.08m	角	使用機種		吉田鉄工 YBM-1W	
総掘進長	33.00m	度	エンジン	ヤンマー NFA-100	ポンプ	総研 MG-10

深	径	柱状	岩	色	硬	割	風	記	コア採取率	岩	（ルジオン、標準費入）試験		原位置試験	室内試験	掘進	送水	状況		
											（P～Q、N値～深度）図	（N値）						（R～Q、D）	（%）
1			中砂	褐色				深さ0.00～2.00m 粒度の揃った均質な中砂。含水量少ない。	100%										
2	10.06	2.00	アスファルト	褐色				深さ2.00～2.40m 劣化したアスファルト。径5～30mmの砂角、アスファルト片を含む。	100%										
3	9.65	2.40																	
4			中砂	褐色				深さ2.40～4.75m 均質な中砂。細砂を含む。ラミナ見られない。含水量少ない。	100%										
5	7.33	4.75																	
6			細粒り中砂	褐色				深さ4.75～9.22m 径2～5mmの円礫が散在する中砂。細砂、粗砂を含む。ラミナ見られない。含水量少ない。	100%										
7																			
8																			
9	2.85	9.22																	
10	2.85	9.22	高純物馬毛中砂					深さ9.22～9.48m 炭化した腐植物を多量に含む中砂。含水量多。	100%										
11																			
12			砂礫	灰				深さ9.48～14.67m 径2～5mmの円礫を中程度含む中砂。全体に灰を含む。細砂を多量に含む。含水量多い。 深さ9.48～11.58m 径5～10mmの単円～亜角礫が散在する中砂。粗砂多量を含む。 深さ11.58～13.49m 径2～10mmの単円～亜角礫を少量含む中砂。粗砂含む。 深さ13.49～14.67m 径5～30mmの砂角、貝殻、火山岩の円礫を多量に含む中砂。粗砂、細砂含む。	100%										
13																			
14																			
15	2.35	14.67	砂礫り粘土	褐色				深さ14.67～15.00m 細砂を少量含む粘土。 深さ14.69～14.72m 中砂を挟む。 深さ14.92～15.00m 貝殻片の小片を多量に含む。	100%										
16			細粒り細砂	灰				深さ15.00～18.13m 径2～5mm、最大10mmの円礫が散在する細砂。中砂、粗砂を含む。含水量多。細り細砂。 深さ15.00～15.39m、深さ18.75～16.83mには、径2～5mm円礫、貝殻片の小片を多量に含む。 深さ16.15～18.30m 径2～10mm、最大20mmの単円～亜角礫を少量含む中砂。粗砂、細砂を含む。	100%										
17																			
18	6.05	18.13																	
19	6.87	18.96																	
20																			
21																			
22			砂礫	灰				深さ18.90～26.24m 径2～20mm、最大100mmの頁岩、チャート、砂角、花崗岩の円～亜円礫を多量に含む。 基質部はシルト混り細砂。中砂、細砂を多量に含む。全体に不均質である。 深さ24.37～24.64m、25.46～25.78m 細砂、粗砂からなる。 深さ25.83～26.24m 径5～20mmの円礫からなる。	100%										
23																			
24																			
25																			
26	14.16	26.24																	
27																			
28																			
29			砂質粘岩					深さ26.24～33.00m 細砂を含むシルト岩。水平方向にラミナを有する。 明褐色のフジール挟む。 深さ27.75～27.76m、30.05～30.07m、30.34～30.35m、31.15～31.17m、31.26～31.27m、31.33～31.35m 深さ28.24～26.41m 扇貝状の割れ目を含む。 深さ28.61～26.81m 径2～3mmのパミス点を含む。 深さ27.78～28.00m 生痕1×6mm 深さ29.81～29.85m 未固結な細砂を挟む。 深さ30.50～30.52m、30.52m、30.55m、30.68m	100%										
30																			
31																			
32																			

C-7-0 (0～33m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

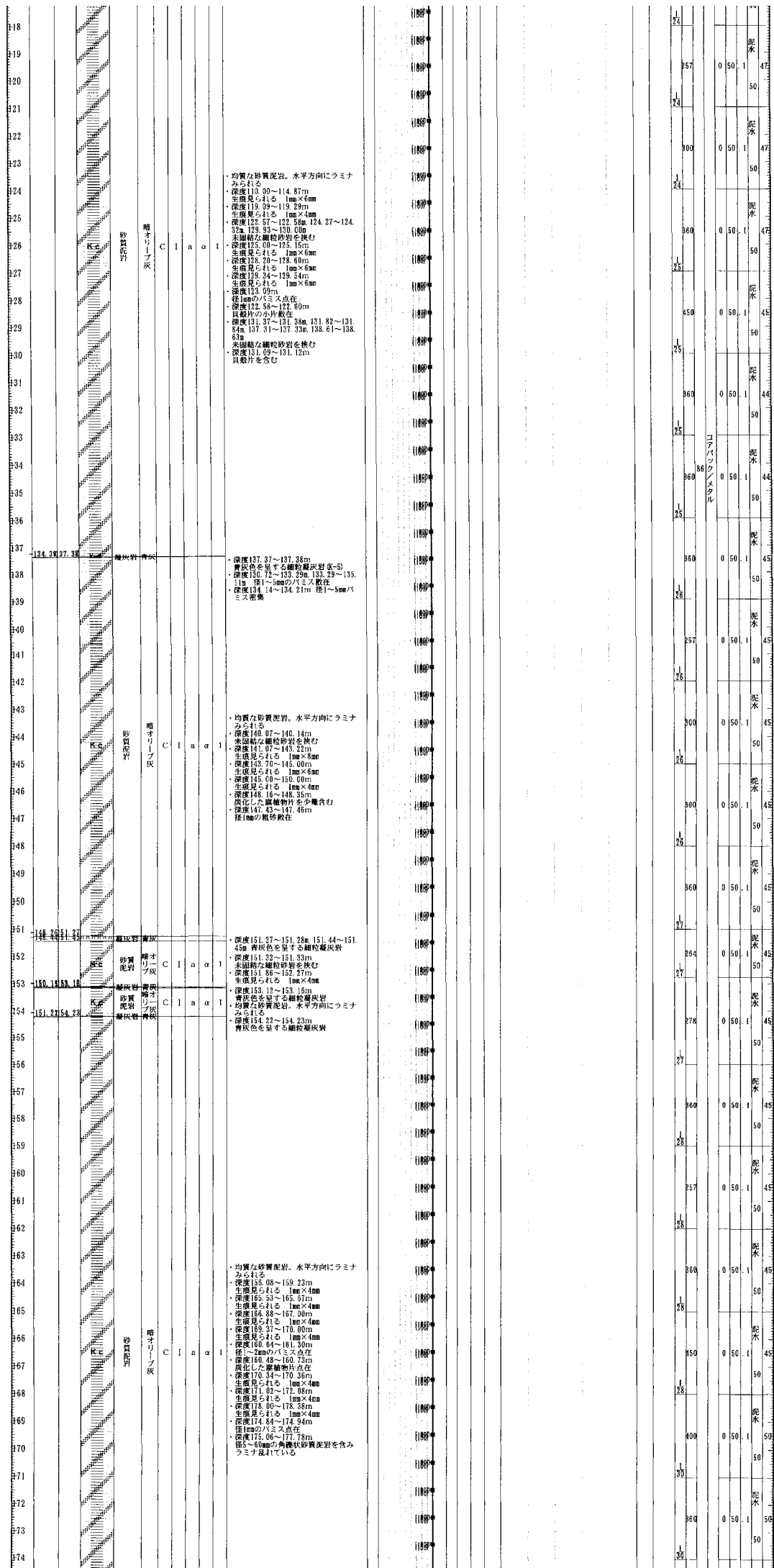
ボーリングNo. D-0-0

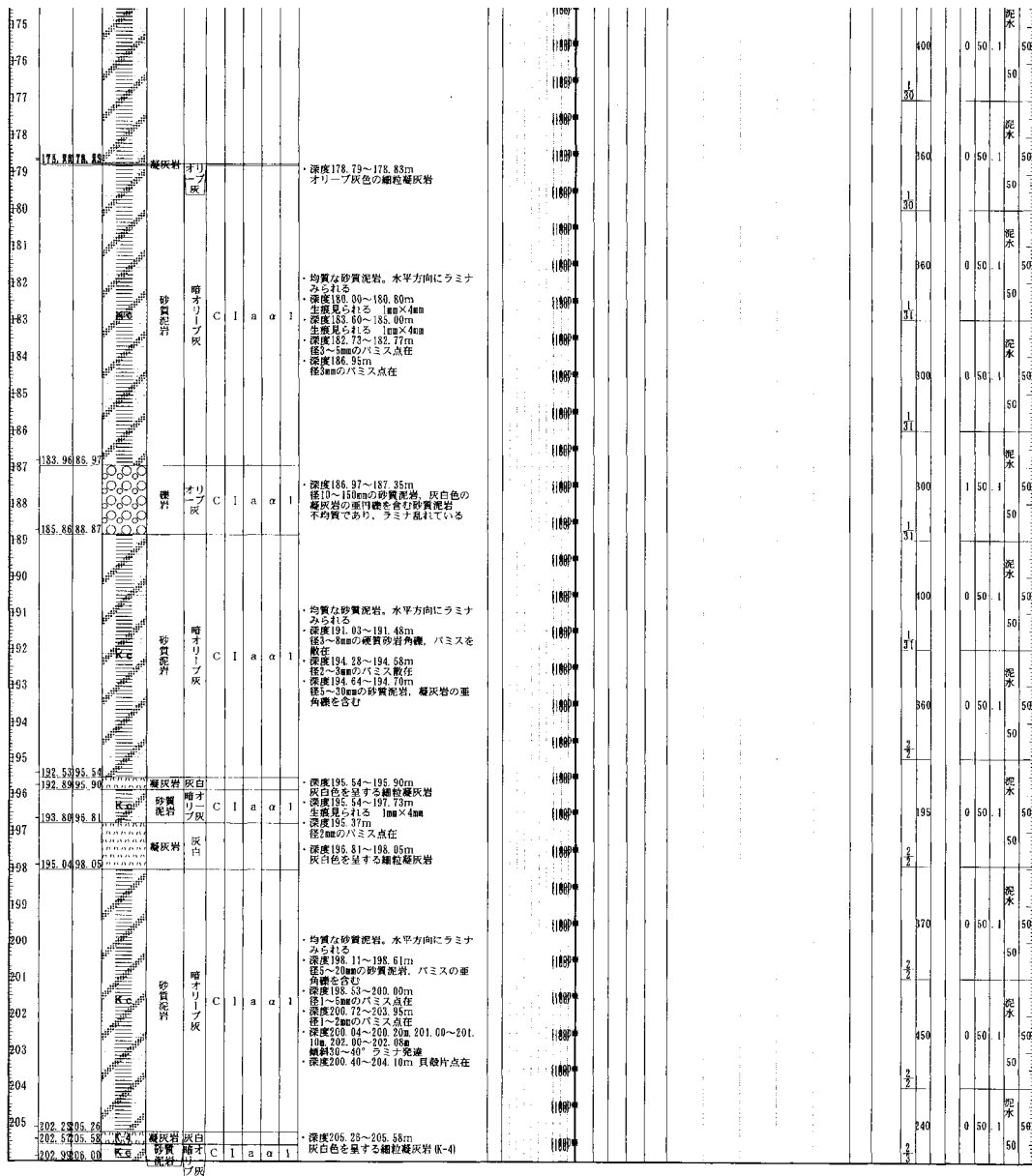
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	D-0-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内			北緯		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年12月16日～18年2月6日			東経	
調査業者名			主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	TP +3.01m	角	方位	地盤勾配	使用機種	吉田鉄工製 YBM-3 J型			
総掘進長	206.00m	度	向	配	エンジン	ヤンマー製 NFD-150型	ポンプ	吉田鉄工製 YBM GP-5型	

標高 m	深度 m	柱状 図	岩 種 区	色 調	硬 度	割 れ 口 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 - x - (%) 最大コア長 R Q D [cm] [分]	岩 種 区	孔 内 水 位 m 測定 日 時	(ルジオン、標準貫入) 試験 (P~Q、N値~深度) 図		原 位 圧 縮 試 験 ()	室 内 試 験 ()	掘 進 速 度 (m) 分	孔 径 (mm)	同 心 管 数 (回)	送 水 量 (l) 分	排 水 量 (l) 分	
												N値	Q値								
100																					
101																					
102																					
103																					
104																					
105																					
106																					
107																					
108																					
109																					
110																					
111																					
112																					
113																					
114																					
115																					
116																					
117																					



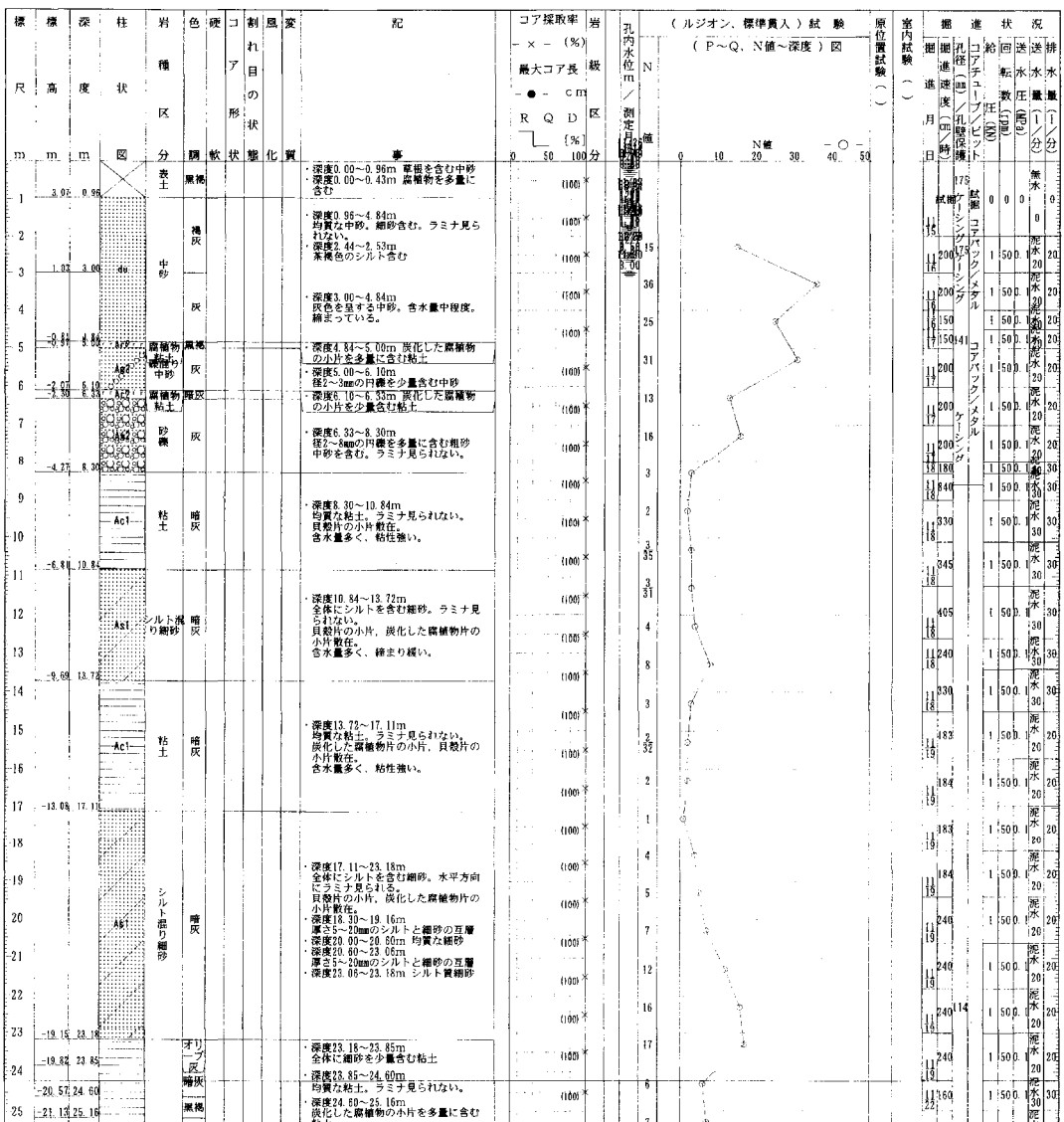


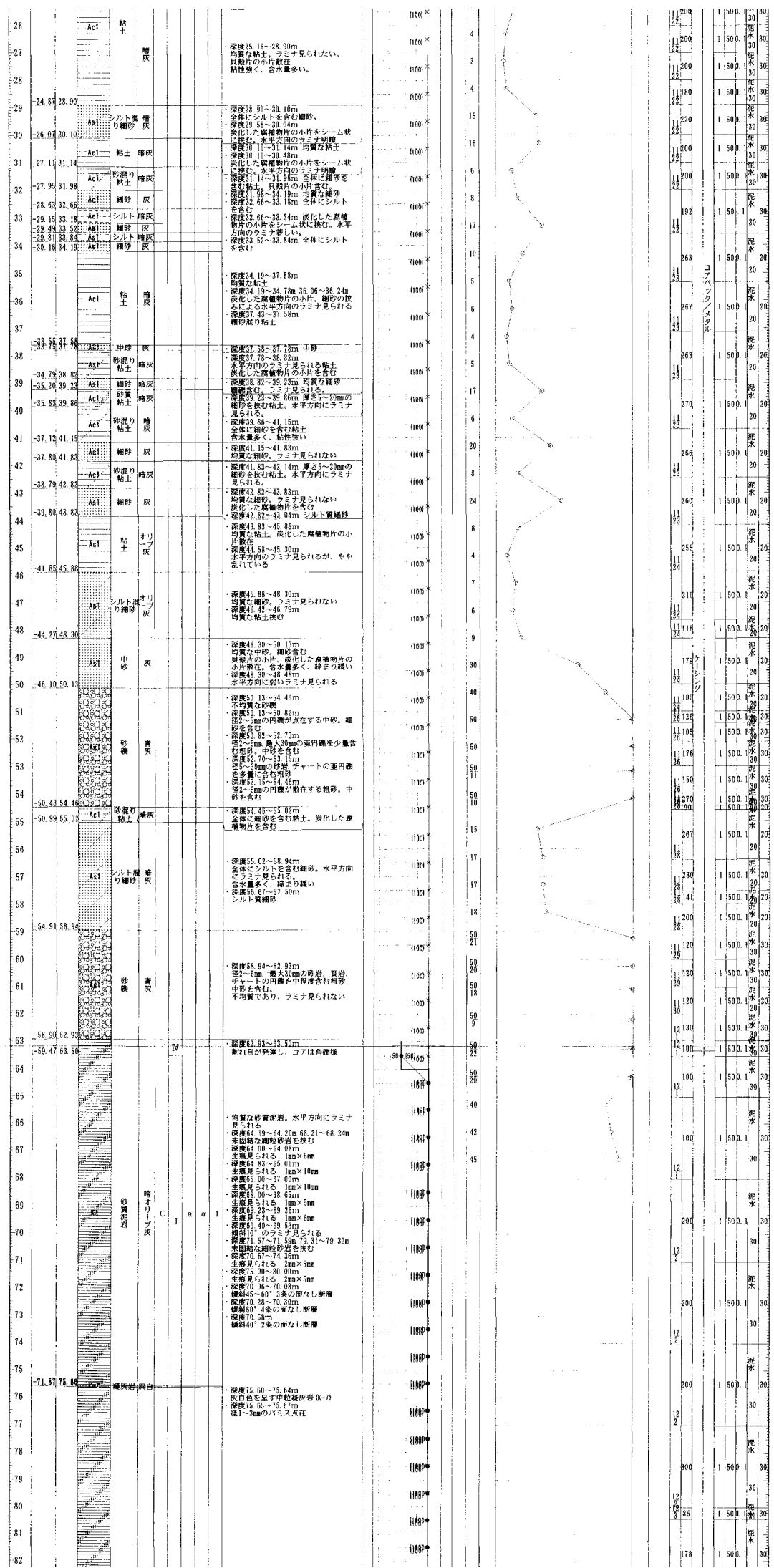
D-0-0 (100~206m)

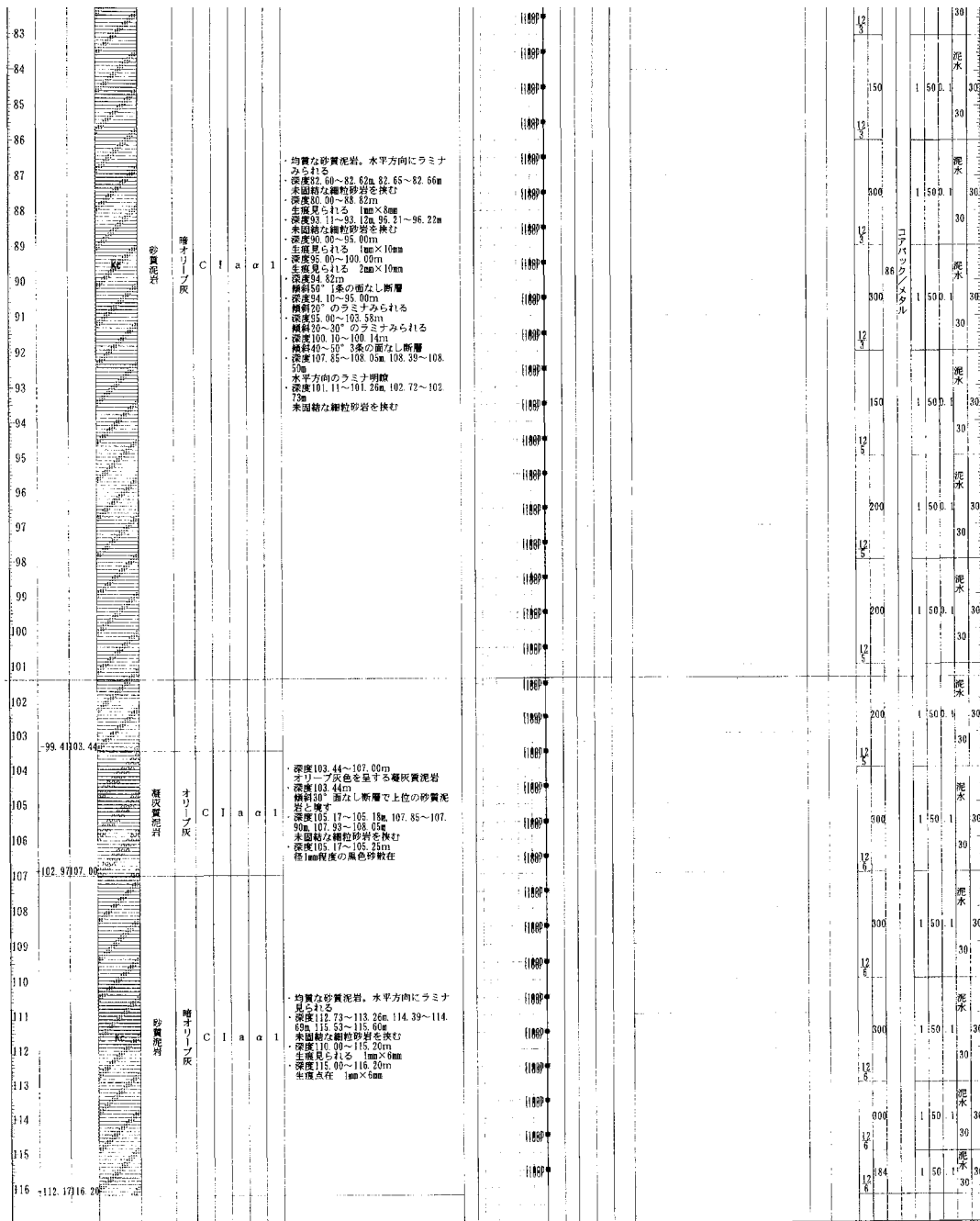
ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設 施設に係る地質・地下水調査
 ボーリングNo. D-3-0

ボーリング名	D-3-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区		北緯
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年11月14日～17年12月10日	
調査業者名	主任技師			現場代理人	東経	
孔口標高	TP +4.03m	角	180°上	方	北 0°	東経
総掘進長	116.20m	度	0°	向	西 210°	東経
				地盤勾配	水平 0°	
				使用機種	吉田鉄工業 YBM-1WA型	
				エンジン	ヤンマー製 NFD-150型	
					ポンプ	東邦製 BG-10C型







D-3-0 (0~116m)

ボーリング柱状図

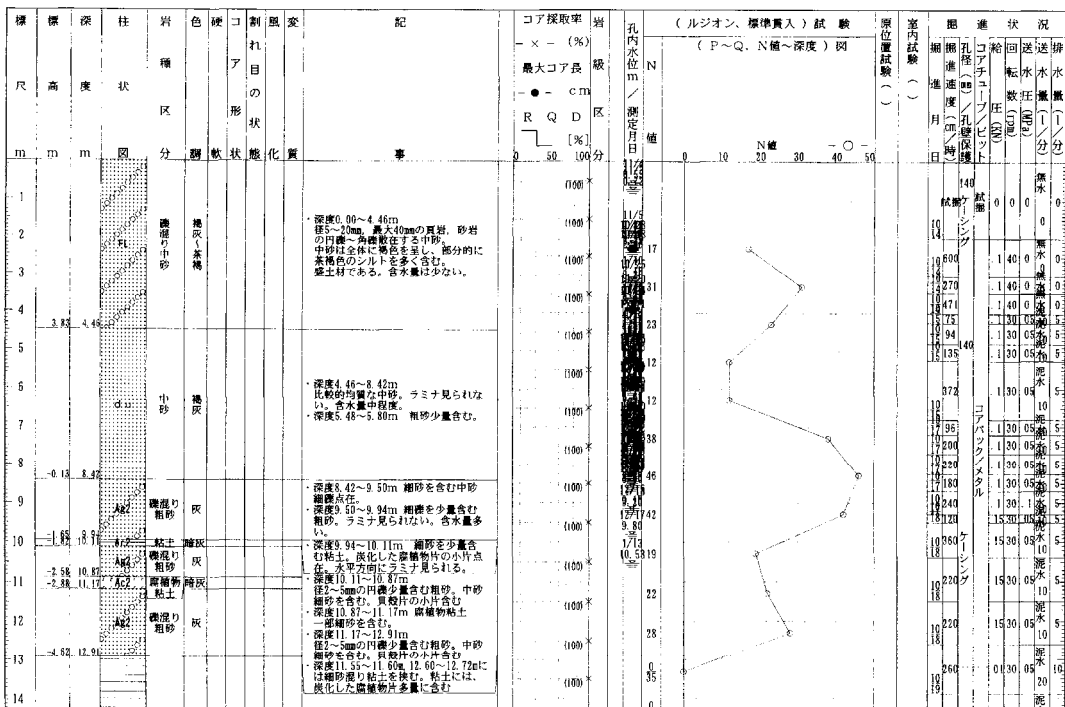
調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

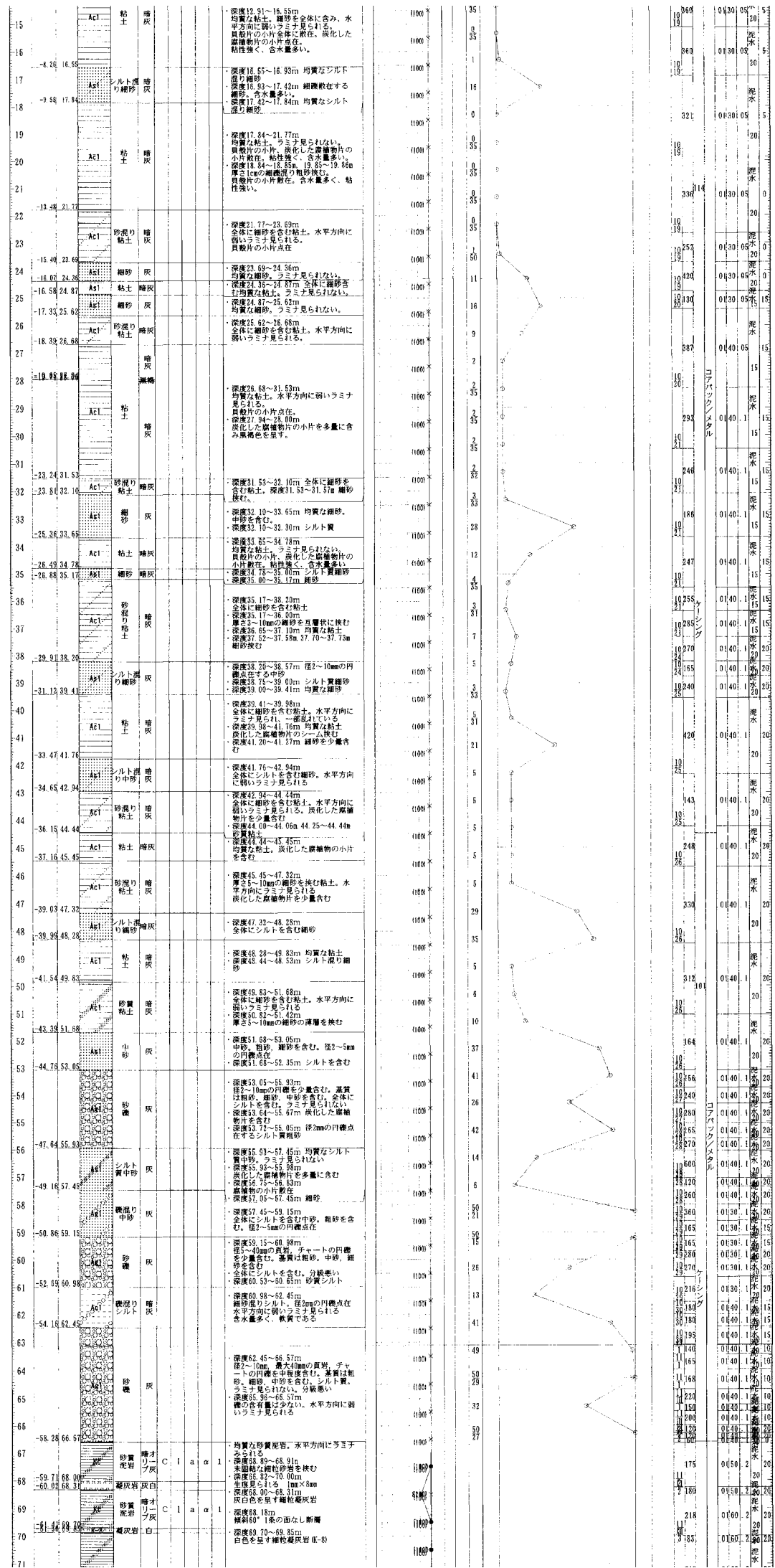
ボーリングNo. D-4-0

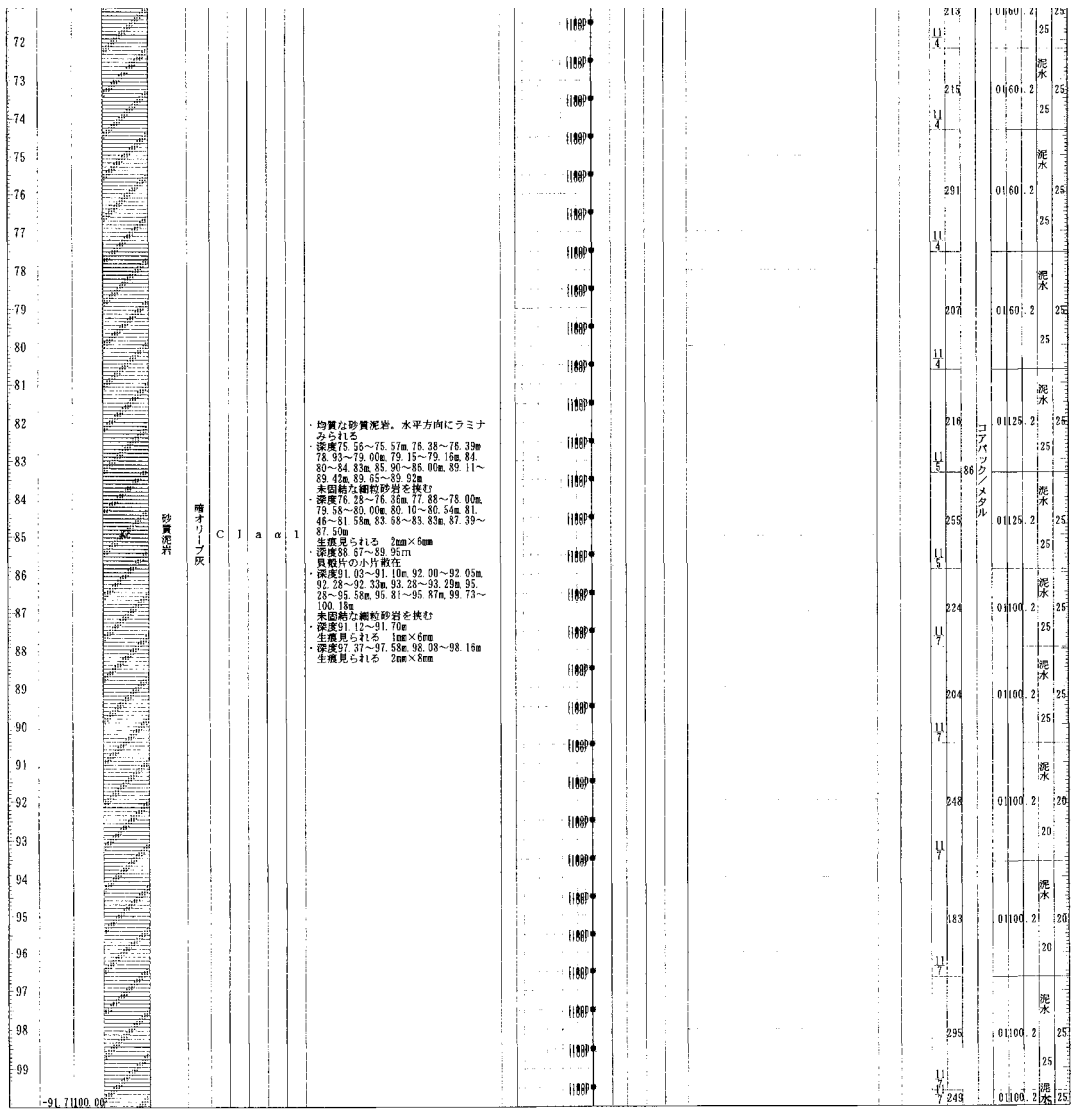
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	D-4-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区		北緯
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年9月22日～18年2月7日	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP	18.29m	角	180°	方	北
総掘進長	100.00m	度	0°	向	西	東
試錐機	エヌエルシー製 メガロL38型					ポンプ
エンジン	三井ドイツ製 3C9型					ポンプ







D-4-0 (0~100m)

ボーリング柱状図

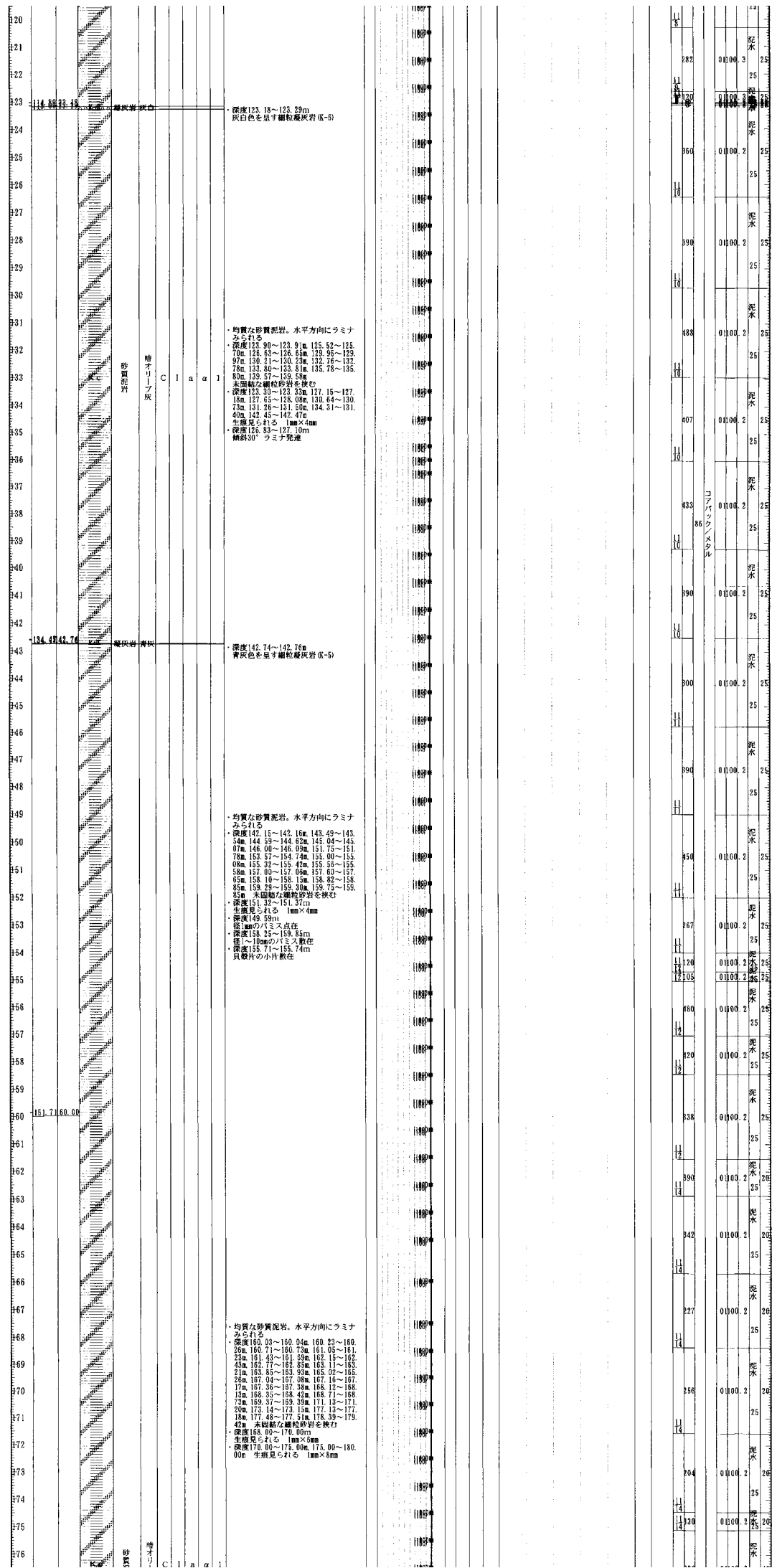
調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

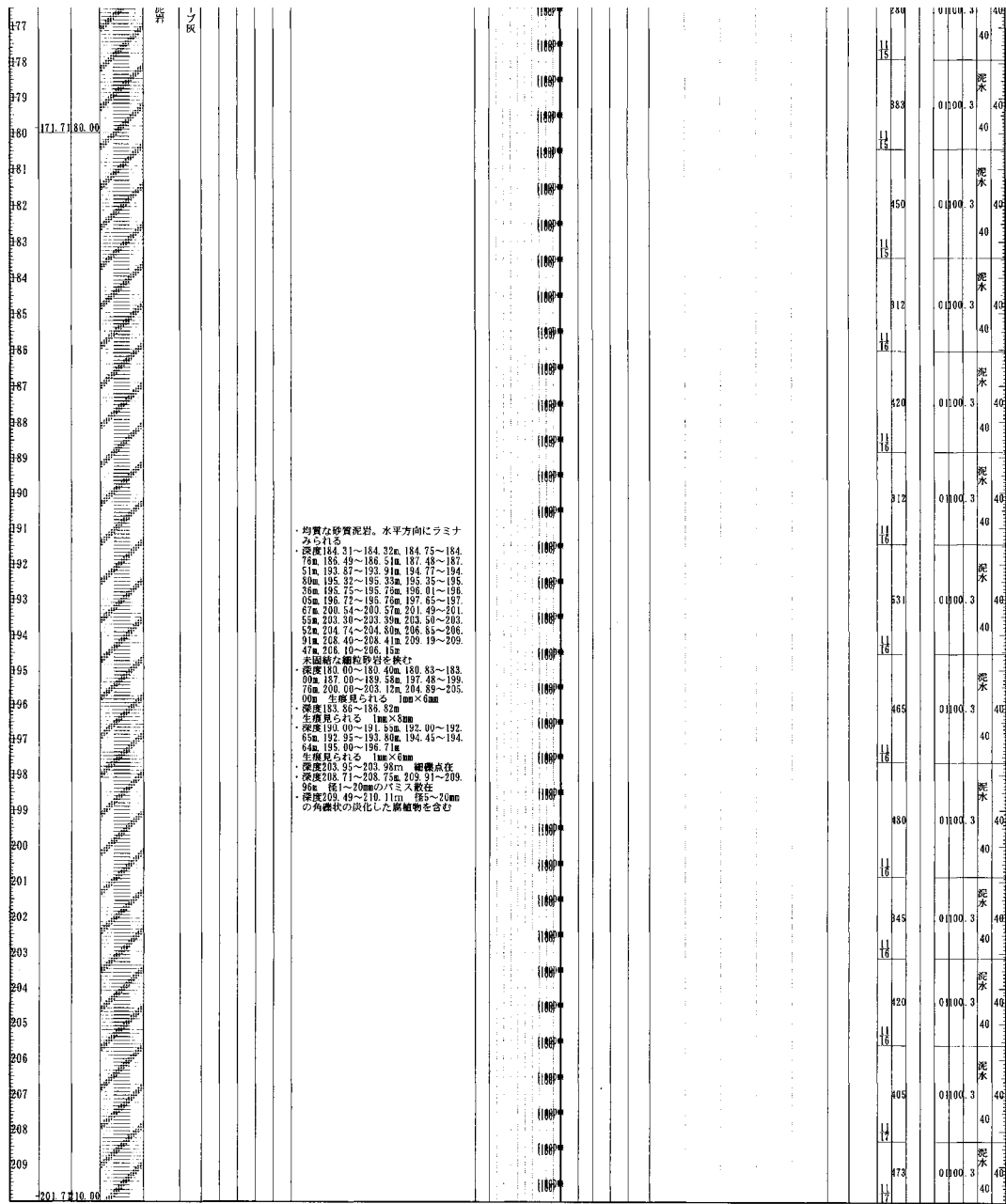
ボーリングNo. D-4-0

事業・工事名 シートNo.

ボーリング名	D-4-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区	北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社	調査期間	平成17年9月22日～18年2月7日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		試験機	エヌエルシー製 メガロL38型		
エンジン	三井ドイツ製 3C9型	ポンプ	東邦製 BG-3型		
使用機種		水平勾配	50°		
角	180°	方	北緯 0° 東経 130°		
度	0°	向	北緯 0° 東経 130°		
度	0°	向	北緯 0° 東経 130°		

標高	深	柱	岩	色	硬	割	変	記	コア採取率	岩	(ルジオン、標準貫入)試験					室内試験	掘削	送	排
											最大コア長	区	区	区	区				
m	m	m	図	分	調	軟	化	事	%	級	N	P	Q	N	値	度	水	水	
100																			
101																			
102								深度101.63~101.65m 灰白色を呈す中粒凝灰岩 (G-7)											
103																			
104																			
105																			
106																			
107																			
108																			
109																			
110																			
111								均質な砂質泥岩。水平方向にラミナ みられる											
112								深度100.36~100.67m 104.12~104.20m 108.03~108.25m 108.38~108.61m 108.99~109.03m 未固結な凝結砂岩を挟む											
113								深度104.60~105.29m 108.97m 50~5mmのガラス球を 含む											
114								深度112.89~115.93m 115.53~115.59m 115.82~115.83m 117.51~117.56m 117.82~117.91m 118.75~118.78m 119.51~119.53m 121.75~121.80m 122.03~122.71m 未固結な凝結砂岩を挟む											
115								深度115.00~115.02m 121.75~121.80m 122.03~122.71m 生風見られる 1mm×4mm											
116																			
117																			
118																			
119																			





D-4-0 (100~210m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

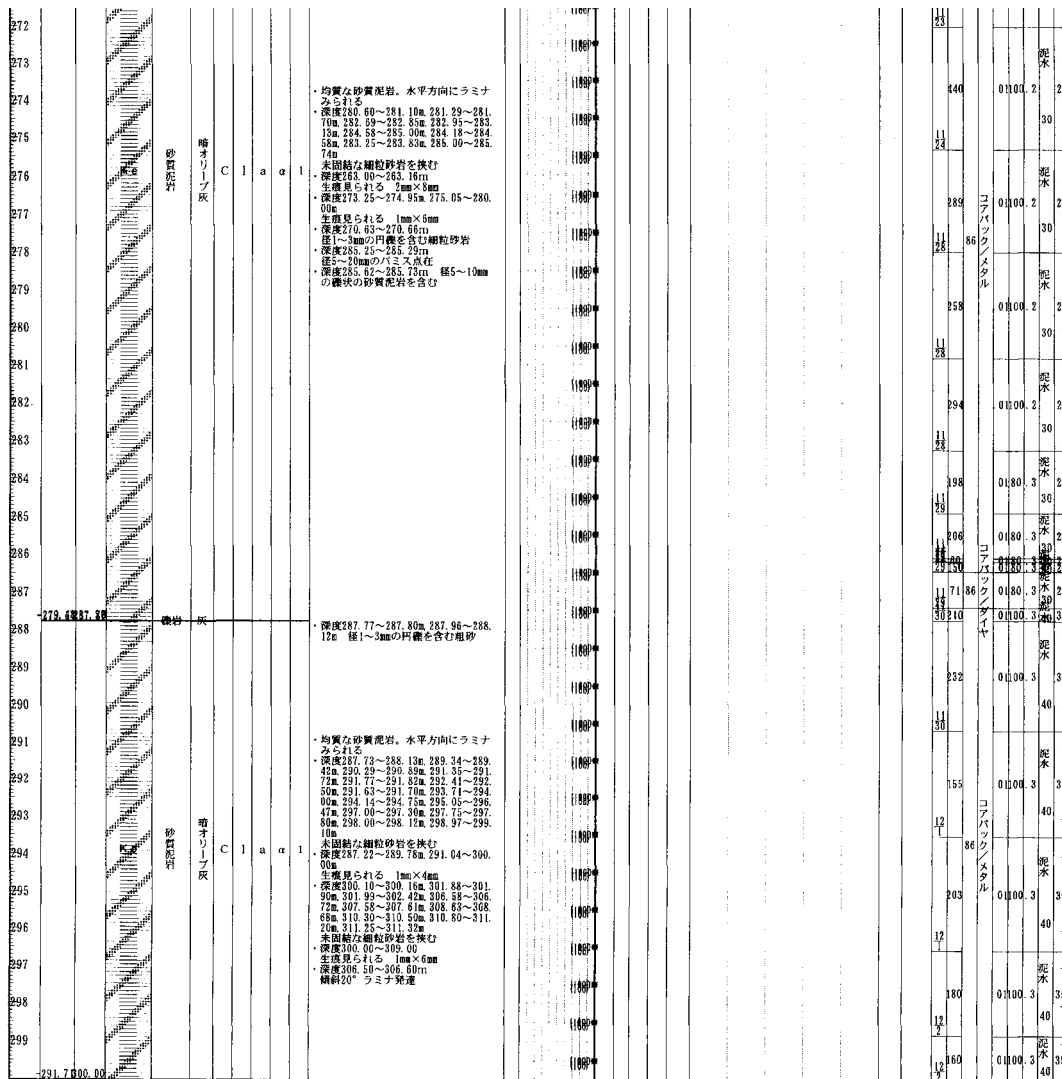
ボーリングNo. D-4-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	D-4-0		調査位置	東城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年9月22日～18年2月7日		東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +8.29m	角	180° 0°	方	270° 0°	地盤勾配	水平 0°	使用機種
総掘進長	410.00m	度						エンジン
				エヌエルシー製 メガロL38型				
				三井ドイツ製 3C9型		ポンプ		東邦製 BG-3型

標高 m	深度 m	柱状 図	岩 種 区	色 調	硬 度	割 れ 口 の 形 状	変 質	記 事	コア採取率 - x - (%) 最大コア長 R Q D [%] 0 50 100分	岩 級 区	(ルジオン、標準貫入) 試験 (P~Q、N値~深度) 図		原 位 試 験 ()	室 内 試 験 ()	掘 進 速 度 (m/分)	送 水 量 (l/分)	送 水 圧 (kg/cm ²)	回 転 数 (rpm)	コ ア チ ェ ッ ク レ ン ト		
											N	Q									
200																					
201																					
202								均質な砂質泥岩。水平方向にラミナみられる。 深度184.31~184.32m 184.75~184.76m 185.49~185.51m 187.48~187.49m 51m 193.87~193.91m 194.77~194.80m 195.32~195.33m 196.33~196.36m 195.72~195.75m 196.01~196.05m 196.72~196.76m 197.65~197.67m 200.64~200.67m 201.49~201.52m 203.30~203.35m 205.30~205.32m 204.74~204.80m 205.85~205.91m 208.40~208.41m 209.19~209.47m 208.10~208.15m													
203																					
204																					
205								未固結な細粒砂岩を含む													
206								深度180.00~180.40m 180.83~183.00m 187.00~189.55m 197.48~199.76m 200.00~203.12m 204.89~205.80m 生痕見られる 1mm×6mm													
207								生痕見られる 1mm×6mm 深度190.00~191.55m 192.00~192.63m 192.85~193.80m 194.45~194.64m 195.00~196.71m 生痕見られる 1mm×6mm													
208								深度203.35~203.95m 細礫存在 深度208.71~208.75m 209.91~209.96m 径1~20mmのバリス散在 深度209.49~210.11m 径5~20mmの角礫状の炭化した腐植物を含む													
209																					
210																					
211																					
212																					
213								深度212.75~212.79m 黄灰色を呈す細粒凝灰岩(4)													
214																					



D-4-0 (200~300m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

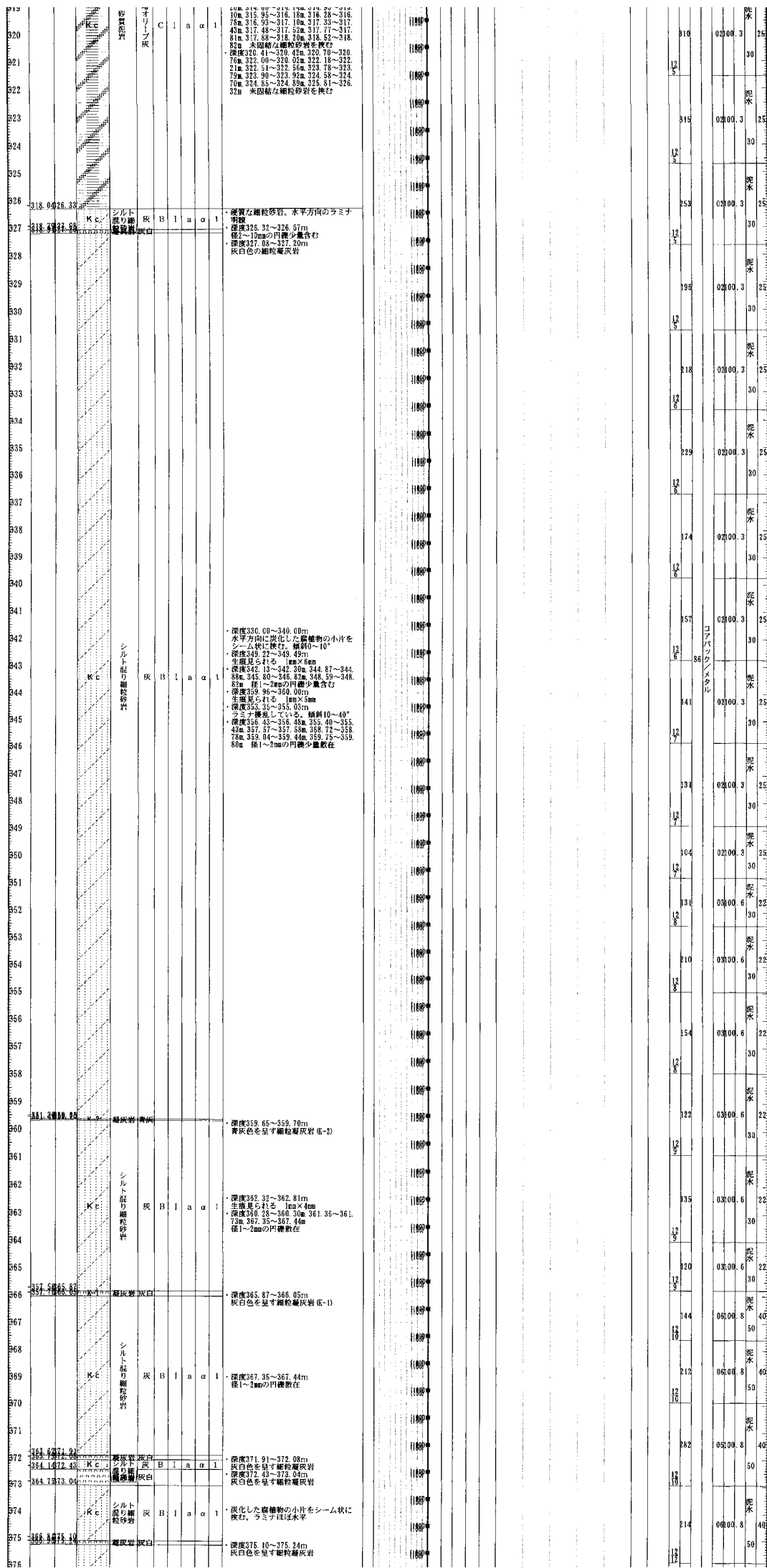
ボーリングNo. D-4-0

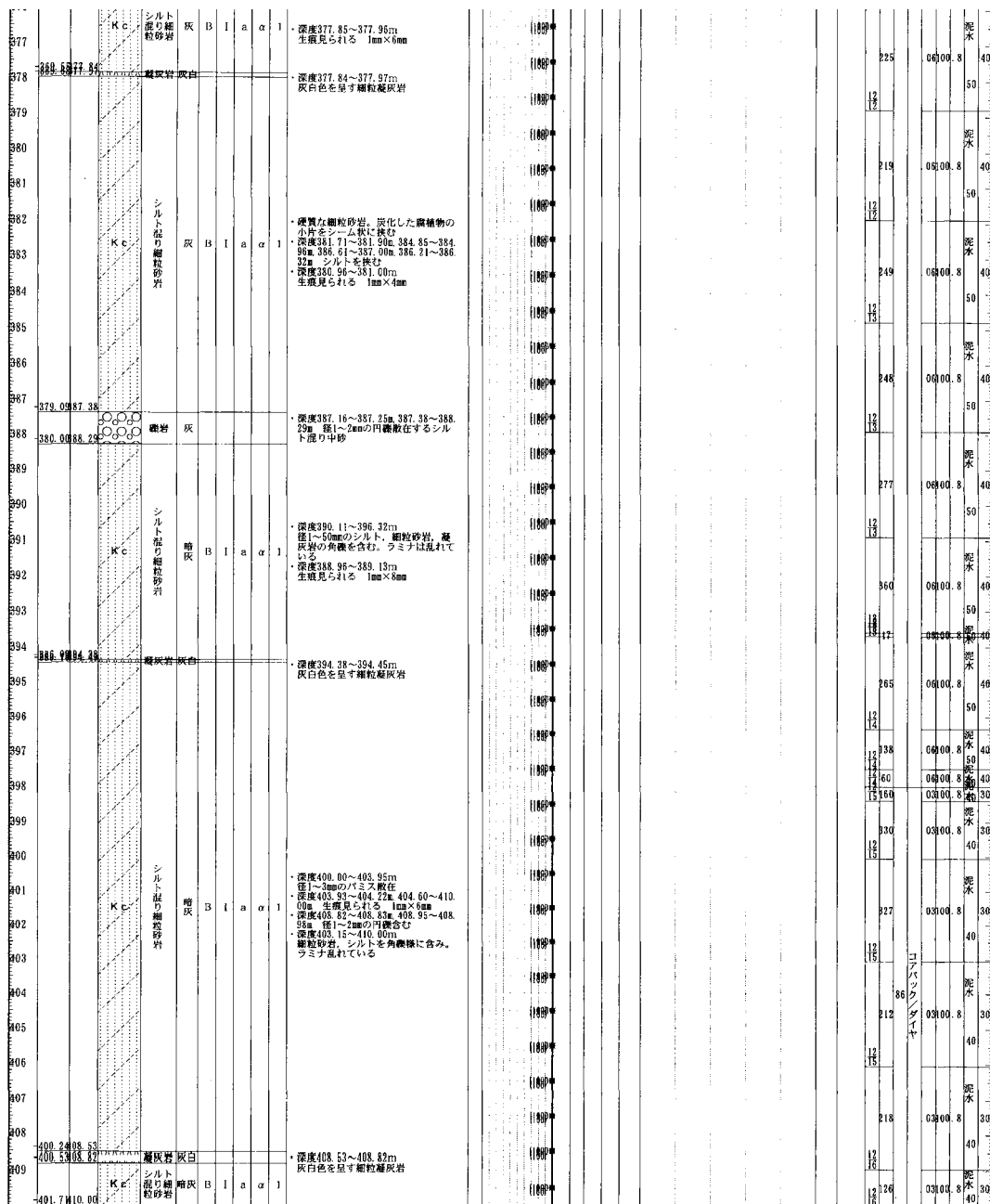
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	D-4-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年9月22日～18年2月7日			東経	
調査業者名			主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	TP +8.29m	角 度	方 向	地盤勾配	使用機種	エヌエルシー製 メガロL38型			
総掘進長	410.00m				エンジン	三井ドイツ製 3C9型	ポンプ	東邦製 BG-3型	

標高 m	深度 m	柱状 図	岩 種 区	色 調	硬 度	割 れ 目 の 形 状	変 質	記 事	コア採取率 - x - (%)	最大コア長 R Q D [%]	岩 種 区	(ルジオン、標準貫入) 試験		室内試験 ()	掘進 速度 (m/分)	掘進 時間 (分)	送水 量 (l/分)	送水 圧 (MPa)	注水 量 (m ³)	
												(P~Q、N値~深度) 図	原位置試験 ()							
300															160	0100.3	35			
301															127		40			
302															147	0100.3	35			
303															137		40			
304															177	0100.3	35			
305															131	0100.3	40			
306															192	0100.3	35			
307															133		40			
308															177	0100.3	35			
309															123		40			
310															144	0100.3	35			
311															183		40			
312	305.86	12.87													127		40			
313	304.48	12.78													183	0100.3	35			
314	304.79	13.00													123		40			
315															183	0100.3	35			
316															123		40			
317															280	0200.3	25			
318															125		30			





D-4-0 (300~410m)

ボーリング柱状図

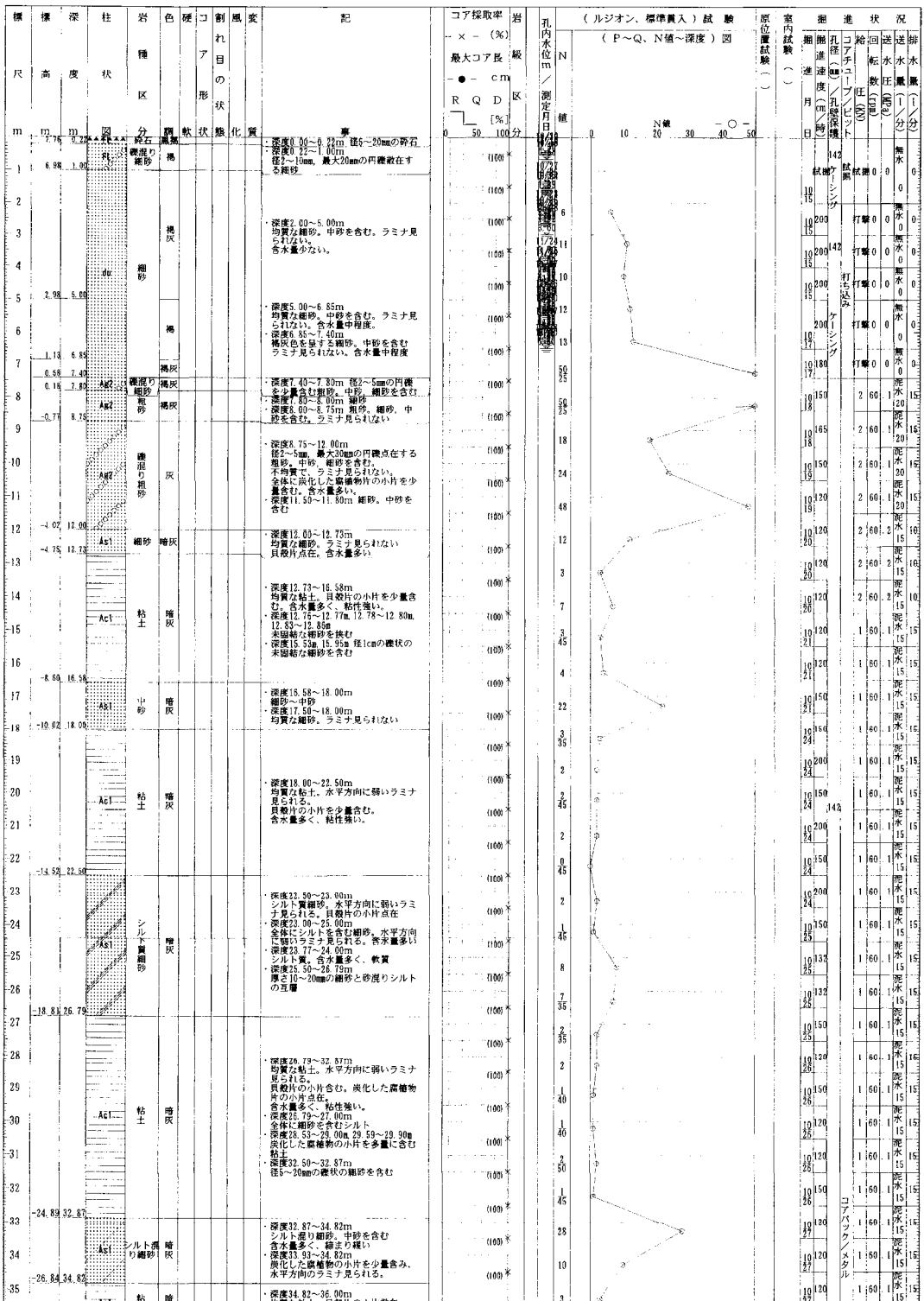
調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

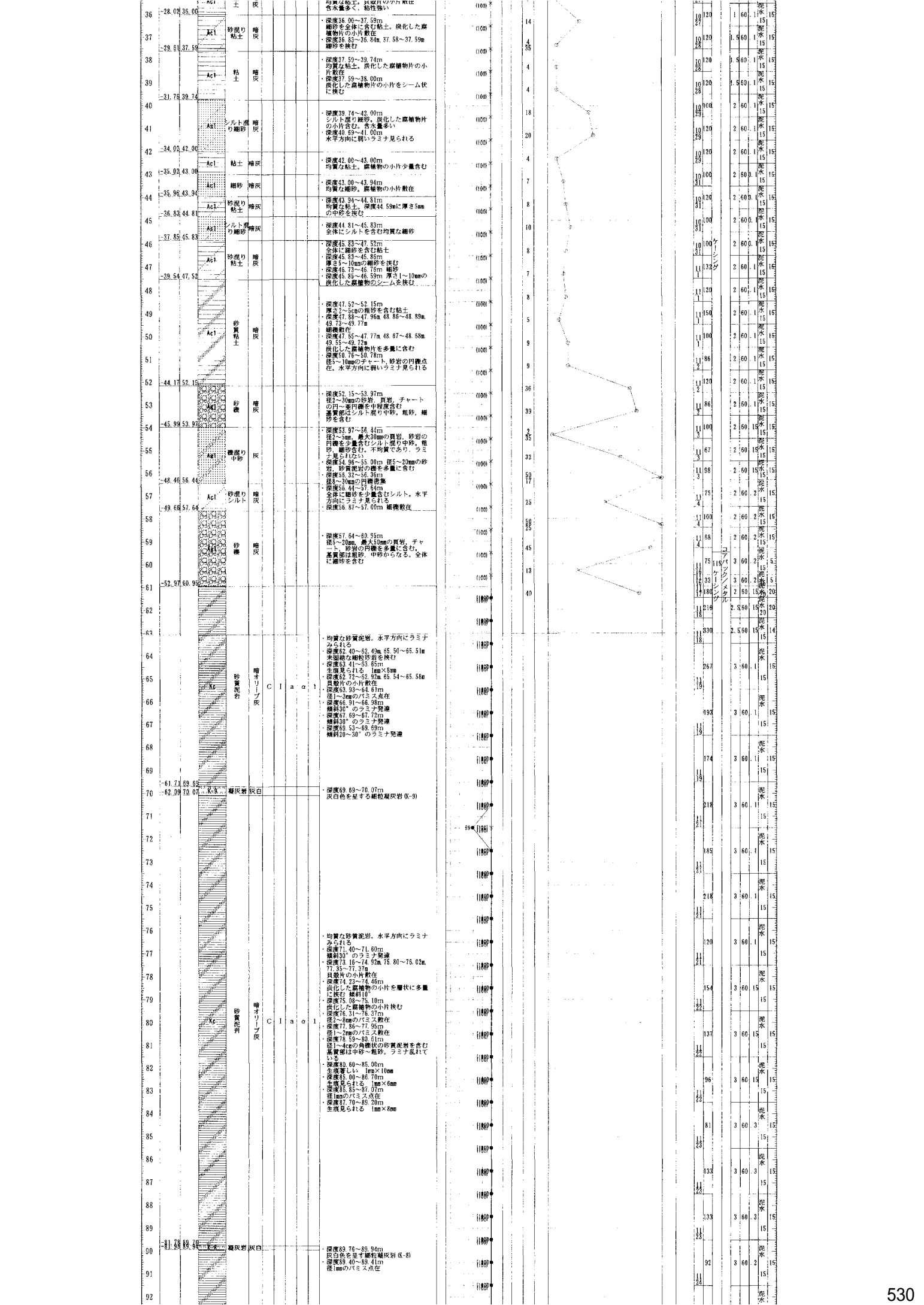
ボーリングNo. D-5-0

事業・工事名

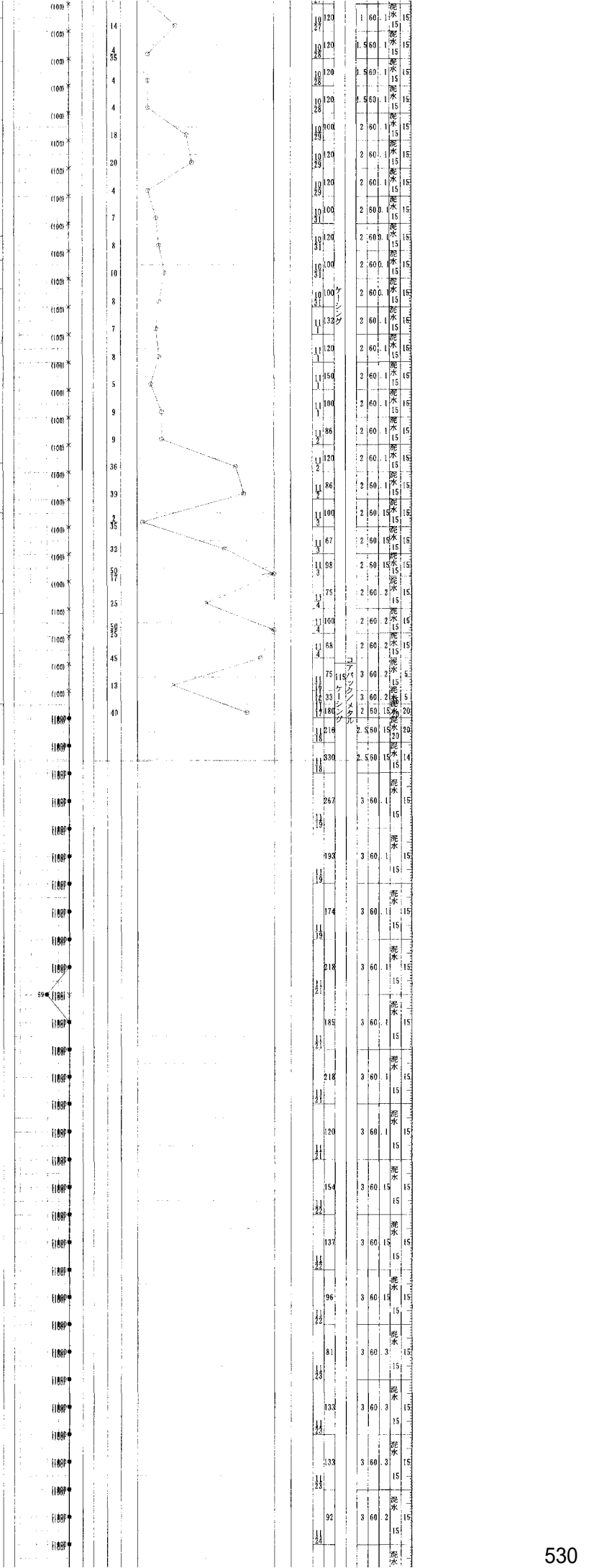
シートNo.

ボーリング名	D-5-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の東海発電所構内北地区	北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社		調査期間	平成17年10月10日～17年12月12日	東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア確定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP +7.98m	角	180°	方	地盤勾配
総掘進長	140.50m	度	0°	向	使用機種
			試験機	利根製 TDC-10型	
			エンジン	ヤンマー製 NFD-12型	ポンプ
			東邦製 BG-3C型		

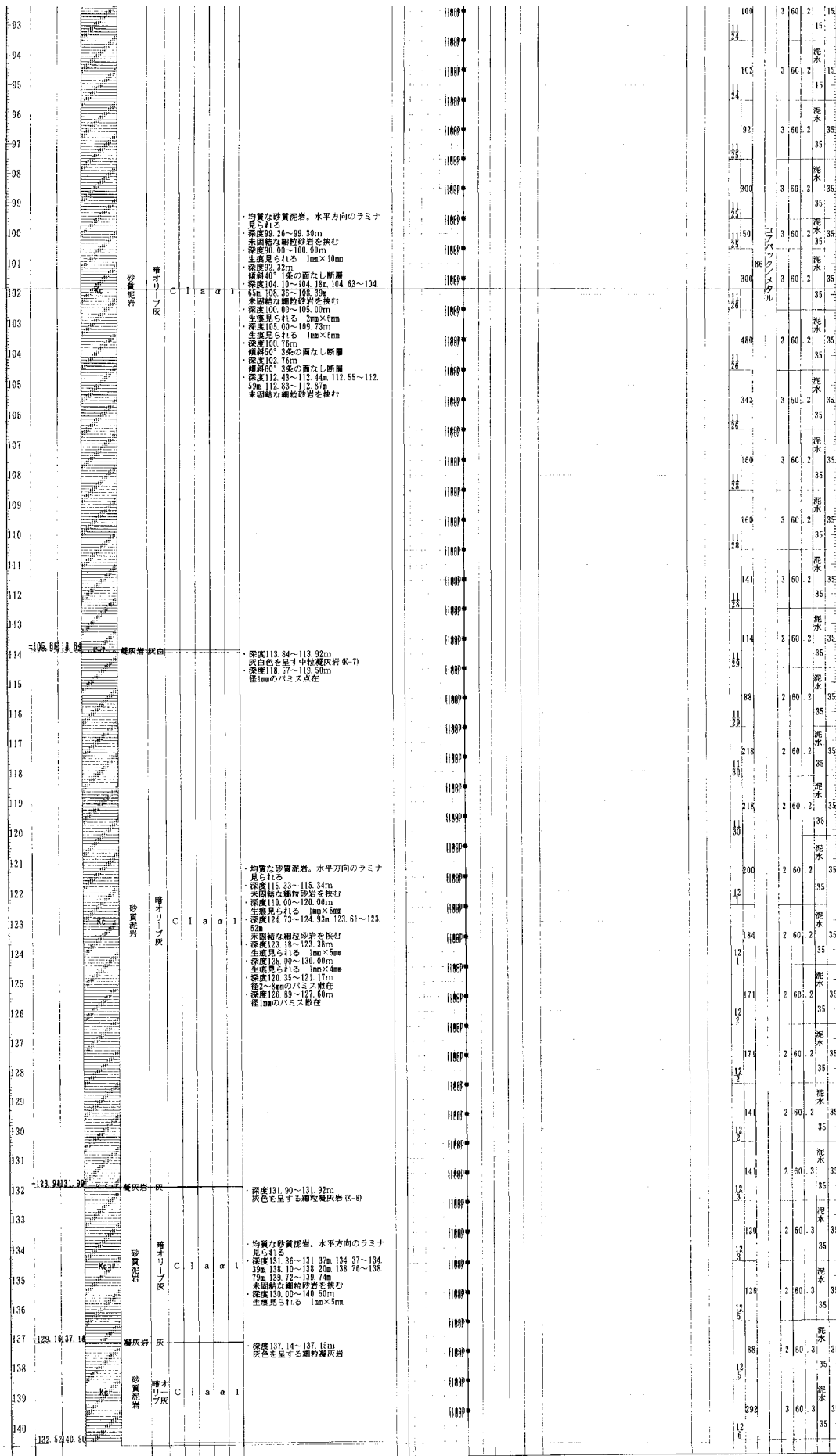




Depth (m)	Soil Type	Description
36-37	Ac1 砂混り粘土	均質な粘土、具稜性の片状腐植物を多量に含む。細砂を多量に含む粘土。炭化した腐植物の小片散在。深度36.00~37.59m
37-38	Ac1 粘土	均質な粘土、具稜性の片状腐植物を多量に含む。炭化した腐植物の小片散在。深度37.59~39.74m
38-39	Ac1 粘土	均質な粘土、具稜性の片状腐植物を多量に含む。炭化した腐植物の小片をシーム状に挟む。深度39.74~42.00m
39-40	Ac1 ルート混り砂	シルト層り砂。炭化した腐植物の小片散在。含水量多い。深度42.00~43.00m
40-41	Ac1 粘土	均質な粘土、腐植物の小片少量含む。深度43.00~43.94m
41-42	Ac1 細砂	均質な細砂。腐植物の小片散在。深度43.94~44.81m
42-43	Ac1 砂混り粘土	均質な粘土。深度44.81mに厚さ5mmの中砂を挟む。深度44.81~45.83m
43-44	Ac1 ルート混り細砂	全体にシルトを含む均質な細砂。深度45.83~47.52m
44-45	Ac1 砂混り粘土	全体に細砂を含む粘土。深度47.52~52.15m
45-46	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度52.15~53.97m
46-47	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度53.97~54.99m
47-48	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度54.99~55.97m
48-49	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度55.97~56.46m
49-50	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度56.46~57.64m
50-51	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度57.64~60.95m
51-52	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度60.95~61.71m
52-53	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度61.71~62.99m
53-54	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度62.99~63.41m
54-55	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度63.41~64.72m
55-56	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度64.72~65.54m
56-57	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度65.54~66.31m
57-58	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度66.31~67.23m
58-59	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度67.23~68.00m
59-60	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度68.00~69.07m
60-61	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度69.07~70.07m
61-62	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度70.07~71.00m
62-63	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度71.00~72.00m
63-64	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度72.00~73.00m
64-65	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度73.00~74.00m
65-66	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度74.00~75.00m
66-67	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度75.00~76.00m
67-68	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度76.00~77.00m
68-69	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度77.00~78.00m
69-70	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度78.00~79.00m
70-71	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度79.00~80.00m
71-72	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度80.00~81.00m
72-73	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度81.00~82.00m
73-74	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度82.00~83.00m
74-75	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度83.00~84.00m
75-76	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度84.00~85.00m
76-77	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度85.00~86.00m
77-78	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度86.00~87.00m
78-79	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度87.00~88.00m
79-80	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度88.00~89.00m
80-81	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度89.00~90.00m
81-82	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度90.00~91.00m
82-83	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度91.00~92.00m
83-84	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度92.00~93.00m
84-85	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度93.00~94.00m
85-86	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度94.00~95.00m
86-87	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度95.00~96.00m
87-88	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度96.00~97.00m
88-89	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度97.00~98.00m
89-90	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度98.00~99.00m
90-91	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度99.00~100.00m
91-92	Ac1 砂混り粘土	厚さ2~5mmの粗砂を含む粘土。深度100.00~101.00m



Depth (m)	Soil Type	Description
61-62	Ke 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度61.71~62.99m
62-63	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度62.99~63.41m
63-64	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度63.41~64.72m
64-65	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度64.72~65.54m
65-66	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度65.54~66.31m
66-67	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度66.31~67.23m
67-68	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度67.23~68.00m
68-69	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度68.00~69.07m
69-70	Ks 凝灰岩	凝灰岩。深度69.07~70.07m
70-71	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度70.07~71.00m
71-72	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度71.00~72.00m
72-73	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度72.00~73.00m
73-74	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度73.00~74.00m
74-75	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度74.00~75.00m
75-76	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度75.00~76.00m
76-77	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度76.00~77.00m
77-78	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度77.00~78.00m
78-79	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度78.00~79.00m
79-80	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度79.00~80.00m
80-81	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度80.00~81.00m
81-82	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度81.00~82.00m
82-83	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度82.00~83.00m
83-84	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度83.00~84.00m
84-85	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度84.00~85.00m
85-86	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度85.00~86.00m
86-87	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度86.00~87.00m
87-88	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度87.00~88.00m
88-89	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度88.00~89.00m
89-90	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度89.00~90.00m
90-91	Ks 凝灰岩	凝灰岩。深度90.00~91.00m
91-92	Ci 砂質泥岩	均質な砂質泥岩。水平方向にラミナを呈する。深度91.00~92.00m



D-5-0 (0~140m)

ボーリング柱状図

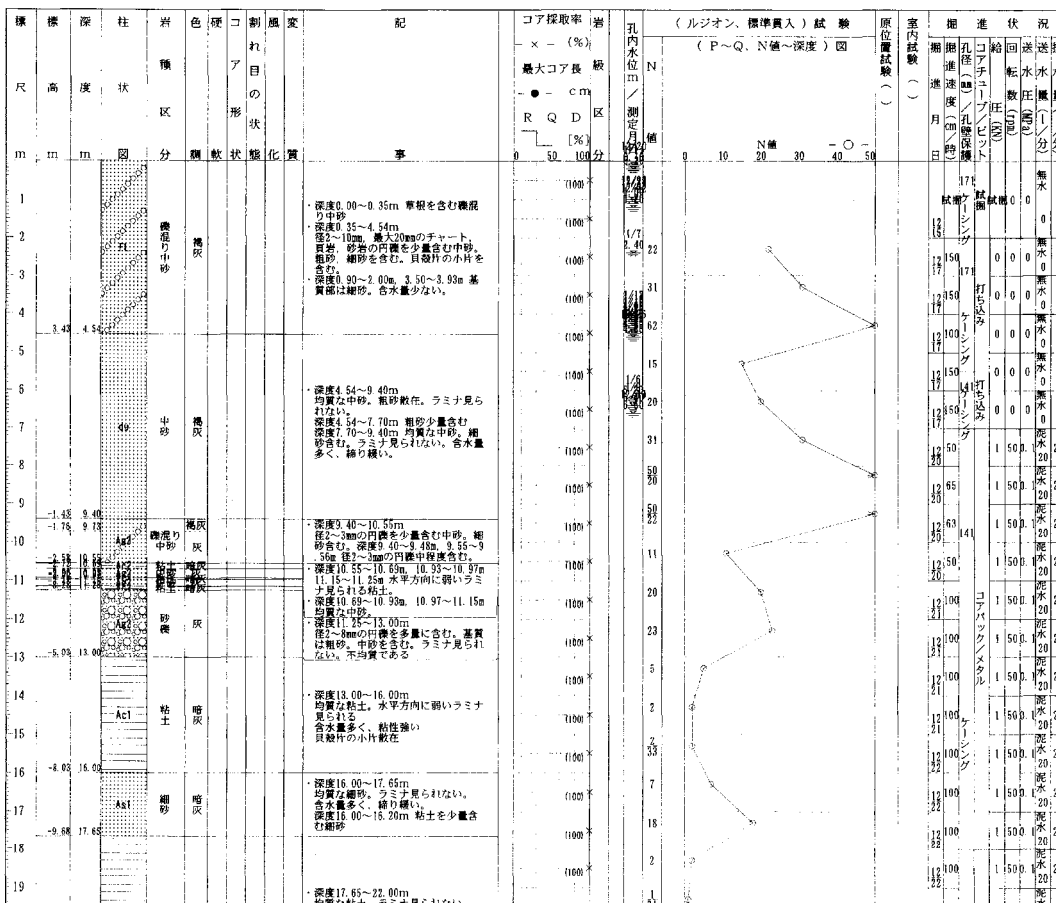
調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

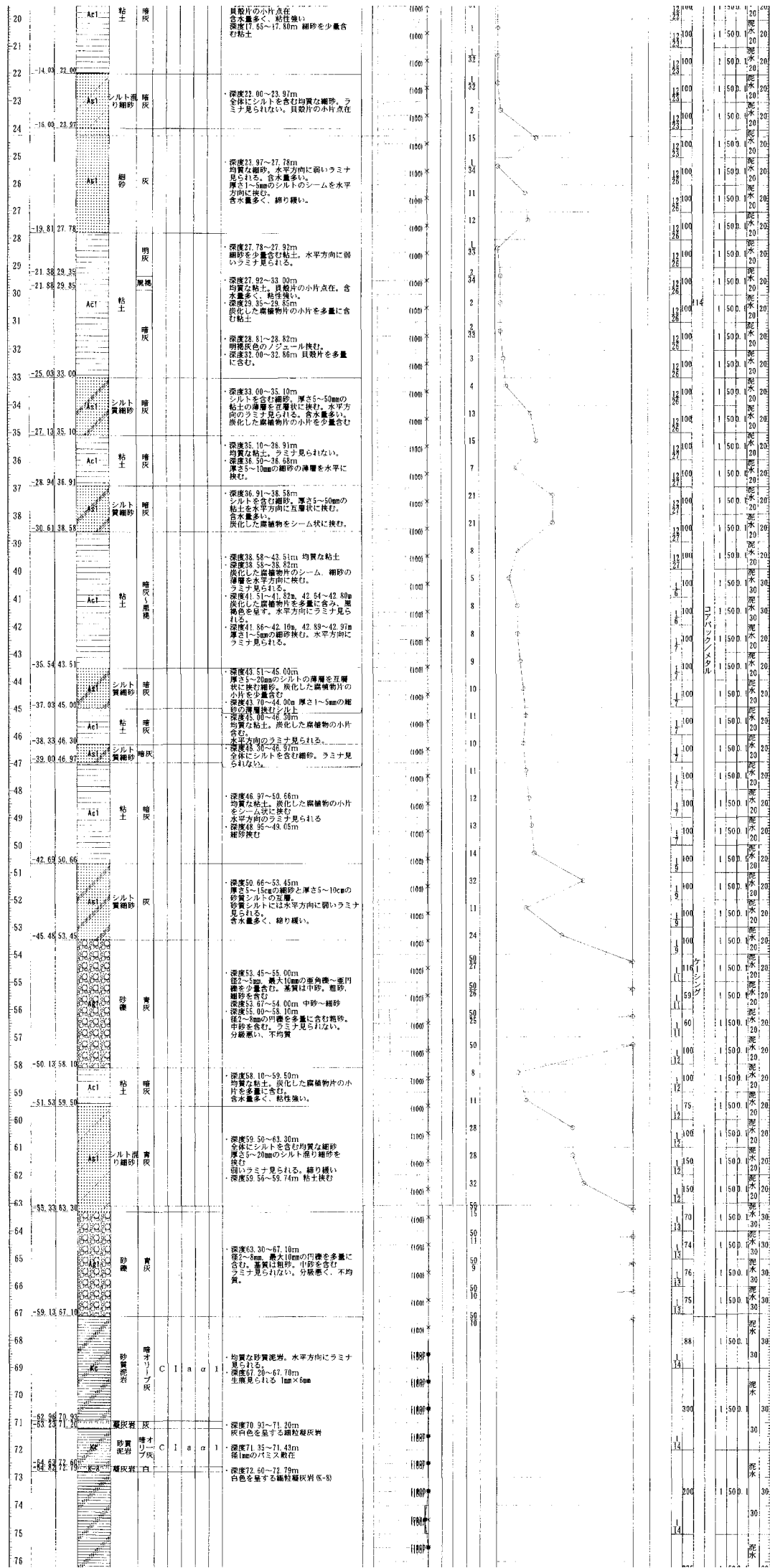
ボーリングNo. E-4-10

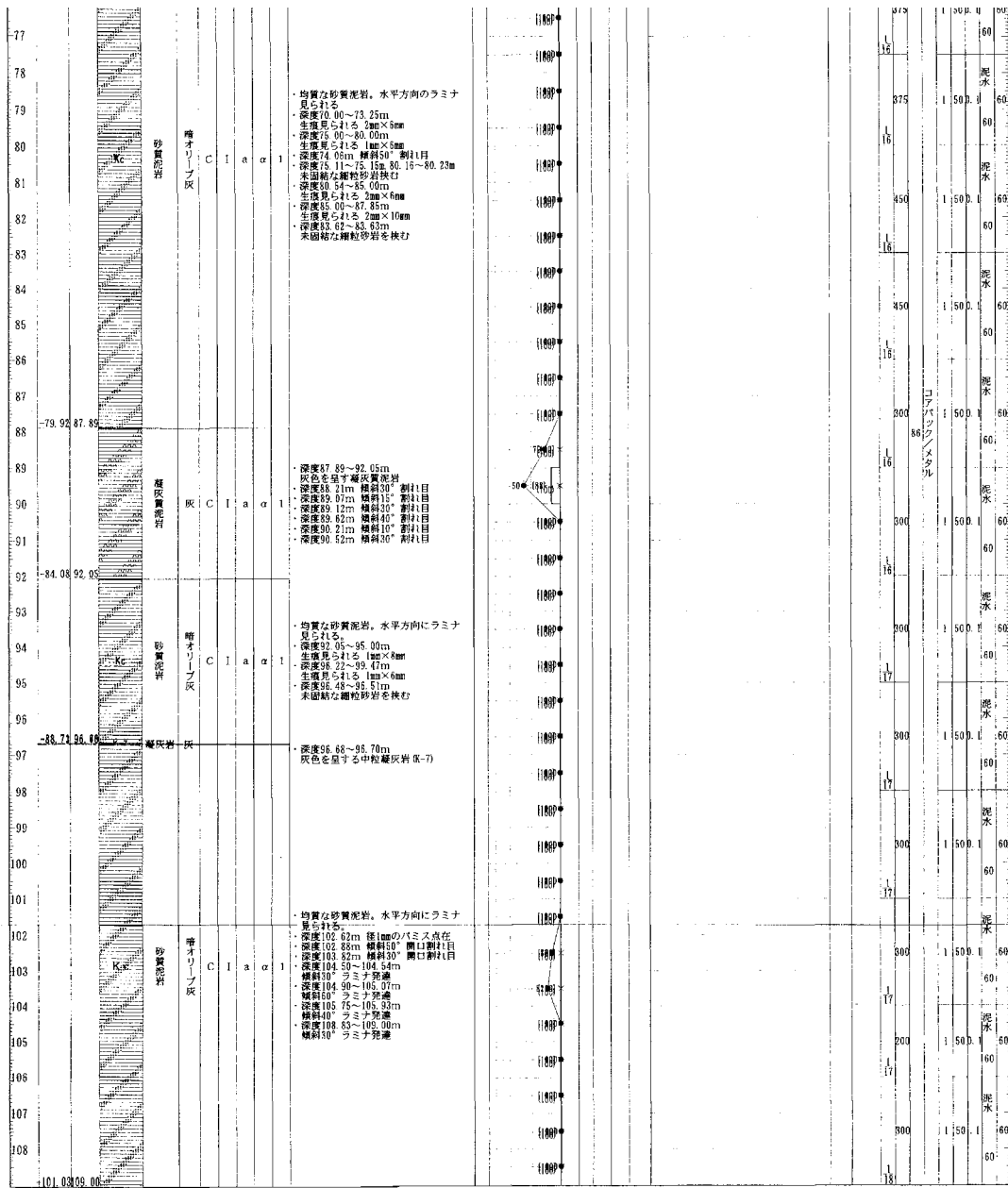
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	E-4-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区	北緯
発注機関	日本原子力発電株式会社		調査期間	平成17年12月15日～18年1月19日
調査業者名	主任技師		現場代理人	東経
コア	鑑定者		コア	ボーリング責任者
孔口標高	TP +7.97m	角	270° 北 90° 東 180° 南 0° 西	
総掘進長	109.00m	度	地盤勾配 水平 0° 90°	
使用機種	エンジン		吉田鉄工業 YBM-1WA型	
			ポンプ 東邦製 BC-10C型	







E-4-0 (0~109m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. F-2-0

ボーリング名	F-2-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区	北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社		調査期間	平成17年10月19日～18年2月24日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP +12.14m	角	利根製 TBM-70型		
総掘進長	100.00m	度	エンジン	モーター 東芝17KV型	ポンプ 鉱研製 MG-15型

標高	深	柱状	岩	色	硬	コ	割	別	風	変	記	コア採取率	岩	孔内	(ルジオン、標準貫入) 試験		室内	掘	進	状	送	水	排						
															原位置	試								速	度	況	水	量	
1			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度0.00~4.04m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見られない。 径2~5mmの円礫点在 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0		
2			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度4.04~6.64m 径1~5mmの赤褐色のシルト塊を多量 に含む中砂。細砂を含む液状砂。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
3			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度6.64~9.13m 径2~5mmの赤褐色のシルト塊を少量含 む砂質シルト。不均質な液状砂。 含水量多く、粘性強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	0
4	8.10	4.0	シルト質 中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度9.13~10.09m 径2~5mmの円礫が散在する中砂~細 砂。深度9.56~10.09m 細砂	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
5			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度10.09~12.54m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
6	5.50	6.6	シルト質 中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度12.54~15.48m 径2mmの円礫を少量含む中砂。粗砂 細砂を含む。ラミナ見られない。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
7			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度15.48~18.42m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
8	3.00	8.1	シルト質 中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度18.42~21.36m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
9			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度21.36~24.30m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
10	2.45	10.0	シルト質 中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度24.30~27.24m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
11			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度27.24~30.18m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
12			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度30.18~33.12m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
13	-6.40	12.5	シルト質 中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度33.12~36.06m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	
14			中砂	褐色	軟	細	粒	状	化	質	深度36.06~39.00m 均質な中砂。細砂含む。ラミナ見ら れない。 含水量少なく、締り強い。	(100)×	級	N	0	10	20	30	40	50	165	0	0	0	0	0	0	0	

15	砂	暗灰	深度15.22~15.48m 灰色を呈す	1100					
16	粘土	暗灰	深度15.48~15.63m 炭化した腐植物の小片を多数含む粘土	1100					
17	腐植物の塊	暗灰	深度15.63~16.00m 炭化した腐植物の小片を多数含む粘土	1100					
18	粘土	暗灰	深度16.00~16.31m 炭化した腐植物の小片を多数含む粘土	1100					
19	シルト	暗灰	深度16.31~16.45m 均質な中砂	1100					
20	シルト	暗灰	深度16.45~17.52m 均質な粘土。具殻の薄片散在。粘土多量。粘り強い。	1100					
21	シルト	暗灰	深度17.52~20.00m 全体にシルトを含む均質な細砂。具殻の薄片散在。粘土多量。粘り強い。	1100					
22	粘土	暗灰	深度20.00~21.53m 均質な細砂。ラミナ見られない。粘土多量。粘り強い。	1100					
23	粘土	暗灰	深度21.53~22.91m 均質な粘土。ラミナ見られない。粘土多量。粘り強い。具殻の薄片散在。	1100					
24	シルト	暗灰	深度22.91~23.80m シルト混り細砂	1100					
25	シルト	暗灰	深度23.80~26.50m 均質な細砂	1100					
26	シルト	暗灰	深度26.50~27.30m 具殻の薄片を含むシルト。粘土多量。水平方向に弱いラミナ見られる。	1100					
27	シルト	暗灰	深度27.30~31.88m 均質な細砂。ラミナ見られない。炭化した腐植物の小片散在。	1100					
28	シルト	暗灰	深度31.88~32.67m 全体に細砂を含む粘土。炭化した腐植物の小片散在。	1100					
29	シルト	暗灰	深度32.67~33.28m 均質な粘土。水平方向に弱いラミナ見られる。具殻の薄片散在。粘土多量。粘り強い。	1100					
30	シルト	暗灰	深度33.28~34.05m 均質な粘土。水平方向に弱いラミナ見られる。具殻の薄片散在。粘土多量。粘り強い。	1100					
31	シルト	暗灰	深度34.05~34.55m 炭化した腐植物の小片を多数含む均質な粘土。	1100					
32	シルト	暗灰	深度34.55~38.29m 具殻の薄片散在。	1100					
33	シルト	暗灰	深度38.29~38.39m 全体に細砂を含む粘土。	1100					
34	シルト	暗灰	深度38.39~39.39m 均質な細砂。炭化した腐植物の小片少量含む。水平方向に弱いラミナ見られる。	1100					
35	シルト	暗灰	深度39.39~41.35m 全体に細砂を含む粘土。水平方向に弱いラミナ見られる。	1100					
36	シルト	暗灰	深度41.35~42.29m 均質な細砂。具殻の薄片散在。	1100					
37	シルト	暗灰	深度42.29~43.81m シルト混り細砂。全体にシルトを含む。深度42.51~43.81m 細砂状。	1100					
38	シルト	暗灰	深度43.81~44.35m 均質な粘土。炭化した腐植物の小片少量含む。	1100					
39	シルト	暗灰	深度44.35~44.65m 炭化した腐植物のシルト。厚さ1~5mmのシルトを水平方向に挟む。深度44.28~44.29m 厚さ1cmの細砂状。	1100					
40	シルト	暗灰	深度44.65~47.16m 全体にシルトを含む細砂。具殻の薄片。炭化した腐植物の小片含む。粘土多量。粘り強い。	1100					
41	シルト	暗灰	深度47.16~48.73m 均質な粘土。水平方向に弱いラミナ見られる。炭化した腐植物の小片含む。	1100					
42	シルト	暗灰	深度48.73~49.29m シルトを含む細砂。水平方向に弱いラミナ見られる。深度48.54~49.00m 細砂。深度49.00~49.29m 全体にシルトを含む。深度49.63~50.21m 全体に細砂を含む粘土。	1100					
43	シルト	暗灰	深度50.21~51.23m 全体にシルトを含む均質な細砂。	1100					
44	シルト	暗灰	深度51.23~52.99m 全体に細砂を含む粘土。深度52.18~52.23m 52.28~52.30m 炭状の細砂含む。	1100					
45	シルト	暗灰	深度52.99~53.41m 細砂。深度53.41~53.63m 中砂。	1100					
46	シルト	暗灰	深度53.63~56.71m 均質な粘土。水平方向に弱いラミナ見られる。炭化した腐植物の小片少量含む。深度54.49~54.56m 54.75~54.88m 炭化した腐植物をシルト状に挟む。	1100					
47	シルト	暗灰	深度56.71~57.93m 全体に細砂を含む均質な粘土。ラミナ見られない。	1100					
48	シルト	暗灰	深度57.93~58.56m 全体にシルトを含む均質な細砂。ラミナ見られない。	1100					
49	シルト	暗灰	深度58.56~59.32m 厚さ5~10mmの細砂を互層状に挟む。深度59.32~60.37m 均質な粘土。炭化した腐植物の小片散在。ラミナ見られない。	1100					
50	シルト	暗灰	深度60.37~62.07m 厚さ5~20mm、最大50mmの細砂の薄層を挟む粘土。水平方向に弱いラミナ見られる。炭化した腐植物の小片散在。	1100					
51	シルト	暗灰	深度62.07~63.86m 全体にシルトを含む細砂。水平方向に弱いラミナ見られる。深度62.17~62.24m 粘土状。	1100					
52	シルト	暗灰	深度63.86~65.13m 厚さ10mm以内の薄層を少量含む。均質な粘土。中砂。細砂を含む。深度64.43~65.00m シルト状を含む細砂。深度65.13~65.31m 中砂を含むシルト質細砂。深度65.72~65.91m 均質なシルト混り細砂。深度65.97~66.52m シルト質細砂。	1100					
53	シルト	暗灰	深度66.52~71.54m 厚さ5~20mm、最大50mmの花崗岩。具殻。砂岩の円形断面を中層状に挟む。均質な粘土。中砂。細砂を含む。全体にシルトを含む。深度66.52~67.42m 69.68~70.23m 70.41~70.61m 水分含有量の少ない粘土。	1100					
54	シルト	暗灰	深度67.42~68.00m 均質な粘土。中砂。細砂を含む。全体にシルトを含む。	1100					
55	シルト	暗灰	深度68.00~69.68m 均質な粘土。中砂。細砂を含む。全体にシルトを含む。	1100					
56	シルト	暗灰	深度69.68~70.23m 均質な粘土。中砂。細砂を含む。全体にシルトを含む。	1100					
57	シルト	暗灰	深度70.23~70.61m 均質な粘土。中砂。細砂を含む。全体にシルトを含む。	1100					
58	シルト	暗灰	深度70.61~71.54m 均質な粘土。中砂。細砂を含む。全体にシルトを含む。	1100					

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

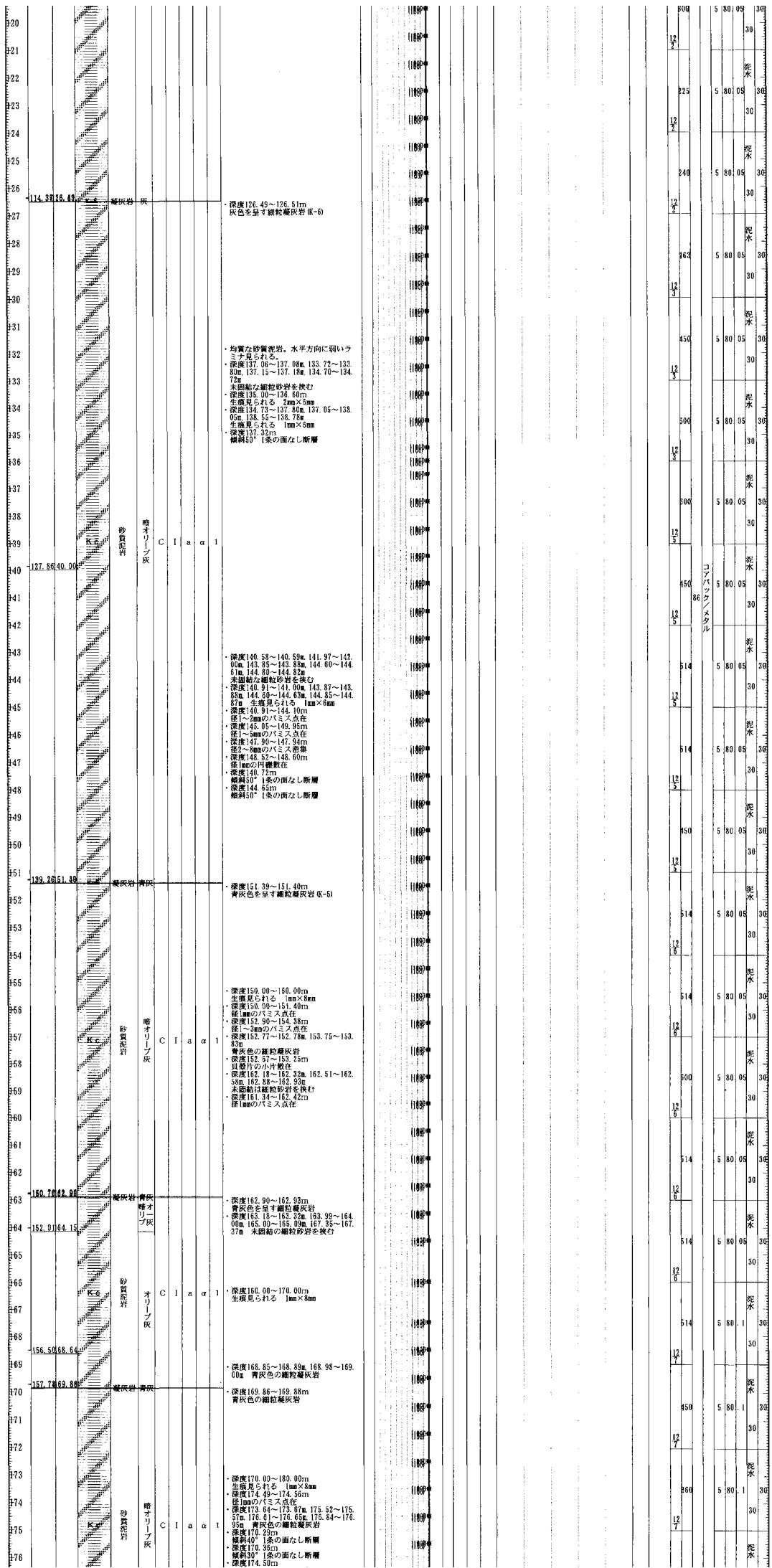
ボーリングNo. F-2-0

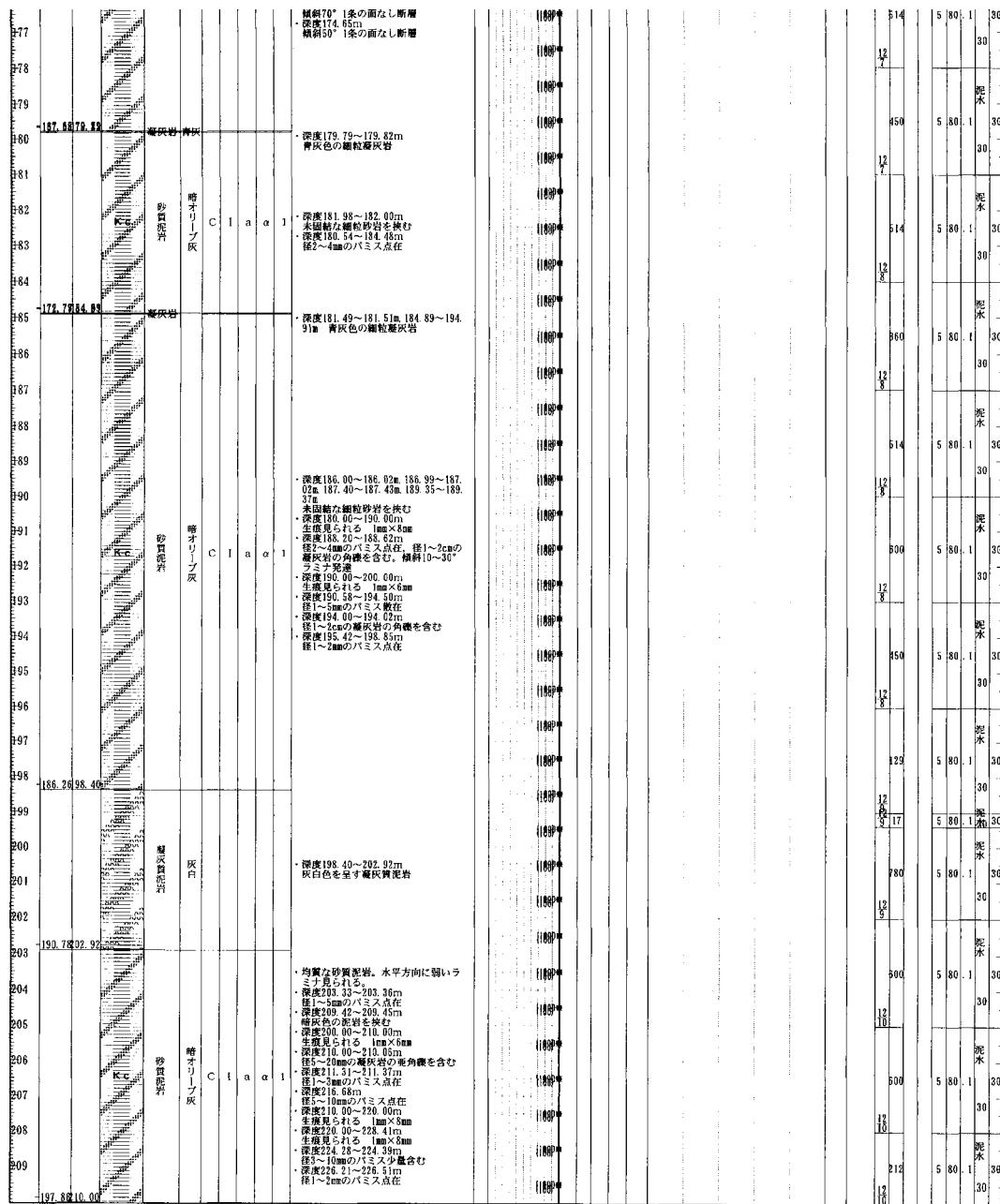
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	F-2-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯	
発注機関	日本原子力発電株式会社		調査期間	平成17年10月19日～18年2月24日		東経	
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	TP +12.14m	角	180° 上 38° 下 0°	方	270° 西 0° 東 90° 南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	376.62m	度		向		使用機種	利根製 TBM-70型
						エンジン	モーター 東芝 I7KV型
						ポンプ	鉱研製 MG-15型

標尺	深	柱	岩	色	硬	割	傾	変	記	コア採取率 × (%) 最大コア長 R Q D [%]	岩	孔	(ルジオン、標準貫入)試験 (P~Q、N値~深度)図				原	室	掘	進	状	況					
													N	P	Q	N							位	内	進	回	送
m	m	m	区	調	状	形	化	事		0	区	値	0	10	20	30	40	50	日	月	日	分	分	分	分		
000																											
001																											
002																											
003																											
004																											
005																											
006									均質な砂質泥岩。水平方向に弱いラ ミナ見られる。 深度101.11~101.12m, 114.52~114. 54m, 116.08~116.09m, 118.21~118. 26m, 119.74~119.75m, 124.33~124. 39m, 129.13~129.15m																		
007									不均質な細粒砂岩を挟む 深度100.00~110.00m 生痕見られる 1mm×8mm 深度110.00~120.00m 生痕見られる 1mm×10mm 深度120.00~130.00m 生痕見られる 1mm×6mm 深度114.00m 傾斜20° 1面の面なし断層 深度114.01m 傾斜10° 1面の面なし断層 深度114.62m 傾斜30° 1面の面なし断層 深度113.82~113.83m 径2~3mmのバリス点存在																		
008																											
009																											
010																											
011																											
012																											
013																											
014																											
015																											
016																											
017																											
018																											
019																											





F-2-0 (100~210m)

ボーリング柱状図

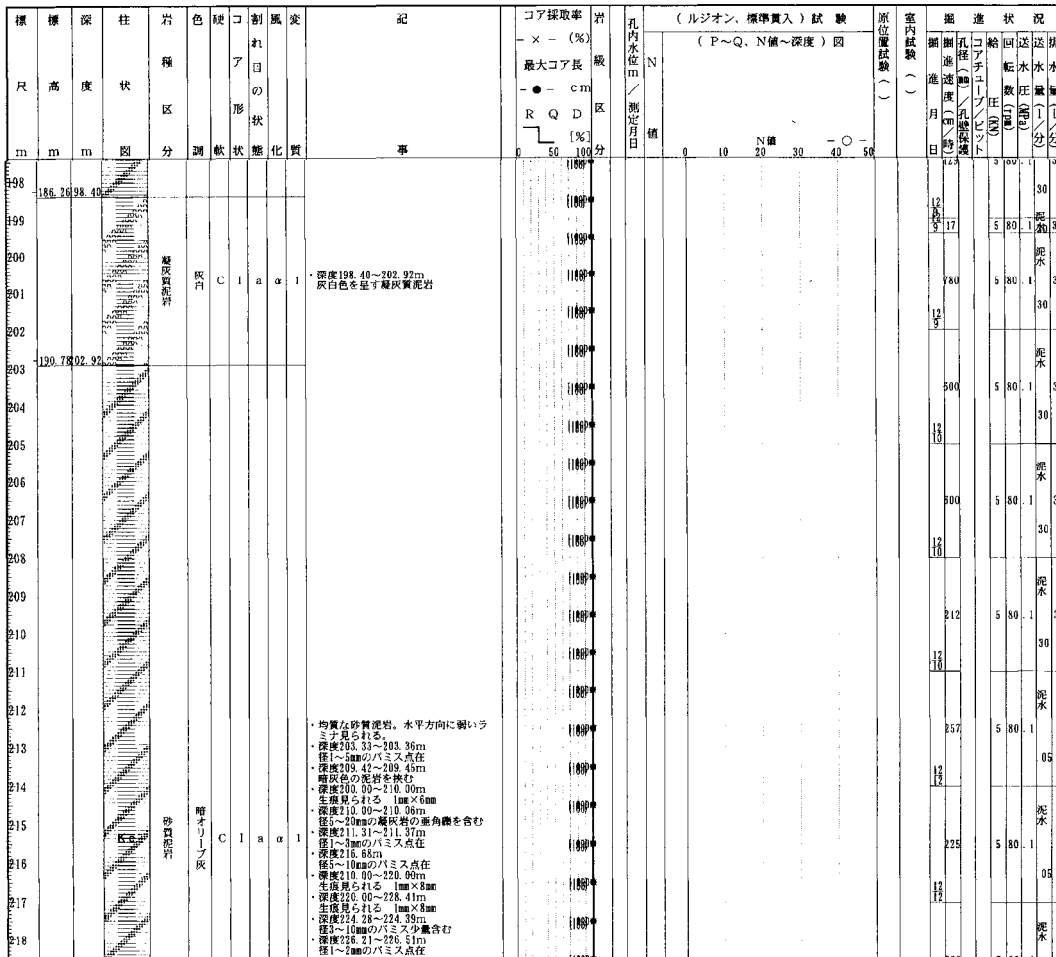
調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

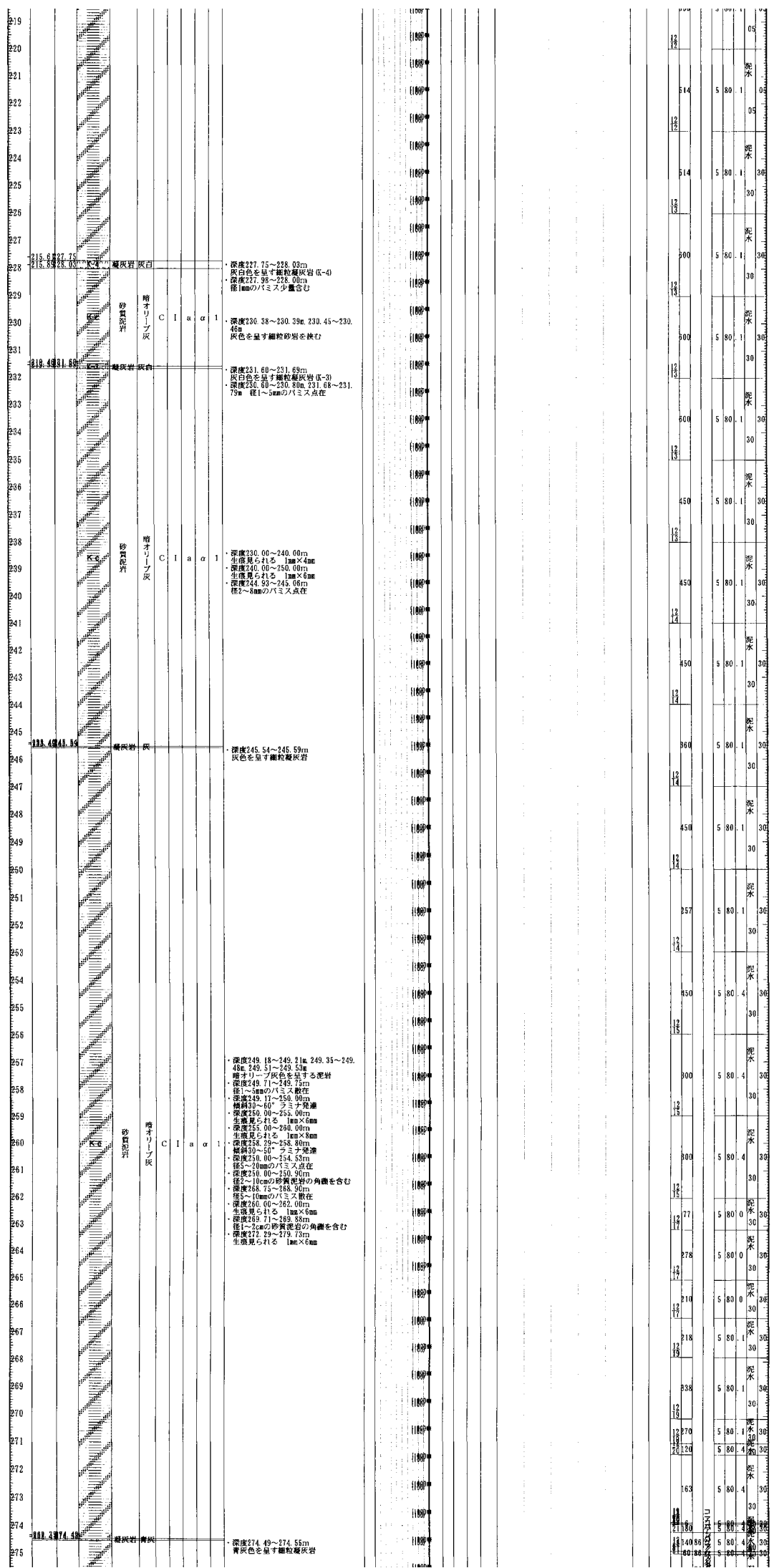
ボーリングNo. F-2-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	F-2-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年10月19日～18年2月24日		
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
コア採取	TP	角	183°	方	北	東	南
総掘進長	376.62m	度	90°	向	北	東	南
試機	利根製 TBM-70型						
エンジン	モーター 東芝17KV型		ポンプ 鉦研製 MG-15型				





ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. F-2-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	F-2-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年10月19日～18年2月24日			東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	TP	+12.14m	角	150°	方	270°	地盤勾配	使用機	利根製 TBM-70型
総掘進長	376.62m	度	0°	向	150°	90°	エンジン	モーター 東芝17KV型	ポンプ

標高 m	深さ m	柱状 図	岩種 区分	色	硬さ	割れ の 形状	風化 状態	変質	記号	コア採取率 -% (最大コア長) R Q D [%]	岩層 N 測定月日	(ルジオン、標準貫入) 試験		原位置試験 ()	室内試験 ()	掘削 進捗 状況 送水 水量 (分)	送水 水量 (分)	送水 圧力 (分)	送水 回数 (分)	
												P	N							
290	277.86	290.00																		
291																				
292																				
293																				
294																				
295																				
296																				
297																				
298																				
299																				
300																				
301																				
302																				
303																				
304																				
305																				
306																				
307																				
308																				
309																				
310																				
311																				
312																				
313																				
314																				
315																				
316																				
317																				
318																				
319																				
320	307.53	319.85																		
321	308.44	320.58	凝灰岩	青灰																
322	310.03	322.19	砂質 凝灰岩	暗赤 土																
323																				
324																				
325																				
326																				

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. F-4-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	F-4-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内北地区			北緯		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年11月25日～17年12月2日			東経	
調査業者名	[Redacted]		主任技師	[Redacted]		現場代理人	コテ	[Redacted]	
ボーリング責任者	[Redacted]		主任技師	[Redacted]		現場代理人	コテ	[Redacted]	
孔口標高	TP	16.97m	角	180°	90°	方	北		
総掘進長		33.00m	度	0°	0°	向	北		
試錐機	利根 TS-100			使用機種	ヤンマー NFD-9			ポンプ	利根 NP-40

標尺	深	柱状	岩	色	硬	割れ	風	変	記	コア採取率	岩	孔内水位	(ルジオン、標準貫入) 試験		室内試験	注	進	状	況			
													(P-Q, N値~深度) 図	試験						排		
10	m	10	図	分	別	軟	状	態	化	質	事	0	50	100	分							
1			泥	灰					深度0.00~4.97m 径2~5mm, 最大3mmの円礫が散在する中砂。細砂、粗砂を含む。長さ1~2cm程度の木片の小片散在。 深度0.00~0.37m 腐葉を少量含む 深度1.46~2.77m 黒色の砂を少量含む。 深度3.11~4.97m 径2~5mm, 最大3mmの円礫が散在。全体にシルトを含む。	100	N											
2			泥	灰					深度4.97~6.64m 均質な中砂。粗砂、細砂を含む。ラミナ見られない。 含水少量、締め強い。	100	11/20	7.74										
3			泥	灰					深度6.64~8.11m 均質な中砂。粗砂を多量に含む。ラミナ見られない。 深度8.11~10.07m 径2~5mm, 最大3mmの円礫が散在する均質な中砂。粗砂を含む。ラミナ見られない。	100	11/28	8.50										
4			泥	灰					深度8.11~10.07m 均質な中砂。粗砂を多量に含む。ラミナ見られない。 深度10.07~12.34m 径2~5mm, 最大3mmの円礫を多量に含む。基質は粗砂 深度12.34~13.82m 径2~20mm, 最大40mmの砂岩、頁岩、チャートの円礫を多量に含む。分散悪く、不均質。	100	12/7	8.23										
5	2.00	4.97	泥	灰					深度12.34~13.82m 全体に細砂を少量含む粘土。ラミナ見られない。頁岩片の小片が散在する。含水多量、粘性強い。	100	11/28	11.99										
6	0.33	5.64	泥	灰					深度13.82~15.67m 均質な細砂。ラミナ見られない。含水多量、締め強い。	100	11/28	11.99										
7			泥	灰					深度15.67~18.67m 全体に細砂を含む粘土。水平方向に細いラミナが見られる。頁岩片の小片散在。含水多量、粘性強い。	100	11/28	11.99										
8			泥	灰					深度18.67~19.78m 全体にシルトを含む均質な細砂。ラミナ見られない。	100	11/28	11.99										
9	-2.14	9.11	泥	灰					深度19.78~22.83m 均質な細砂。ラミナ見られない。含水多量、締め強い。	100	11/28	11.99										
10	-3.10	10.07	泥	灰					深度22.83~23.09m 全体に細砂を含むシルト。 深度23.09~24.85m 均質な細砂。ラミナ見られない。含水多量、締め強い。 深度24.85~27.49m 水平方向にラミナが見られる。含水多量、締め強い。	100	11/28	11.99										
11			泥	灰					深度27.49~28.05m 炭化した腐植物の小片を多量に含む頁岩片の小片散在。	100	11/28	11.99										
12	-5.37	12.34	泥	灰					深度28.05~30.97m 頁岩片の小片が密着。	100	11/28	11.99										
13	-6.33	13.32	泥	灰					深度30.97~31.83m 均質な細砂。ラミナ見られない。	100	11/28	11.99										
14	-8.16	15.67	泥	灰					深度31.83~33.00m 炭化した腐植物の小片をシルト状に挟む細砂。厚さ2~3mmのシルトと互層状。水平方向のラミナが見られる。	100	11/28	11.99										
15			泥	灰						100	11/28	11.99										
16			泥	灰						100	11/28	11.99										
17			泥	灰						100	11/28	11.99										
18			泥	灰						100	11/28	11.99										
19			泥	灰						100	11/28	11.99										
20			泥	灰						100	11/28	11.99										
21			泥	灰						100	11/28	11.99										
22			泥	灰						100	11/28	11.99										
23	-15.86	22.83	泥	灰						100	11/28	11.99										
24	-16.12	23.09	泥	灰						100	11/28	11.99										
25	-17.88	24.85	泥	灰						100	11/28	11.99										
26			泥	灰						100	11/28	11.99										
27	-20.56	27.49	泥	灰						100	11/28	11.99										
28	-21.06	28.05	泥	灰						100	11/28	11.99										
29			泥	灰						100	11/28	11.99										
30			泥	灰						100	11/28	11.99										
31			泥	灰						100	11/28	11.99										
32	-24.86	31.83	泥	灰						100	11/28	11.99										
33	-26.03	33.00	泥	灰						100	11/28	11.99										

F-4-0 (0~33m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. F-6-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	F-6-0	調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内			北緯			
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年11月9日～17年11月19日		東経		
調査業者名	[Redacted]			現場代理人	[Redacted]	コア鑑定者	[Redacted]	ボーリング責任者	[Redacted]
孔口標高	TP +7.99m	角			試錐機	東邦 D-0			
総掘進長	18.00m	度	水平 0°	使用機種	エンジン	ヤンマー NFD-150	ポンプ	カノー V-6	

標尺	標高	深	柱状	岩種	色調	硬軟	コア	割れ目	風化	変質	記	コア採取率 - x - (%)	岩級	孔内水位	試験		原位置試験	室内試験	掘進	進	状	況					
															(P~Q, N値~深度) 図	N							掘進速度	送水	排水		
1			礫混り中砂	褐							<ul style="list-style-type: none"> 深度0.00~5.00m 径5~20mm, 最大50mmの角礫散在する粗砂。中砂, 細砂を含む。含水量少ない。 全体に褐色を呈し, シルトを含む。径1~3cmの礫状の茶褐色シルトを含む。均質であるが, 分級悪い。 深度4.08~4.17m 炭化した腐植物の小片密集。 	(100) x	11/14														
2																											
3																											
4																											
5	2.99	5.00																									
6	1.34	6.45	中砂	褐灰							<ul style="list-style-type: none"> 深度5.00~6.45m 均質な中砂。細砂を含む。ラミナ見られない。含水量少ない。 	(100) x	11/18														
7																											
8			礫混り粗砂	褐灰							<ul style="list-style-type: none"> 深度6.45~11.22m 径2~5mmの円礫を散在する粗砂。中砂, 細砂を含む。ラミナ見られない。 深度10.00~11.22m 均質な粗砂。中砂, 細砂含む。含水量多い。 	(100) x	11/18														
9																											
10																											
11																											
12	-3.33	11.82	腐植物	褐灰							<ul style="list-style-type: none"> 深度11.22~11.31m, 11.82~12.06m 炭化した腐植物の小片を多量に含む粘土。含水量多く, 粘性強い。 深度11.31~11.82m 均質な細砂。中砂を含む。含水量多い。 深度11.69~11.82m シルト質細砂 深度12.06~12.28m シルトを含む中砂。深度12.28~12.40m 径2~5mmの円礫を中程度含む粗砂 深度12.40~14.69m 均質な粘土。貝殻片の小片散在。含水量多く, 粘性強い。 	(100) x	11/18														
13	-3.07	12.06	腐植物	褐灰																							
14	-3.44	12.48	腐植物	褐灰																							
15			粘土	暗灰																							
16	-6.70	14.69	シルト質中砂	暗灰							<ul style="list-style-type: none"> 深度14.69~16.15m 全体にシルトを含む均質な中砂。ラミナ見られない。含水量多く, 軟質である。 	(100) x	11/18														
17	-8.18	16.15	粘土	暗灰							<ul style="list-style-type: none"> 深度16.15~18.00m 均質な粘土。ラミナ見られない。 深度16.15~16.65m 全体に細砂を少量含む。含水量多く, 粘性強い。全体に貝殻片の小片散在。 	(100) x	11/18														
18	-10.01	18.00	粘土	暗灰																							

F-6-0 (0~18m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. G-1-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	G-1-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内			北緯		
発注機関	日本原子力発電株式会社			調査期間	平成17年10月3日～17年10月24日			東経	
調査業者名	[Redacted]		主任技師	[Redacted]		現場代理人	[Redacted]		
孔口標高	TP +5.02m	角	180° 上 90° F 0°	方	北 270° 西 180° 南 東 90°	地盤勾配	水平 0°	使用機種	試錐機 東邦 D-0 エンジン ヤンマー NFD-150 ポンプ カノー V-6
総掘進長	26.00m	度		向					

標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	硬軟 状態	割れ目 形状	風化 程度	記 事	コア採取率 -% (%)	岩級 最大コア長 - ● - cm R Q D [%]	孔内水位 m / 測定月日	(ルジオン、標準貫入) 試験 (P~Q、N値~深度) 図		室内試験 ()	掘進 速度 (m/分)	送水 量 (l/分)	送水 圧 (MPa)	送水 回数 (回)	状況	
												N値	Q値							
1			細砂	褐灰				深度0.00~3.83m 均質な細砂。ラミナ見られない。 含水量中程度。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
2			細砂	褐灰				深度3.83~4.74m 均質な中砂~粗砂 ラミナ見られない。含水量少ない。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
3			中砂	褐灰				深度4.74~7.97m 細砂を散在する中 砂~粗砂 深度7.97~9.83m 細砂を含む中砂	(100)×						114	0	0	0	0	無水
4	1.19	3.83	中砂	褐灰				深度3.83~4.74m 均質な中砂~粗砂 ラミナ見られない。含水量少ない。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
5	0.28	4.74	中砂	褐灰				深度3.83~3.86m 細砂を散在する中 砂~粗砂 深度3.86~4.74m 細砂を含む中砂	(100)×						114	0	0	0	0	無水
6			砂混り 粗砂	褐灰				深度4.74~7.97m 細砂を少量含む粗砂。全体に細砂、 中砂を含む。 均質、ラミナ見られない。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
7			砂混り 粗砂	褐灰				深度6.59~6.84m 中砂を含む粗砂	(100)×						114	0	0	0	0	無水
8	-2.95	7.97	砂混り 粗砂	褐灰				深度7.97~9.83m 径2~10mm、最大30mmのチャート、 貝殻の円盤を少量含む 基質部は灰色を呈するシルト質粗砂 細砂、中砂を含む。含水量多い。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
9			砂混り 粗砂	暗灰 〜 灰				深度9.83~12.65m 均質な細砂。ラミナ見られない。 炭化した腐植物の小片、貝殻片の 小片が点在。 含水量多く、締まり緩い。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
10	-4.81	9.83	砂混り 粗砂	暗灰 〜 灰				深度11.97~12.31m 細砂を少量含む シルト質粗砂、中砂、細砂を含む。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
11			砂混り 粗砂	暗灰 〜 灰				深度12.31~12.65m 中砂を含むシル ト混り粗砂	(100)×						114	0	0	0	0	無水
12	-7.63	12.65	砂混り 粗砂	暗灰 〜 灰				深度12.65~13.11m 細砂を散在する 細砂混り粘土。貝殻片の小片散在	(100)×						114	0	0	0	0	無水
13	-8.09	13.11	砂混り 粘土	暗灰				深度13.11~19.03m 均質な細砂。ラミナ見られない。 貝殻片の小片、炭化した腐植物の小 片が点在。 含水量多く、締まり緩い。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
14			砂混り 粘土	暗灰				深度19.03~19.88m 全体に細砂を含む粘土。一部に水平 方向に弱いラミナ見られる。 含水量多く、粘性強い。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
15			砂混り 粘土	暗灰				深度19.88~24.37m 均質な細砂。ラミナ見られない。 貝殻片の小片が点在。 含水量多く、締まり緩い。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
16			砂混り 粘土	暗灰				深度21.41~21.92m シルト混り細砂 深度24.37~24.37m 細砂が点在	(100)×						114	0	0	0	0	無水
17			砂混り 粘土	暗灰				深度24.37~26.00m 均質な粘土。ラミナ見られない。 貝殻片の小片が点在。 含水量多く、粘性強い。	(100)×						114	0	0	0	0	無水
18			粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
19	-14.01	19.03	砂混り 粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
20	-14.86	19.88	砂混り 粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
21			砂混り 粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
22			砂混り 粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
23			砂混り 粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
24	-19.35	24.37	砂混り 粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
25			粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水
26	-20.98	26.00	粘土	暗灰					(100)×						114	0	0	0	0	無水

G-1-0 (0~26m)

ボーリング柱状図

調査名 東海発電所 放射性物質濃度の極めて低い廃棄物の敷地内埋設施設に係る地質・地下水調査

ボーリングNo. H-4-0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	H-4-0		調査位置	茨城県那珂郡東海村白方1番の1東海発電所構内		北緯
発注機関	日本原子力発電株式会社		調査期間	平成17年12月10日～18年2月7日		東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア	ボーリング責任者	
孔口標高	TP 47.15m	角 180° 90° 0°	方 270° 90° 0°	北緯 0° 東経 0°	地盤勾配 0°	使用機種
総掘進長	100.00m			試験機	吉田鉄工製 YBM-3JR型	
			エンジン	ヤンマー製 NFD-150型	ポンプ	東邦製 BG-3C型

標高	深	柱状	岩種	色	硬さ	割れ目の形状	変質	記	コア採取率 - x - (%) 最大コア長 R Q D 区 [cm] [分]	岩級	孔内水位 m N 深度 m	(ルジオン、標準貫入) 試験		原位置試験 ()	室内試験 ()	掘進状況	状況
												P	Q				
1			中砂	灰				深度0.00~4.20m 粗砂を含む均質な中砂 含水量少ない。	(100)		140	0	0		無水	0	0
2			中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
3			中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
4	2.95	4.20	中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
5			中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
6			中砂	灰				深度4.20~9.04m 径2~3mm、最大100mmのチャート、頁岩の円礫を少量含む中砂。粗砂、細砂を含む。	(100)		140	0	0		無水	0	0
7			中砂	灰				深度4.20~5.45m 中砂	(100)		140	0	0		無水	0	0
8			中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
9	-1.88	8.00	中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
10			中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0
11			中砂	灰				深度9.04~14.20m 径2~3mm、最大100mmのチャート、頁岩、砂岩の円礫を中程度含む。某質は中砂。粗砂、細砂を含む。	(100)		140	0	0		無水	0	0
12			中砂	灰				深度11.00~13.35m 径5~20mmの円礫多量を含む。	(100)		140	0	0		無水	0	0
13			中砂	灰				深度13.35~14.00m 径5~10mmの円礫少量含む。	(100)		140	0	0		無水	0	0
14	-1.08	14.20	中砂	灰					(100)		140	0	0		無水	0	0